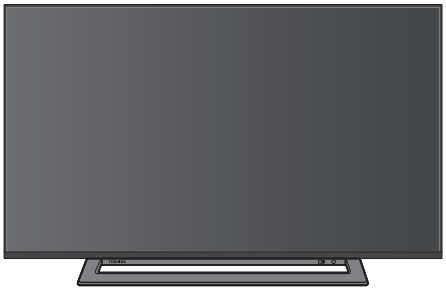
TOSHIBA

取扱説明書

REGZA

4K液晶テレビ

形名 43M540X/50M540X/55M540X
65M540X/75M540X



「付属品を確認する」、「テレビを設置する」、「はじめての設定」などの **準備** は 14〜32 をご覧ください。

★ インターネットへの接続をおすすめします

インターネットに接続すると、さまざまなサービスが利用できるクラウドサービス（みるコレ）や、快適にご利用いただくための最新ソフトウェアへの更新など、より便利にそして快適に本機をご利用いただけます。

◆お客様登録サイト<東芝 レグザ メンバーズ>に登録をお願いします◆

「東芝 レグザ メンバーズ」は、東芝映像商品のお客様登録サイトです。
ご登録いただくと、さまざまなサービスやサポートが受けられます。
※Web限定のサービスです。

https://store.toshiba-visual.com/members/

：：必ず最初に「安全上のご注意」9 をご覧ください。
：：映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、「困ったときには」をご覧ください。170

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

安全上のご注意
準備をする
テレビを見る
録画機器を使う
接続機器を使う
インターネットを楽しむ
調整・設定をする
さまざまな情報
困ったときには
使用上のお願いとご注意

本機の特長 ～こんなことができます～

新4K8K衛星放送を視聴できる

2018年12月より放送を開始した「BS・110度CSの4K放送」に対応したチューナーを内蔵しています。
数々の魅力的な番組が高画質、臨場感あふれる映像で楽しめます。

※ 8K放送の視聴には対応していません。

4K画質を楽しむ

フルHD映像を4Kパネルと4K高画質化機能で、よりきれいな画質で楽しむことができます。
市販の4K画質対応機器※を接続して、より高精細な映像・画質を楽しむことができます。
さまざまな4K放送や、4K画質の動画配信サービスに対応しており、4K画質を楽しむことができます。

※ すべての4K画質対応機器を接続して視聴できることを保証するものではありません。

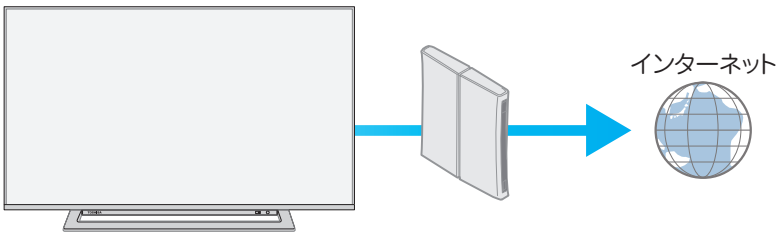
タイムシフトリンク機能で楽しむ

タイムシフトリンク機能を使うと、ネットワーク接続した別な部屋にあるテレビのタイムシフトマシンの番組も再生して楽しむことができます。

※ タイムシフトリンク機能を使用するには、同一ネットワーク上にホームサーバー機能が搭載されている他のタイムシフトマシン対応の東芝レコーダーや東芝レグザを接続する必要があります。また、本機の設定でタイムシフトマシン機能を利用できる状態にする必要があります。

みるコレサービスを楽しむ 132 ～ 134

ネットワークを使って、タレントや好みのテーマに関する番組・シーン・動画などを自動で検索する「みるコレ」サービスや、お好みの動画配信サービスなどを楽しむことができます。

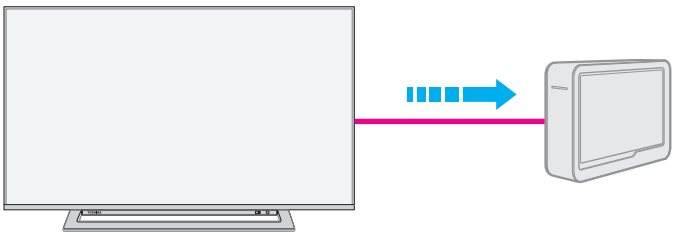


次みるナビで楽しむ

視聴しながら次に見る録画番組を選んだり、再生したりできます。また、インターネットに接続すると、出演者から番組を探したり、お好みのテーマからおすすめのネット動画を探したりできます。

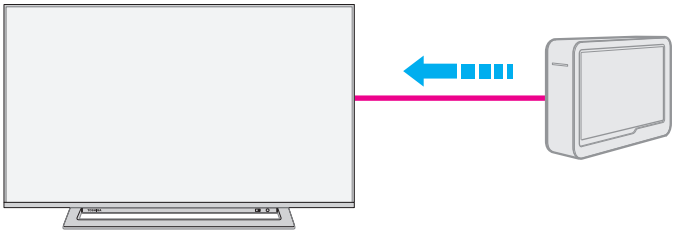
録画する 67 ～ 74

市販のUSBハードディスクにデジタル放送の録画・予約録画ができます。



見る 75 ～ 82

市販のUSBハードディスクに録画した番組の再生ができます。



残す（ダビングする） 83 ～ 89

市販のUSBハードディスクに録画した番組のダビングができます。

時計表示、オンタイマー、オフタイマー機能 48 ～ 49

●画面の右上に時計を表示させることができます。
オンタイマーでは、設定した時刻に、指定したチャンネルと音量で本機の電源がはいります。
オフタイマーでは、設定した時間後に電源を「待機」にできます。

多彩な映像メニュー 136

●周囲の明るさと見ている映像に合わせて、常に見やすい画質で表示される「おまかせAI」のほかに、周囲の環境や映像に合わせて選択できる「あざやか」、「標準」、「映画」、「ゲーム」などの多彩な映像メニューが用意されています。
●お好みに合わせて調整することもできます。136 ～ 141

節電機能 47

●「節電1」、「節電2」の二つの節電モードが用意されています。

もくじ

安全上のご注意 ····· 9

準備をする

付属品を確認する ····· 14
各部のなまえ ····· 15
前面 ····· 15
背面 ····· 15
本体操作ボタンと入出力端子 ····· 16
リモコン ····· 17
スタンドを取り付ける ····· 18
テレビを設置する ····· 20
正しい置きかた ····· 20
転倒・落下防止のしかた ····· 20
デジタル放送の種類と特徴 ····· 22
アンテナを接続する ····· 23
お願いとご注意 ····· 23
BS・110度CSの4K放送を視聴する場合のご注意 ····· 23
地上放送と衛星放送が個別のアンテナの場合 ···· 24
地上放送と衛星放送が混合のアンテナの場合（マンションの共聴アンテナなど） ····· 24
録画機器を経由する場合 ····· 25
リモコンの準備をする ····· 26
乾電池を入れる ····· 26
リモコンコードについて ····· 26
リモコンの使用範囲について ····· 26
電源を入れる ····· 27
電源を入れる ····· 27
電源を「待機」にする／切る ····· 27
お願い…電源プラグの取り扱いについて ···· 27
「はじめての設定」をする ····· 28
「はじめての設定」について ····· 28
「はじめての設定」の流れ ····· 28
はじめての設定 ····· 28
① 地域設定 ····· 28
② 地上デジタルチャンネル設定 ····· 29
③ BS・110度CSアンテナレベル確認 ····· 29
④ 映像メニュー設定 ····· 29
⑤ ネットワーク設定 ····· 30
⑥ ネットワークサービス利用設定 ····· 32
「はじめての設定」をやり直すとき ····· 32

テレビを見る

テレビ番組を楽しむ ····· 33
リモコンで番組を選ぶ ····· 33
音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる ····· 34
本体ボタンによる「機能切換」について ····· 34
操作ガイドについて ····· 35
サブメニューについて ····· 36
番組情報や番組説明を見る ····· 37
番組情報を見る ····· 37
番組説明を見る ····· 37
番組表で番組を探す ····· 38
番組表を使う ····· 38
番組を見ながら他の番組を探す（ミニ番組表） ···· 39
番組表を便利に使う ····· 39
条件を絞りこんで番組を探す ····· 42
データ放送やラジオ放送を楽しむ ····· 44
連動データ放送を楽しむ ····· 44
独立データ放送やラジオ放送を楽しむ ····· 44
二画面で楽しむ ····· 45
便利な機能を使う ····· 46
画面サイズを切り換える ····· 46
降雨対応放送について ····· 46
他の映像・音声を切り換える ····· 46
映像を静止させる ····· 47
映像の詳細情報を表示させる ····· 47
省エネ設定をする ····· 47
声を聴き取りやすくする ····· 48
ヘッドホンで聴く ····· 48
外部スピーカーで聴く ····· 48
時計を表示する ····· 48
自動で電源が入るようにする ····· 49
自動で電源が切れるようにする ····· 49

録画機器を使う

録画機器の準備をする 50

録画・予約機能について ····· 50
録画できる機器と番組 ····· 50
接続・設定と録画前の準備 ····· 50
USBハードディスクの接続をする ····· 51
USBハードディスクの設定をする ····· 52
USBハードディスクを本機に登録する ····· 52
USBハードディスクの設定をする ····· 52
録画の基本的な設定をする ····· 54
録画に使用する機器を設定する ····· 54
チャプター分割のしかたを設定する ····· 54
レグザリンクダビングの接続・設定をする ··· 55
東芝レコーダーと本機を接続する ····· 55
東芝レコーダーと本機を設定する ····· 55
SeeQVault™対応のUSBハードディスクや
SDメモリーカードを接続する ····· 57
USBハードディスクを接続して登録する ··· 57
USBハードディスクの取りはずし ····· 58
SDメモリーカードを接続する ····· 58
SeeQVault™対応SDメモリーカードを設定する·· 59
SDメモリーカードを初期化する ····· 59
SDメモリーカード名を変更する ····· 59

ホームネットワーク機器の準備をする 60

ホームネットワークについて ····· 60
ホームネットワークの接続をする ····· 61
機器を接続する ····· 61
機器のネットワーク設定を確認する ····· 62
ホームネットワークの設定をする ····· 63
LANハードディスクを本機に登録する ····· 63
接続機器から本機を操作するための
設定をする ～外部連携機能～ ····· 64
接続機器を本機から起動するための
設定をする ～リモート電源オン機能～ ·· 66

録画・予約をする 67

見ている番組を録画する ····· 67
番組表で予約をする ····· 68
メッセージが表示された場合 ····· 68
マルチ表示の番組表で予約するとき ····· 68
連続ドラマを予約する ····· 69
日時を指定して予約をする
／番組を検索して録画・予約をする ····· 70
日時を指定して予約をする ····· 70
番組を検索して録画・予約をする ····· 70
録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき ··· 71
予約の確認・変更・取り消しをする ····· 72
おまかせ録画 ····· 73
おまかせ録画に必要な準備 ····· 73
おまかせ録画について ····· 73
予約・録画の優先順位と予約の動作について ··· 74
予約・録画の優先順位について ····· 74
予約の動作について ····· 74

再生する 75

録画した番組を再生する ····· 75
再生の基本操作とさまざまな再生のしかた ····· 75
録画番組の再生中にできるリモコン操作 ···· 76
録画番組の情報や番組説明を見る ····· 77
録画番組を修復する ····· 77
シーン検索について ····· 77
見たい録画番組を探して再生する ····· 78
録画リストのさまざまな機能を使う ····· 79
繰り返し再生の設定を変える ····· 79
番組を並べ替える ····· 79
ほかの機器を選択する ····· 79
連ドラ予約をする ····· 79
機器の情報を確認する ····· 79
次みるナビで楽しむ ····· 80
録画した番組を見る ····· 80
もっと便利に、お好みの番組を選ぶ ····· 80
SeeQVault™形式の番組を再生する ····· 81
再生の基本操作 ····· 81
SeeQVault™対応機器を選択する ····· 81

不要な録画番組を消す
／誤って消さないように保護する 82

不要な録画番組を消す
／誤って消さないように保護する ····· 82
一つの録画番組を消す ····· 82
複数の録画番組を消す ····· 82
グループ内の録画番組をすべて消す ····· 82
自動的に消す(自動削除設定) ····· 82
誤って消さないように保護する ····· 82

編集・ダビングする 83

チャプター編集をする ····· 83
録画済番組の再生中に編集する ····· 83
グループ名を変更する ····· 83
ほかのグループに移動する ····· 84
録画番組をダビング(ムーブ)する ····· 85
USBハードディスク間でムーブする ····· 85
東芝レコーダーにダビングしてディスクに保存する ·· 86
ネットワーク接続でダビングする ····· 86
ブルーレイディスクに手間なくダビングする ···· 86
録画番組をSeeQVault™形式にする ····· 88
SeeQVault™形式に変換して
USBハードディスクにダビングする ····· 88
SeeQVault™形式に変換して
SDメモリーカードにダビングする ····· 89

もくじ つづき

接続機器を使う

外部機器を接続する ····· 90
外部機器接続例 ····· 90
アナログ音声入力端子付のオーディオ機器で聴くとき ·· 91
デジタル音声(光)端子付のオーディオ機器で聴くとき ·· 92
レグザリンク対応のオーディオ機器で聴くとき ····· 92
外部入力の機能を設定する ····· 93
入力切換時に画面に表示される機器名を設定する ·· 93
使用しない外部入力をスキップする ····· 93
HDMIモードを変更する ····· 93
自動で低遅延モードを切り換える設定にする ·····94
Dolby Digital Plusの入力を設定する ····· 94
HDMI入力の画質が
自動設定されるようにする ····· 94
HDMI入力のRGBレンジを設定する ····· 94
ビデオ入力の音声入力を設定する ····· 94
USB機器を接続する ····· 95
機器の接続時に操作メニューが表示されるようにする ·· 95
レグザリンクについて ····· 96
レグザリンク機能でできること ····· 96
HDMI連動機能について ····· 97
本機のリモコンでHDMI連動機器を
操作するための設定をする ····· 98
外部入力の画面に切り換える ····· 99
本機のリモコンで対応機器を操作する ····100
機器を操作する ····· 100
本機のリモコンでできるおもな操作 ····· 102
レグザサウンドシステムで聴く ····· 103
レグザサウンドシステムの音声を設定する ··· 103
オーディオ機器(サウンドシステム)で聴く ··104
オーディオ機器のスピーカーで聴く ····· 104
ヤマハオーディオ機器の音声を調整する ··· 104
タイムシフトリンク機能を使う ····· 105
機器を接続する ····· 105
タイムシフトリンク機能を使う設定をする ····· 106
タイムシフトリンクメニューを表示する(基本操作) ·· 106
タイムシフトマシン録画番組を見る ····· 106
番組情報やタイムバーを表示させる ····· 109
タイムシフトマシン再生中にできるリモコンの基本操作 · 109
タイムシフトマシン録画番組を
ざんまいスマートアクセスで楽しむ ····· 110
始めにジャンプを使う ····· 114
機器操作を使う ····· 114
おまかせ録画番組表を使う ····· 115
システムをメンテナンスする ····· 115
タイムシフトリンク省エネ設定をする ····· 115
おすすめ履歴を初期化する ····· 115
動画を再生する ····· 116
動画再生の操作 ····· 116
動画再生時にできるリモコン操作 ····· 117
動画の再生方法を設定する ····· 117
時間を指定して再生する(タイムサーチ) ··· 117
動画を並べ替える ····· 117
機器を選び直す ····· 117
動画再生リストの操作ガイドについて ····· 117
写真を再生する ····· 118
写真再生の操作 ····· 118
マルチ表示画面の表示モードを切り換える ··· 119
再生を繰り返す ····· 119
スライドショーの表示間隔の設定をする ··· 119
マルチ表示画面の写真の並び順を変える ··· 120
機器を選び直す ····· 120
スカパー！プレミアムサービスLink(録画)の
番組を再生する ····· 121
基本操作 ····· 121
視聴制限について ····· 121

インターネットを楽しむ

インターネットに接続する 122

インターネットを利用するための接続をする ··122
本機をインターネットに接続したときにできること · 122
接続のしかた(有線LANの場合) ····· 122
インターネットを利用するための設定をする ··123
かんたんネットワーク設定 ····· 123
接続方法 ····· 125
無線ＬＡＮ設定 ····· 125
アドレス設定(ＩＰｖ4) ····· 126
ＩＰｖ６接続 ····· 127
アドレス設定(ＩＰｖ6) ····· 127
ネットワーク情報 ····· 128
接続テスト ····· 128
ネットワーク設定の接続テスト結果について ····· 128
ネットワークサービスを利用するための設定をする ·· 129
ネットワークサービスの情報を初期化する ····· 129
ひかりTVの設定をする ····· 131
ネットワーク設定 ····· 131
サービスプロバイダー選択 ····· 131
基本登録 ····· 131
チャンネルスキャン ····· 131
接続テスト ····· 131
システム情報 ····· 131

クラウドサービス・ネットワークサービスを楽しむ 132

クラウドサービスと
ネットワークサービスについて ····· 132
クラウドサービスやネットワークサービスに必要な準備 · 132
クラウドサービスの基本操作 ····· 132
「Netflix」について ····· 133
動画配信サービスを楽しむ ····· 134
スマートスピーカーで本機を操作する ····135
スマートスピーカーと連携する ····· 135
スマートスピーカーで操作する ····· 135

調整・設定をする

映像を調整する 136

お好みの映像メニューを選ぶ……136
お好みの映像に調整する……136
黒レベル……137
色の濃さ……137
色あい……137
精細感・ノイズ調整……137
コントラスト感調整……138
色詳細調整……139
プロ調整……139
その他の映像設定……140
お好み調整を初期値に戻す／映像調整を初期値に戻す……141
テレビの電源ランプを消灯する……141

音声を調整する 142

お好みの音声メニューを選ぶ……142
お好みの音声に調整する……142
サウンドリマスター……142
低音強調……142
イコライザー……143
サラウンド……143
オートボリューム……143
左右バランス……143
ドルビー DRC……143
音声出力詳細設定……143

その他の設定をする 145

アンテナを調整する……145
電波の強さ(信号強度)を確認する……145
BS・110度CS 4K放送の受信環境を確認したいとき……145
アンテナを調整する……146
地上デジタルアッテネーター設定を変更する……146
BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する……146
アンテナ線がショートしたとき……146
チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき……147
地上デジタルチャンネルを自動で設定する……147
チャンネルをお好みに手動で設定する……148
視聴しないチャンネルをスキップする……149
データ放送の設定をする……150
地域と郵便番号を設定する……150
災害発生時に文字情報を表示させる……150
ルート証明書の番号を確認する……150
視聴できる番組を制限する……151
制限するために暗証番号を設定する……151
番組の視聴を制限する……151
インターネットの利用を制限する……152
リモコンの設定を変更する……153
2台のレグザをそれぞれのリモコンで操作する……153
使わない放送選択ボタンの操作を無効にする……153
お買い上げ時の設定に戻すには（設定内容を初期化するには）……154

設定メニュー一覧 155

さまざまな情報

ソフトウェアを更新する……157
ソフトウェアの更新機能について……157
ソフトウェアの自動ダウンロードについて……157
東芝サーバーから手動でダウンロードする……158
ソフトウェアのバージョンを確認するには……158
お知らせを見る……159
ACASチップ情報を確認する……160
ACASチップ情報を確認する……160
文字を入力する……161
アイコン一覧……162
番組についてのアイコン……162
お知らせ、予約、その他についてのアイコン……162
Basic Operations……163
画面サイズについて……165
対応フォーマット……167
本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット……167
本機で再生できる動画のフォーマット……167
本機で再生できる写真(静止画ファイル)のフォーマット……168
ライセンスおよび商標などについて……168
本機で使われるソフトウェアのライセンス情報……169

もくじ つづき

困ったときには

こんな場合は故障ではありません ・・・・・・・・170
症状に合わせて解決法を調べる ・・・・・・・・・・170
テレビが操作できなくなったとき ーテレビをリセットする ・・・・・・・・・・・・・・・ 170
操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 171
映像 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 171
音声 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 172
地上デジタル放送 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 173
BS・110度CSデジタル放送・・・・・・・・・・・・・ 173
番組表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 174
お知らせアイコン が何度も表示される ・・ 175
録画・再生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 175
HDMI連動機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 177
クラウドサービスやネットワークサービスが利用できない ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 178
エラーメッセージが表示されたとき ・・・・・・181
全般 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 181
USBハードディスクに関するエラー表示・・・ 182
東芝レコーダーに録画・予約をするときのエラー表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 182
LAN端子を使った通信に関するエラー表示 ・・・・ 183
ホームネットワークに関するエラー表示・・・ 184
BS・110度CSの4K放送に関するエラー表示・・・ 184

使用上のお願いとご注意

使用上のお願いとご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・185
取り扱いについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 185
電源プラグをコンセントから抜く際のご注意・ 185
遠隔操作について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 185
録画・録音について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 185
4K映像の表示について ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 185
本機の無線LANを使う際のお願い ・・・・・・・・ 186
無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意 ・・・・・・・・・・・・ 187
本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき ・・・ 187
免責事項について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 187
お手入れについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・188
お手入れの際のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 188
キャビネットと画面のお手入れ ・・・・・・・・・・・・ 188

仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・189
さくいん ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・191
保証とアフターサービス ・・・・・・・・・・・・・・・・195

この取扱説明書内のマークの見かた

お知らせ　機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

用語　用語の説明をしています（分野によっては、同じ用語を別の意味で使用していることがあります）。

関連する内容が記載されているページの番号を示しています。

お願い　取扱上のお願いを記載しています。

ご注意　取扱上のご注意を記載しています。

お知らせ

- この取扱説明書は、43M540X ／ 50M540X ／ 55M540X ／ 65M540X ／ 75M540Xで共用です。
  記載しているイラストは43M540Xのものです。本書のイラストや画面表示はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表　示	表示の意味
⚠ 警告	“取り扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷＊1を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取り扱いを誤った場合、人が軽傷＊2を負うことが想定されるか、または物的損害＊3の発生が想定されること”を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症があるもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
＊2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします

【図記号の例】

図記号	図記号の意味
禁　止	“⃠”は、**禁止（してはいけないこと）**を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指　示	“●”は、**指示する行為の強制（必ずすること）**を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注　意	“△”は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠ 警告

異常や故障のとき

■ 煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■ 内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■ 落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
キャビネットが破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。
お買い上げの販売店に、点検・修理をご依頼ください。

安全上のご注意　つづき

⚠警告

異常や故障のとき　つづき

■ **電源コードや電源プラグが傷んだり、発熱したりしたときは、本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜く**

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置するとき

■ **本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する**

指　示

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

■ **屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には置かない**

風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ **ぐらつく台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かない**

禁　止

テレビが落下すると、重大なけがや死亡の原因となります。

多くのけが、特にお子様のけがは以下のような簡単な予防措置を取ることで回避できます。

- スタンドは本機に付属のスタンドを付属のネジで本機の本体に固定して使用する。
- 本機を安全に保持できるテレビ台などの専用の家具を使用する。
- 本機は設置するテレビ台などの家具の端からはみ出さないように設置する。
- 背の高い家具（食器棚や本棚など）の上には本機と家具の両方を頑丈な柱や壁などに確実に固定した場合以外は設置しない。
- 本機と本機を設置するテレビ台などの家具の間には、布など何も敷かない。
- お子様には、本機やリモコンを操作するために本機を設置したテレビ台などの家具によじ登ると危険であることをよく説明して教え、お子様がテレビを設置した家具によじ登らないように注意する。

これまで使用していたテレビを使い続ける場合や別の場所に移動する場合にも上記と同様な対応が必要です。
テレビ台を使用するときは、その取扱説明書もよくお読みください。

■ **振動のある場所に置かない**

振動禁止

振動でテレビが移動・転倒し、けがの原因となります。

■ **電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む**

指　示

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

■ **電源コードのコネクターは、本機のAC IN端子に確実に差し込む**

指　示

差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。本機を移動したりしたときは、差込部分のゆるみがないかご確認ください。

■ **上にものを置いたり、ペットをのせたりしない**

上載せ禁止

金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体、ペットの尿・体毛などが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ **転倒・落下防止の処置をする**

指　示

転倒・落下防止の処置をしないと、テレビの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなります。
転倒防止のしかたは20をご覧ください。

■ **壁掛け金具をテレビに取り付ける場合にはテレビ本体に取り付けてあるネジは使用しない。**

禁　止

壁掛け金具側で指定されているネジを使用しないと、テレビが脱落してけがの原因となります。

■ **壁に取り付けて使用する場合、壁掛工事は、お買い上げの販売店に依頼する**

指　示

工事が不完全だと、けがの原因となります。

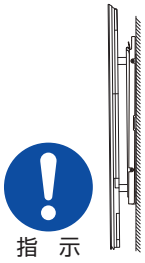
警告

■ 壁に取り付けて使用する場合

● 取付角度について

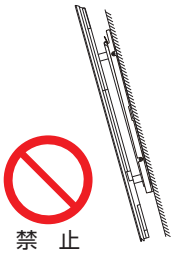
本機の取付角度は（垂直な壁面に対して）0°のみに対応しています。取付金具で傾けた設置や、傾斜した壁面への設置はしないでください。テレビが落下して、テレビの破損だけでなく、けがや床などが損傷する原因となります。

■ 垂直な壁面に0°で設置する



■ 取付金具で傾けた設置はしない

■ 傾斜した壁面へは設置しない



使用するとき

■ 修理・改造・分解はしない

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 電源コード・電源プラグは、

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり（熱器具に近付けるなど）しない**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない**

火災・感電の原因となります。

■ 異物を入れない

通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたら、テレビ・電源コード・アンテナ線および本機に接続した機器やケーブル・コードに触れない

感電の原因となります。

■ 包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意する

かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

■ 電源コードは、本機の付属品を使用する

付属品以外の電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ 本機に付属されている電源コードを他の機器に使用しない

他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れについて

■ ときどき電源プラグを抜いて点検し、刃や刃の取り付け面にゴミやホコリが付着している場合は、きれいに掃除する

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

注意

設置するとき

■ 温度の高い場所に置かない

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。
また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

安全上のご注意　つづき

⚠注意

設置するとき　つづき

■ **通風孔をふさがない**

禁　止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

壁に押しつけないでください（10cm以上の間隔をあける）。
押し入れや本箱など風通しの悪いところに押し込まないでください。
テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
じゅうたんや布団の上に置かないでください。
あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

■ **湿気・油煙・ホコリの多い場所に置かない**

禁　止

加湿器・調理台のそばや、ホコリの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ **移動したり持ち運んだりする場合は、**

指　示

- **包装箱から出すとき、持ち運ぶときは、二人以上で取り扱う**
  一人で取り扱うと、身体を痛めたり、テレビを落としてけがをしたりする原因となることがあります。
- **離れた場所に移動するときは、電源プラグ・アンテナ線・機器との接続線および転倒防止をはずす**
  はずさないまま移動すると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となったり、テレビが転倒してけがの原因となったりすることがあります。
- **車（キャスター）付きのテレビ台に設置している場合、移動させるときは、キャスターの固定を解除し、テレビを支えながら、テレビ台を押す**
  テレビを押したり、テレビを支えていなかったりすると、テレビが落下してけがの原因となることがあります。
- **衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う**
  テレビが破損してけがの原因となることがあります。

■ **位置を調整する場合は、本体下面の手掛け部を持って調整する**

指　示

パネルに無理な力が加わると、パネルが破損するおそれがあります。

■ **車（キャスター）付きのテレビ台に設置する場合は、キャスターが動かないように固定する**

指　示

固定しないとテレビ台が動き、けがの原因となることがあります。
畳やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはずしてください。キャスターをはずさないと、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。

使用するとき

■ **テレビ台を使用するときは、**

禁　止

- **不安定な台を使わない**
- **片寄った載せかたをしない**
- **テレビ台の扉を開けたままにしない**
- **耐荷重が本機の質量より軽いテレビ台を使わない**
- **テレビ台の端からはみ出さない**
- **本機とテレビ台の間には布など何も敷かない**

倒れたり、破損したり、指をはさんだり、引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

■ **コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない**

禁　止

タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

■ **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない**

引っ張り禁止

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

■ **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■ **テレビやテレビ台にぶら下ったり、上に乗ったりしない**

禁　止

落ちたり、倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

■ **旅行などで長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く**

プラグを抜け

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

本体やリモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

■ **ヘッドホンやイヤホンを使用するときは、音量を上げすぎない**

禁　止

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ **リモコンに使用している乾電池は、**

禁　止

- **指定以外の乾電池は使用しない**
- **極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない**
- **充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない**
- **火や直射日光などの過激な熱にさらさない**
- **表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない**
- **長期間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかない**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない**

これらを守らないと、液もれ・発熱・発火・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

■ **液晶テレビの画面をたたいたり、衝撃を加えたりしない**

禁　止

ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。
もしも、ガラスが割れて液晶(液体)がもれたときは、液晶に触れないでください。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服などについたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
床や周囲の家具、機器などについたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

■ **テレビの周囲に薬品、芳香剤、消臭剤、化粧品、洗剤などを置かない**

禁　止

薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などの中には、プラスチックに付着すると劣化やひび割れを生じさせるものがあります(詳しくは、右の「お知らせ」をご覧ください)。
テレビのキャビネットやスタンド部分が破損すると、感電の原因となったり、テレビが転倒してけがの原因となったりすることがあります。
薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などがテレビに付着したときは、すぐにきれいにふき取ってください。
テレビのキャビネットやスタンド部分などにひび割れなどの破損が生じたときは、すぐにお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お知らせ

- 本機のキャビネット、スタンドなどにはプラスチックが多く使われています。薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などの中にはプラスチックに付着したままにしておくと、プラスチックの劣化・ひび割れ(ケミカルストレスクラック)の原因となるものもあります。
「ケミカルストレスクラック」とは、製品荷重などの応力が加わっているプラスチック部分に、薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などが付着すると、付着物がプラスチック内部に浸透して応力との相互作用でひび割れや破損が発生する現象です。こぼれたこれらの液体などが、製品底面のプラスチック部分と設置台のすき間に浸み込んだ場合でも、放置すると発生することがあります。

お手入れについて

■ **お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く**

プラグを抜け

感電の原因となることがあります。
お手入れのしかたは188をご覧ください。
(電源プラグを抜く前に、「電源プラグをコンセントから抜く際のご注意」185をお読みください)

■ **1年に一度は内部の清掃を、お買い上げの販売店にご相談ください**

指　示

本体の内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ **お手入れや、画面の向きを変える際に、**

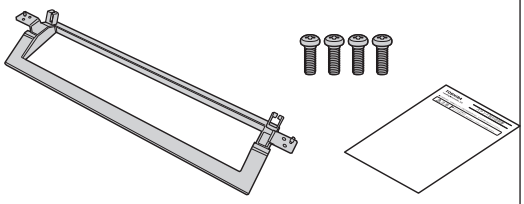
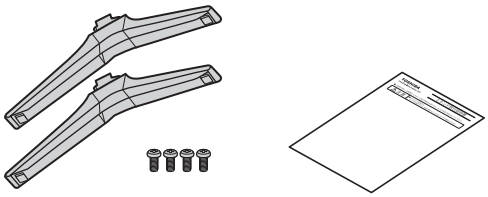
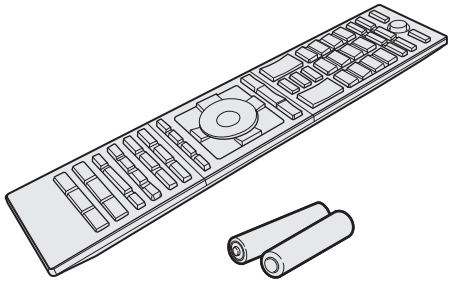
禁　止

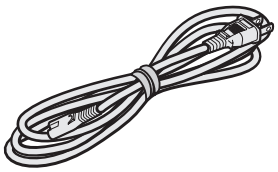
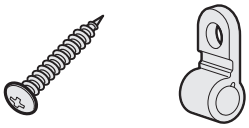
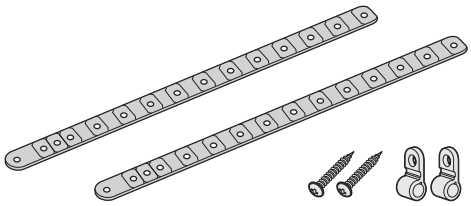
- **画面とキャビネットの隙間に液体や異物を入れない**
- **画面のみを押したり、引っ張ったりしない**

画面の内面はガラスでできています。無理に曲げたり、傷つけたりした場合、画面が割れて、けがの原因となることがあります。
お手入れのしかたは188をご覧ください。

付属品を確認する

- 本機には以下の付属品があります。お確かめください。
- アンテナや外部機器などに接続するためのケーブルやコード、器具・機器などは付属されておりません。機器の配置や端子の形状、使用環境などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

付属品/名称	付属数
スタンド スタンド取付説明書 ● 本体に取り付けます。18 ■ 43/50/55/65M540X  ■ 75M540X  ＊ 付属のネジは以下になります。 43M540X: M4 小ネジ（4 本） 50M540X: M5 小ネジ（4 本） 55M540X: M5 小ネジ（4 本） 65M540X: M5 小ネジ（6 本） 75M540X: M5 小ネジ（4 本）	1 式*
リモコン(CT-90491) 単四形乾電池 	リモコン 1 個 乾電池 2 個

付属品/名称	付属数
変換ケーブル ● ビデオ入力端子に機器を接続する場合に使います。90 	1 本
電源コード 	1 本
ネジ（長）、クリップ (43/50/55/65M540X) ● テレビの転倒・落下防止に使います。20 	ネジ（長） 1 本 クリップ 1 個
ネジ（長）、クリップ、転倒防止バンド (75M540X) ● テレビの転倒・落下防止に使います。20 	ネジ（長） 2 本 クリップ 2 個 転倒防止 バンド 2 本
取扱説明書(本書) 「東芝 レグザ メンバーズ」の登録チラシ	各 1 部

※ B-CASカードは付属していません（ＡＣＡＳチップが搭載されています）。

※ 付属品紛失の際は弊社部品をお求めください。

お知らせ

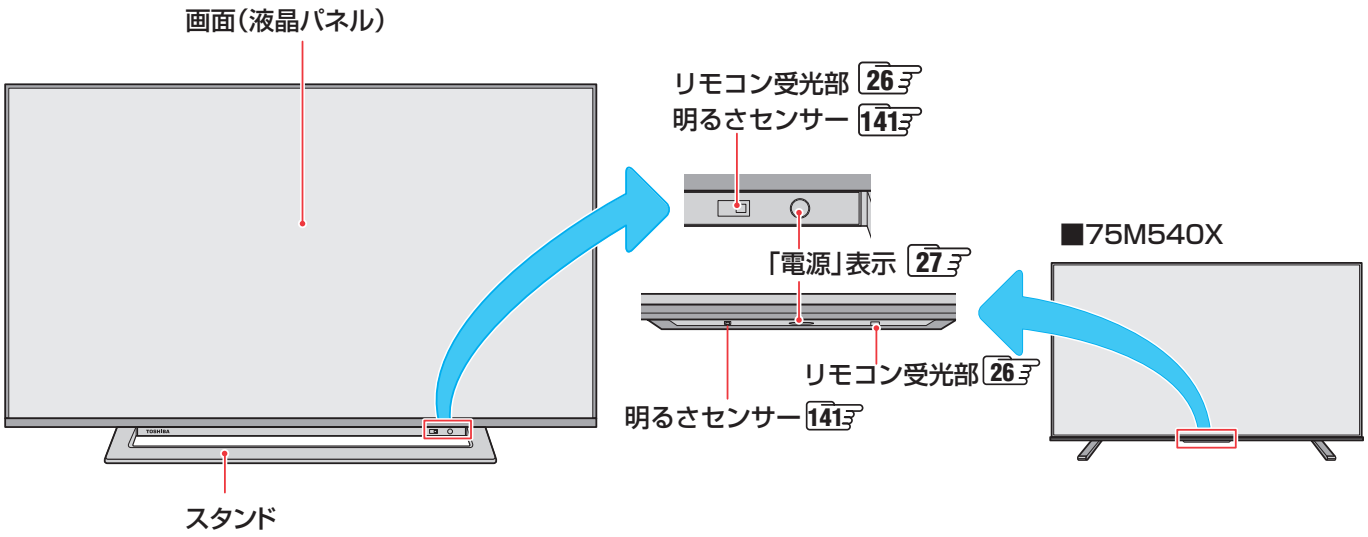
■ ACASチップについて

- ACASチップは、新しいCASの方式です。本機には、この新CASのプログラムを書き込んだ「ACASチップ」が搭載されています。ACASチップには、これまでのB-CASカードの機能も含まれています。
  - ACASチップは、新4K8K衛星放送の受信機に搭載され、有料放送の視聴制御（CAS）や、無料放送の著作権保護（RMP）のために利用されています。
  - ACASチップの番号を確認される場合は、「ACASチップ情報を確認する」160をご覧ください。

各部のなまえ

- 製品イラストは43M540Xです。他の機種はイメージが多少異なります。
- 詳しくは 内のページをご覧ください(代表的なページを示しています)。

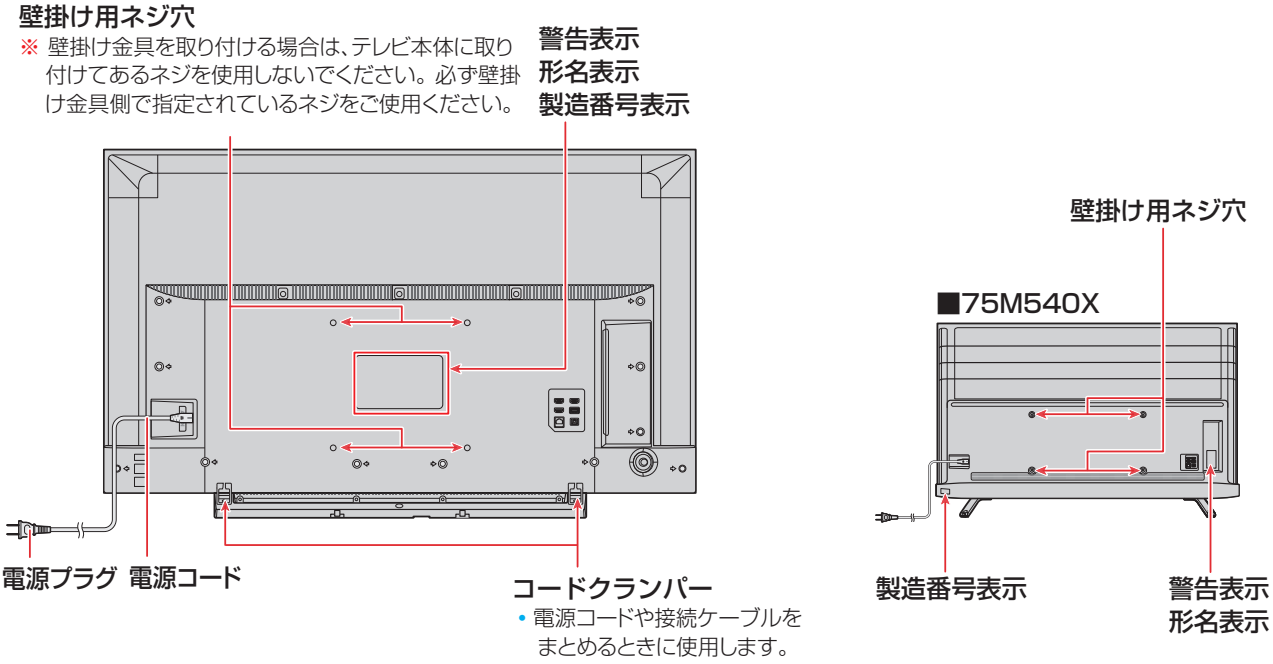
前面



背面

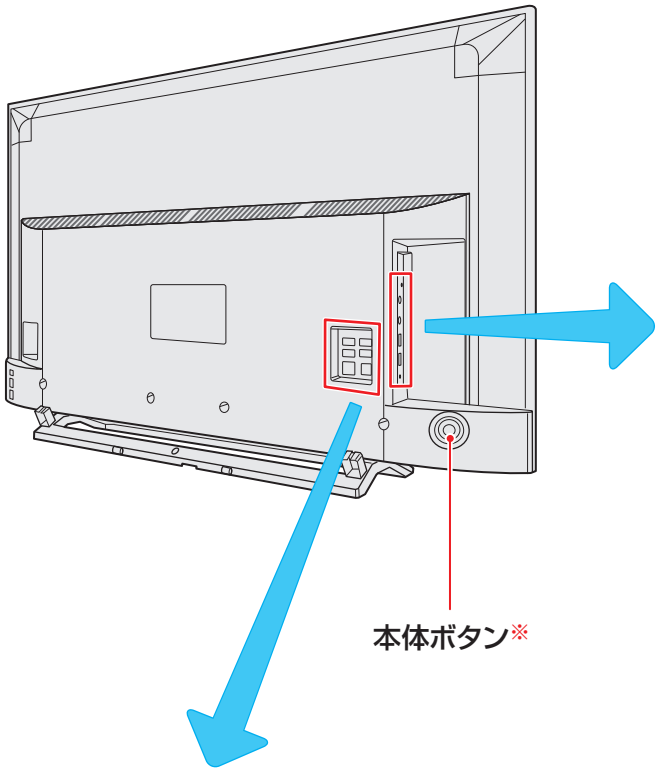
壁掛け用ネジ穴

※ 壁掛け金具を取り付ける場合は、テレビ本体に取り付けてあるネジを使用しないでください。必ず壁掛け金具側で指定されているネジをご使用ください。



各部のなまえ つづき

本体操作ボタンと入出力端子



ヘッドホン／音声出力端子 91
- ヘッドホンや外部スピーカーで聴くときに、プラグをここに差し込みます。

BS・110度CSアンテナ入力端子 23
- 衛星放送および4K放送を視聴する場合にBS・110度CS共用アンテナを接続します。

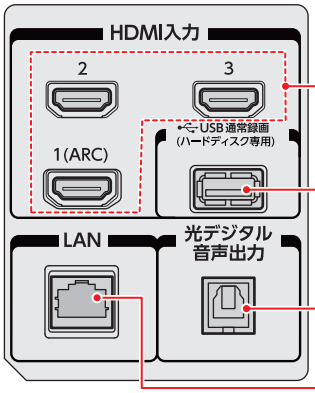
地上デジタルアンテナ入力端子 23
- 地デジ受信用のUHFアンテナを接続します。

HDMI入力 4端子 90 92
- 映像機器やオーディオ機器を接続します。
- ポータブルタイプの映像機器などの接続に便利です。

USB(AV周辺機器専用)端子 95
- USB機器を接続します。

ビデオ入力端子 90
- 映像機器を接続します。
- 音声入力端子をHDMI入力2のアナログ音声入力端子として使用できます。

※ 付属の変換ケーブルをご使用ください。

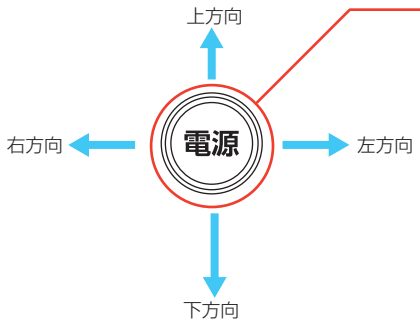


HDMI入力 1(ARC)、2、3端子 90 92
- 映像機器やオーディオ機器を接続します。
レグザサウンドシステムやARC対応のオーディオ機器(サウンドシステム)はHDMI入力1(ARC)端子に接続してください。

USB(通常録画)端子 51
- 通常録画用のUSBハードディスクを接続します。

光デジタル音声出力端子 92
- 光デジタル音声入力端子を備えたオーディオ機器などに接続します。

LAN端子 55 61 122
- ホームネットワークやインターネットに接続します。
- レグザリンクダビングに使用します。



・背面から見た図

本体ボタン

電源 27
- 中央部を押すと電源を切／入します。

機能切換 34
- 下※1に動かすたびに、本体ボタンを左右に動かしたときの機能が切り換わります。

音量 34
- 通常は、左右に動かすと音量の調節をします。
本体ボタンを下※1に動かすたびに、機能が切り換わります。

消音 34
- 上※2に動かすと、音を一時的に消します。
もう一度上※2に動かすと音が出ます。

※1 75M540Xでは、手前に動かします。
※2 75M540Xでは、奥に動かします。

※ 75M540Xの本体ボタンは、本体前面の下部にあります。

リモコン

- 本書に記載している操作で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです（ボタンによっては、通常の操作時と機能の異なるものがあります）。
- 詳しくは☞内のページをご覧ください（代表的なページを示しています）。

- 外部入力機器の画面に切り換える…… ☞99
- 電源を入れる/待機にする…… ☞27
- 番組名や放送局名、放送時間などを見る…… ☞37

- BS・110度CSの4K放送を楽しむ …… ☞33
- 字幕の表示/非表示を切り換える…… ☞34
- 番組説明を見る …… ☞37

- 放送の種類を切り換える…… ☞33

- チャンネルを選ぶ…… ☞33
- 文字を入力する …… ☞161

- チャンネルを順番に選ぶ …… ☞33
- 音を消す…… ☞34
- みるコレを表示させる…… ☞132
- サブメニューを使う…… ☞36
- 音量を調節する …… ☞34

- 二画面を楽しむ…… ☞45
- 次みるナビで番組を探す…… ☞80
- 「シーン検索」機能を楽しむ…… ☞77

- 録画リストを表示させる…… ☞75
- 番組表で番組を選ぶ …… ☞38
- 番組表などでページを切り換える
- メニューから選ぶ、決定する
- メニュー操作で一つ前の画面に戻る
- 操作を終了する
- ワンタッチリプレイ（10秒戻す） …… ☞76
- ワンタッチスキップ（30秒飛ばす）…… ☞76

- カラーボタン……多様な用途があります
- データ放送を見る…… ☞44
- 声を聴き取りやすくする…… ☞48
- タイムシフトリンクの録画を見る …… ☞106
- 設定メニューを表示させる
- 予約リストを表示させる…… ☞72
- 音声を切り換える …… ☞46

- 再生、早見早聞再生をする…… ☞76
- 早送り、早戻しをする …… ☞76
- チャプタースキップをする…… ☞76
- 録画や再生を停止させる …… ☞76
- 再生を一時停止させる…… ☞76
- 映像を静止させる…… ☞47

- 動画配信サービスを楽しむ…… ☞133

スタンドを取り付ける

⚠注意

■ **二人以上で作業する**
一人で作業をすると、身体を痛めたり、けがをしたりする原因になります。

■ **画面を強く握らない**
画面を強く握ると、割れるおそれがあります。

● スタンドの取り付けかたについては、付属の別紙「スタンド取付説明書」にも記載しています。

お願い

● スタンド取付作業では、包装材を横に寝かせて簡易テーブルとして使用します。包装箱の前方にスペースを確保してください。
本体よりも大きなテーブルがある場合は、テーブルの上に毛布などの柔らかい布を敷いて、作業台とすることができます。

● プラスドライバー（JIS 2番、直径6mm）をご用意ください。

※ 保護フィルムがテレビ本体のキャビネットや、スタンドについている場合は本機の設置作業が終わってから取り外してください。

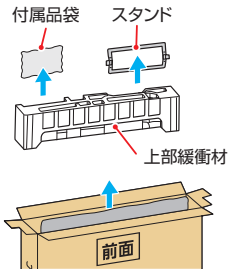
ご注意

● テレビ画面（液晶パネル）に貼りつけられているフィルムは保護フィルムではありませんので絶対にはがさないでください。

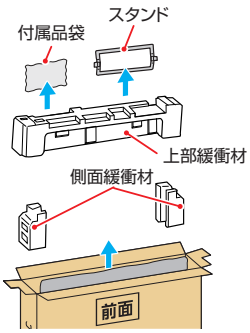
1 包装箱を開けてすべての付属品と緩衝材を取り出す

● 機種によって、緩衝材の形が異なります。
● スタンド以外の付属品は、梱包箱内側に貼り付けた付属品袋に収納されています。
● スタンド組立用部品（スタンド(43/50/55/65M540X：1個、75M540X：2個)、ネジ(43/50/55/75M540X：4本、65M540X：6本)）がそろっているかご確認ください。
● 緩衝材は手順 *3* で使用します。

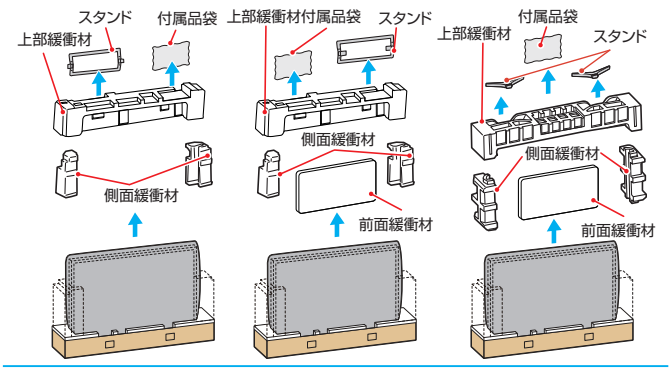
■43M540X



■ 50M540X



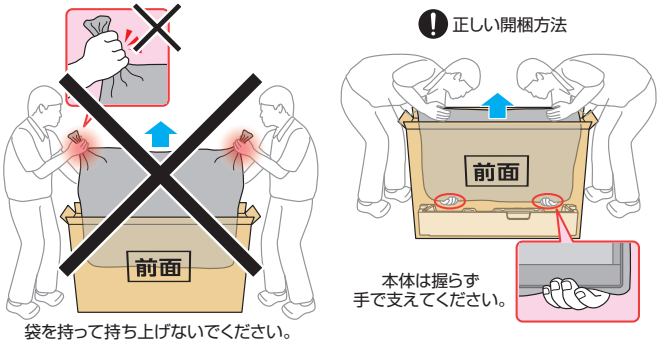
■55M540X　■ 65M540X　■ 75M540X



■43/50M540X

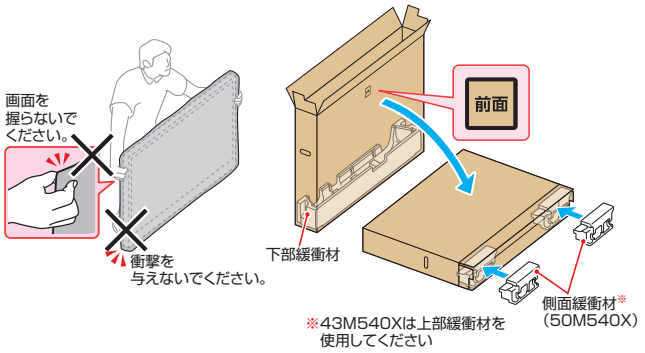
2 本体を包装箱から取り出す

● 本体の下側を手で支えて取り出してください。
● 画面を強く握らないでください。



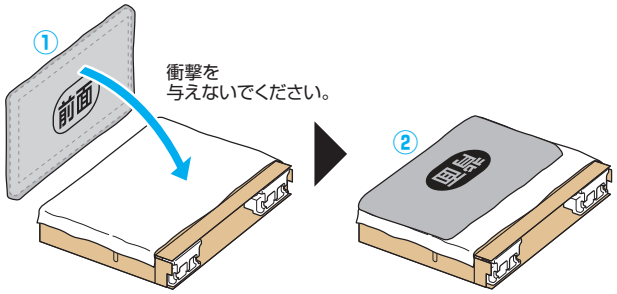
3 簡易テーブルを作成する

※ 一人は本体を支え、もう一人は簡易テーブルを作成してください。
● 下部緩衝材が包装箱の奥にセットされていることを確認してください。
● 緩衝材を包装箱にセットします。
● 柔らかい布を敷いてください。



4 本体を簡易テーブルにのせる

① 必ず本体の背面側を上向きにして簡易テーブルの上にのせてください。
② 本体と包装箱の下端を合わせます。

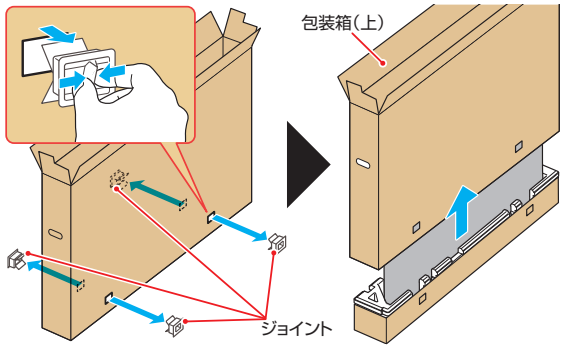


● 手順 *5* ～ *6* に進みます。

■55/65/75M540X

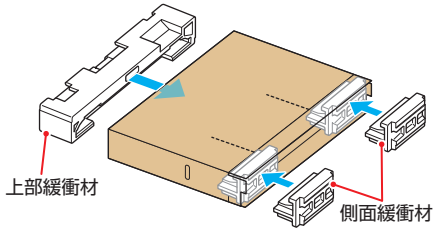
2 包装箱(上)を抜き取る

- ジョイント4個をはずして包装箱(上)を抜き取り、左右の緩衝材をはずします。
- ※ 包装箱(上)を抜き取るときに、本体に触れないように注意してください。
- ※ 側面緩衝材が包装箱(上)の内部に残っていることがあります。
- 側面緩衝材は手順 *3* で使用します。



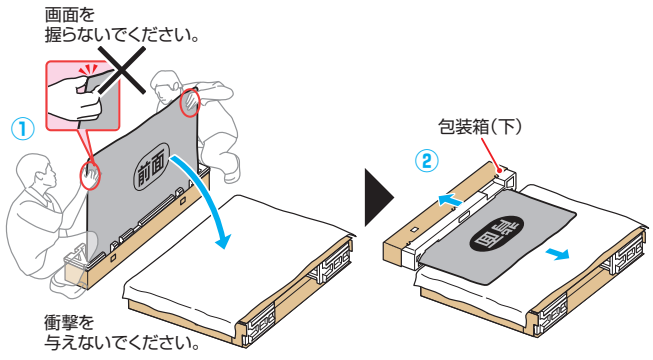
3 簡易テーブルを作成する

- 包装箱(上)に上部緩衝材をセットします。
- 側面緩衝材は、包装箱(上)に印刷された点線に合わせてセットします。
- 柔らかい布を敷いてください。



4 本体を簡易テーブルにのせる

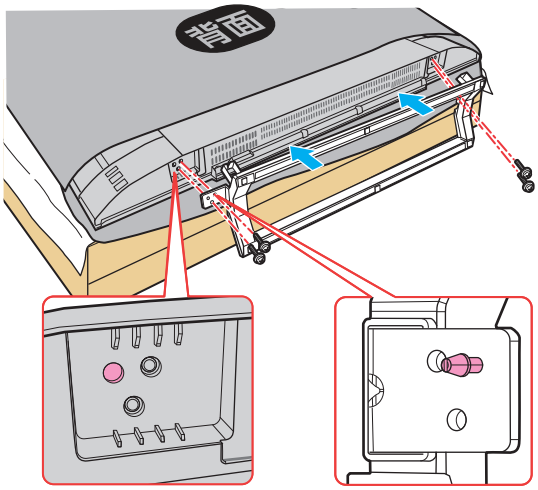
① 必ず本体の背面側を上向きにして簡易テーブルの上にのせてください。
② 本体と包装箱の下端を合わせます。



5 本体にスタンドを取り付けてネジで固定する(43/50/55/75M540X:4本、65M540X:6本)

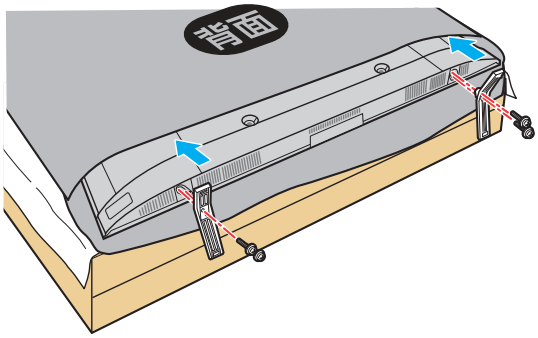
- スタンドの突起を本体の穴に差し込みます。
- ※ ネジを斜めに締めると、ネジ山が破損するおそれがあります。

■ 43/50/55/65M540X



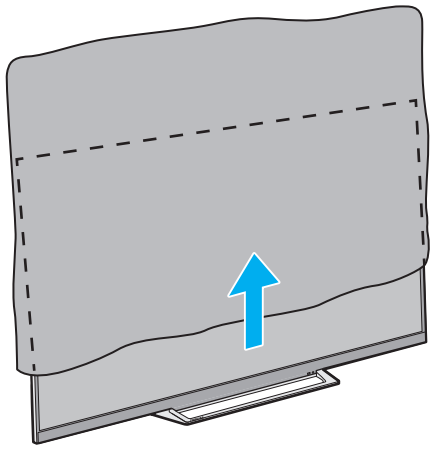
※ 製品イラストは43M540Xです。

■ 75M540X



6 本機を起こして袋を取りはずす

※ 画面を指で強く押さないようにご注意ください。



お知らせ

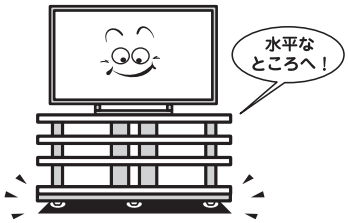
- 電動ドライバーをご使用の場合、トルクはおよそ1.0N・m(10kgf・cm)に設定してください。

テレビを設置する

- 設置の前に「安全上のご注意」9 ～ 13 を必ずお読みください。
- 製品イラストは43M540Xです。他の機種はイメージが多少異なります。

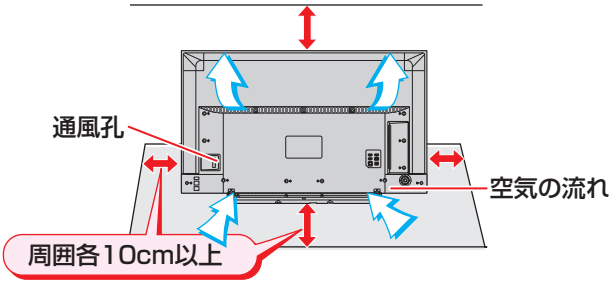
正しい置きかた

■丈夫で水平な安定した所に設置してください



■周囲から離して置いてください

- 通風孔をふさがないように本機の上および周囲に10cm以上の空間を設けてください。



■テレビ台を使用する場合

- テレビ台の取扱説明書をご覧ください。

転倒・落下防止のしかた

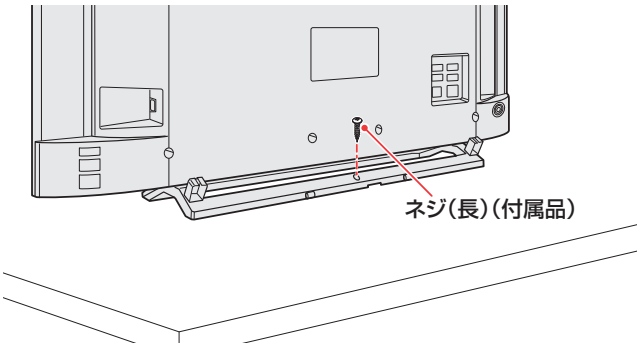
- 転倒・落下防止器具を取り付ける台や壁の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。以下に記載した転倒・落下防止のしかたは、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

※ 固定後は、本機を押したり、持ち上げたりしないでください。破損の原因になります。

テレビ台などに固定するとき

■ 43/50/55/65M540X

- スタンドの背面の穴に付属のネジ(長)を通し、設置する台の確実に支持できる天面に固定します。

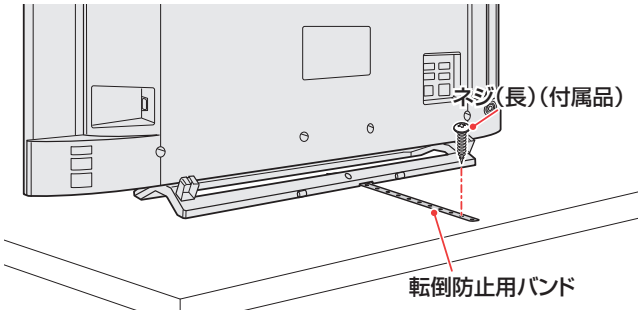


転倒防止用バンドを使用して固定するとき

■ 43/50/55/65M540X

- スタンド底面に取り付けられている転倒防止用バンドを引き出し、設置する台の確実に支持できる天面に付属のネジ(長)で固定します。

※ 後方には倒れることがあります。固定後は台を壁などに近付けて設置し、お子様がはいれないようにしてください。



お願い

- 他のデジタル機器や電子レンジなどから出る電磁波によって、本機の映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあります。相互に影響しない位置に設置してください。

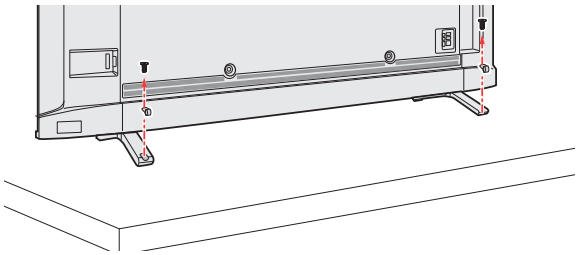
■ 75M540X

- 付属の転倒防止バンド2本を使用して、設置する台の確実に支持できる背面に付属のネジ(長)で固定します。

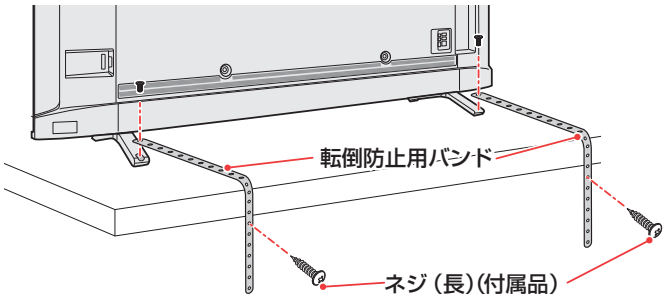
※ 後方には倒れることがあります。固定後は台を壁などに近付けて設置し、お子様がはいれないようにしてください。

❶スタンド後ろ側の転倒防止用フックを取りはずす

ネジをはずして転倒防止用フックを取りはずします。取りはずしたネジはあとで使います。



❷❶で取りはずしたネジを使って、転倒防止用バンドをスタンド後側左右に取り付け、付属のネジ(長)で転倒防止用バンドを固定する

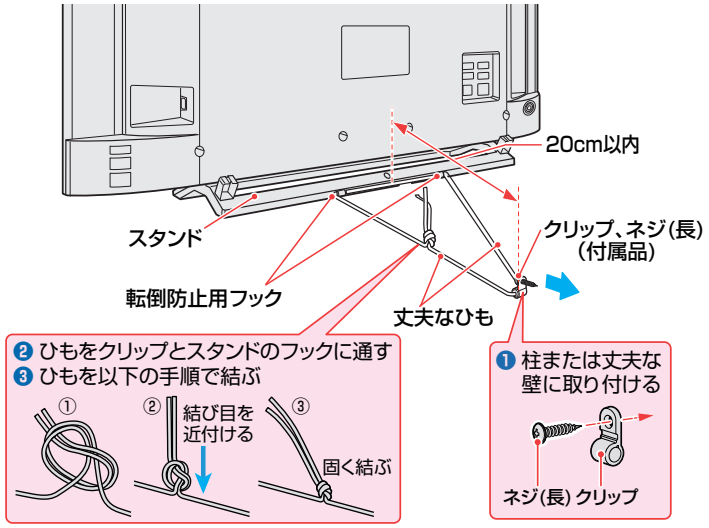


壁または柱などに固定するとき

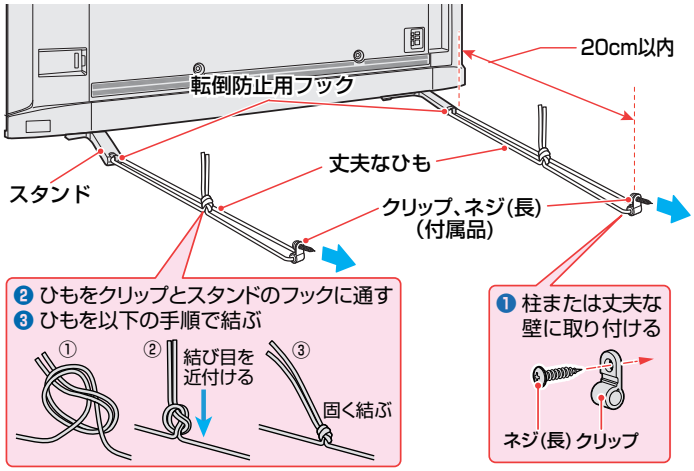
- スタンド背面の転倒防止用フックと付属のクリップを使用し、確実に支持できる壁または柱などを選び、丈夫なひもで固定します。
- クリップはスタンド背面の転倒防止用フックと同じくらいの高さの場所に付属のネジ(長)で取り付けます。

※ 針金や鎖など金属製の物は、瞬間的な衝撃に対する柔軟性が乏しく、本機や柱などの取付部分が破損する原因になりますので使用しないでください。

■ 43/50/55/65M540X



■ 75M540X



デジタル放送の種類と特徴

● 本機は以下の4種類のデジタル放送を受信することができます。

地上デジタル放送

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。

● **UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特徴です**

● **本機は「CATVパススルー対応」です**
ケーブルテレビ局が再送信する地上デジタル放送を受信することができます。

BSデジタル放送/110度CSデジタル放送

● 受信にはBS・110度CS共用アンテナを使用します。

● **BSデジタル放送**
デジタル方式の放送衛星(Broadcasting Satellite：通称BS)を使用したデジタル衛星放送です。
- **日本全国どこでも同じ放送を楽しむことができ、一部に視聴契約が必要な有料チャンネルがあります**
- **2種類のデータ放送(連動データ放送、独立データ放送)や双方向サービスがあります**

● **110度CSデジタル放送(CS)**
BSデジタル放送の衛星と同じ東経110度に打ち上げられている通信衛星(Communication Satellite：通称CS)を利用して、スカパー JSAT(株)が運用しているデジタル衛星放送です。
- **さまざまなテレビ番組や専門チャンネル、データ放送などの多彩な放送があります**
- **多くのチャンネルで有料の視聴契約が必要です**

新4K8K衛星放送

「新4K8K衛星放送」とは、2018年12月から放送を開始したBS・110度CSの4K・8K放送のことです。
- 「新4K8K衛星放送」の開始後も、従来のBS・110度CSおよび地上デジタル放送は引き続き提供されています。
- 「新4K8K衛星放送」はBS・110度CS放送で従来から使用されていた放送波(右旋円偏波の電波)と、新しく使用された放送波(左旋円偏波の電波)で提供されています。

新4K8K衛星放送に関するお問い合わせ

● 新4K8K衛星放送に関するお問い合わせは下記のホームページを参照ください。
一般社団法人　放送サービス高度化推進協会(A-PAB)ホームページ　http://www.apab.or.jp

ご注意

● 本機は8K放送には対応しておりません。

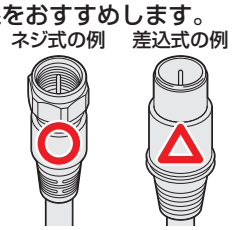
アンテナを接続する

お願いとご注意

※ **アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。**

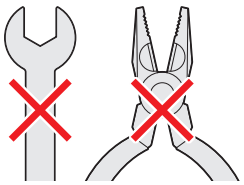
● **アンテナや接続に必要なアンテナ線(同軸ケーブル)、混合器、分波器、分配器などは付属されておりません。**
機器の配置や端子の形状、受信する放送の種類(電波の種類)などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

● **F型コネクターがネジ式のアンテナ線をおすすめします。**
差込式のものを使用する場合は、本機のアンテナ端子のネジ部分と確実に接触するものをご使用ください。接触が悪いと、受信できなかったり、時々映らなくなったりすることがあります。

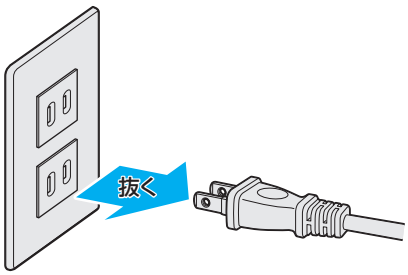


● **F型コネクターのピンが曲がっていないか確認してください。**
曲がったままで接続すると、折れたり、ショートしたりすることがあります。

● **アンテナ線のF型コネクターは、ゆるまない程度に手で締めつけてください。**
工具などで締めつけすぎると、壁のアンテナ端子や本機のアンテナ入力端子、背面パネルが破損するおそれがあります。



● **アンテナを接続するときは必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**



BS・110度CSの4K放送を視聴する場合のご注意

● 右旋円偏波の電波で提供される日本放送協会(NHK)、BS日本(BS日テレ)、ビーエス朝日、BS-TBS、ビーエスフジ、BSテレビ東京の4K放送は、従来のアンテナ設備でご覧いただけます。

● 左旋円偏波の電波で提供されるSCサテライト放送、QVCサテライト、東北新社メディアサービス、WOWOW、スカパー・エンターテイメントの4K放送をご覧いただくためには、SHマークのついた新4K8K衛星放送に対応したBS・110度CSアンテナ設備が必要になります。
アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。

※ WOWOWの4K放送は2020年12月1日より開始予定です。

ご注意

● 上記の内容に限らず、現在使用中の機器などの性能・機能によっては、機器交換や工事が必要な場合があります。
また、衛星放送用受信設備の技術基準に適合させるため、機器交換や工事が必要な場合があります。
お買い上げの販売店にご相談ください。

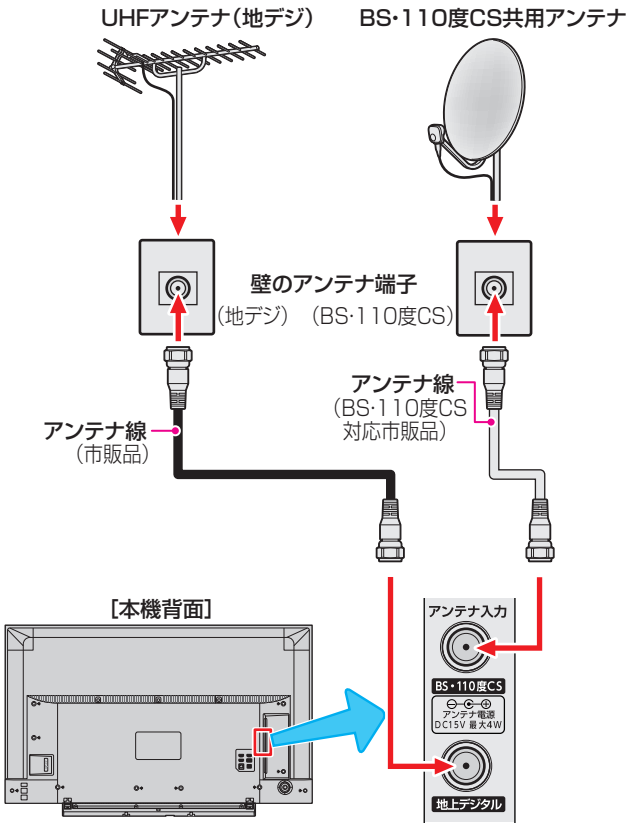
● 録画機器を経由してアンテナを接続しているとき、テレビが映らない、または映りが悪いような場合は、録画機器を経由しないでアンテナ線を本機に直接接続してみてください。改善される場合、本機の問題ではありません。

新4K8K衛星放送に関するお問い合わせ

● 新4K8K衛星放送に関するお問い合わせは下記のホームページを参照ください。
一般社団法人　放送サービス高度化推進協会(A-PAB)ホームページ
http://www.apab.or.jp

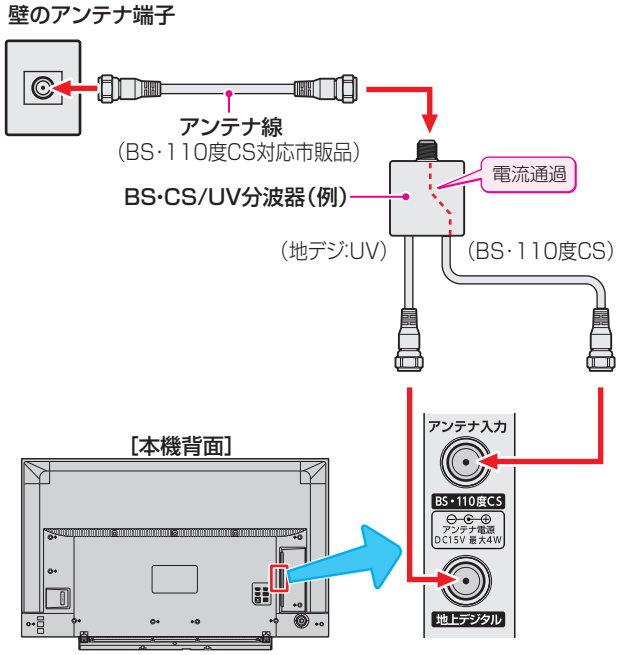
アンテナを接続する つづき

地上放送と衛星放送が個別のアンテナの場合



地上放送と衛星放送が混合のアンテナの場合（マンションの共聴アンテナなど）

- 地上放送と衛星放送の電波が混合されて壁のアンテナ端子に届いている場合は、以下のように接続します。
- マンションなどでの共聴システムの場合は、視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。

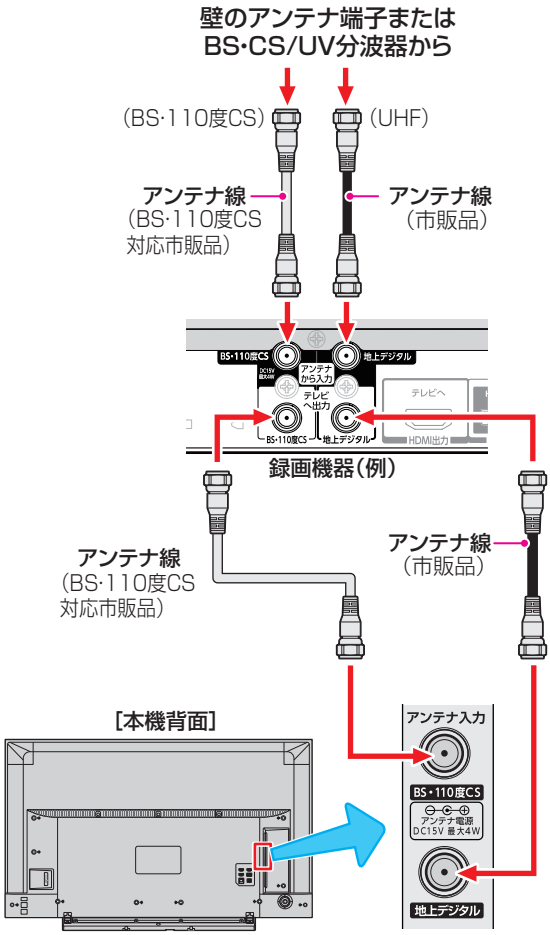


- BS・110度CS共用アンテナは電源を必要とします。
  BS・CS/U・V混合器や分波器は、本機のBS・110度CSアンテナ入力端子からアンテナ電源が供給できるように、電流通過型のものが必要になります。

※ マンションなどでの共聴システムの場合は、本機からBS・110度CS共用アンテナ用の電源を供給する必要はありません（「はじめての設定」28 のあとで「衛星アンテナ電源供給」を「しない」に設定してください。詳しくは146 をご覧ください）。

録画機器を経由する場合

- 録画機器のBS・110度CSアンテナ電源が供給される設定になっていることを確認してください。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。



テレビが映らないとき

- 「はじめての設定」28をしてもテレビが映らない、または映りが悪いような場合は、録画機器を経由しないで本機に直接接続してみてください。改善される場合、本機の問題ではありません。
  - 録画機器が「BS・110度CSの4K放送」に対応していない場合、「BS・110度CSの4K放送」が映らないことがあります。
  - 録画機器の電源プラグが抜けていると、アンテナ出力端子に電波が出力されない場合があります。
- 症状が改善されない場合は、「アンテナを調整する」145をご覧ください。

お知らせ

- 録画機器で受信した番組や録画した番組を見るための接続については、「外部機器を接続する」90をご覧ください。

リモコンの準備をする

乾電池を入れる

● 単四形乾電池を2本ご使用ください。
お買い上げ時は単四形乾電池が2本付属されています。

1 電池カバーをはずす

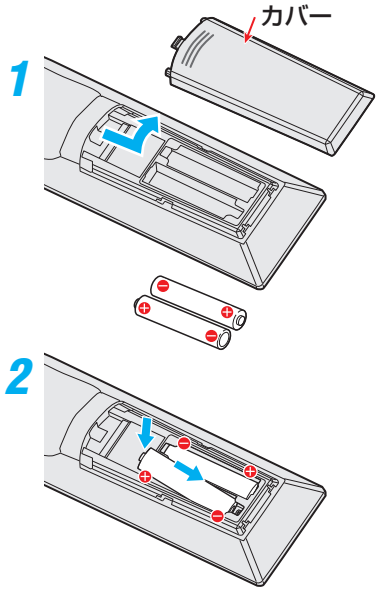
● カバーを下方向に押しながら下げてから、電池カバーを取りはずします。

2 乾電池を入れる

● 極性表示⊕と⊖を確かめて、間違えないように入れます。

3 電池カバーを閉める

●カバーをはずしたときと逆の手順で閉め、パチンと音がするまでカバー上部を押し込みます。

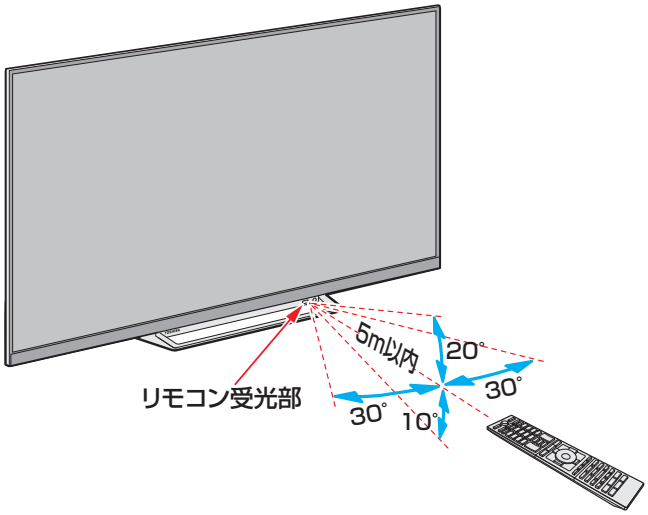


リモコンコードについて

● 本機のリモコンは、リモコンコードの切換ができます。
153
● お買い上げ時は「リモコンコード1」に設定されています。
※「リモコンコード2」に設定して使用していた場合、電池交換などでリモコンから乾電池を取りはずすと「リモコンコード1」に戻ることがありますので、ご確認ください。

リモコンの使用範囲について

● リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用します。
● リモコン受光部に強い光を当てないでください。リモコンが動作しないことがあります。
● リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。動作しなかったり、動作しにくくなったりします。



● リモコン受光部から
距離……5m以内
角度……左右30°以内、上20°、下10°以内
※ リモコン発光部は二箇所あり、リモコンを立てた状態でも操作できます。

ご注意

■リモコンの取り扱い
- 落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。

お願い

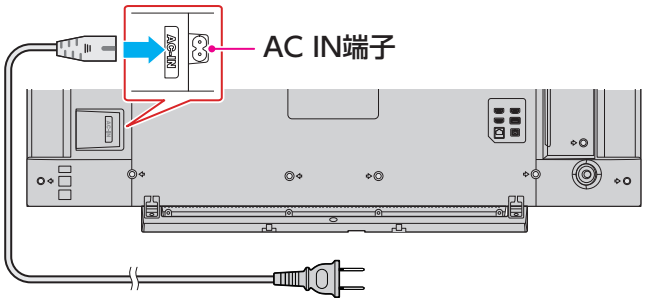
■乾電池について
- 乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったりしたら2本とも新しい乾電池と交換してください。
- 使用済の乾電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

電源を入れる

電源を入れる

電源コードを本体背面のAC-IN端子にしっかりと接続する

- 製品イラストは43M540Xです。他の機種はイメージが多少異なります。
- 奥までしっかりと差し込みます。



電源プラグをコンセントに差し込む

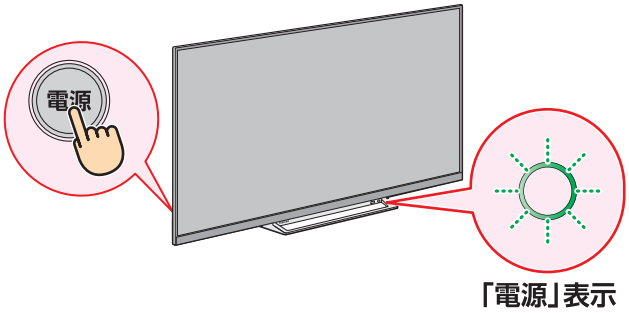
- 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込んでください

「電源」表示が消えているとき(「切」のとき)

「電源」表示が消えているとき、リモコン操作はできません。

❶本体背面※1の本体ボタンの「電源」を押す

- 電源が「入」になり、本体前面の「電源表示」※2が**緑色**に点灯します。



※1 75M540Xの本体ボタンは、本体前面の下部になります。
※2 75M540Xの「電源表示」位置は 15 を参照ください。

「電源」表示が赤色に点灯しているとき(「待機」のとき)

❶リモコンの 電源 を押す

- 電源が「入」になり、「電源」表示が**緑色**に点灯します。

電源を「待機」にする／切る

電源を「待機」にする

❶電源が「入」のときに、リモコンの 電源 を押す

- 電源が「待機」(リモコン操作待受状態)になり、「電源」表示が**赤色**に点灯します。

電源を切る

❶「電源」表示が赤色または緑色に点灯しているときに、本体背面の本体ボタンの「電源」を押す

- 電源が「切」になり、「電源」表示が**消灯**します。

※ リモコンでの操作ができなくなります。

お願い…電源プラグの取り扱いについて

普段はコンセントに差し込んでおく

- 電源プラグは、非常時や機器の接続、お手入れなどをするとき以外はコンセントに差し込んでおいてください。

※ **電源プラグを抜いたままにしておくと…**

- デジタル放送の番組情報が取得できません。
- 予約した番組の録画ができません。

電源プラグをコンセントに差し込んでおけば、予約した番組の録画は、電源が「待機」や「切」の場合でも行われます。

電源プラグを抜くときは

- **非常の場合は、速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- 外部機器の接続や取りはずし、本体や電源プラグのお手入れ、周辺の清掃などで電源プラグを抜く場合は、その前に以下の確認をしてください。

❶ 画面表示 を押して、録画中やダビング中の表示が出ないことを確認する 37

❷予約リストを表示させて、電源プラグを抜いている間に実行される録画予約がないことを確認する 72

❸本体の電源ボタンを押して電源を切る

ご注意

- 旅行などで長期間使用しないときは、安全のためコンセントから抜いてください。

「はじめての設定」をする

「はじめての設定」について

※「電波の状態が良くありません。」のメッセージが表示されたときは、受信状態が良くなってから「はじめての設定」をやり直すとき 32 アの操作で「はじめての設定」をやり直してください。

「はじめての設定」の流れ

● 本機を使用できるようにするための基本的な設定をします。

① 地域設定

地域と郵便番号を設定することで、お住まいの地域に密着したデータ放送（たとえば、地域の天気予報など）や緊急警報放送を視聴できるようになります。

② 地上デジタルチャンネル設定

お住まいの地域情報を設定することで、地上デジタル放送の受信チャンネルが自動設定されます。

③ BS・110度CSアンテナレベル確認

衛星放送の電波の強さを確認します。

④ 映像メニュー設定

いくつか用意されている映像メニューの中から選んで、お好みのメニューに設定します。

⑤ ネットワーク設定

ネットワーク関連の設定をします。

⑥ ネットワークサービス利用設定

ネットワークサービスを利用するかどうかを設定します。

はじめての設定

はじめて電源を入れたときに、「設定をする前に」画面が表示されます。テレビをお使いになる場所を◀·▶で選び、決定を押します。

ご注意

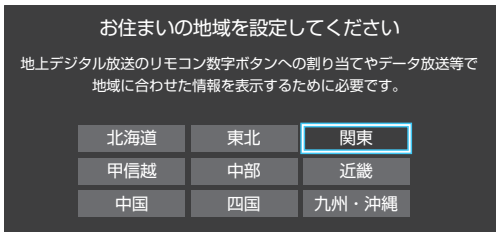
● ご家庭でお使いの場合は、「ご家庭」を選んでください。「店頭」を選ぶと、店頭展示用の設定になります。

① 地域設定

● お住まいの地域に密着したデータ放送（たとえば、地域の天気予報など）や緊急警報放送を視聴できるようになります。

1 お住まいの地方を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

例



2 お住まいの都道府県を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

3 お住まいの地域の郵便番号を 1 〜 10 で入力し、決定を押す

● 「0」は 10 で入力します。

● 間違えて入力したときは、◀を押してカーソルを戻してからもう一度入力します。

● 郵便番号入力で、上3ケタを入力して決定を押すと残りの4ケタは自動的に「0」が入力されます。

例

● 「地域設定」が終わると、「地上デジタルチャンネル設定」の画面が表示されます。

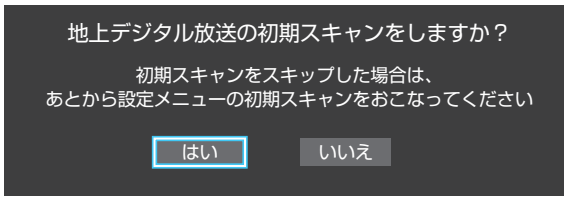
② 地上デジタルチャンネル設定

● 地上デジタル放送のチャンネルを設定します。同時にデータ放送の地域も設定されます。

1 画面の説明を読み、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

※ お住まいの地域で地上デジタル放送が運用されていない場合は、「いいえ」を選んで「③BS・110度CSアンテナレベル確認」に進みます（わからない場合は、「はい」を選びます）。

例



● 「はい」を選ぶと初期スキャンが自動的に始まります。終了すると、手順 *2* の画面が表示されます。

2 地上デジタルチャンネルの設定内容を確認し、決定 を押す

● 画面は、リモコンのワンタッチ選局ボタンに設定された地上デジタル放送の放送局を一覧で示しています。

例

● 設定された内容を変更する場合は、「はじめての設定」がすべて終了したあとで、「チャンネルをお好みに手動で設定する」148 の操作をしてください。

● 「地上デジタルチャンネル設定」が終わると、「BS・110度CSアンテナレベル確認」の画面が表示されます。

③ BS・110度CSアンテナレベル確認

● 衛星放送の電波の強さを確認します。

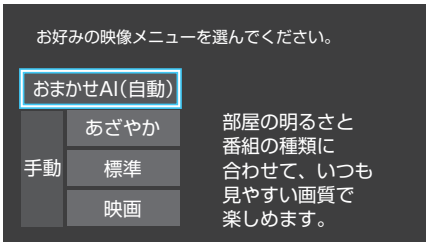
1 アンテナの受信状態を確認し、決定 を押す

● 「BS・110度CSアンテナレベル確認」が終わると、「映像メニュー設定」の画面が表示されます。

④ 映像メニュー設定

● 本機にはいくつかの「映像メニュー」が用意されています。メニューを選択したときに表示される画面の説明を読んで、お好みの映像メニューに設定してください。

1 お好みの映像メニューを▲·▼で選び、決定 を押す



● 「映像メニュー設定」が終わると、「ネットワーク設定」の画面が表示されます。

お知らせ

■「地上デジタルチャンネル設定」について

● 「はじめての設定」または「初期スキャン」147 をすることで、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを本機が探し、リモコンの 1 ～ 12 に自動設定します（**「はじめての設定」または「初期スキャン」をしないと、地上デジタル放送は受信できません**）。

■ 地方と地域の設定について

● チャンネルの自動設定は、「はじめての設定」で設定された地方、地域に基づいて行われます。

● チャンネル設定の地域は必ずしもお住まいの地域とは限らないため、地域に密着したデータ放送を視聴するために郵便番号を設定します。

「はじめての設定」をする つづき

⑤ ネットワーク設定

● 本機をネットワークに接続し、ネットワーク機能を利用する場合に設定します。先に設定だけを済ませ、接続はあとから行うこともできます。

1 設定する場合は「はい」を選び、決定 を押す

● 「いいえ」を選んだ場合は、「⑥ ネットワークサービス利用設定」32へ進みます。

2 無線LANまたは有線LANの設定をする

● 無線LANの設定をする場合は、右の説明へ進みます。
● 有線LANの設定をする場合は、下の説明へ進みます。
※ 有線LANと無線LANは同時に使えません。

有線LANの設定をする

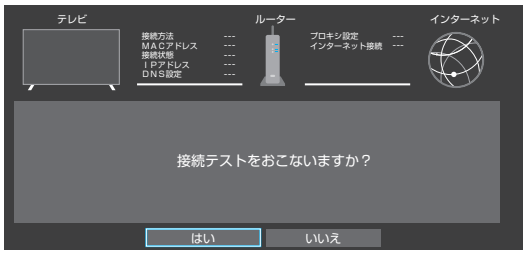
● 有線LANの接続については、122をご覧ください。

❶「有線LAN」を選び、決定 を押す

● 手順3へ進みます。

3 接続テストをする場合は「はい」を選び、決定 を押す

● 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選んで「ネットワークサービス利用設定」に進みます（必要になったときに「インターネットを利用するための設定をする」123の操作をしてください）。



● 「接続できませんでした。」と表示された場合、有線LAN設定のときは、LANケーブルの接続を確認してから再度接続テストをしてください。
無線LAN設定のときは、無線LANの設定を確認してから、再度接続テストをしてください。

4 「インターネットに接続できました。」と表示されたら、決定 を押す

● 「ネットワーク設定」が終わると、「ネットワークサービス利用設定」の画面が表示されます。

無線LANの設定をする

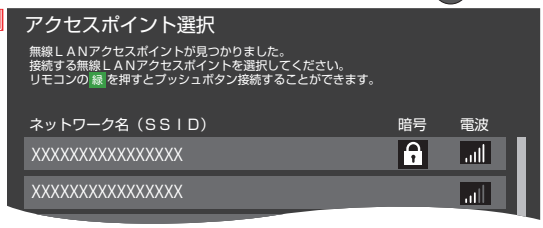
❶「無線LAN」を選び、決定 を押す

アクセスポイント選択

● 本機が使用可能な無線LANアクセスポイント（ルーター）を検出し、接続します。

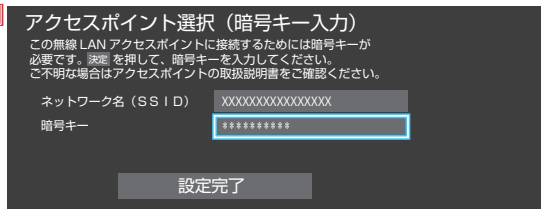
①表示された接続可能な無線LANアクセスポイント（ルーター）から、本機の接続先を選び、決定 を押す

例



②決定 を押して文字入力画面を開き、①で選択した無線LANアクセスポイント（ルーター）の暗号キーを入力する

例



● 暗号キーについては、お使いの無線LANアクセスポイント（ルーター）の取扱説明書をご覧ください。
● 文字入力の方法は、161をご覧ください。

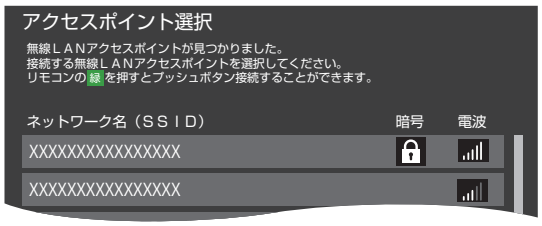
③「設定完了」を選び、決定 を押す

④設定内容を確認し、決定 を押す

例

● アクセスポイント選択画面が表示されます。

例



❷次のどれかの方法でアクセスポイントを設定する

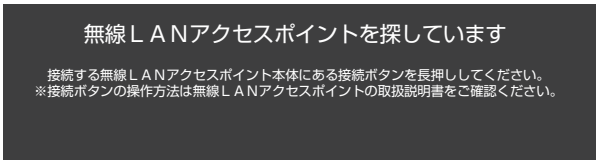
接続する無線LANアクセスポイント(ルーター)に合わせて、設定方法を選びます。

● お使いの無線LANアクセスポイント(ルーター)の取扱説明書も、お読みください。

プッシュボタン接続

● 「接続ボタン」が押されて使用可能になった無線LANアクセスポイント(ルーター)を本機が検出し、接続します。

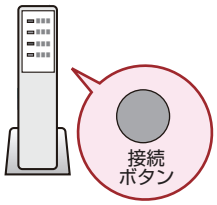
① 緑 を押す



② 無線LANアクセスポイント(ルーター)の接続ボタンを押す

● 本機がアクセスポイント(ルーター)を検出し、接続します。

● 接続に成功すると、設定内容が表示されます。



③ 設定内容を確認し、決定 を押す

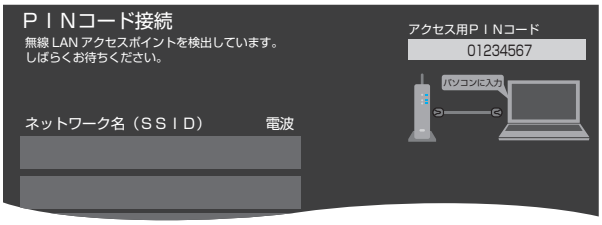
例

PINコード接続

① 黄 を押す

② 画面の指示に従い、表示されたPINコードを無線LANアクセスポイント(ルーター)にパソコンで設定する

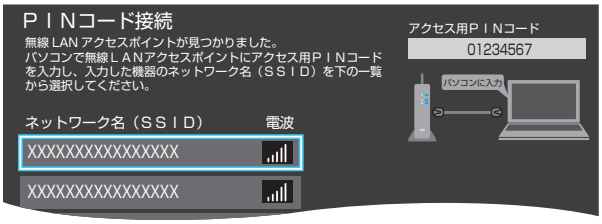
例



● PINコードの設定方法については、お使いのアクセスポイント(ルーター)の取扱説明書をご覧ください。

③ 表示された接続可能なアクセスポイント(ルーター)から、本機の接続先を選び、決定 を押す

例



④ 完了画面で設定内容を確認し、決定 を押す

● 手順3 30 に進みます。

お知らせ

■ 電波強度表示について

● 本機が無線LANアクセスポイント(ルーター)から受信する電波の強弱によって以下のように6段階のイメージで表示されます。

弱 → 強

「はじめての設定」をする つづき

⑥ ネットワークサービス利用設定

● インターネットに接続して、クラウドサービス132などのネットワークサービスを利用するには、「ネットワークサービス利用設定」を「利用する」に設定します。
※クラウドサービスの開始には、ソフトウェアの更新が必要になる場合があります。

1 ネットワークサービス利用設定の画面の内容を最後まで読み、「利用する」または「利用しない」を選び、決定を押す

● 「TimeOn利用規約を表示」を選んで決定を押すと、TimeOnの利用規約を確認することができます。
もう一度決定を押すか、戻るを押すと元の画面に戻ります。

2 「設定完了」を選び、決定を押す

3 設定完了画面が表示されたら、内容を確認して決定を押し、はじめての設定を終了する

※ お買い上げ時または初期化後に「はじめての設定」を終了すると、クラウドサービスの設定を促すメッセージが表示されます。「はい」を選ぶとクラウドサービスの設定を開始します（インターネットに接続しているときにメッセージが表示されます）。

「はじめての設定」をやり直すとき

● 「はじめての設定」をしてもアンテナ接続の不具合などで地上デジタル放送が映らなかった場合は、不具合の対処をしたあとで、「はじめての設定」をやり直すことができます。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「初期設定」⇨「はじめての設定」の順に進む

● 「はじめての設定」の説明画面が表示されます。

2 画面の説明を読んで、決定を押す

● ワンタッチ選局ボタンのチャンネル設定を手動でお好みに設定したあとで「はじめての設定」をやり直すと、手動で設定した内容が消去されます。その場合は、もう一度チャンネルボタン設定をしてください。
● データ放送を視聴している状態で「はじめての設定」をやり直した場合、放送によっては設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局してください。

お知らせ

■ ネットワークサービスについて

● ネットワークサービス利用設定を「利用する」に設定すると、本機の操作情報（チャンネル切換、入力切換、録画予約、視聴予約、再生履歴、番組複製履歴、番組編集履歴など）、動作状態の履歴情報、本機に接続されたUSBハードディスク等の識別情報や動作状態の履歴情報などや、ご登録いただいた都道府県、性別等の情報が当社または当社の委託先のサーバーで記録されますが、これらの情報から当社が利用者個人を特定することはありません。
● 当社が本機で提供するクラウドサービスのご利用には、住所·氏名·連絡先等の個人情報の入力は不要です。
（ただし、動画配信サービスによっては、契約が必要な場合があります。ご利用の動画配信サービスなどにご相談ください。）
● サーバーが収集した情報は、本サービスの提供以外に、品質改善やマーケティング、広告配信などの目的で利用することがあり、この目的の範囲内で第三者に提供する場合があります。
● 本サービスは、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。
● 本サービス中で、本サービス以外の第三者によって提供されるサービスをご利用いただく場合、各サービス提供者の利用規約およびその他規約が適用されます。当社は、本サービス以外の第三者によって提供されるサービスおよびこれに関連する事項について、一切の責任を負いません。
● ネットワークサービス利用設定は、あとから変更できます（243）。「利用しない」に設定を変更した場合、それまでにサーバーが収集した本機や本機に接続された機器に関する情報は、サーバーから消去されます。
● クラウドサービスの内容やサーバーが収集した情報の削除方法については、ホームページ（http://timeon.jp/）をご覧ください。

テレビ番組を楽しむ

● 本体の操作ボタンについては、「本体ボタンによる「機能切換」について」34 をご覧ください。

リモコンで番組を選ぶ

1 地デジ、BS、CS、BS/CS 4K、で放送の種類を選ぶ

● 今見ている放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。

2 チャンネルを選ぶ(選局する)

● 以下の3とおりの選局方法があります。

ワンタッチ選局ボタンで選局する(ワンタッチ選局)

● ワンタッチ選局ボタン 1 ～ 12 で選局します(下の「お知らせ」をご覧ください)。
● BSデジタル放送・110度CSデジタル放送・BS・110度CSの4K放送のワンタッチ選局は、グループを指定して選局することができます。
  • 通常はグループAのワンタッチ選局になります。

■グループを指定して選局する

● 見ている放送と同じ種類の放送切換ボタンを押すと、選局ガイドが表示されます。
  例:BSデジタル放送を見ているときに BS を押すと、BSデジタル放送の選局ガイドが表示されます。
● 選局ガイドを表示中に見ている放送と同じ種類の放送切換ボタンを押すと、選局ガイドに表示されるグループが切り換わります。
  • BSデジタル放送は、グループAとグループBがあります。
  • BS・110度CS 4K放送は、グループAとグループBがあります。
  • 110度CSデジタル放送は、グループA ～グループFがあります。
● 1 ～ 12 ボタンを押すと、選局ガイドに表示されているチャンネルに切り換わります。

チャンネル∧・∨ボタンで選局する(順次選局)

● ∧/∨ でチャンネルが順次に切り換わります。

チャンネル番号を入力して選局する(ダイレクト選局)

● チャンネル番号は番組表で確認できます。

❶ サブメニュー を押し、▲・▼と 決定 で「チャンネル番号入力」を選ぶ
  • 画面の右上に 地デジ――、BS――、CS――、BS/CS 4K―― のどれかが表示されます。
    ▲・▼で切り換えられます。

❷ 1 ～ 10 (0) でチャンネル番号を入力する

例 103チャンネルを選ぶ場合⇨ 1 10 (0) 3 の順に押します(「0」は 10 で入力)。
  • 入力した番号を消すには、◀を押します。
  • 11 (✳) を使った入力ができます。 例 3 11 →300番以降の最小チャンネル

■枝番のついた放送一覧が表示されたとき

  • ▲・▼で選んで 決定 を押すか、10 (0) ～ 9 で枝番を指定して選びます。

お知らせ

● 視聴できるデジタル放送のチャンネルやワンタッチ選局ボタンの番号は、番組表 38 で確認することができます。
● 1 ～ 12 でワンタッチ選局ができるのは以下のとおりです(「チャンネルをお好みに手動で設定する」148 で変更できます)。
  • 地デジ を押したとき→「はじめての設定」28 で各ボタンに登録されたチャンネル。
  • BS 、BS/CS 4K を押したとき→各ボタンにあらかじめ登録されているチャンネル。
  • CS を押したとき→110度CSデジタル放送の一部のチャンネル(1 と 2 だけ)。
  ◆ 一つの放送局が複数のチャンネルで異なった番組を放送している場合、その放送局のチャンネルボタンを繰り返し押せばチャンネルを順番に選局できます。
● 枝番のついた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信できたときに表示されます。
● 視聴制限のある番組の視聴には視聴制限設定が必要です。詳しくは「視聴できる番組を制限する」151 をご覧ください。

テレビ番組を楽しむ つづき

音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる

音量を調節する

❶ リモコンの［＋ 音量 －］を押す

音を一時的に消す

❶ リモコンの［消音］を押す

● 画面右下に［消音］が表示されます。もう一度［消音］を押すと音が出ます。

字幕放送番組で字幕の表示/非表示を切り換える

❶ ［字幕］を押す

サブメニューから切り換えるには

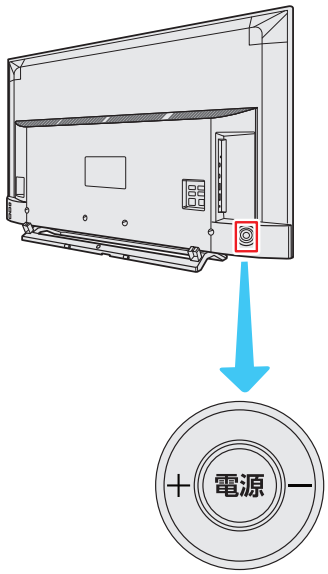
❶ ［サブメニュー］を押し、▲·▼と（決定）で「字幕」を選ぶ

❷ ▲·▼で「字幕オン」または「字幕オフ」を選び、（決定）を押す

※ 放送によっては、「字幕オン」ではなく「日本語字幕」「英語字幕」などが表示されることがあります。

本体ボタンによる「機能切換」について

● 本体ボタンを左右に動かすと通常「音量調節」（上記）を行いますが、下※に動かすたびに機能が切り換わります。

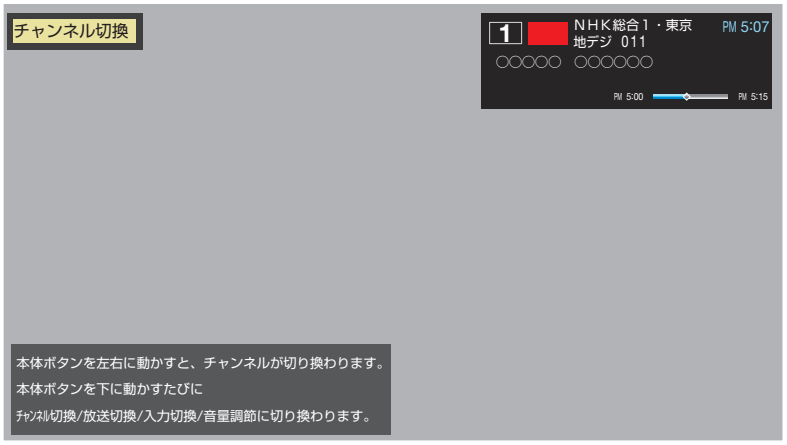


※ 75M540Xの本体ボタンは、本体前面の下部にあります。

1 本体ボタンを下※に動かす

● 本体ボタンを下※に動かすと、画面左上に現在選択している機能が表示されます。
希望の機能を選ぶには、機能表示が消える前に手順2の操作をします。

例



● 本体ボタンを下※に動かしたあと8秒間以上操作をしないと、音量調節機能に戻ります。

2 本体ボタンを繰り返し下に動かして機能を選び、左右に動かして切り換えまたは調節をする

● 本体ボタンを下※に動かすたびに以下のように機能が切り換わります。

→ チャンネル切換 → 放送切換 → 入力切換 → 表示なし（音量調節）→

- **チャンネル切換** …… チャンネルが順次に切り換わります。
- **放送切換** …… 「地デジ」、「ＢＳ」、「ＣＳ」、「BS/ＣＳ 4K」が順次に切り換わります。
- **入力切換** …… 入力が順次に切り換わります。99

※ 75M540Xでは、手前に動かしてください。

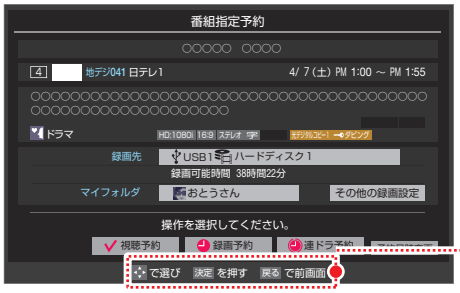
操作ガイドについて

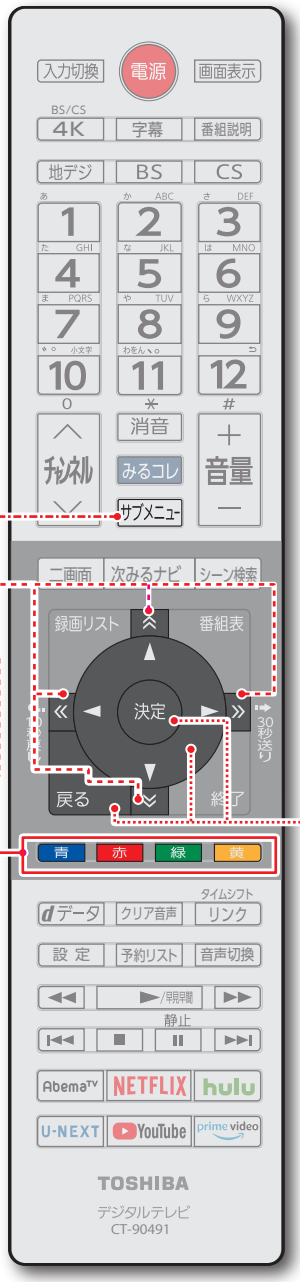
- 番組表や操作画面などには、そのときに使用できる（または使用する）リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。
- よく使う機能がカラーボタン（青、赤、緑、黄）やサブメニューに割り当てられています。

例 録画リスト

例 番組表

例 操作画面





サブメニュー の表示
サブメニューがあることを示します。

《 》 の表示
ページやリストの切り換えができることを示します。

青 赤 緑 黄 の表示
カラーボタンでさまざまな操作ができることを示します。

決定 戻る の表示
選んで決定したり、前の画面に戻ったりすることができることを示します。

テレビ番組を楽しむ つづき

サブメニューについて

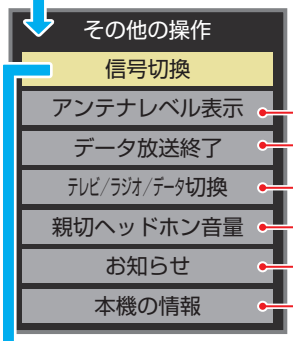
- サブメニューを押してサブメニューを表示させ、さまざまな便利機能を使うことができます。
- サブメニューの内容は、サブメニューを押すときの場面によって変わります。
- サブメニューで選択できる項目は、放送の種類や外部機器の有無などによって変わります。選択できない項目は、薄くなって表示されます。

例 デジタル放送のテレビ番組を視聴中

機　能　（一部省略しています）	詳細記載ページ
タイムシフトマシン対応東芝レコーダーの過去番組表を表示します。※1	100
視聴中の番組の詳しい情報を確認できます。	37
録画ができます。	67
視聴中の連続ドラマが毎回録画されるように予約することができます。	69
予約リストを表示します。	72
動画、写真を再生するメディアプレーヤーを起動します。	116
時計表示やオンタイマー／オフタイマーの設定ができます。	48
字幕放送番組で字幕の表示／非表示を切り換えられます。	34
見ている映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。	46
本機のスピーカーで聴くか外部システムのスピーカーで聴くか選べます。	48
音声連携対応のオーディオ機器の音声メニューを設定します。※2	103
チャンネル番号を入力して選局します。	33

※1 サブメニューの「タイムシフトマシン機器」は、本機とタイムシフトマシン対応東芝レコーダーをHDMIケーブルで接続しているときにだけ、表示されます。
タイムシフトマシン対応東芝レコーダーについては、ホームページ（https://www.toshiba.co.jp/regza/）をご覧ください。

※2 サブメニューの「サウンドシステム設定」は音声連携対応のオーディオ機器を接続している場合だけ、表示されます。



映りが悪いときなどに、アンテナレベルを確認できます。	145
データ放送の視聴を終了します。	44
視聴する放送メディアを切り換えます。	44
親切モードでのヘッドホンの音量を調節することができます。	48
本機や放送局からのお知らせがあったときに内容を確認します。	159
本機のソフトウェアバージョンを確認します。	158

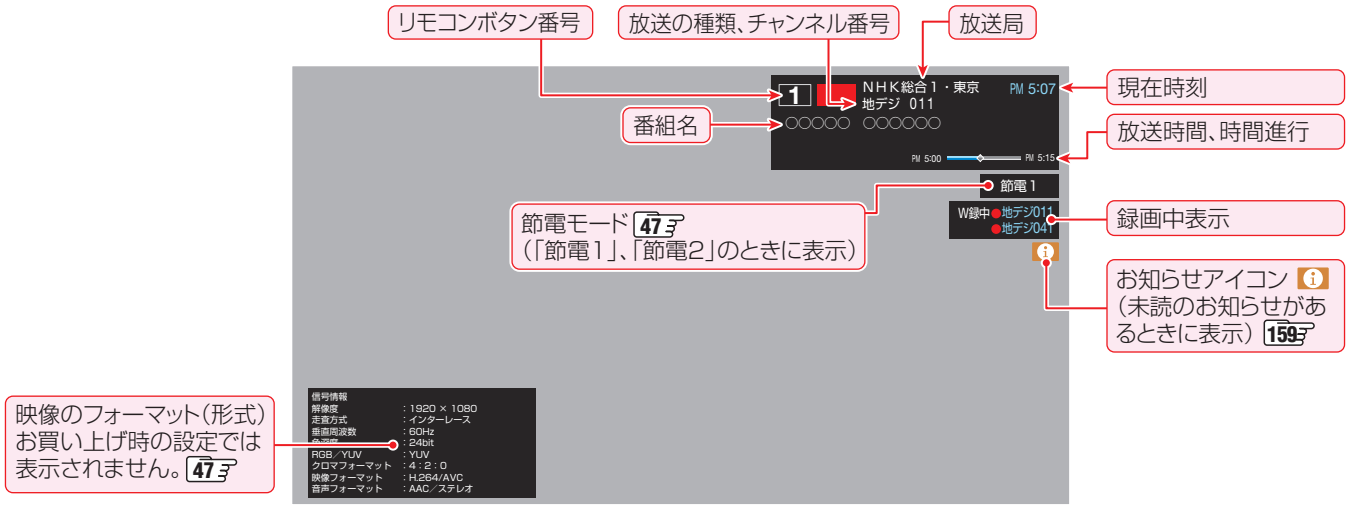
一つの番組で複数の映像が送られている場合に切り換えられます。	46
一つの番組で複数の音声が送られている場合に切り換えられます。	46
二か国語放送など、音声多重放送の場合に聴きたい音声を選びます。	46
豪雨などの影響で降雨対応放送が行われた場合に切り換えられます。	46

番組情報や番組説明を見る

番組情報を見る

1 画面表示 を押す

- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます（チャンネル以外の表示は数秒後に消えます）。
- 表示を消すには、もう一度 画面表示 を押します。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。



番組説明を見る

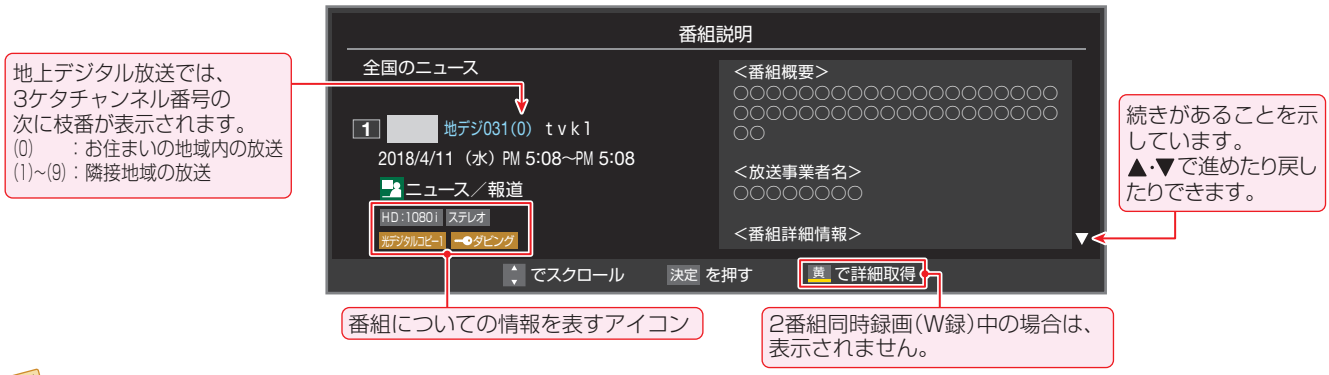
1 番組説明 を押す

- サブメニュー を押し、▲・▼と 決定 で「番組説明」を選んでも同様の操作ができます。

2 さらに詳しい説明を見るときは▼を押す

- 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、黄 を押します。
  - 詳細情報が取得できなかった場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。
  - 詳細情報がなかった場合には、「番組の詳細情報はありません」と表示されます。

3 説明画面を消すには、決定 を押す



お知らせ

- 画面に表示されるアイコン（ステレオ、HD:1080i などの記号）についての説明は、「アイコン一覧」162 をご覧ください。
- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかることがあります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。
- 番組によっては、録画、録音が制限されることがあります。その場合は、番組説明の画面でアイコンが表示されます。

番組表で番組を探す

番組表を使う

- 番組表は、放送電波で送られてくる番組情報を基にして表示されます。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- 番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「切」または「待機」にすることをおすすめします。
- 視聴年齢制限されている番組は、伏せ字(「＊＊＊＊」)で表示されます。

1 番組表 を押す

- 通常番組表が表示されます(「週間番組表」については「週間番組表を表示させる」39 をご覧ください)。
- 放送の種類を変えるときは、地デジ、BS、CS、BS/CS 4K を押します。
- 独立データ放送やラジオ放送の番組表に切り換えるときは、サブメニューの「テレビ/ラジオ/データ切換」41 で選びます。
- 番組表を消すときは、終了 を押します。

2 ▲·▼·◀·▶で番組を選ぶ

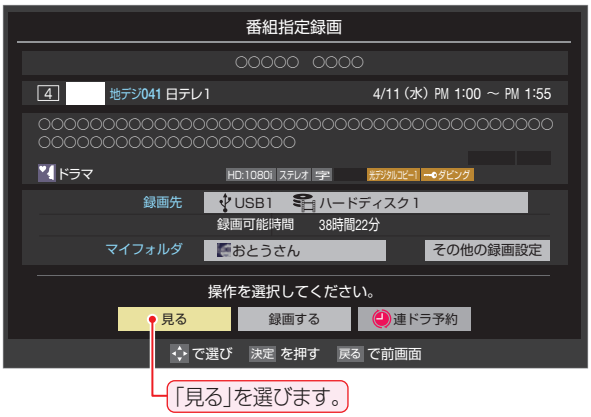
- 選んだ番組の番組説明を見るには、番組説明 を押します。
- 番組表に表示しきれていないチャンネルを表示させるには◀·▶または《·》を押します。

3 決定 を押す

- 現在放送中の番組を選んだときは、番組指定録画画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、番組指定予約画面になります。68 の手順3 をご覧ください。
- 視聴年齢制限されている番組を選んだときは、メッセージが表示されます。番組を見る場合は、決定 を押し、1 ～ 10(0) で暗証番号を入力します。

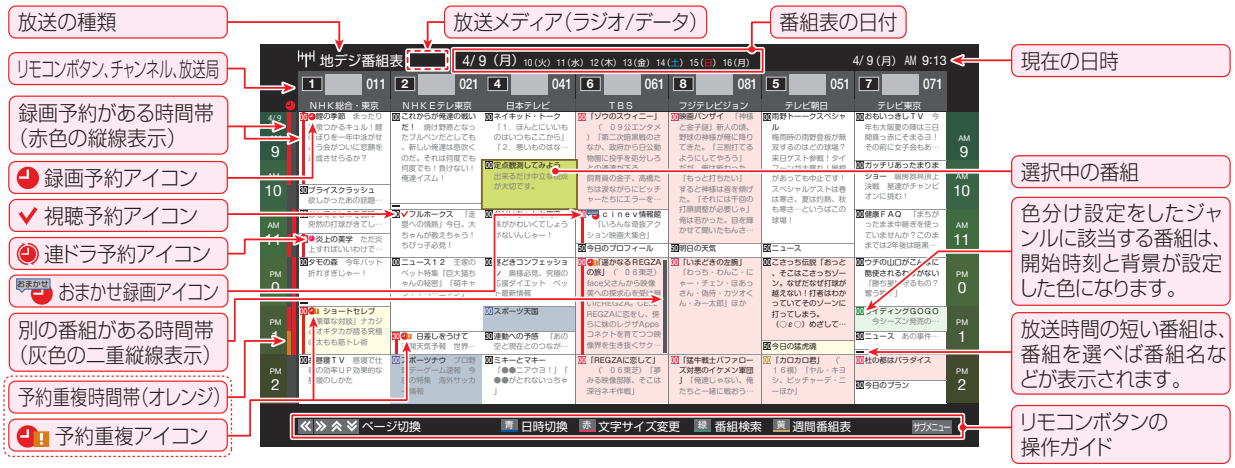
4 現在放送中の番組を見るときは、▲·▼·◀·▶で「見る」を選び、決定 を押す

- 画面の図は、現在放送中の番組でUSBハードディスクが接続されている場合の例です。



- 番組指定録画画面からは、録画 67 、連ドラ予約 69 の操作ができます。
- 番組指定予約画面からは、視聴予約 68 、録画予約 68 、連ドラ予約 69 の設定ができます。

[通常番組表画面：7チャンネル表示の例]



お知らせ

- テレビを視聴している条件などによっては番組表が空欄になることがあります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組表を更新する」39 の操作をしてください。
- 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
- 「チャンネルスキップ設定」149 で、スキップ「する」に設定したチャンネルの番組表は表示されません。
- レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画する場合は、番組表に予約アイコンは表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なることがあります。番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。
- 「放送メディア」は、サブメニューの「テレビ/ラジオ/データ切換」41 で「ラジオ」または「データ」を選んでいるときに表示されます。

視聴制限番組について

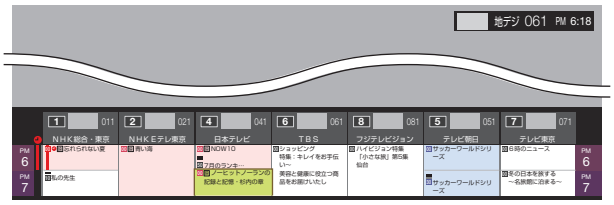
- 視聴制限番組について、詳しくは「視聴できる番組を制限する」151をご覧ください。
- 番組表で視聴制限を一時解除するときは、「番組表で視聴制限を一時解除する」41をご覧ください。

番組を見ながら他の番組を探す（ミニ番組表）

- 番組を見ながら、画面の下側にミニ番組表を表示させて番組を探すことができます。

1 番組表を表示中に 番組表 を押す

- ミニ番組表が表示されます。
- もう一度押すと、ミニ番組表が消えます。
- 操作方法は、前ページの通常番組表の場合と同じです。



番組表を便利に使う

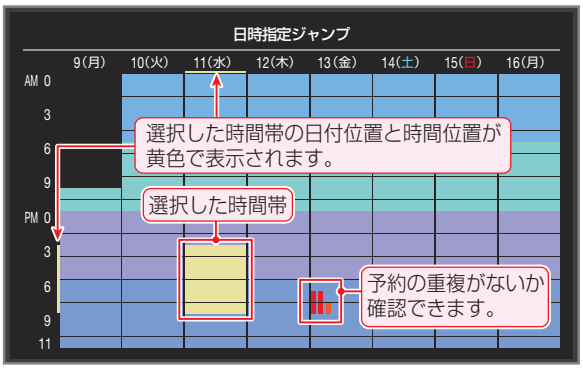
- カラーボタンや番組表のサブメニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。
- 番組表またはミニ番組表が表示されているときに以下の操作をします（ミニ番組表では一部の機能を使用できません）。

指定した日時の番組表を表示させる

- 日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。

1 青（日時切換）を押す

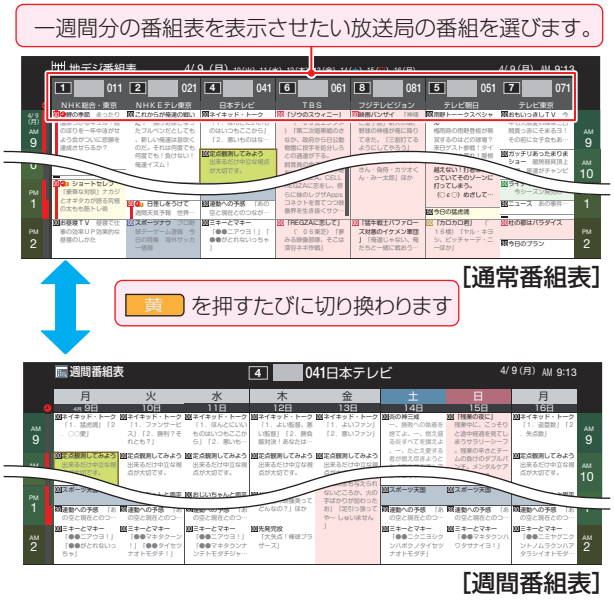
2 ▲·▼·◀·▶で日時を選び、決定 を押す



週間番組表を表示させる

- 選んだ放送局の一週間分の番組表を表示させることができます。

1 ◀·▶で週間番組表を表示させたいチャンネルを選び、黄（週間番組表）を押す



- 操作方法は、前ページの通常番組表の場合と同じです。
- 番組表の表示を週間番組表にしているときは、「マルチ表示」40に切り換えることはできません。

番組説明を見る

- 選択中の番組の番組説明を見ることができます。

1 番組説明 を押す

番組表を更新する

- 番組表の中が空になっているときや、最新の番組情報に更新するときは、以下の操作をします。

1 サブメニュー を押し、▲·▼で「番組情報の取得」を選んで 決定 を押す

※ 番組情報の取得中は映像、音声が出ないことがあります。
※ BS・110度CSの4K放送録画中は、BS・110度CS 4K放送の番組情報の取得ができません。
※ 2番組同時録画（W録）中は、番組情報の取得ができません。

お知らせ

- 番組表の操作ガイドに表示される 緑（番組検索）については、「条件を絞りこんで番組を探す」42をご覧ください。

番組表で番組を探す つづき

- 番組表で選択している放送局の情報が更新されます（更新の範囲は、放送の運用により、一部例外や将来変更されることがあります）。
  - BSデジタル放送は番組表全体が更新されます。
  - 110度CSデジタル放送は選択した番組が含まれるネットワークの番組表全体が更新されます。
  - 地上デジタル放送は選択した番組が含まれる放送局が更新されます。
  - BS・110度CSの4K放送は選択した番組が含まれるチャンネルが更新されます。
- 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。
- 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中に サブメニュー を押し、サブメニューから「番組情報の取得中止」を選択します。

1チャンネル表示とマルチ表示を切り換える

- BSデジタル放送や地上デジタル放送（どちらもテレビ放送だけ）では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示（1チャンネル表示）とマルチチャンネル表示（マルチ表示）の切り換えができます。

1 切り換える放送局の番組をどれか選び、サブメニュー を押す

2 ▲·▼で「1チャンネル表示」（または「マルチ表示」）を選び、決定 を押す

- 番組表の表示によって、「マルチ表示」または「1チャンネル表示」が表示されています。
- 「1チャンネル表示」、「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。

［1チャンネル表示］

［マルチ表示］

- 「マルチ表示」での番組予約については、68 をご覧ください。

文字サイズを大きくする

- 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに、文字の大きさを切り換えることができます。

1 赤 を押して文字の大きさを切り換える

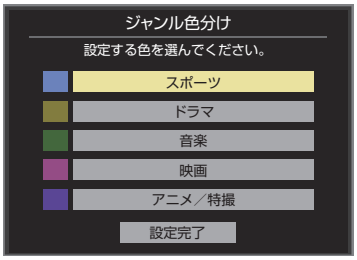
- ボタンを押すたびに、文字の大きさが変わります。文字の大きさに合わせて、表示する時間帯も変わります。

ジャンル別に色分けする

- 番組のジャンル（分野）別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。

1 サブメニュー を押し、▲·▼で「ジャンル色分け」を選んで 決定 を押す

2 設定する色を▲·▼で選び、決定 を押す



3 ▲·▼·◀·▶でジャンルを選び、決定 を押す

- 決定 を押すと手順2の画面に戻ります。ほかの色の設定を変える場合は、操作を繰り返します。
- 「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。

4 ▲·▼で「設定完了」を選び、決定 を押す

用語

■（放送の）ネットワーク
デジタル放送の放送の単位。チャンネルや番組についての情報は、このネットワークごとに送られてきます。

番組記号の説明を見る

● 新、再、字などの番組記号の意味を調べることができます。

1 サブメニュー を押し、▲·▼で「番組記号一覧」を選んで 決定 を押す

- 番組記号の説明が表示されます。
- 表示されるのは番組記号の一部です。
- 見終わったら、決定 を押します。

表示させるチャンネル数を設定する

● 番組表に表示させるチャンネル数を切り換えることができます。

1 サブメニュー を押し、▲·▼と 決定 で「番組表表示設定」⇨「表示チャンネル数」の順に進む

2 ▲·▼で表示させるチャンネル数を選び、決定 を押す

チャンネルの並び順を設定する

● 番組表に表示させるチャンネルの並び順を切り換えることができます。

1 サブメニュー を押し、▲·▼と 決定 で「番組表表示設定」⇨「チャンネル並び順」の順に進む

2 ▲·▼で以下のどちらかを選び、決定 を押す

- **通常**……放送局推奨の並び順になります。
- **チャンネルボタン優先**…ワンタッチ選局ボタン 1 ～ 12 の番号順に並びます。

番組概要の表示／非表示を設定する

● 番組の概要説明を表示させるかどうかを設定します。

1 サブメニュー を押し、▲·▼と 決定 で「番組表表示設定」⇨「番組概要表示」の順に進む

2 ▲·▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、決定 を押す

地上デジタル放送局の表示位置を設定する

● 地上デジタル放送の番組表で放送局の表示位置を設定します。

1 サブメニュー を押し、▲·▼と 決定 で「番組表表示設定」⇨「地デジ表示」の順に進む

2 ▲·▼で以下のどちらかを選び、決定 を押す

- **視聴チャンネル中央表示**…視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
- **チャンネル順優先表示**…お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。

番組表の放送メディアを切り換える

● 番組表に表示させる放送メディア（テレビ、ラジオ、独立データ）を選びます。

● 放送が運用されていない放送メディアに切り換えることはできません。

1 サブメニュー を押し、▲·▼で「テレビ/ラジオ/データ切換」を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で「テレビ」、「ラジオ」、「データ」から選んで 決定 を押す

番組表で視聴制限を一時解除する

● 番組表を表示中に視聴制限の一時解除ができます。

1 サブメニュー を押し、▲·▼で「視聴制限一時解除」を選んで 決定 を押す

- 暗証番号入力画面が表示されます。

※ すでに一時解除されている場合や、地上デジタル放送などの場合は、「視聴制限一時解除」は選べません。

2 1 ～ 10 (0) で暗証番号を入力する

- 番組表の視聴制限が一時解除されます。

用語

■ **放送メディア**
デジタル放送の媒体（テレビ放送、データ放送、ラジオ放送）をさします。

条件を絞りこんで番組を探す

● 番組のジャンル(分野)やキーワードなどの条件を指定して、見たい番組を探すことができます。

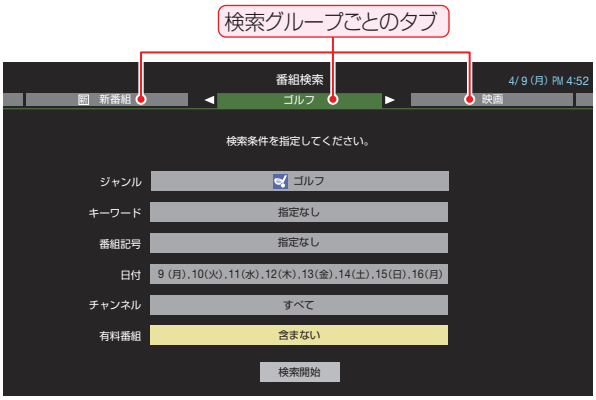
1 番組表を押して、番組表を表示させる

2 緑(番組検索)を押す

● 番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを◀·▶で選ぶ

● 以降の手順で指定する検索条件のうち、「日付」以外は検索グループごとに記憶されます。



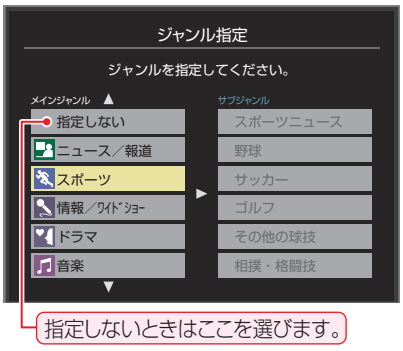
4 検索条件を指定する

● 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」のどれかは必ず指定してください。

「ジャンル」を指定するとき

❶ ▲·▼で「ジャンル」を選び、決定を押す

❷ 指定するジャンルを▲·▼·◀·▶で一つ選び、決定を押す

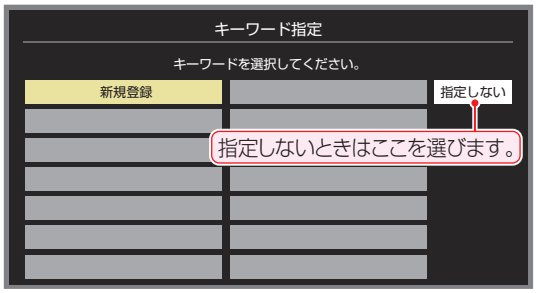


「キーワード」を指定するとき

❶ ▲·▼で「キーワード」を選び、決定を押す

❷ 指定するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

● お買い上げ時は登録されていません。



■新しいキーワードを登録する場合

① ▲·▼·◀·▶で「新規登録」を選び、決定を押す

● 文字入力画面が表示されます。

② キーワードを入力して、決定を押す

● 文字入力の方法は、161ページをご覧ください。

● キーワードは14個まで登録できます。

■キーワードを編集する場合

① 編集するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、青を押す

② キーワードを編集し、決定を押す

■キーワードを削除する場合

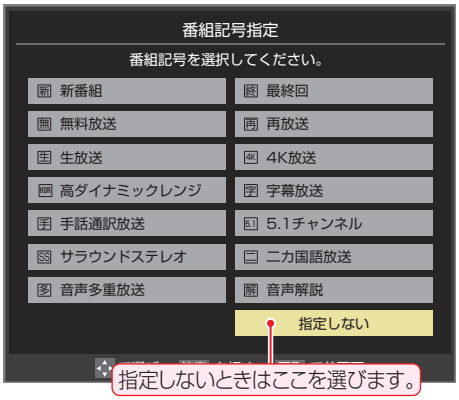
① 削除するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、赤を押す

② ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

「番組記号」を指定するとき

❶ ▲·▼で「番組記号」を選び、決定を押す

❷ 指定する番組記号を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す



お知らせ

● 番組の詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。

● 「チャンネルスキップ設定」149ページで、スキップ「する」に設定したチャンネルの番組は番組検索の対象になりません。

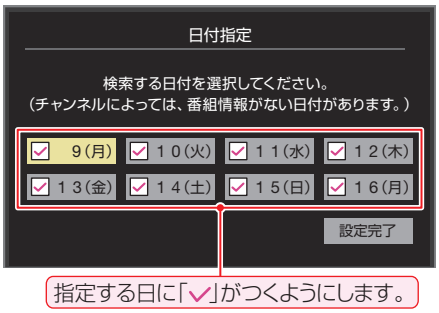
● 番組検索の結果は指標としてお使いください。内容および利用した結果について、当社は責任を負いません。

「日付」を指定するとき

❶ ▲·▼で「日付」を選び、決定を押す

❷ 指定する日付を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、☑(指定する)と☐(指定しない)が交互に切り換わります。
- 7日先まで指定できます。

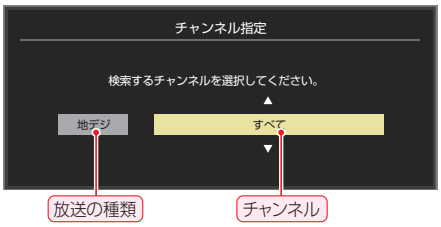


❸ 指定が終わったら、▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定を押す

「チャンネル」を指定するとき

❶ ▲·▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

❷ 指定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で内容を選ぶ



- **放送の種類**……すべて／BS／CS／BS/CS 4K／地デジ
- **チャンネル**……指定した放送の種類やメディアに該当するチャンネル／すべて

❸ 指定が終わったら、決定を押す

「有料番組」を指定するとき

- 有料番組を検索対象に含めるかどうかを指定します。

❶ ▲·▼で「有料番組」を選び、決定を押す

❷ ▲·▼で「含む」、「含まない」のどちらかを選び、決定を押す

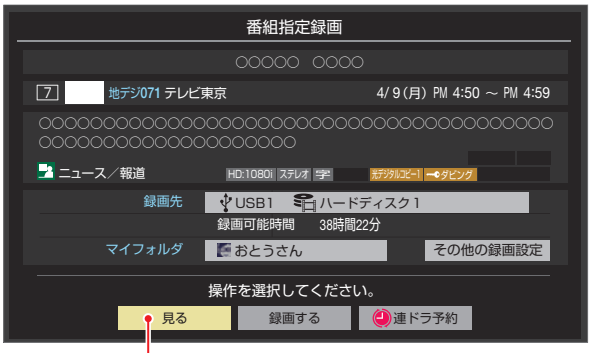
5 ▲·▼で「検索開始」を選び、決定を押す

- 選択中のタブの検索グループに、手順3で指定した検索条件が上書きで保存されます。

6 「番組検索結果」画面から、見たい番組を▲·▼で選んで決定を押す

- 現在放送中の番組を選んだときは、「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面が表示されます。68の手順3をご覧ください。
- すべての放送が表示されているときに、地デジを押すと地デジ放送だけ、BSを押すとBS放送だけ、CSを押すとCS放送だけ、BS/CS 4Kを押すとBS・110度CSの4K放送だけの検索結果になります。

7 ▲·▼·◀·▶で「見る」を選び、決定を押す



- 選んだ番組の放送画面になります。

データ放送やラジオ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルとは別の独立したチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます（本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません）。
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

非リンク型サービス
放送番組とは無関係な通信サービスのときに表示されます。（文字表示は数秒で消えます）

ラジオ放送について

- ラジオ放送が運用された場合、本機で放送を聴くことができます。

Hybridcast™（ハイブリッドキャスト）について

- 本機は、Hybridcast™（ハイブリッドキャスト）のサービスに対応しています。
  Hybridcast™（ハイブリッドキャスト）は、放送と通信が連動・連携したサービスです。

連動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 dデータを押す

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。

2 データ放送を終了するには、サブメニューを押し、▲·▼と決定で「その他の操作」⇨「データ放送終了」の順に進む

独立データ放送やラジオ放送を楽しむ

- BSデジタル放送などで運用される独立データ放送チャンネルやラジオ放送チャンネルを選ぶときの操作です。

1 放送の種類を選ぶ

- BSデジタルの独立データ放送やラジオ放送を視聴する場合は、BSを押します。

2 サブメニューを押し、▲·▼と決定で「その他の操作」⇨「テレビ/ラジオ/データ切換」の順に進む

3 ▲·▼で「データ」または「ラジオ」を選び、決定を押す

- チャンネルで他のチャンネルに切り換えられます。
  チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。
- データ放送やラジオ放送を終了するには、上記の操作で「テレビ」を選びます。

お知らせ

- 放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。
- 本機の放送切換ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送とラジオ放送の選択やチャンネル切換はできません。
- 放送画面の操作説明などで、dデータは「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示されることがあります。
- データ放送、Hybridcast™は録画できません。

■ 双方向サービスについて

- 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定（122 ～ 130）をしてください。また、双方向サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。
- 双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求されることがありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
- 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。
- 本機が動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。
- 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、利用できません。

■ Hybridcast™サービスについて

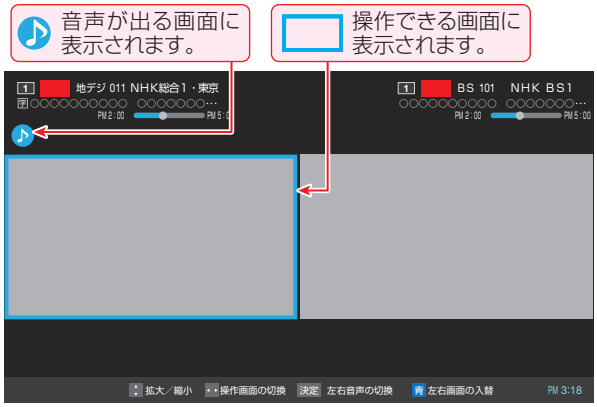
- Hybridcast™サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定（122 ～ 130）をしてください。また、Hybridcast™サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。

二画面で楽しむ

● テレビ画面に二つの映像を映して楽しむことができます。

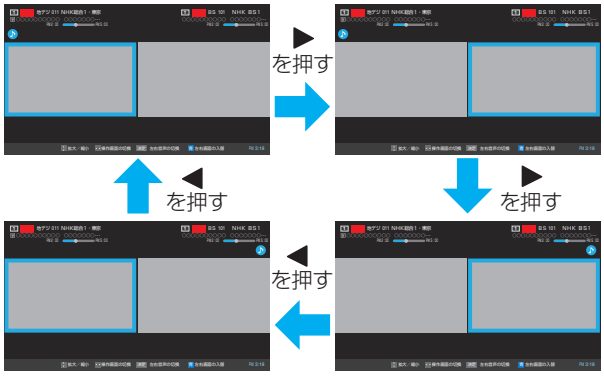
1 二画面 を押す

● 二画面表示になります。



2 操作したい画面と音声を◀·▶で選ぶ

● ◀·▶を押すと、操作できる画面や音声が出る画面が以下のように切り換わります。



● 決定 を押すと、左右画面の音声が交互に切り換わります。
● 青 を押すと、左右の画面の映像が入れ替わります。

3 チャンネルや入力を選ぶ

● 左画面と右画面に映せる画面の組み合わせは下表のとおりです。

左画面	右画面
放送	放送
放送	外部入力
外部入力	放送

放送：地上デジタル／BS／110度CS／BS/CS 4K
外部入力：HDMI 1～4、ビデオ

※ 右の画面にBS・110度CSの4K放送を表示することはできません。

放送画面のチャンネルを切り換えるとき

● 「リモコンで番組を選ぶ」33 の操作をします。

HDMI入力やビデオ入力に切り換えるとき

● 「外部入力の画面に切り換える」99 の操作をします。ただし、「HDMI連動機器を操作する」の操作はできません(HDMI連動対応オーディオ機器の音量操作などはできます)。

番組情報などを見る

● 画面表示 で番組情報の表示/非表示の切換えができます。
● 番組説明 を押すと番組説明が表示されます。
サブメニュー を押し、▲·▼と 決定 で「番組説明(左画面)」または「番組説明(右画面)」を選ぶことで番組説明を表示することもできます。

画面の大きさを変える

● 左画面を拡大することができます。
- ▲·▼を押すと、画面の大きさが段階的に変わります。
- ≪·≫ を押すと、画面の大きさが大と小の2段階で変わります。
- 左画面の拡大につれて右画面は縮小されます。

字幕を表示する

● 字幕 で字幕の表示/非表示の切換えができます。
- 字幕は音声が出る画面に表示されます。
- サブメニュー を押し、▲·▼と 決定 で「字幕」を選んで表示/非表示を切り換えることもできます。

視聴制限があるとき

● 視聴制限がある場合は画面中央にメッセージが表示され、番組名は伏せ字で表示されます。
● 視聴制限のある番組の視聴には、視聴制限設定が必要です。詳しくは「視聴できる番組を制限する」151 をご覧ください。

二画面を終了する

● 二画面を終了するときは、二画面 、戻る 、終了 のいずれかを押します。
二画面が終了し、音声が出ている画面の一画面表示に戻ります。

お知らせ
- 二画面表示のときのHDMI連動機器からのワンタッチプレイは、外部入力を表示中は外部入力の画面が、表示していない場合は左画面が切り換わります。
- 二画面表示のときに視聴予約の番組が始まると、一画面表示に戻ります。
- 二画面表示のときはオートメディアプレーヤーは起動しません。
- HDR映像を右画面に表示した場合、正しく表示されません。

便利な機能を使う

画面サイズを切り換える

● 視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。

1 サブメニュー を押し、▲·▼で「画面サイズ切換」を選び、決定 を押す

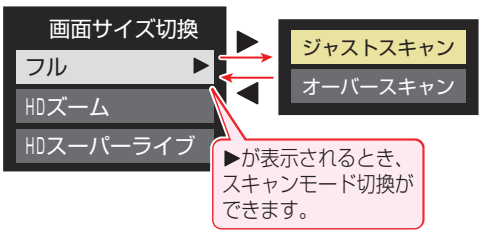
2 お好みの画面サイズを▲·▼で選び、決定 を押す

● 画面の見えかたについては、165 をご覧ください。

▶が表示されるとき

● 決定 を押す前に、必要に応じて以下の操作をします。

❶ ▶を押し、お好みのモードを▲·▼で選ぶ



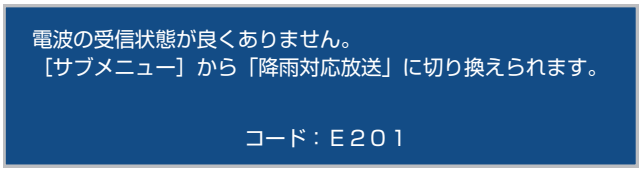
- **ジャストスキャン**…16:9の映像が画面内に収まるように表示させます。
- **オーバースキャン**…16:9の映像を少し大きめに表示させます。

降雨対応放送について

● BSデジタル放送や110度CSデジタル放送およびBS・110度CSの4K放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まった場合、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。

※ 図のメッセージが表示された場合は、以下の手順で降雨対応放送に切り換えられます。

※ 降雨対応放送は、通常の放送よりも画質が低下します。



1 サブメニュー を押し、▲·▼と 決定 で「その他の操作」⇨「信号切換」⇨「降雨対応放送切換」の順に進む

2 ▲·▼で「降雨対応放送」を選ぶ

● 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選びます。

● 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。

他の映像・音声を切り換える

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

● 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。

● 番組説明画面に 二重音声 のアイコンが表示されます。

1 音声切換 を押す

● 音声切換 を押すたびに以下のように切り換わります。

主音声 → 副音声 → 主：副 →

● サブメニューの「音多切換」でも音声の切り換えができます。

音声を切り換える

● 複数の音声で放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。

● 番組説明画面に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 音声切換 を押す

● 音声切換 を押すたびに以下のように切り換わります

音声1 → 音声2 → 音声3… →

● サブメニューの「音声信号切換」（次の説明）でも音声の切り換えができます。

映像、音声を切り換える

● デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声がある場合があり、お好みで選択することができます。

● 映像、音声が切り換えられる番組は、番組説明画面に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 サブメニュー を押し、▲·▼と 決定 で「その他の操作」⇨「信号切換」の順に進む

2 切り換える信号を▲·▼で選び、決定 を押す

● 視聴中の番組で切り換えのできない信号は、薄くなって表示されます。

お知らせ

■ **信号切換について**

● 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます（基本の信号を選択した状態になります）。ただし音多切換と字幕切換では、選局しても状態は取り消されません。

3 視聴したい映像、音声を▲·▼で選び、決定を押す

- 「信号切換」のサブメニューに表示される「音声信号切換」、「音多切換」は、音声切換で選択する機能 46 と同じです。

映像を静止させる

- 映像の動きを止めることができます。料理番組のレシピや、視聴者プレゼントの応募先などをメモするときに便利です。

1 静止 を押す

- 解除するときは、もう一度 静止 を押します。
- 映像の静止中でも音声は流れ続けます。

お知らせ

- ラジオ、データ放送視聴中は静止画にできません。また、映像の静止中にデータ放送の操作はできません。
- 字幕放送の場合、映像の静止中に字幕は表示されません。
- 選局操作をすると静止画が解除されます。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 映像を静止中に、入力されている信号が切り換わると、静止が解除されることがあります。

映像の詳細情報を表示させる

- 画面表示 を押したときに、視聴している映像の詳細な信号フォーマット情報が表示されるように設定することができます。

例

信号情報	
解像度	: 1920 × 1080
走査方式	: インターレース
垂直周波数	: 60Hz
色深度	: 24bit
RGB／YUV	: YUV
クロマフォーマット	: 4 : 2 : 0
映像フォーマット	: H.264/AVC
音声フォーマット	: AAC／ステレオ

- お買い上げ時は表示されないように設定されています。表示させたい場合は、「オン」に設定してください。

1 設定 を押し、▲·▼と決定で「その他の設定」⇨「詳細機能設定」⇨「信号フォーマット詳細表示設定」の順に進む

2 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

- **オン**…… 画面表示 を押したときに信号フォーマットの詳細な情報が表示されます。167
- **オフ**……信号フォーマットの詳細な情報は表示されません。

省エネ設定をする

- 省エネに関するさまざまな設定をすることができます。

1 設定 を押し、▲·▼と決定で「その他の設定」⇨「詳細機能設定」⇨「省エネ設定」の順に進む

- 「省エネ設定」の画面が表示されます。

2 設定する項目を▲·▼で選び、決定を押す

節電モード	標準
番組情報取得設定	取得する
無操作自動電源オフ	動作しない
オンエアー無信号オフ	待機にする
外部入力無信号オフ	待機にする

3 お好みの設定を▲·▼で選び、決定を押す

- 以降の説明を参照し、設定してください。

節電モード

- 液晶画面のバックライトの明るさをおさえることで本機の節電ができます。
- 「節電1」、「節電2」に切り換えた場合、画面の明るさをおさえて、その明るさに適した画質に自動調整されます。
  - **標準**…… 標準の明るさです。
  - **節電1**…… 画面の明るさを「標準」よりもおさえて、節電します。
  - **節電2**…… 画面の明るさを「節電1」よりもおさえて、さらに節電します。

番組情報取得設定

- 番組表機能や予約機能を正しく働かせるために、「取得する」で使用することをおすすめします。
  - **取得する**…電源が「待機」や「切」のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。
  - **取得しない**…番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されなかったり、予約できなかったり、番組検索ができなかったりすることがあります。

無操作自動電源オフ

- **待機にする**…本機の無操作状態が約3時間続くと、電源が「待機」になります。
- **動作しない**…テレビの無操作状態が続いても電源は「入」のままです。

オンエアー無信号オフ

- **待機にする**…放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
- **動作しない**…無信号状態が続いても電源は「入」のままです。

※外部入力を選んでいるときは機能しません。

便利な機能を使う つづき

外部入力無信号オフ

- **待機にする**… 外部入力選択時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
- **動作しない**… 無信号状態が続いても電源は「入」のままです。

声を聴き取りやすくする

● 人の声を強調して背景の音を抑え、声を聴きやすくします。

1 クリア音声 を押す

● 押すたびに「オン」と「オフ」が切り換わります。
「オン」にすると、人の声が強調されます。

お知らせ

● テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「クリア音声」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

ヘッドホンで聴く

● ヘッドホンで聴くときの音の出かたを設定します。
● ヘッドホン出力設定には「通常モード」と「親切モード」があります。お買い上げ時は「通常モード」に設定されています。
※ ヘッドホン出力設定の設定のしかたについては、「ヘッドホン／音声出力設定」144 をご覧ください。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「音声設定」⇨「音声出力詳細設定」⇨「ヘッドホン／音声出力設定」⇨「ヘッドホン出力設定」の順に進む

- **通常モード**…… ヘッドホンだけで音声を聞くモードです。ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカーから音声が出なくなります。
- **親切モード**…… ヘッドホンとスピーカーの両方で音声を聞くモードです。家族で視聴する場合など、スピーカーの音声が聞き取りにくい人がヘッドホンまたはイヤホンで聴くというような使いかたができます。

● 親切モードのとき、スピーカーの音量は 音量 で調節します。

ヘッドホンの音量調節のしかた

● 「通常モード」に設定しているときは、音量 で調節します。
● 「親切モード」に設定して、ヘッドホンを接続しているときは、以下の手順で調節します。

❶ サブメニュー を押し、▲·▼と 決定 で「その他の操作」⇨「親切ヘッドホン音量」の順に進む

● ヘッドホンを接続していないときは、選択できません。

❷ ◀·▶で音量を調節する

● 音量 でも調節できます。

外部スピーカーで聴く

● ヘッドホン／音声出力端子に音声出力機器を接続して聴くときの音の出かたを設定します。

1 サブメニュー を押し、▲·▼で「スピーカー切換」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼で「外部スピーカー」を選び、決定 を押す

● 本機のスピーカーからは音は出ません。
● 「外部スピーカー出力設定」144 が「固定」の場合は、接続した外部音声出力機器で音量を調節します。
「可変」の場合は、本機のリモコンで音量を調節できます。
※ 「外部スピーカー出力設定」の設定のしかたについては、「ヘッドホン／音声出力設定」144 をご覧ください。

時計を表示する

● 画面に時計を表示させます。

1 サブメニュー を押し、▲·▼と 決定 で「時計」⇨「時計表示」の順に進む

2 ▲·▼を押して、「大きいサイズ」、「小さいサイズ」または「オフ」を選び、決定 を押す

● 「オフ」を選ぶと時計表示を消します。

ご注意

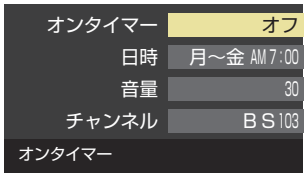
● ヘッドホンで聴くときは、必ず「ヘッドホン／音声出力設定」の「出力設定」を「ヘッドホン」144 にしてください。

自動で電源が入るようにする

- 設定した時刻に本機の電源が「入」になります。
- 目覚まし時計として使うこともできます。

1 サブメニューを押し、▲·▼と決定で「時計」⇨「オンタイマー」の順に進む

2 以下の手順で設定する



オンタイマー

- オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。

❶ ▲·▼で「オンタイマー」を選び、決定を押す

❷ ▲·▼で「オン」を選び、決定を押す

- オンタイマーを設定したあとにオンタイマーを解除する場合は、上記の操作で「オフ」を選びます。

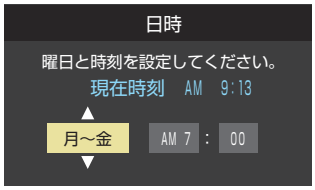
日時

- オンタイマーで本機の電源を「入」にする日時を設定します。

❶ ▲·▼で「日時」を選び、決定を押す

❷ 設定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で日時を選ぶ

- 曜日は「1回」、「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」の中から選びます。



❸ 設定が終わったら、決定を押す

音量

- オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定できます。

❶ ▲·▼で「音量」を選び、決定を押す

❷ ▲·▼でお好みの音量を選び、決定を押す

- 黄を押すと、選んだ音量を聴くことができます。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

❸ 設定が終わったら、決定を押す

※ サラウンドシステムスピーカー（シンクロドライブ出力状態を含む）から音声が出力されている場合は、設定は出力に反映されません。この場合、黄を押しても、選んだ音量を聴くことができません。

チャンネル

- オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映すチャンネルを設定します。

❶ ▲·▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

❷ 設定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で内容を選ぶ

- **放送の種類**……ラストチャンネル/地デジ/BS/CS/BS/CS 4K
- **チャンネル**……設定した放送の種類に該当するチャンネル

※ ラストチャンネルは、電源を切る前に見ていたチャンネルになります。(番組予約により選局できない場合は、番組予約したチャンネルになります)

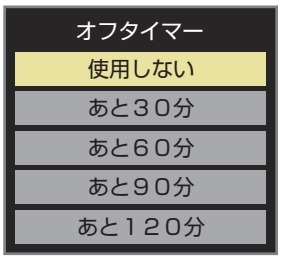
❸ 設定が終わったら、決定を押す

自動で電源が切れるようにする

- オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「待機」の状態になります。

1 サブメニューを押し、▲·▼と決定で「時計」⇨「オフタイマー」の順に進む

2 電源が切れるまでの時間を▲·▼で選び、決定を押す



- 電源が切れる1分前になると、画面にメッセージが表示されます。
- オフタイマーが設定されているときにサブメニューを押し「時計」を選択して決定を押すと、「オフタイマー」の項目に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。
- オフタイマーを設定したあとにオフタイマーを解除する場合は、上記の操作で「使用しない」を選びます。

お知らせ

■「オンタイマー」について
- 本体の電源ボタンで電源を切ると「オンタイマー」が働きません。リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。
- オンタイマーで電源がはいってから約1時間操作をしなかった場合には、電源が自動的に「待機」になります。
- オンタイマーと番組予約が重なっていた場合には、ラストチャンネルで電源がはいることがあります。音量は、オンタイマーで設定した大きさになります。
- オンタイマーを「1回」に設定し、指定した時刻に電源がはいっていた場合、オンタイマーは次の日に延期されます。

■「オフタイマー」について
- 設定後に電源を切ったり「待機」にしたりすると、設定が取り消されます。

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

● 本機背面のUSB（通常録画）端子に接続した**USBハードディスク**および**レグザリンク対応の東芝レコーダー***に**デジタル放送番組**を録画できます（データ放送、ラジオ放送番組、外部入力（HDMI1 ～ 4、ビデオ入力）、クラウドサービスやネットワークサービスで視聴している動画配信サービスからの映像・音声は録画できません）。
- USBハードディスクの接続は次ページをご覧ください。
- レグザリンク対応の東芝レコーダーの接続は55をご覧ください。

* レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合

- レグザリンク（HDMI連動）機能を使って本機の操作で録画・予約をします。
- 録画・予約の操作を終了した時点で本機の関与が終了します。予約内容の確認や取り消し、録画の中止などの操作は本機側ではできません（本機の番組表に予約アイコンが表示されないほか、予約リスト、録画リストなどにも内容は表示されません）。
- 録画されるのはレコーダー自身が受信したデジタル放送番組です。字幕放送番組の字幕などの録画については、機種や録画設定などによって異なりますので、レコーダーの取扱説明書でご確認ください。

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	録画前の準備
USBハードディスク(注)	• USBハードディスクの電源を入れておきます。 • USBハードディスクの残量を確認します。79 • 「すべて」のタブの録画リストで「録画番組数」を確認します。75 ※ 残量不足や番組数超過（3000を超過）になりそうな場合は、不要な番組を削除します。82
レグザリンク対応の東芝レコーダー	• ハードディスクの残量などを確認し、不要な番組を削除しておきます。 ※ 録画先はハードディスクだけです。記録メディアに直接録画することはできません。

(注) USBハードディスクは、本機に登録しないと録画できません。

● 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できないときは、52を参照し、登録してください。
● **USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。ACアダプターを使用しない場合は動作保証できません。本機で接続確認済のUSBハードディスクについては、ホームページ（https://www.toshiba.co.jp/regza/）をご覧ください。**

※ USBハードディスクの最大予約件数は128です。最大録画番組数は3000です。

USBハードディスクの自動削除機能について

● USBハードディスクの容量が足りない場合に、保護されていない日付の古い録画済番組から自動的に削除する機能で、お買い上げ時は「自動削除設定」82が「削除する」に設定されています。

ご注意

● **USBハードディスクについて**
USBハードディスクは精密機器であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。
本機に接続したUSBハードディスクに録画した内容の長期保存は保証できません。一時的な保存・再生機能としてご使用ください。

お知らせ

● USBハードディスクでの録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は正しく保存されません（「録画番組を修復する」77の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります）。
● 予約録画の開始時に、自動削除機能によって削除される番組が多い場合は、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
● 録画番組の再生中に予約録画の開始時刻になると、再生が自動的に停止することがあります。
● 万一、本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

USBハードディスクの接続をする

● 本機に接続したUSBハードディスクで以下のことができます。

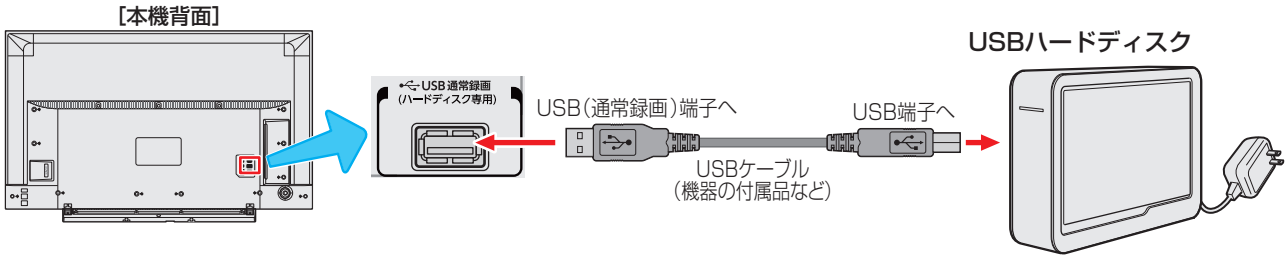
できること	記載ページ
本機で受信したテレビ放送番組の録画、録画予約	67
録画番組の再生、ムーブ	75 85

ご注意

- パソコンや他のテレビ、録画機器などで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
- 本機で使用していたUSBハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で録画した番組はすべて消去されます。
- 本機に接続したUSBハードディスクを取りはずす場合は、未登録の機器を含めて「USBハードディスクの設定をする」の「機器の取りはずし」53 の手順で操作してください。
- USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。録画した番組が消えたり、USBハードディスクが故障したりする原因となります。
- 本体側面のUSB端子にUSBバスパワー方式の機器を接続して同時に使用すると、USBハードディスクでの録画動作に障害を与えることがあります。
- **USBハードディスクやUSBハブは専用のACアダプターを接続してご使用ください。本機で接続確認済の機器でもACアダプターを接続しない場合は動作保証できません。**

USBハードディスクが1台のとき

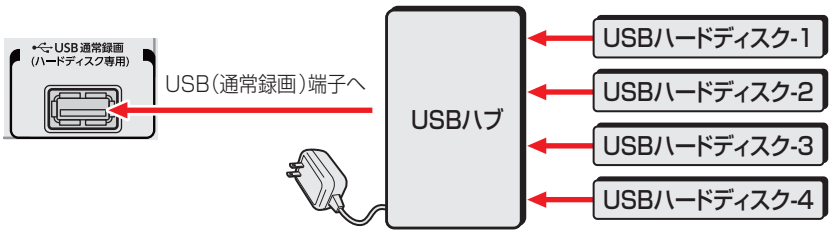
● USBハードディスクは、USB(通常録画)端子に接続します。



USBハードディスクが複数台のとき

● USBハブを使用すれば、複数のUSBハードディスクを接続することができます。

※ 8台までのUSBハードディスクを本機に登録できます。ただし、同時に接続できるのは4台までです。



お願い

- 複数の未登録USBハードディスクを接続した状態で本機の電源を入れると、不特定の順番で登録が始まります。USBハードディスクの登録名や接続場所などを特定しやすくするために、1台ずつ接続して登録の処理が終わったら次のUSBハードディスクを接続するようにしてください。
- 登録の手順については、次ページの「USBハードディスクを本機に登録する」をご覧ください。

お知らせ

- 複数台のUSBハブを経由して本機にUSBハードディスクを接続することはできません。
- 本機で接続確認済のUSBハードディスクとUSBハブについては、ホームページ(https://www.toshiba.co.jp/regza)をご覧ください。
- 接続確認済機器でも、すべての動作を保証するものではありません。

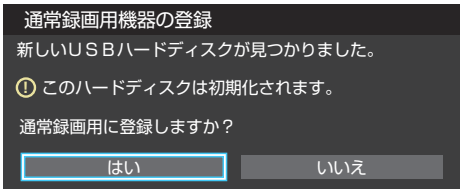
USBハードディスクの設定をする

USBハードディスクを本機に登録する

● 本機が未登録のUSBハードディスクを検出すると、「機器の登録」の画面が表示されます。以下の手順で本機に登録します。

1 ◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

● 登録しないときは「いいえ」を選びます。



※「いいえ」を選んだ場合、そのUSBハードディスクは「機器の登録」の画面で「未登録」となります。「未登録」のUSBハードディスクを登録する場合は、次の「USBハードディスクの設定をする」で「機器の登録」の操作をしてください。

2 初期化の確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

● 登録の処理が始まり、終わると次の手順の画面が表示されます。

3 登録名を変更する場合は、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

● 表示された登録名のままでよければ「いいえ」を選びます。
● 「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されます。登録名を入力して、決定 を押します。
● 文字入力の方法は、161 をご覧ください。
● ␣(スペース)だけの名称は登録できません。

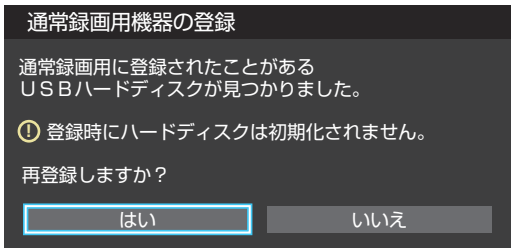
4 登録したUSBハードディスクを録画機器にする場合は、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

● 録画や予約などでの録画機器の初期候補が、今登録したUSBハードディスクになります。
※ 録画機器は、録画や予約の際に変更することもできます。
● 決定 を押したあと、説明画面が表示された場合は、画面の説明を読んでから 決定 を押します。

5 登録結果の内容を確認し、終了 を押す

使用履歴のあるUSBハードディスクを接続したとき

● 本機に登録して使用し、登録を解除したUSBハードディスクを接続した場合、以下の確認画面が表示されます。



● 「はい」を選んで 決定 を押すと登録の処理が始まり、終わると登録機器のリスト画面が表示されます。

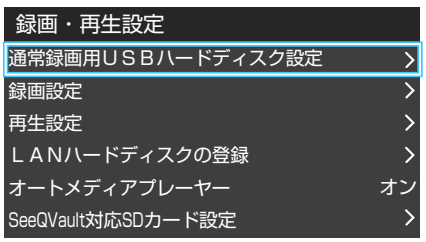
※ 再登録の場合、ハードディスクは初期化されません。

修理などで、本機内部のハードディスク登録情報記憶部が含まれる部分を交換した場合や、本機を交換した場合は、それまでに使用していたハードディスクは未登録(新しいハードディスク)として認識され、初期化して使用することになります。初期化の際に録画内容はすべて消去されます。

USBハードディスクの設定をする

● USBハードディスクを使用する場合は、必要に応じて以下の設定をします。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「録画・再生設定」⇨「通常録画用USBハードディスク設定」の順に進む



2 設定する項目を▲·▼で選んで 決定 を押し、以降の手順で設定する

機器の登録

● リストに「未登録」と表示されているUSBハードディスクを登録したり、機器の登録名を変更したり、登録を解除したりすることができます。
※ 登録できるのは8台までです。
※ USBハードディスクによっては、機器の登録画面でモデル名が正しく表示されないことがあります。

機器を登録するとき

※ はじめて登録するときには、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

❶登録する機器を▲·▼で選び、決定を押す

❷登録の確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

❸初期化の確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す
- 初期化と登録の処理が始まります。

❹終わったら、登録結果の内容を確認し、決定を押す

登録名を変更するとき

❶登録名を変更する機器を▲·▼で選び、決定を押す

❷◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

❸文字入力画面で登録名を入力する
- 文字入力の方法は、161をご覧ください。

登録を解除するとき

❶登録を解除する機器を▲·▼で選び、赤を押す

❷◀·▶で「はい」を選び、決定を押す
- 録画予約が設定されているUSBハードディスクの登録を解除するときは、以下の画面が表示されます。
  - **他の登録済USBハードディスクが接続されているとき**
    録画先の変更を促すメッセージ付の登録解除画面が表示されます。
  - **他の登録済USBハードディスクが接続されていないとき**
    再登録を促すメッセージ付の登録解除確認画面が表示されます。

省エネ設定

- 複数のUSBハードディスクに対して個別に設定を変えることはできません。

※「省エネモード」に設定した場合、USBハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。「ハードディスクがありません。」や、録画可能時間が「--時間--分」と表示されるような場合は、少し待ってから操作してください。

※ USBハードディスクによっては、機器の表示ランプが「待機」と「入」の状態を正しく示さないことがあります。

※ USBハードディスクによっては、「オフ」に設定していても、USBハードディスク側の省エネ機能によって、待機状態になることがあります。

※ 本機の電源が「切」または「待機」のときでも、「自動スキャン」や「番組情報の取得」が内部で動作している場合には、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。

※ USBハブを使用している場合、本機の電源が「切」または「待機」のときでも、USBハブからの電源供給によって、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。

❶▲·▼で以下から選び、決定を押す
- **オン**……USBハードディスクの電源は、使用しない状態がしばらく続くと待機状態になり、使う操作をすると自動的に「入」になります。
- **オフ**……本機の電源が「入」のとき、USBハードディスクの電源は常時「入」の状態です。

機器の取りはずし

- USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前にこの操作をします。

❶取りはずす機器を▲·▼で選び、決定を押す

❷確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す
- 停止の処理が始まり、終了すると「USBハードディスクを取りはずしできます。」のメッセージが表示されます。

❸USBハードディスクを取りはずし、決定を押す

動作テスト

- USBハードディスクで以下の動作ができるかテストします。

❶テストする機器を▲·▼で選び、決定を押す
- テストが始まります。終了までに数分間かかります。
- テストが終わると結果が表示されます。テスト結果が「OK」となった動作ができます。
- **録画**……ハイビジョン画質で録画ができるか
- **録画中の再生**…ハイビジョン画質で録画しながら番組再生ができるか
- **録画中の早見早聞**…録画中にハイビジョン番組の早見早聞76ができるか、録画中に４Ｋ番組の再生ができるか

※ テスト結果は目安です。結果どおりの動作にならないことがあります。

機器の初期化

- 正常に使用できなくなったUSBハードディスクは、初期化をすれば使用できるようになることがあります。

※ 初期化をすると、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

❶初期化する機器を▲·▼で選び、決定を押す

❷初期化の確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

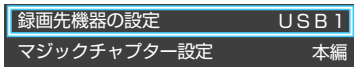
❸初期化終了の画面で決定を押す

録画の基本的な設定をする

● USBハードディスクでの録画・再生に関する基本的な設定をすることができます。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「録画・再生設定」⇨「録画設定」の順に進む

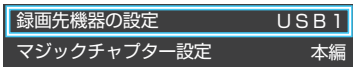
2 以降の手順で設定する



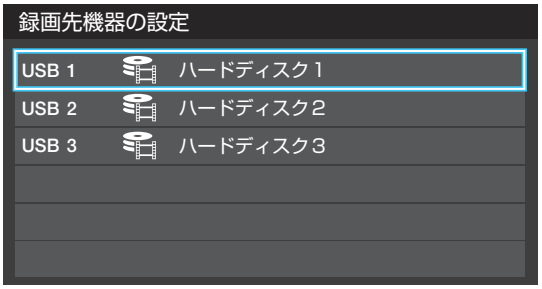
録画に使用する機器を設定する

● 複数のUSBハードディスクを本機に登録している場合に、録画に使用する機器を設定します。

❶ ▲·▼で「録画先機器の設定」を選び、決定 を押す



❷ 録画に使用する機器を▲·▼で選び、決定 を押す



チャプター分割のしかたを設定する

● シーンの変わり目でチャプター分割(章分け)されるように設定できます(チャプター分割をすると、再生時にチャプタースキップができるようになります)。

❶ ▲·▼で「マジックチャプター設定」を選び、決定 を押す

❷ チャプター分割の場面を▲·▼で選び、決定 を押す

- **本編**……本編とCMの間でチャプター分割されます。
- **音楽**……楽曲の前後でチャプター分割されます。
- **本編と音楽**…上記の両条件でチャプター分割されます。
- **オフ**……チャプター分割をしません。

※ 音楽の検出は番組のメインジャンルが「音楽」または、メインジャンルが「バラエティ」でサブジャンルが「音楽バラエティ」のときにだけ行われます。

レグザリンクダビングの接続・設定をする

- 本機でUSBハードディスクに録画した番組をレグザリンクダビング対応のDTCP-IP対応サーバーや、東芝レコーダーにダビングすることができます。
- ダビングの操作については「録画番組をダビング(ムーブ)する」85、「東芝レコーダーにダビングしてディスクに保存する」86をご覧ください。
- レグザリンクダビング対応のDTCP-IP対応サーバーと本機を接続する場合は、「機器を接続する」61と同じです。

東芝レコーダーと本機を接続する

- 接続にはLANケーブルを使用します(ストレートタイプ、クロスタイプのどちらも使用可能)。カテゴリ5(CAT5)と表示された規格以上のものをご使用ください。

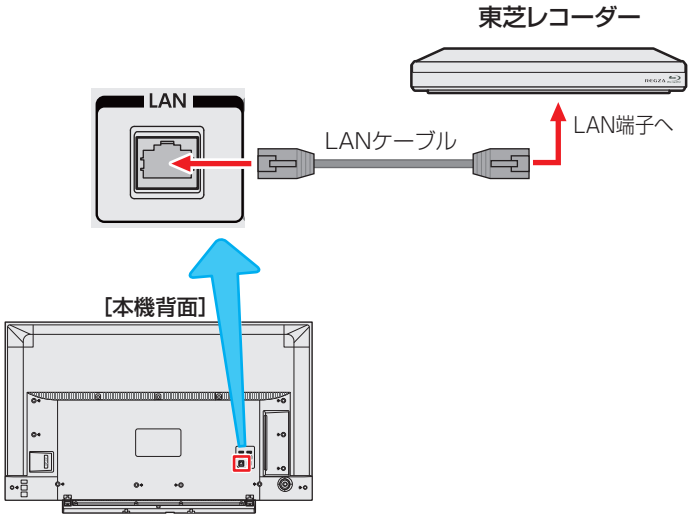
ルーターを経由して接続する場合

- ホームネットワークの接続やインターネットへの接続をしている場合は、「機器を接続する」61と同じです。本機と東芝レコーダーのLAN端子をブロードバンドルーターのLAN端子に接続します。

※ 無線LANで接続した場合は、通信が不安定になり、正常にダビングできないことがあります。

本機と東芝レコーダーを直接接続する場合

- ホームネットワークやインターネットへの接続をしない場合や、他のネットワーク機器の通信による影響を受けないようにしたい場合は、本機と東芝レコーダーのLAN端子を直接接続します。



東芝レコーダーと本機を設定する

ルーターを経由して接続した場合

東芝レコーダーの設定をする

- 東芝レコーダーの取扱説明書の「ネットワーク機能の設定をする」を参照して、以下のように設定・登録します。

項　目	設　定
イーサネット利用設定	利用する
本体名、本体ユーザー名、本体パスワード、グループ名、グループパスワード	任意
ダビング要求	受け付ける
ネットdeレック/サーバー設定 または レグザリンク連携機器設定	使う(フィルタ制限なし)
DHCP(自動取得)	使う
DNS(自動取得)	使う

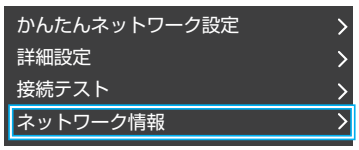
- 「接続テスト」をして「OK」が表示されることを確認します(インターネットに接続されている場合だけ)。

本機の設定をする

- お買い上げ時の設定(IPアドレス設定、DNSアドレス(ＩＰｖ４)ともに自動取得)にします。

1 設定 を押し、▲・▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「ネットワーク情報」の順に進む

- 表示される画面で「IPアドレス」と「DNSアドレス」が「自動取得」になっていることを確認します。



「手動設定」になっている場合

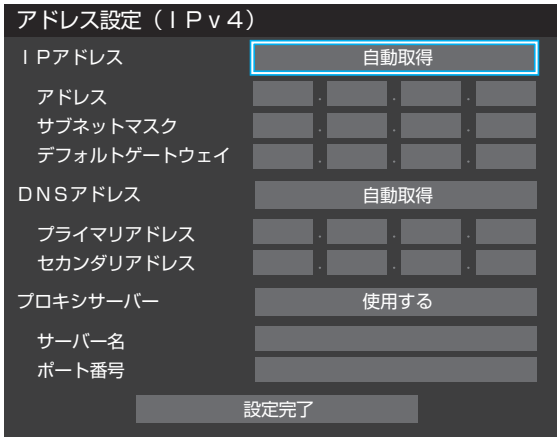
- 以下の操作で「自動取得」に設定します。

❶ 設定 を押し、▲・▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「詳細設定」⇨「アドレス設定(ＩＰｖ４)」の順に進む

❷ ▲・▼で「IPアドレス」を選び、決定 を押す

レグザリンクダビングの接続・設定をする つづき

❸ ▲·▼で「自動取得」を選び、決定 を押す



❹ 設定内容を確認し、▲·▼で「設定完了」を選んで 決定 を押す

- 「IPアドレス」、「DNSアドレス」ともに「自動取得」になります。

2 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「接続テスト」を選び、決定 を押す

- インターネットに接続していない場合は、本操作は必要ありません。
- インターネットに接続している場合は、「インターネットに接続できました。」が表示されることを確認します。

本機と東芝レコーダーを直接接続した場合

東芝レコーダーの設定をする

- 東芝レコーダーの取扱説明書の「ネットワーク機能の設定をする」を参照して、以下のように設定・登録します。

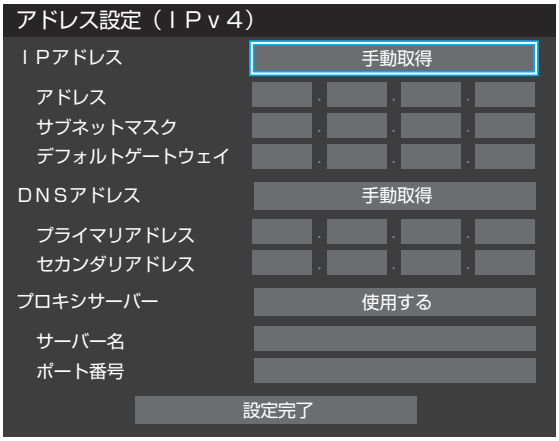
項　目	設　定
イーサネット利用設定	利用する
本体名、本体ユーザー名、本体パスワード、グループ名、グループパスワード	任意
ダビング要求	受け付ける
ネットdeレック/サーバー設定 またはレグザリンク連携機器設定	使う（フィルタ制限なし）
DHCP（自動取得）	使わない
IPアドレス	192.168.1.15
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DNS（自動取得）	使わない
DNSサーバー	192.168.1.1

本機の設定をする

❶ 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「詳細設定」⇨「アドレス設定（ＩＰｖ４）」の順に進む

❷ ▲·▼で「IPアドレス」を選び、決定 を押す

❸ ▲·▼で「手動取得」を選び、決定 を押す



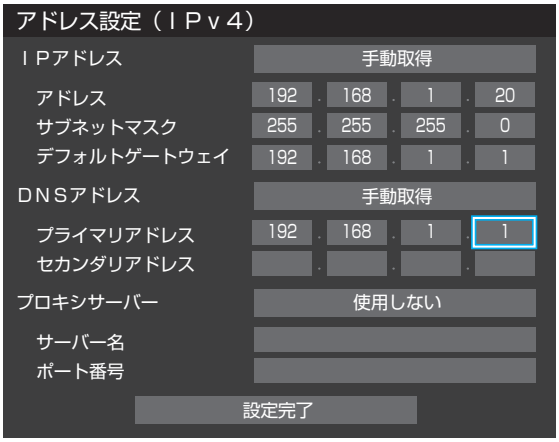
❹ ▼で「アドレス」の入力欄に移動し、1（あ）～10（さ 小文字）で「192」、「168」、「1」、「20」と入力する

- 入力欄を移動するには、◀·▶を押します。
- 入力した数字を消すには、赤 を押します。

❺ ▼で「サブネットマスク」の入力欄に移動し、1（あ）～10（さ 小文字）で「255」、「255」、「255」、「0」と入力する

❻ ▼で「デフォルトゲートウェイ」の入力欄に移動し、1（あ）～10（さ 小文字）で「192」、「168」、「1」、「1」と入力する

❼ ▲·▼で「プライマリアドレス」の入力欄に移動し、1（あ）～10（さ 小文字）で「192」、「168」、「1」、「1」と入力する



❽ 設定内容を確認し、▲·▼で「設定完了」を選んで 決定 を押す

SeeQVault™対応のUSBハードディスクやSDメモリーカードを接続する

- 本機で録画した番組をSeeQVault™対応のUSBハードディスクなどにSeeQVault™形式で保存すると、他の東芝のSeeQVault™対応のレグザやレコーダーやPCで再生することができます。また、東芝のSeeQVault™対応のレグザやレコーダーで録画した番組を、SeeQVault™対応のUSBハードディスクなどにSeeQVault™形式で保存すると、本機で再生することができます。
- 本機では、次の機器を接続して使用することができます。
  当社指定のSeeQVault™対応USBハードディスク／過去に販売された当社指定のSeeQVault™対応SDカードリーダー。
  当社指定のSeeQVault™対応機器については下記URLをご覧ください。
  https://www.toshiba.co.jp/regza/detail/seeqvault/

ご注意

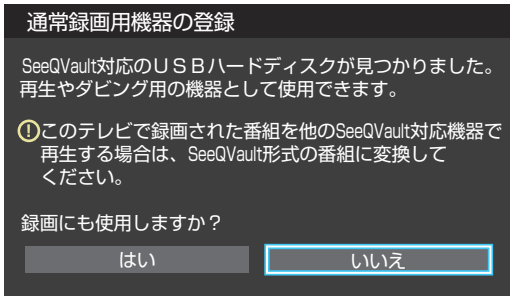
- 本機で番組を保存したSeeQVault™対応のUSBハードディスクなどは、他社のSeeQVault™対応機器で使用した場合、動作の保証はできません。
- 他社製品で番組を保存したSeeQVault™対応のUSBハードディスクなどは、本機で使用した場合、動作の保証はできません。

USBハードディスクを接続して登録する

- USB（通常録画）端子に接続します。
- 本機が未登録のUSBハードディスクを検出すると、「機器の登録」の画面が表示されます。以下の手順で本機に登録します。
- 本機とUSBハードディスクの接続のしかたは、「USBハードディスクの接続をする」51と同じです。

1 ◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

- 録画しないときは「いいえ」を選びます。



※「いいえ」を選んだ場合、そのUSBハードディスクは「機器の登録」の画面で「未登録」となり、再生はできますが、録画はできません。「未登録」のUSBハードディスクを登録する場合は、「USBハードディスクの設定をする」52をご覧になり、「機器の登録」の操作をしてください。

2 初期化の確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

- 登録の処理が始まり、終わると次の手順の画面が表示されます。
- 初期化によって、他の東芝のSeeQVault™対応のレグザやレコーダーから保存されているSeeQVault™形式の番組が削除されることはありません。ただし、保存されているSeeQVault™形式以外の番組はすべて削除されます。

3 登録名を変更する場合は、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

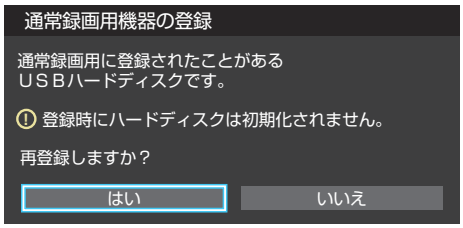
- 表示された登録名のままでよければ「いいえ」を選びます。
- 「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されます。登録名を入力して、決定を押します。
- 文字入力の方法は、161をご覧ください。
- ␣（スペース）だけの名称は登録できません。

4 登録したUSBハードディスクを録画機器にする場合は、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

- 録画や予約などでの録画機器の初期候補が、登録したUSBハードディスクになります。
  ※ 録画機器は、録画や予約の際に変更することもできます。
- 決定を押したあと、説明画面が表示された場合は、画面の説明を読んでから決定を押します。

使用履歴のあるUSBハードディスクを接続したとき

- 以前に登録して使用し、登録を解除したUSBハードディスクを接続した場合、初期化の確認画面の代わりに以下の確認画面が表示されます。



- 「はい」を選んで決定を押すと登録の処理が始まり、終わると登録名変更の画面が表示されます。

※ 再登録の場合、ハードディスクは初期化されません。

SeeQVault™対応のUSBハードディスクやSDメモリーカードを接続する つづき

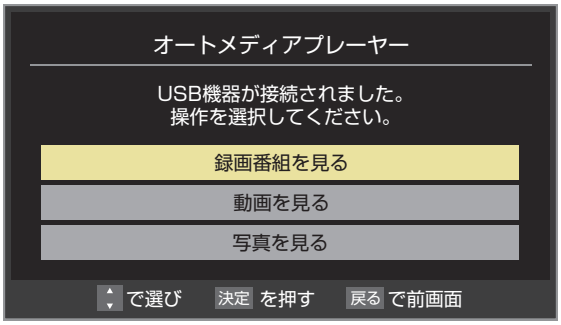
USBハードディスクの取りはずし

● 取りはずしかたは、「USBハードディスクの設定をする」52をご覧になり、「機器の取りはずし」の操作をしてください。

SDメモリーカードを接続する

● SeeQVault™対応のSDカードリーダーは、本機側面のUSB端子に接続してください。

● 「オートメディアプレーヤー」を「オン」に設定しておくと、放送・外部入力の視聴時にSDメモリーカードを挿入したときに、操作の選択メニューが表示されます（お買い上げ時は「オン」に設定されています）。
SeeQVault™形式の番組を再生するには「録画番組を見る」を選択してください。

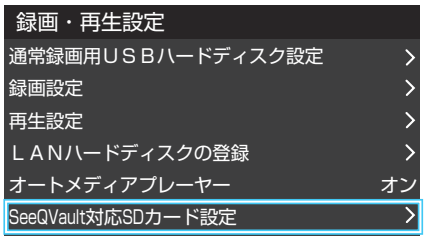


※ SDメモリーカードを挿入した状態で本機の電源を入れた場合や、放送・外部入力の視聴以外の操作をしているときにSDメモリーカードを挿入した場合には、オートメディアプレーヤーの画面は表示されません。

SeeQVault™対応SDメモリーカードを設定する

- SeeQVault™対応SDカードリーダーが接続されているとき、SDメモリーカードを初期化したり、SDメモリーカード名を変更したりすることができます。
- SDメモリーカードがライトプロテクトされているときは、下記の設定は行えません。プロテクトを解除してください。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「録画・再生設定」⇨「SeeQVault対応SDカード設定」の順に進む



2 ▲·▼で、設定するSDメモリーカードを選び、以降の手順で設定する

SDメモリーカードを初期化する

❶ 黄 を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

❸ 内容を確認して「はい」を選び、決定 を押す
- SDメモリーカードが初期化されます。

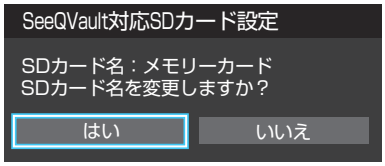
❹ SDメモリーカード名の設定をするには、◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

❺ 文字入力画面で、SDカード名を入力して、決定 を押す
- 文字入力の方法は、161 をご覧ください。

SDメモリーカード名を変更する

❶ 決定 を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す



❸ 文字入力画面で、SDカード名を入力して、決定 を押す
- 文字入力の方法は、161 をご覧ください。

ホームネットワークについて

● ホームネットワーク(家庭内LAN)に本機とLANハードディスク、ネットワークメディアサーバー、DTCP-IP対応サーバーなどを接続し、録画番組や動画、静止画を再生して楽しむことができます。

LANハードディスク

● LANハードディスクに保存されている動画、静止画を再生することができます(録画、ダビング、編集などはできません)。

ネットワークメディアプレーヤー

● 本機はネットワークメディアプレーヤー(動画/静止画)です。
ネットワークメディアサーバーが公開しているコンテンツを本機で視聴することができます。116 118

DTCP-IP対応サーバー

● DTCP-IP(「Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol」の略)は、ネットワーク上でデジタル放送などの著作権保護付データを配信するための規格です。この規格に対応すれば、著作権保護付データ(たとえば、1世代だけ録画が許された番組など)をホームネットワーク上で扱うことができます。また、ホームネットワーク外へのデータ伝送を禁止することで、著作権保護付データを保護します。

● 本機はDTCP-IPに対応しています。
本機でUSBハードディスクに録画した番組を、DTCP-IP方式で著作権を保護しながらDTCP-IP対応サーバー(DTCP-IP対応サーバー機能を持つNASやレコーダーなど)に本機の操作でダビングすることができます。86
ダビングした番組は、他のDTCP-IP対応テレビで視聴することができます。
※ ダビング時の動作は番組のコピー制御情報に従います。機器によってはダビングできない場合があります。
※ ダビング後のコンテンツでは、再生時間の表示がずれる場合があります。
※ 4K放送の録画番組はダビングができません。

スカパー！プレミアムサービスの番組の配信に対応したサーバー

● スカパー！プレミアムサービスの番組の配信に対応したサーバーとは、以下のどれかの機能を持つサーバーです。
- スカパー！プレミアムサービス対応チューナー、スカパー！プレミアムサービス光対応チューナーとLAN経由で接続して、スカパー！の番組をデジタル録画する機能を持つサーバー。これらを「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)対応製品と呼んでいます。
- スカパー！の番組を録画・配信することができるスカパー！プレミアムサービスチューナー(DVR)。

● 本機は「スカパー！プレミアムサービスLink」(視聴)機器としての機能を備えています。スカパー！プレミアムサービスの番組の配信に対応したサーバーが公開しているスカパー！の「放送中の番組」と「録画した番組」を視聴することができます。121
※ ラジオ番組は視聴できません。
※ サーバーが放送中の番組の配信に対応していない場合、「放送中の番組」の視聴はできません。
※ 4K放送は視聴できません。

スカパー! プレミアムサービス Link

スマートフォンやタブレットPC(レグザAppsコネクト)

● スマートフォンやタブレットPCなどの端末機器と本機をホームネットワークに接続し、端末機器で本機やネットワーク内のレグザAppsコネクト対応機器を操作することができます。

本機のホームサーバー機能

● 本機はホームサーバー機能も備えています。本機に接続されたUSBハードディスクの録画番組を、ホームネットワーク上のDTCP-IP対応PCソフトウェアやDTCP-IP対応テレビなどで視聴することができます(本機からの配信数は一つです)。
※ 4K放送の録画番組はホームネットワーク上の機器で視聴できません。

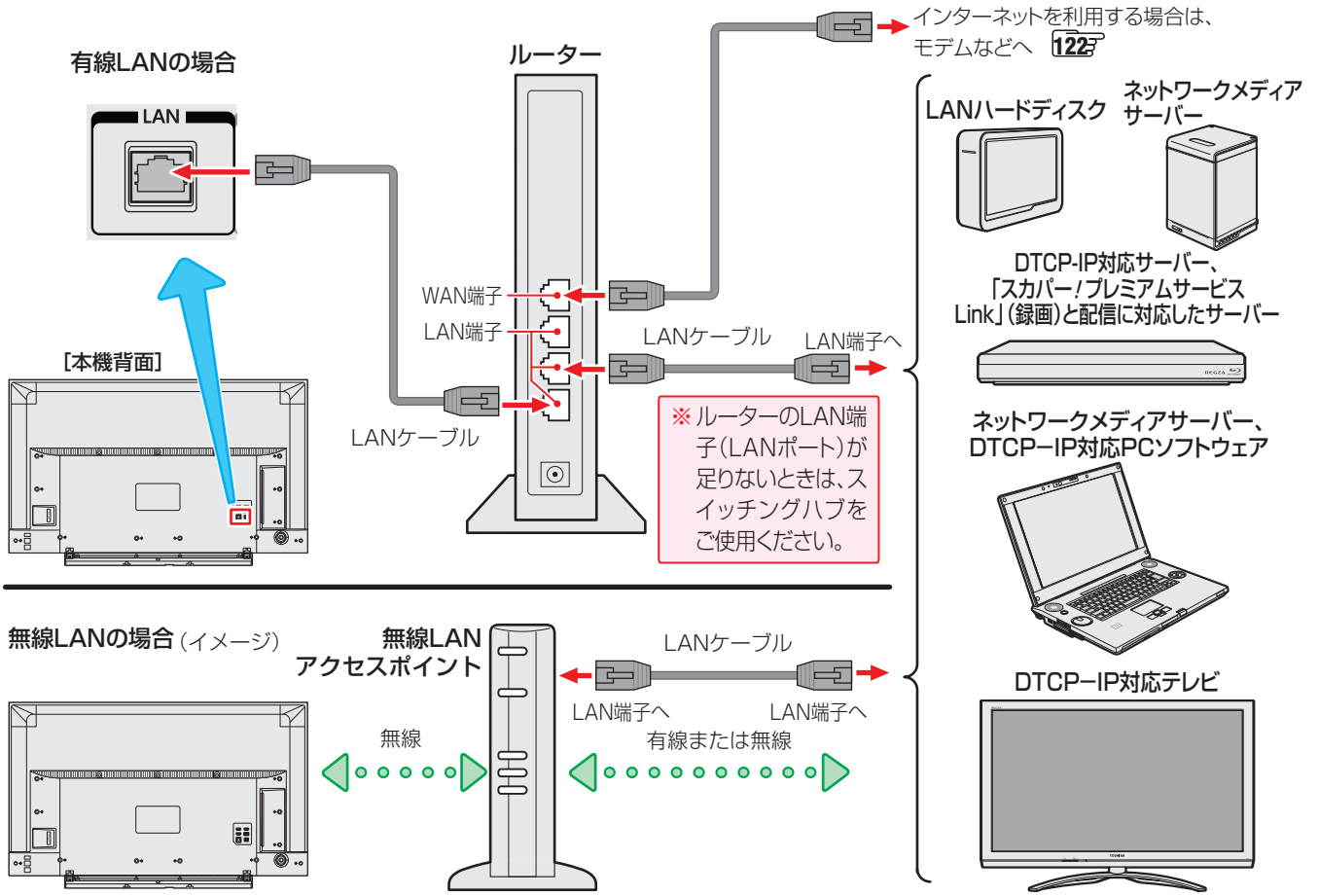
お知らせ

- ネットワークメディアサーバーが公開している一部のコンテンツ(本機対応フォーマット以外のコンテンツなど)は再生できないことがあります。
- DTCP-IP対応サーバーへのダビングを除き、他のネットワーク機器に本機から録画・ダビング・録音などをすることはできません。
- ネットワークメディアサーバーを接続した場合、2台目以降の機器が機器選択の画面に表示されるまでに15分程度の時間がかかることがあります(機器選択画面を終了させて、もう一度機器選択画面を出すと表示されることもあります)。
- すべてのDTCP-IP対応PCソフトウェアやDTCP-IP対応テレビが、本機のホームサーバー機能で配信する録画番組を再生できるわけではありません。
- 本機がネットワークメディアサーバー(動画)として公開するコンテンツは、録画した一部の放送番組に限定されます。
- 本機のご使用環境や動作状態によっては、配信の映像が乱れたり、配信できないことがあります。その場合、不要な動作があれば、それを中止してみてください。

ホームネットワークの接続をする

機器を接続する

● 有線LANのブロードバンドルーターの場合は、本機と機器を接続します。無線LANアクセスポイントの場合は、本機を無線LANで接続する設定をします（有線LANか無線LANのどちらかを選びます。両方を同時に使用することはできません）。



お知らせ

- 無線LANで接続していて、ネットワーク経由で映像を取得しているときに、その映像が止まったりノイズが出たりする場合は、無線LANアクセスポイントおよび本機の設定を見直すか、有線LANで接続してください。
- すべての無線LANアクセスポイントでの接続を保証するものではありません。
- 本機の設置環境によっては、無線LANを使用できないことがあります。
- 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、デジタル放送などの著作権保護付データをホームネットワーク上で視聴することができません。著作権保護無しのデータを取り扱う場合も、無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。 187

ホームネットワークの接続をする つづき

機器のネットワーク設定を確認する

- 「アドレス設定（ＩＰｖ４）」の「IPアドレス」、「DNSアドレス」ともに「自動取得」で使用する前提です。「ＩＰｖ６接続」が「利用する」の場合は、「アドレス設定（ＩＰｖ６）」の「 IPアドレス」、「DNSアドレス」も「自動取得」で使用する前提です。
- 接続機器側でMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、本機からのアクセスを許可するように設定してください。本機のMACアドレスは、「ネットワーク情報」128の操作で確認できます。
- LANハードディスクは本機に登録する必要があります。次ページの「LANハードディスクを本機に登録する」を参照し、登録してください。
- 本機で接続機器のネットワーク設定はできませんので、あらかじめルーターや接続機器側で設定してください（ルーターや接続機器の取扱説明書をご覧ください）。

❶ルーター、ネットワーク接続機器、本機の順に電源を入れる

❷「ネットワーク情報」128の操作で「アドレス情報（ＩＰｖ４）」の「ＩＰアドレス」を確認する

- ホームネットワーク接続機器のIPアドレスは、プライベートアドレス（下表の範囲のどれか）でなければなりません。

区分	使用できるアドレスの範囲
A	10.0.0.0 ～ 10.255.255.255
B	172.16.0.0 ～ 172.31.255.255
C	192.168.0.0 ～ 192.168.255.255

- 本機でインターネットにアクセスする場合、双方向サービス44、クラウドサービス132などを利用する場合は、ご使用のインターネット接続環境によっては本機のアドレスをグローバルアドレスに設定し直す必要があります。

❸「ＩＰｖ６接続」が「利用する」の場合は、「ネットワーク情報」128の操作で「アドレス情報（ＩＰｖ６）」の「アドレス」も確認する

- 以下のアドレスには設定できません

設定不可アドレス一覧

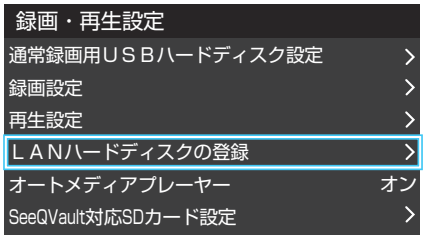
IPアドレス	
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000	未指定アドレス あるいは デフォルトルート（::/128、::/0）
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0001	ローカルアドレス（::1/128）
0100 0000 0000 0000 **** **** **** ****	破棄するトラフィック（0100::/64）
2001 001* **** **** **** **** **** ****	ORCHIDアドレス（2001:0010::/28）
2001 002* **** **** **** **** **** ****	ORCHIDv2アドレス（2001:0020::/28）
2001 0db8 **** **** **** **** **** ****	文書記述用アドレスプレフィックスを持つアドレス（2001:db8::/32）
fe8* **** **** **** **** **** **** ****	リンクローカルプレフィックスを持つアドレス（fe80::/10）
fe9* **** **** **** **** **** **** ****	リンクローカルプレフィックスを持つアドレス（fe80::/10）
fea* **** **** **** **** **** **** ****	リンクローカルプレフィックスを持つアドレス（fe80::/10）
feb* **** **** **** **** **** **** ****	リンクローカルプレフィックスを持つアドレス（fe80::/10）
ff** **** **** **** **** **** **** ****	マルチキャストアドレス（ff00::/8）
<プレフィックス長により異なる、下は64の例>	
**** **** **** **** 0000 0000 0000 0000	「サブネット・ルータ・エニーキャストアドレス」（インターフェイスIDがオール0）
デフォルトゲートウェイ、DNSアドレス	
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000	未指定アドレス あるいは デフォルトルート（::/128、::/0）
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0001	ローカルアドレス（::1/128）
0100 0000 0000 0000 **** **** **** ****	破棄するトラフィック（0100::/64）
2001 001* **** **** **** **** **** ****	ORCHIDアドレス（2001:0010::/28）
2001 002* **** **** **** **** **** ****	ORCHIDv2アドレス（2001:0020::/28）
2001 0db8 **** **** **** **** **** ****	文書記述用アドレスプレフィックスを持つアドレス（2001:db8::/32）
ff** **** **** **** **** **** **** ****	マルチキャストアドレス（ff00::/8）

ホームネットワークの設定をする

LANハードディスクを本機に登録する

- ホームネットワークに接続したLANハードディスクを本機で使用できるようにするには、LANハードディスクを本機に登録する必要があります。
- 登録を解除したり、LANハードディスクのユーザーIDを切り換えたりすることもできます。
- 登録および解除は、LANハードディスクの共有フォルダ単位になります（最大8フォルダまで登録できます）。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「録画・再生設定」⇨「LANハードディスクの登録」の順に進む



2 登録または解除する機器（共有フォルダ）を▲·▼で選び、決定 を押す

- 決定 を押すたびに、登録と未登録が交互に切り換わります。登録すると「登録番号」の欄にアイコン ⊢ が表示され、解除すると「未登録」と表示されます。

- 登録するハードディスクが表示されていない場合は、正しく接続されていることと、電源がはいっていることを確認して 赤 を押します。

ユーザーIDを切り換えるとき

- LANハードディスクに複数のユーザー（ユーザー名とパスワード）が登録されている場合、共有フォルダにアクセスする際のユーザーを切り換えるには、以下の操作をします。

① 青 を押す
ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

② ▲·▼·◀·▶で「ユーザー名」を選び、決定 を押す
文字入力画面が表示されます。

③「ユーザー名」を入力する
文字入力の方法は、161 をご覧ください。
※ スペースを含まない、最大15文字までの半角英数字で入力します。

④「パスワード」も同様にして入力する

⑤ ▲·▼·◀·▶で「入力完了」を選び、決定 を押す

- 正しく認証された場合は、入力されたユーザーIDでアクセスできる共有フォルダの一覧に切り換わります。
- ここで入力したユーザー名やパスワードは本機に記憶されます。

3 ▶で登録完了を選び、決定 を押す

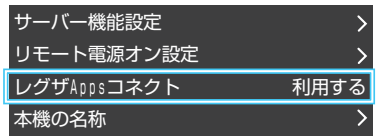
ホームネットワークの設定をする つづき

接続機器から本機を操作するための設定をする ～外部連携機能～

レグザAppsコネクトの設定

- スマートフォンやタブレットPCなどの端末機器と本機をホームネットワークに接続し、端末機器で本機やネットワーク内のレグザAppsコネクト対応機器を操作することができます。
- 本機のレグザAppsコネクト機能を使う場合は、以下の設定をします。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「外部連携設定」⇨「レグザAppsコネクト」の順に進む



レグザAppsコネクト

- レグザAppsコネクトを利用するか利用しないかを設定します。

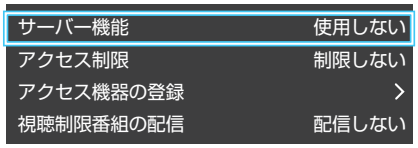
❶ ▲·▼で「利用する」または「利用しない」を選び、決定 を押す

サーバー機能設定

- 本機のサーバー機能を使うと、本機に接続されたUSBハードディスクの録画番組を、ホームネットワーク上のDTCP-IP対応PCソフトウェアやDTCP-IP対応テレビなどで視聴することができます。
  ※ 4K放送の録画番組はホームネットワーク上の機器で視聴できません。また、4K放送以外でも一部の録画番組が視聴できないことがあります。
- 本機のサーバー機能を使う場合は、以下の設定をします。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「外部連携設定」⇨「サーバー機能設定」の順に進む

2 設定する項目を▲·▼で選んで 決定 を押し、以降の手順で設定する



サーバー機能

- 本機のサーバー機能の使用方法を設定します。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定 を押す

- **使用しない**…… サーバー機能を使用しません。
- **使用する(常時)**… 本機の電源が「待機」や「切」のときにもサーバー機能を使用できます。
- **使用する(標準)**… 本機の電源が「待機」や「切」の場合、配信や録画およびダビングをしていない状態が30分間続くとサーバー機能が停止し、そのあと電源を入れるまで配信できなくなります。

- サーバー機能を使用する場合、ネットワーク環境によってはセキュリティ上の問題が起こる可能性があります。状況に応じて、次の「アクセス制限」および「アクセス機器の登録」の設定をしてください。

アクセス制限

● 本機にアクセスできる機器(DTCP-IP対応PCソフトウェア、DTCP-IP対応テレビ)を制限するかしないかを設定します。

※「制限しない」に設定した場合、無線LAN環境や他の人の機器が接続されている可能性があるネットワークでは、私的使用の範囲を超えて録画番組が他の人に公開されるおそれがあります。ネットワークの安全が確認できない場合には、「制限する」に設定します。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **制限しない**…ネットワーク上のすべての機器からアクセスできます。
- **制限する** ……次の「アクセス機器の登録」で登録した機器でだけアクセスできます。

アクセス機器の登録

● 「アクセス制限」を「制限する」に設定した場合、本機にアクセスする機器を登録または解除します。

● 機器はMACアドレスで特定されます。機器のMACアドレスの確認方法は、機器の取扱説明書でご確認ください。

❶ 機器を▲·▼で選び、決定を押す

● 決定を押すたびに、「☑」と「☐」が交互に切り換わります。登録には「✓」をつけます。

❷ 登録・解除の設定がすべて終わったら、▲·▼·◀·▶で「登録」を選び、決定を押す

視聴制限番組の配信

● 視聴制限番組を配信するかしないかを設定します。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- 配信しない…… 視聴制限番組はネットワーク上の機器に配信されません。
- 配信する …… 視聴制限番組をネットワーク上の機器に配信します。

本機の名称

● ホームネットワークに接続された機器から本機を識別するための情報(デバイスネーム)を設定することができます。

● お買い上げ時は本機の形名(例:REGZA-43M540X)に設定されています。

1 設定 **を押し、▲·▼と決定で「ネットワーク・サービス設定」⇨「外部連携設定」⇨「本機の名称」の順に進む**

2 **決定を押し、文字入力画面で新しい名前を入力する**

● 文字入力の方法は、161をご覧ください。

● 15文字以内で設定します。使用できる文字は半角大文字英数字と「-」です。

ホームネットワークの設定をする つづき

接続機器を本機から起動するための設定をする ～リモート電源オン機能～

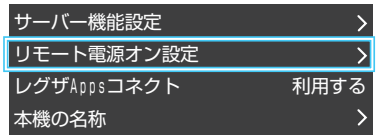
- ネットワーク接続での起動(Wake on LAN)に対応した機器を相互に登録しておくと、番組再生などの際に接続機器または本機が起動していないときに本機または接続機器の操作で相手の機器を起動する(電源を入れる)ことができます。
- 対象の機器を接続して電源を入れ、以下の操作をします。

※ 接続機器(Wake on LAN対応機器)側でも以下と同様の設定をしてください(接続機器の取扱説明書をご覧ください)。

- 本機のデバイスネームについては前ページの「本機の名称」を参照してください。本機のMACアドレスは「ネットワーク情報」128 の操作で確認することができます。

本機のリモート電源オン機能を設定する

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「外部連携設定」⇨「リモート電源オン設定」の順に進む



2 ▲·▼で「外部機器から電源オン」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定 を押す

- 「オン」に設定すると、Wake on LAN対応機器から本機を起動できるようになります。

ご注意

- 「オン」に設定すると、待機時の消費電力が増えます。

本機から起動する機器を登録する

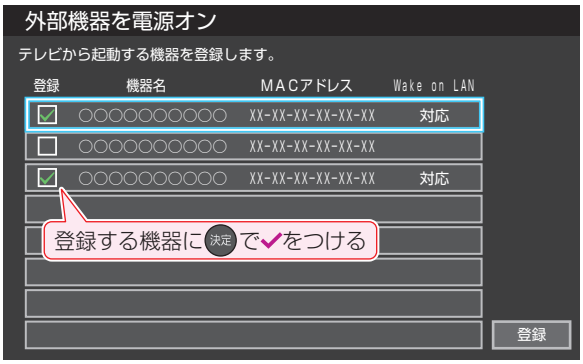
1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「外部連携設定」⇨「リモート電源オン設定」の順に進む

2 ▲·▼で「外部機器を電源オン」を選び、決定 を押す

- 「外部機器を電源オン」の画面が表示されます。対象機器がない場合は、内容が空欄になります。

3 本機から起動する機器を▲·▼で選び、決定 を押す(登録する)

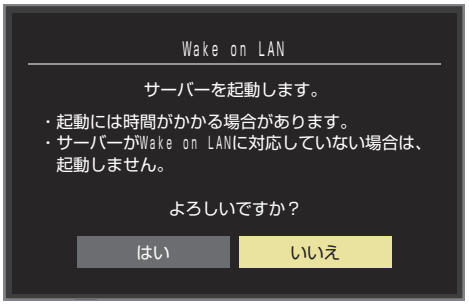
- 決定 を押すたびに☑と☐が交互に切り換わります。本機から起動する機器に✓をつけます。
- 「Wake on LAN」の欄の「対応」は、対応機器として本機が認識できた場合に表示されます。対応機器であっても本機が認識できない場合は表示されません。



4 選択が終わったら、▲·▼·◀·▶で「登録」を選んで 決定 を押す

再生時の機器選択について

- 本機の番組再生などの際に、登録した機器が起動していない場合は「機器選択」の画面に薄くなって表示されます。その機器を選択して 決定 を押すと「Wake on LAN」の画面が表示されます。
- 「Wake on LAN」の画面で、「はい」を選んで 決定 を押すと、機器を起動することができます。



- 登録した機器がWake on LANに対応していない場合は起動できません。
- 登録した機器がWake on LANに対応していても、機器の状態によって起動できないことがあります。

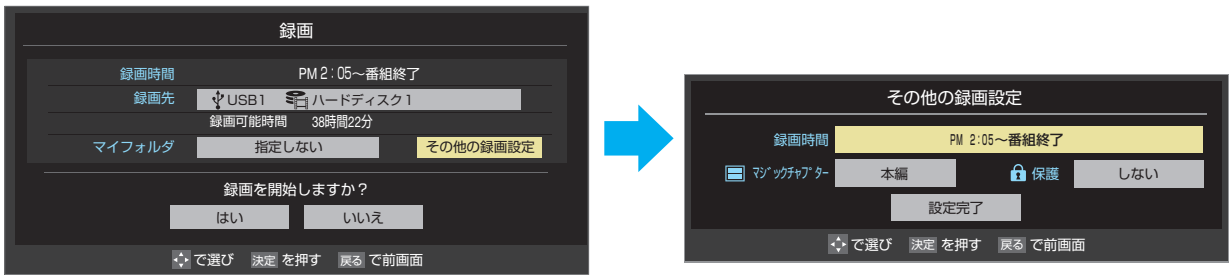
見ている番組を録画する

● 今見ているテレビ放送番組を簡単に録画することができます。テレビ番組視聴の途中で外出するような場合に便利です。
※ USBハードディスクに2番組同時録画中(W録中)はこの操作はできません。

1 テレビ放送を見ているときにサブメニューを押し、▲·▼で「録画」を選び、決定を押す

● 録画できない番組の場合は、サブメニューの「録画」は選べません。

2 録画設定を変更する場合は、▲·▼·◀·▶で「その他の録画設定」を選んで決定を押す



その他の録画設定でできる設定

●録画時間の変更

お買い上げ時の設定では視聴中の番組が終了するまで録画されます。終了時刻を指定するには以下の操作をします。

❶「録画時間」で決定を押し、「時間指定」で録画終了時刻を設定して決定を押す

❷「設定完了」を選び、決定を押す

録画予約や連ドラ予約の設定を変更する場合

● 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」71をご覧ください。

3 ▲·▼·◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

● 録画が開始されます。
● 外出する場合は、本機(テレビ)の電源を「待機」または「切」にします(録画は継続されます)。
※ 2番組の同時予約録画が始まるときは、この操作での録画は中止されます。

録画を中止するとき

● 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。録画予約での録画中の場合も同様です。
● USBハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。
※ レグザリンク対応の東芝レコーダーの録画は本機の操作では止まりません。機器側で録画停止の操作をしてください。

❶録画中に終了または■を押す

● 2番組同時録画(W録)をしている場合は、中止する録画番組を選択する画面が表示されます。録画を中止したい番組を▲·▼で選んで、決定を押します。

❷「録画中止」の画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

2番組同時録画(W録)について

● 本機は、デジタル放送の二つの番組を同時に録画することができます。
● BS・110度CSの4K放送の二つの番組を同時に録画することはできません。
● 一つの有料番組でW録はできません。
  • 一つの有料番組に複数の予約が重複した場合、録画されるのは一つだけです。
  • 録画中の有料番組を視聴中に録画の操作をしても録画(W録)は開始されません。

番組表で予約をする

● 番組表で録画したい番組を選んで予約します。

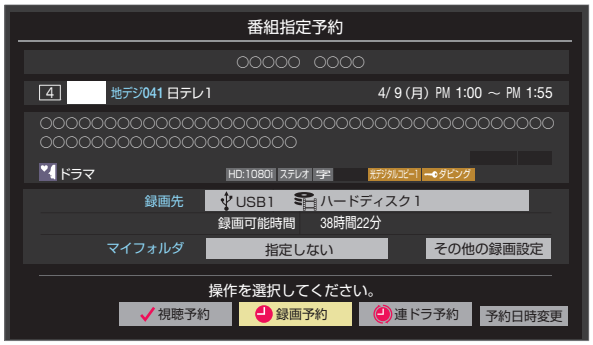
1 番組表を押して、番組表を表示させる

2 予約する番組を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

● 番組指定予約画面が表示されます。

3 以下の操作で予約をする

● 録画機器や設定を変更する場合は、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」71 の操作をします。



❶ ▲·▼·◀·▶で「視聴予約」、「録画予約」、「連ドラ予約」のどれかを選び、決定を押す

- **視聴予約**：指定した番組の視聴を予約します。
- **録画予約**：指定した番組の録画を予約します。
- **連ドラ予約**：同じ番組を毎回録画します。69
  ※ レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合は、「毎予約」が表示されます。

❷「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

予約する日時を変更する場合

● 再放送番組などで、1話から3話まで連続して放送される場合など、1話目を番組表で予約し、以下の操作で終了時間を3話目の終了時間に変更すると、1話から3話まで一つの録画予約にすることができます。

❶ ▲·▼·◀·▶で「予約日時変更」を選び、決定を押す

❷ メッセージが表示されたら、◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

❸「日時を指定して予約をする」70 の手順3 以降の操作をする

視聴予約について

● 視聴予約の時刻に電源が「待機」の場合、電源が「入」になります。

視聴制限番組について

● 視聴制限番組について、詳しくは「視聴できる番組を制限する」151 をご覧ください。
● 番組表で視聴制限を一時解除するときは、「番組表で視聴制限を一時解除する」41 をご覧ください。

メッセージが表示された場合

「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」が表示された場合

❶ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す
● 新規予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

❷ 予約を取り消す番組を▲·▼で選び、決定を押す
● 決定を押すたびに☑と☐が交互に切り換わります。
● ✓をつけた番組の予約が取り消されます。

❸ 赤を押して、取り消しを実行する

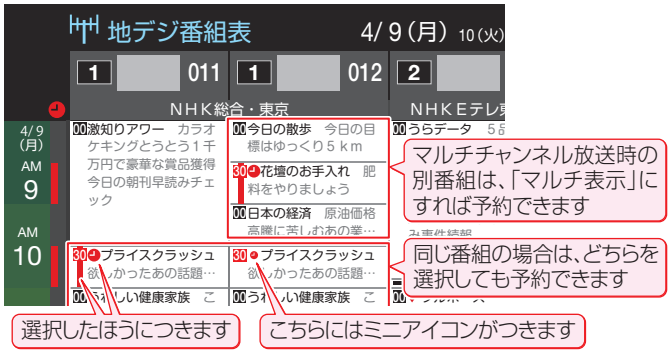
「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

❶ 決定を押す

❷「予約の確認・変更・取り消しをする」72 の操作で予約を一つ以上取り消してから、再度予約をする

マルチ表示の番組表で予約するとき

● 一つの放送局で別の番組を放送している場合、その番組を予約するには番組表を「マルチ表示」40 に切り換えます。
● マルチ表示の番組表で同じ番組が並んでいる場合は、どちらを選択しても予約できます。



お知らせ

● 放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
● 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
● 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。38 (東芝レコーダーへの予約は表示されません)
● 予約の確認や取り消しについては72 を、予約の優先順位については74 をご覧ください。
● 本機で「毎予約」で予約しても、機器によっては受け付けない(録画しない／録画機能が働かない)ことがあります。

連続ドラマを予約する

● 連続ドラマや連日放送されている同じ番組などを、毎回自動的に録画されるように予約することができます。
※ 録画機器がUSBハードディスクの場合に連ドラ予約ができます。

ご注意
● 本機では、PPV（ペイ・パー・ビュー）番組の連ドラ予約を禁止しています。PPV（ペイ・パー・ビュー）番組を連ドラ予約した場合、録画は実行されません。

1 番組表を押して、番組表を表示させる

2 連ドラ予約をする番組を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

● 現在放送中の番組を選んだ場合は「番組指定録画」画面が、これから放送される番組を選んだ場合は、「番組指定予約」画面が表示されます。

3 番組の録画先をUSBハードディスクに設定する

● 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」71の操作で、「録画先」を設定します。

4 ▲·▼·◀·▶で「連ドラ予約」を選び、決定を押す

● 画面の図は、「番組指定予約」画面の場合の例です。

5 「連ドラ予約」画面で内容を確認する

● 番組名（連ドラ）や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認してください。

「連ドラ予約」がより正しく実行されるために

「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」71の操作で「連ドラ設定」の画面を表示させ、「追跡キーワード」の確認・編集をすることをおすすめします。

6 ▲·▼·◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

7 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

視聴中の番組を連ドラ予約する場合

❶ サブメニューを押し、▲·▼で「連ドラ予約」を選んで決定を押す
❷ 手順5～7の操作をする

連ドラ予約の動作について

● 連ドラ予約は、追跡基準（指定した番組の放送曜日と開始時刻）と、追跡キーワード（番組名など）を基に、次回の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。
※ 追跡基準（開始時刻）の前後約2時間が検索されます。
● 追跡キーワードには連ドラ予約をした番組の番組名、追跡基準には番組の放送時間が自動で設定されます。

お知らせ
● 電源を「入」にしてからしばらくの間は連ドラ予約ができません。
● 連ドラ予約後に、番組情報が取得できなくなった場合や、追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されません。
● 予約の確認や取り消しについては72を、予約の優先順位については74をご覧ください。

日時を指定して予約をする／番組を検索して録画・予約をする

日時を指定して予約をする

1 予約リスト を押す

- サブメニュー を押し、▲·▼と 決定 で「予約リスト」を選んでも同様の操作ができます。

2 青 を押す

- 日時指定予約画面が表示されます。
- 視聴制限番組は表示されません。
  表示させるときは、緑 を押して、視聴制限一時解除してください。

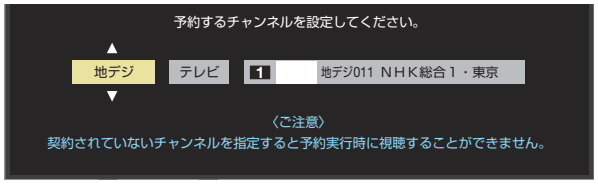
3 録画予約の日時を設定する

❶ 設定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で日時を設定する

- 6週間先まで指定できます。
- 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰り返し録画も選べます。
- 設定できる時間は最大23時間59分です。

❷ 設定が終わったら、決定 を押す

4 録画するチャンネルを設定する



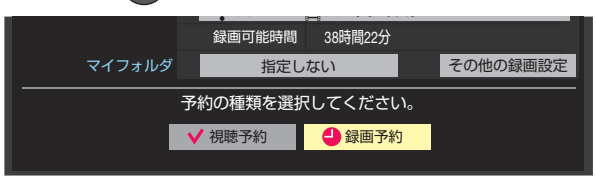
❶ 設定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で内容を選ぶ

- 放送の種類……地デジ／BS／CS／BS/CS 4K
- 放送メディア……テレビ／ラジオ(BS、110度CSだけ)／データ
- チャンネル……指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

❷ 設定が終わったら、決定 を押す

5 録画設定を変更する場合は、71 の手順で操作をする

6 ▲·▼·◀·▶で「視聴予約」または「録画予約」を選び、決定 を押す



7 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定 を押す

メッセージなどが表示された場合

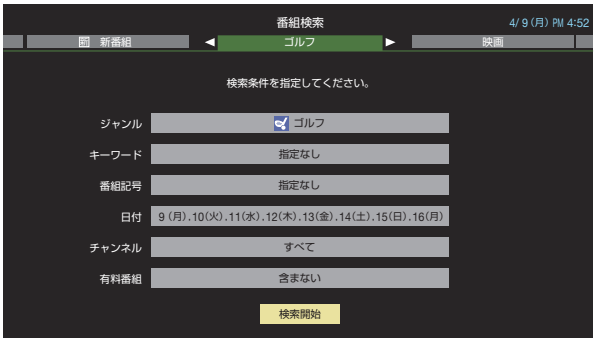
- 「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」、「予約数がいっぱいです。」のメッセージ表示された場合の操作については、68 をご覧ください。

番組を検索して録画・予約をする

1 番組表 を押して、番組表を表示させる

2 緑 (番組検索)を押す

- 番組検索画面が表示されます。



3 「条件を絞りこんで番組を探す」42 の手順3 ～ 5 の操作をして、録画・予約したい番組を検索する

4 「番組検索結果」画面から録画したい番組を▲·▼で選び、決定 を押す

5 録画・予約をする

- 操作方法は、「番組表で予約をする」68 の手順3 と同じです。
- 放送予定の番組を選んで予約をした場合には、「番組検索結果」の画面に戻ります。ほかの番組の予約を続けることができます。

お知らせ

- 日時指定予約では放送時間連動の設定はできません。
- 予約の確認や取り消しについては 72 を、予約の優先順位については 74 をご覧ください。

録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき

1 録画・録画予約・連ドラ予約画面などで、「その他の録画設定」を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

● 録画・録画予約の「録画先」、「マイフォルダ」の設定は、画面上の「録画先」、「マイフォルダ」を選んで変更します。

「録画先」を変更するとき

❶ 録画・録画予約画面で、「録画先」を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

❷ ▲·▼で設定したい録画先を選び、決定を押す

「マイフォルダ」を変更するとき

❶ 録画・録画予約画面で、「マイフォルダ」を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

❷ ▲·▼で設定したいフォルダグループを選び、決定を押す

2 設定する項目を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

※ そのときの状況によって、設定や変更ができない項目があります(「×」は設定がありません)。

3 ▲·▼で内容を選び、決定を押す

4 ▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定を押す

項　目	内　容	USB ハードディスク	レグザリンク対応の東芝レコーダー
録画先	• 録画をする機器を選びます。	○	○※
マイフォルダ	• 番組の再生時に探しやすくするために、録画時にフォルダ分けします。 再生のときに録画リストを「マイフォルダ別」の表示にすれば、保存した「マイフォルダ」の中から番組を探すことができます。「マイフォルダ」の名称は変更することができます。83	○	×
マジックチャプター	• 「本編」に設定すると、本編とCMの間でチャプター(章)が分割されます。 • 「音楽」に設定すると、楽曲の前後でチャプターが分割されます(メインジャンルが「音楽」またはメインジャンルが「バラエティ」でサブジャンル「音楽バラエティ」のときだけ)。 • 「本編と音楽」に設定すると、「本編」と「音楽」の両方の条件でチャプターが分割されます。 • マジックチャプターの機能を使わないときは、「オフ」に設定します。 • 録画済の番組でチャプター編集をすることもできます。83 ※ 番組内容などによってはチャプター分割ができなかったり、分割位置がずれたりすることがあります。 ※ チャプター数の上限(99個)に達すると、それを超えるチャプターの作成はできなくなります。	○	×
保護	• 録画する番組を保護する(消さないようにする)かどうかを設定します。 録画後に設定することもできます。82	○	×
連ドラ	• 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラの名称を編集することができます(再生の際に「連ドラ別」の録画リストから番組を探しやすい名称などに編集します)。 • 文字入力の方法は、161をご覧ください。 • 連ドラの名称(連ドラグループ名)はあとで変更することもできます。83	○	×
追跡キーワード	• 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラ予約の追跡キーワードを編集することができます(1回の放送に限られるようなキーワードは削除しておきます)。	○	×
追跡基準	• 必要に応じて、連ドラ予約をする番組の録画曜日と時間を設定することができます。	○	×
上書き録画	• 連ドラ予約の場合に上書き録画の設定をします。 上書き録画にすると前回の録画番組が削除されます。	○	×
放送時間	• 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です(放送時間の繰り上げには対応できません)。 • ほかの予約と時間帯の一部が重なったときの優先順位については74をご覧ください。	○	○
録画品質	• 「録画品質」を選択すると、設定メニューが表示されます。 • 「ハイビジョン画質(DR)」 デジタル放送をそのままの画質で録画します。 • 「録画先の設定画質」 録画機器側で設定されている録画モードから選択します。	×	○

※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画予約した番組は本機では確認や設定の変更などはできません。レコーダー側で確認や取り消しなどの操作をしてください。

予約の確認・変更・取り消しをする

● 予約の確認や取り消し、録画設定や連ドラ設定の変更をすることができます。

※ **レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画予約した番組は本機では確認や設定の変更などはできません。レコーダー側で確認や取り消しなどの操作をしてください。**

1 予約リスト を押す

● サブメニュー を押し、▲・▼と 決定 で「予約リスト」を選んでも同様の操作ができます。

● 視聴制限番組は表示されません。
表示させるときは、緑 を押して、視聴制限一時解除してください。

2 予約の確認や変更、取り消しをする番組を▲・▼で選び、決定 を押す

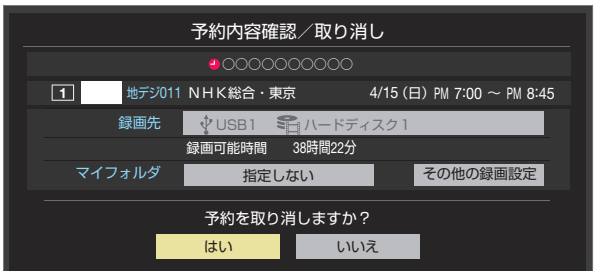
録画や予約状況、上書き保存などのアイコンが表示されます。
は予約時間が重複する番組が3番組以上あると、重複アイコンが表示されます。
は放送時間変更などで同一の有料番組に予約が重複したときに表示されます。この場合、録画されるのは一つです。(一つの有料番組でW録はできません)

● たとえば、3番組以上の重複があるような場合などは、その中からどれか予約を取り消す番組を選択します。

3 以下の操作をする

予約を取り消すとき

❶ ◀・▶ で「はい」を選び、決定 を押す



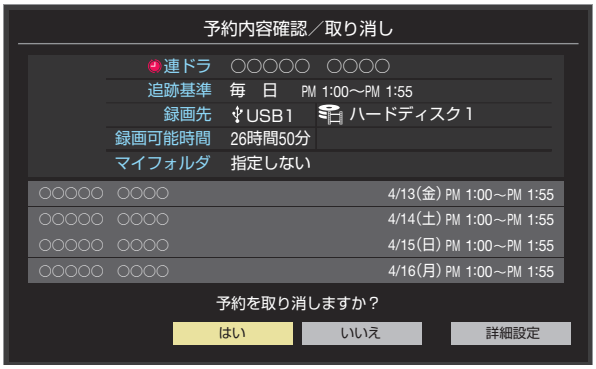
※ BS・110度CSの4K放送PPV（ペイ・パー・ビュー）番組の予約を取り消しても、購入手続きは取り消されません(予約を取り消しても購入情報が残ります)。

録画設定を変更するとき

● 前ページの「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」の操作をします。

連ドラ予約を取り消すとき

❶ ◀・▶ で「はい」を選び、決定 を押す



● 予約時間が3番組以上重なっているときは、が表示されます。

● 同一の有料番組が重なっている場合は、が表示されます。

※ 連ドラ予約を取り消すと、直近の録画予約番組(録画中を含む)から予約が取り消されます。

予約内容を変更する場合

❶ ▲・▼・◀・▶で「詳細設定」を選び、決定 を押す

❷ ▲・▼で設定を変更する項目を選び、決定 を押す

● 設定画面に表示されている項目の内容については、前ページの「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」の表を参照してください。

❸ ▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、決定 を押す

おまかせ録画

● おまかせ録画はクラウドサービスを利用して、興味のあるキーワード(人物も含む)に関する番組を自動録画する機能です。
おまかせ録画は、USB(通常録画)端子に接続したUSBハードディスクに録画されます。おまかせ録画について詳しくは、ホームページ(http://timeon.jp/)をご覧ください。
※ おまかせ録画は、録画を保証するものではありません。確実に録画したい番組は、番組表などから録画予約をしてください。

おまかせ録画に必要な準備

● おまかせ録画を利用するには、以下の接続と設定が必要です。

必要な接続・設定	記載ページ
• インターネットを利用するための接続をする。	122
• インターネットを利用するための設定をする。	123 ～ 130
• 「ネットワークサービス利用設定」を「利用する」に設定する。	129
• 興味のあるキーワードや人物の「みるコレ パック」※を登録する。	—

※「みるコレ パック」については、クラウドサービスのホームページ(http://timeon.jp/)をご覧ください。

おまかせ録画について

おまかせ録画の設定について

● みるコレ を押して、クラウドサービスの画面を表示させ、クラウドサービスの画面から設定します。
- タイムシフト リンク を押して「おまかせ録画番組表」を選択し、表示される画面からも設定できます。
- おまかせ録画の設定については、クラウドサービスのホームページ(http://timeon.jp/)をご覧ください。

録画について

● 地上デジタル放送／BSデジタル放送／110度CSデジタル放送／新4K8K衛星放送のテレビ放送を録画します。
- 字幕放送・映像／音声ESは録画されます。
- 視聴年齢制限番組、非契約番組は録画されません。

● おまかせ録画と番組表などから予約した通常録画予約が重なる場合は、通常録画予約が優先されます。
- 通常録画予約とおまかせ録画の予約が同時間帯に3件以上になったときは、通常録画予約が優先されおまかせ録画は予約されません。おまかせ録画予約が先に行われている場合は、番組表などから通常録画予約の操作をすると、予約が重なっていることをお知らせする画面が表示されます。

● おまかせ録画の最大予約件数は32件です。
- おまかせ録画予約の設定をすると、おまかせ録画予約用に予約件数を32件確保されます。このとき、通常録画予約の最大予約件数は96件になります。

USBハードディスクの録画領域について

● おまかせ録画は、通常録画とは別にUSBハードディスクに録画領域を用意します。
- おまかせ録画領域の設定は、クラウドサービスの画面から行います。
- 通常録画領域とおまかせ録画領域を合わせて、USBハードディスクの総容量となりますので、ご注意ください。

● 録画番組は、通常録画とおまかせ録画を合わせて3000件まで録画できます。

おまかせ録画を設定しているときの録画予約と録画番組について

● おまかせ録画の設定をすると、対象番組におまかせ録画アイコン(録画された番組にはおまかせ録画番組アイコン)がつきます。また、録画リストの分類タブに「おまかせ」が追加されます。

おまかせ録画の自動削除について

● おまかせ録画番組は、おまかせ録画領域の容量が足りなくなると、古い番組から順に自動削除されます。
- おまかせ録画の自動削除は解除できません。

おまかせ録画から通常録画への変更について

● おまかせ録画予約またはおまかせ録画番組は、以下の操作で通常録画予約または通常録画番組に変更することができます。
- おまかせ録画予約は、予約内容確認画面で 青 を押すと通常録画予約に変更できます。
- おまかせ録画番組は、録画リストで サブメニュー を押し、「通常番組に変更」を選ぶと、通常番組に変更できます。
- おまかせ録画番組は、ダビングすると自動的に通常番組に変更されます。

おまかせ録画でのご注意

● 画面に表示される録画可能時間は、USBハードディスクの通常録画領域の容量を基に表示されます。

● おまかせ録画の設定を解除したり、おまかせ録画の録画先のUSBハードディスクを変更したりすると、おまかせ録画予約は、すべて削除されます。
- おまかせ録画番組は削除されません。

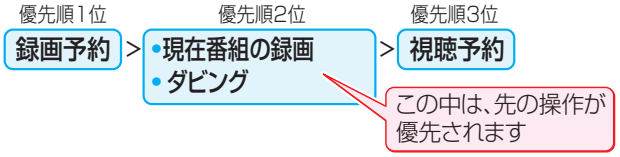
● 「ネットワークサービス利用設定」129 を「利用しない」に変更すると、おまかせ録画の設定は解除されます。

予約・録画の優先順位と予約の動作について

予約・録画の優先順位について

「録画予約」が最優先されます

- 録画予約と他の録画や視聴予約などが重なった場合、録画予約が優先されて、他の録画や視聴予約は中止または取り消しになります。



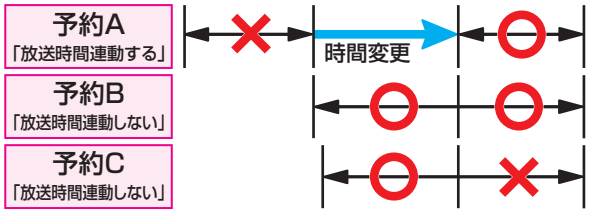
放送時間が変更されたとき

- 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

- 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。

例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Cは録画されません。予約Bと予約Cの録画開始時刻が同じ場合は、先に予約を登録したほうが優先されます。

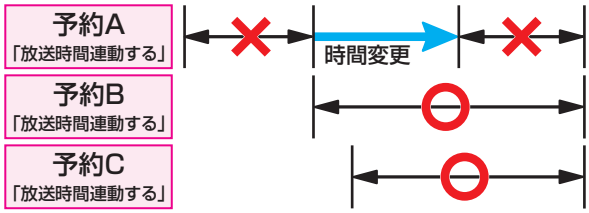


「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

❶ 開始時刻が変更された場合

- 開始時刻の早い予約が優先されます。

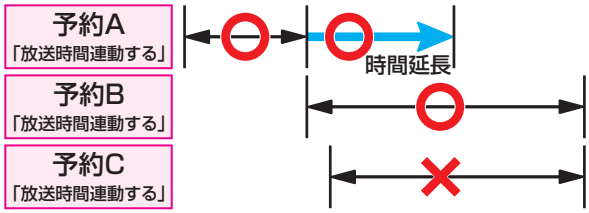
例 予約Aの変更後の開始時刻よりも、予約Bと予約Cの開始時刻が早くなるので、予約Aは取り消されます。



❷ 放送時間が延長された場合

- 先に録画を開始した番組の時間延長が優先されます。

例 先に録画を開始し、放送時間延長に対応した予約Aが優先されます。開始時刻の遅い予約Cは取り消されます。



❸ 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

- 予約を登録した順に2番組まで録画されます。

- 番組情報が更新されるタイミングによっては正しく録画されないことがあります。
- 終了時刻が未定のままで、継続して録画される時間は3時間までです。
- 番組情報（放送時間）が変更され、「録画予約」と「連ドラ予約」が同時刻で重なった場合は「録画予約」が優先録画されます。

予約の動作について

- 予約設定後、本機の動作は以下のようになります。

※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに予約した場合は、予約終了の時点で本機の関与は終了し、以下の動作はしません。

予約した番組放送が始まるとき

- 予約を中止する場合は、終了 または ■ を押します。
- 録画予約の場合は、予約した番組のチャンネルに切り換わることがあります。
- 予約した視聴制限のある番組が始まるときは、メッセージが表示されます。決定 を押し、暗証番号 1517 を入力してください。

予約した番組の放送中

- 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、録画中を知らせるメッセージが表示されます。
- 録画予約した番組の録画が始まると、左記の優先順に従って他の録画は中止されます。

予約した番組の終了後

- 本機を通常どおり使用できます。

録画した番組を再生する

- USBハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。
- ネットワークメディアサーバーの動画再生については「動画を再生する」116 をご覧ください。

再生の基本操作とさまざまな再生のしかた

1 録画リスト を押す

2 必要に応じて録画リストの表示を変える

- 分類タブとグループタブについては、下の図を参照してください。

❶ « ・ » で分類タブを切り換える

- **すべて**……すべての録画番組が表示されます。
- **おまかせ**……「おまかせ録画」で録画された録画番組が表示されます。
- **未視聴**……未再生の録画番組が表示されます。
- **曜日別**……録画した曜日ごとに表示されます。
- **ジャンル別**……ドラマや映画などのジャンルごとに表示されます。番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
- **連ドラ別**……「連ドラ予約」の予約ごとに表示されます。
- **マイフォルダ別**…指定した「マイフォルダ」ごとに表示されます。

❷ ◀·▶でグループタブを切り換える

- 分類が「すべて」「おまかせ」「未視聴」の場合はグループタブはありません。
- 分類が「すべて」以外の場合は、分類タブとグループタブで選ばれた番組だけリストに表示されます。
- 分類が「おまかせ」「未視聴」の状態で、録画リストを表示しなおした場合、分類は「すべて」の状態になります。
- 視聴年齢制限番組は表示されません。表示させるときは、サブメニュー を押してから、「視聴制限一時解除」を選んで 決定 を押してから暗証番号を入力してください。

3 見たい番組を▲·▼で選び、決定 を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生されます（レジューム再生）。
- 番組を最後まで再生し終わると、そのまま静止状態になり、しばらくするとテレビ放送になります。
- 再生中にできるリモコン操作については、次ページをご覧ください。

4 番組再生を終了するには、■ または 終了 を押す

- 放送画面などに戻ります。

番組の冒頭から再生する－頭出し再生

❶ 再生する番組を選んでから、サブメニュー を押し、▲·▼で「頭出し再生」を選んで 決定 を押す

録画中の番組を再生する－追っかけ再生

❶ 録画中の番組を▲·▼で選んで 決定 を押す

チャプターの一覧画面から再生する

- チャプターが分割されている録画番組でできます。

※ BS・110度CSの4K録画番組は、「チャプター一覧画面」の操作はできません。

❶ 再生する番組を▲·▼で選んで 緑 を押す

- チャプター一覧画面が表示されます。

❷ 再生するチャプターを▲·▼·◀·▶で選んで 決定 を押す

- 選択したチャプターの先頭から再生が始まります。

再生中にタイムサーチで再生位置を指定する

❶ サブメニュー を押し、▲·▼で「サーチ」を選んで 決定 を押す

- 画面右上に サーチ－－:－－:－－ が表示されます。

❷ 1 ～ 10 (0) で時間を指定する

例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき
10 (0) 1 2 5 10 (0) 5 の順に押します。

録画リスト（例）

お知らせ

- 番組冒頭部分の約2秒間を飛ばして再生が始まります（録画は番組開始時刻の約2秒前から開始されるようになっています）。

■ 録画リストについて

- 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまでに少し時間がかかります。
- 録画リストに表示できる最大数は、通常番組が3000とSeeQVault™形式の番組が3000で合計6000件までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。
- 機器に記録されている情報によっては、選択中の録画番組の情報が正しく表示されないことがあります。

録画した番組を再生する つづき

録画番組の再生中にできるリモコン操作

ボタン	内　容
▶/視聴	一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。 • 再生中に繰り返し押すと、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 • 放送番組の視聴中に押すと、USBハードディスクで前回再生した番組の続きから再生されます。
静止 ⏸	再生中に押すと一時停止になり、もう一度押すと再生が再開されます。
■	再生を終了し、放送画面などに戻ります。
▶▶	早送り再生をします（押すたびに速さが変わります）。 • 一時停止中に押すとコマ送りができます。 • 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押すと、押すたびにスロー再生の速さが変わります（3段階）。
◀◀	早戻し再生をします（押すたびに速さが変わります）。 • 一時停止中に押すと0.5秒ほど戻って一時停止になります。番組によっては、戻る時間が大きくなることがあります。 • 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。
◀·▶	再生中に押すと、20ポイントに分割された番組の前後のポイントへスキップします。 • 録画時間が短い番組では動作しないことがあります。 • シーン検索のように、◀·▶を別に使う機能では、この機能は使えません。
»	再生中または早見早聞での再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します（ワンタッチスキップ）。
«	再生中または早見早聞での再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します（ワンタッチリプレイ）。
▶▶|	次のチャプターの先頭にスキップして再生します。 • チャプターのない録画番組では録画日時が一つ次の番組を再生します。
|◀◀	現在のチャプターの先頭にスキップして再生します。再生してから4秒以内に押した場合は、一つ前のチャプターの先頭にスキップします。 • チャプターのない録画番組では再生中の番組の先頭に戻って再生します。再生してから4秒以内に押した場合は、録画日時が一つ前の番組の先頭にスキップします。
録画リスト	再生中に押すと、録画リストが表示されます。 • 放送番組視聴時などに押した場合も録画リストが表示されます。

※ BS・110度CSの4K録画番組は、「早見早聞」「スロー再生」「連続コマ戻し再生」「コマ送り」「コマ戻し(0.5秒戻し)」の操作はできません。
※ 録画番組によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。
※ 録画中の番組再生での早送り/早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。
※ 録画番組を特殊再生しているときは、字幕の表示ができません。
※ 録画番組によっては、一時停止やワンタッチスキップなどの特殊再生操作をしたときに映像が表示されなくなることがあります。その場合は、▶/視聴 で通常再生に戻してから再度特殊再生の操作をしてください。

ワンタッチスキップ／ワンタッチリプレイの時間を変更する

● ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間を変更することができます。お買い上げ時の設定のように、飛ばす時間よりも戻す時間を短く設定しておくと、飛ばしすぎて戻すときに便利です。

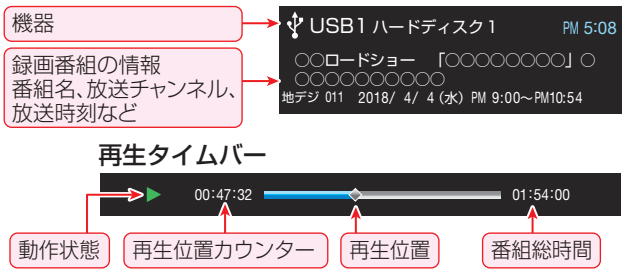
❶ 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「録画・再生設定」⇨「再生設定」の順に進む
❷ ▲·▼で「ワンタッチスキップ設定」または「ワンタッチリプレイ設定」を選び、決定 を押す
❸ ▲·▼で時間を選び、決定 を押す

録画番組の情報や番組説明を見る

番組の情報を見る

❶再生中に 画面表示 を押す

- 再生中の番組の情報が表示されます。
- しばらくすると番組情報の表示は消えます。



❷表示を消すには、もう一度 画面表示 を押す

番組説明を見る

❶ 番組説明 を押す

- 番組説明画面が表示されます。
  - サブメニュー を押し、▲·▼と 決定 で「番組説明」を選んでも同様の操作ができます。

❷番組説明画面を消すには、 終了 を押す

- しばらく放置した場合にも消えます。

録画番組を修復する

- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いてしまったりすると録画番組が正しく保存されず、そのままでは再生できません。このような場合、「録画番組の修復」をすると、録画された内容を再生できるようになることがあります。

❶ 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「録画・再生設定」⇨「通常録画用USBハードディスク設定」の順に進む

❷▲·▼で「録画番組の修復」を選び、 決定 を押す

❸番組を修復する機器を▲·▼で選び、 決定 を押す

❹確認画面で、◀·▶で「はい」を選び、 決定 を押す

- 修復の処理が始まります。終わるまでそのままお待ちください。

❺「録画番組の修復を行いました。」が表示されたら、 決定 を押す

- この操作には、30分程度かかることがあります。
- 録画番組を修復できなかった場合は、「録画番組の修復ができませんでした。」が表示されます。

※ 録画番組が修復できた場合でも、通常再生以外の再生機能は正しく動作しないことがあります。

シーン検索について

- シーン検索 を押すと、番組をより便利に楽しくお使いいただけるクラウドサービスが利用できます。シーン検索については、クラウドサービスのホームページ(http://timeon.jp/)をご覧ください。

シーン検索の利用に必要な準備

- インターネットへの接続と設定 122 ～ 130 が必要です。
- 「ネットワークサービス利用設定」 129 の設定が必要です。

お知らせ

- クラウドサービスのご利用については「クラウドサービスとネットワークサービスについて」 132 をご覧ください。

見たい録画番組を探して再生する

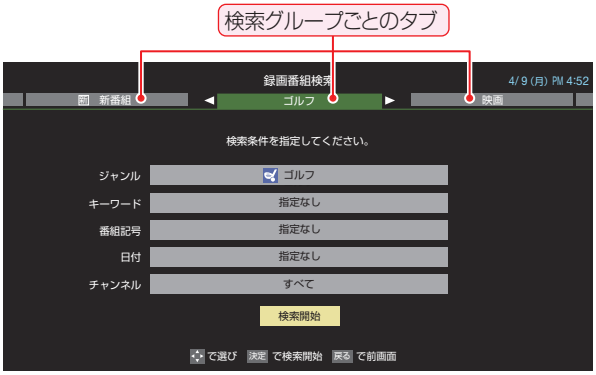
- USBハードディスクに録画した番組の中から、視聴したい番組を探すことができます。
- ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して録画番組を検索します。
- 録画番組のグループ(タブ)ごとに検索条件を設定できます。

1 録画リストの表示中にサブメニューを押す

2 ▲·▼で「番組検索」を選び、決定を押す

- 録画番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを◀·▶で選ぶ



4 検索条件を指定する

- 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」の指定方法は、「条件を絞りこんで番組を探す」42ページの手順4と同じです。ほかの項目は以下の手順で指定します。

「日付」を指定するとき

❶ ▲·▼で「日付」を選び、決定を押す

❷ ◀·▶で左端の欄に移動し、▲·▼で「指定する」を選ぶ

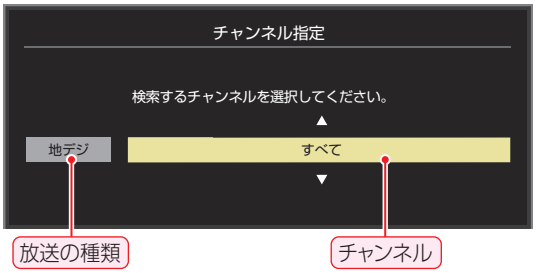
❸ ◀·▶で欄を移動し、検索範囲の開始～終了の年、月、日を▲·▼で選ぶ

❹ 指定が終わったら、決定を押す

「チャンネル」を指定するとき

❶ ▲·▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

❷ 指定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で内容を選ぶ



- **放送の種類…** すべて／BS／CS／地デジ／BS/CS 4K
- **チャンネル…** 指定した放送の種類に該当するチャンネル／すべて

❸ 指定が終わったら、決定を押す

5 ▲·▼·◀·▶で「検索開始」を選び、決定を押す

- 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
- 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

6 見たい録画番組を▲·▼で選び、決定を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。

録画リストのさまざまな機能を使う

● 録画リストの表示中に以下のさまざまな機能を使うことができます。

繰り返し再生の設定を変える

● 録画番組の繰り返し再生(リピート再生)を設定することができます。
● 設定した状態は本機に記憶されます。

1 サブメニュー を押し、▲·▼で「再生設定」を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で以下から選び、決定 を押す

- **1コンテンツリピート**……選択した一つの番組の再生を繰り返します。
- **リピート**……すべての番組の連続再生を繰り返します。
- **オフ**……繰り返し再生をしません。

● リピート再生をしているときは、画面左上にリピート再生アイコンが表示されます(1コンテンツリピート:↻1、リピート:↻)。
● 録画中の番組はリピート再生ができません。

番組を並べ替える

● 録画リストに表示される番組の並び順を変えることができます。

1 サブメニュー を押し、▲·▼で「並べ替え」を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で以下から選び、決定 を押す

- **新しい順**……日付の新しい順に表示されます。
- **古い順**……日付の古い順に表示されます。

ほかの機器を選択する

● 再生する機器を変更するには以下の操作をします。

1 青 を押す

● 機器選択画面が表示されます。
※ 機器が1台しか接続されていない場合は、メッセージが表示されます。

2 使用する機器を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す

連ドラ予約をする

● 録画リストに表示されている番組を選んで、「連ドラ予約」をすることができます。

1 連ドラ予約にする番組を▲·▼で選び、サブメニュー を押す

2 ▲·▼で「連ドラ予約」を選び、決定 を押す

3 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

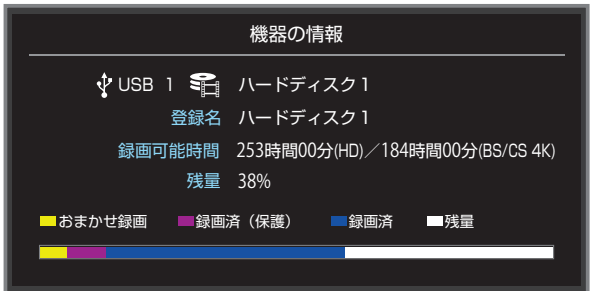
● 番組名や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。
● 設定を変更する場合は、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」71の操作をします。

機器の情報を確認する

● 使用中の機器の情報を確認します。
● USBハードディスクの残量も画面で確認できます。
※ 残量表示や録画可能時間表示は、あくまでも目安であり、保証するものではありません。
※ USBハードディスクの残量は、BS·110度CSデジタルハイビジョン放送(24Mbps)とBS·110度CSの4K放送(33Mbps)の録画が可能な時間を基準に算出しています。地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

1 サブメニュー を押し、▲·▼で「機器の情報」を選んで 決定 を押す

● 機器の情報画面が表示されます。
例:USBハードディスクの場合



2 情報画面を消すには、決定 を押す

次みるナビで楽しむ

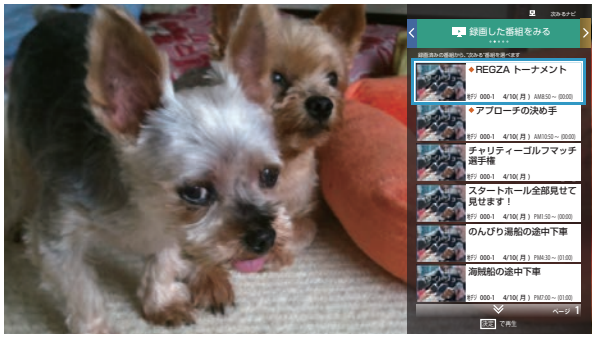
- 次みるナビを使うと、視聴しながら次に見る録画番組を選んだり、再生したりできます。
- インターネットに接続すると、お好みのテーマや視聴中の番組の出演者から番組を探したり、おすすめのネット動画を探したりできます。

録画した番組を見る

1 次みるナビを押す

- 次みるナビ画面が表示されます。

2 ◀·▶を押して、「録画した番組をみる」リストを選ぶ



3 ▲·▼を押して、見たい番組を選び、決定を押す

もっと便利に、お好みの番組を選ぶ

- インターネットに接続すると、以下のようなサービスが利用できます。
  - **お気に入りジャンル／テーマから選ぶ**…ドラマや音楽などのジャンル、また、アイドルやタレントなど、お気に入りに追加した「みるコレ パック」が表示されます。
  - **出演者のほかの番組を選ぶ**…見ている番組の出演者一覧が表示されます。人物を選んで決定を押すと、その人物が出演する他のドラマやYouTube™の動画などが見られます。
  - **YouTube™ を見る**…YouTube™のおすすめ動画が表示されます。
    - ※ お買い上げの時期によっては、「YouTube™を見る」のご利用にはソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。

お知らせ

- 視聴中の番組の出演者から番組を探したり、お好みのテーマやおすすめのネット動画を探すには、インターネットへの接続が必要です。接続されていない場合は、インターネット設定を行うためのボタンが表示されます。
- 「次みるナビ」や「みるコレ パック」の詳細については、ホームページ(http://timeon.jp/)をご覧ください。
- 本サービスは、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

SeeQVault™形式の番組を再生する

- SeeQVault™形式に変換してダビングされた番組や、他の機器で保存されたSeeQVault™形式の番組では、項目が表示されないことがあります。
- SeeQVault™形式の番組が選ばれているときは、緑の「チャプター一覧」の操作はできません。
- SeeQVault™対応SDメモリーカードの録画リストでは黄の「ダビング」は非表示となります。
- 録画リストに表示できる最大数は、通常番組が3000とSeeQVault™形式の番組が3000で合計6000件までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。
- 「録画した番組を再生する」75もご覧ください。

再生の基本操作

1 録画リストを押す

2 必要に応じて録画リストの表示を変える

❶ «・»で分類タブを切り換える
❷ ◀·▶でグループタブを切り換える

3 見たい番組を、▲·▼で選び、決定を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。

4 番組再生を終了するには、■または終了を押す

- 放送画面などに戻ります。

SeeQVault™対応機器を選択する

1 録画リストの表示中に青を押す

- 機器選択画面が表示されます。

※ 機器が1台しか接続されていない場合は、メッセージが表示されます。

2 SeeQVault™対応機器を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

録画リスト（例）

不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する

● 見終わった録画番組などを消したり、消さないように保護したりする場合は、録画リストの表示中に以下の操作をします。

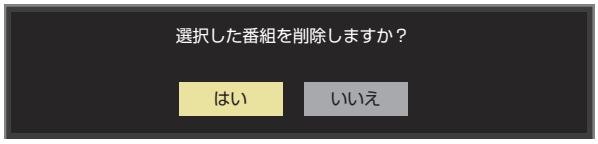
一つの録画番組を消す

1 消す番組を▲·▼で選び、赤（削除）を押す

● 保護されている録画番組を消す場合は、保護を解除（右下参照）してから 赤 を押してください。

2 ▲·▼で「1件削除」を選び、決定 を押す

3 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す



4 削除が終了したら、決定 を押す

複数の録画番組を消す

1 消す番組のどれかを▲·▼で選び、赤（削除）を押す

2 ▲·▼で「複数削除」を選び、決定 を押す

3 消す番組を▲·▼で選び、決定 を押す

● 決定 を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。削除する番組に ✓ をつけます。

● 保護された番組を消す場合は、その番組を選び、青 を押して保護を解除してから 決定 を押します。

4 選択が終わったら 赤（削除実行）を押す

5 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

6 削除が終了したら、決定 を押す

グループ内の録画番組をすべて消す

1 まとめて消すグループの録画リストを表示させる

● 「録画した番組を再生する」75 の手順2 をご覧ください。

2 赤（削除）を押し、▲·▼で「グループ内全削除」を選び、決定 を押す

3 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

4 削除が終了したら、決定 を押す

自動的に消す（自動削除設定）

● お買い上げ時は、USBハードディスクの容量が足りなくなったときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されるように設定されています。削除されないようにする場合は「削除しない」に設定してください。

1 サブメニュー を押し、▲·▼で「自動削除設定」を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で「削除する」または「削除しない」を選び、決定 を押す

誤って消さないように保護する

● 自動削除機能で削除されたり、誤って消してしまったりしないように、録画番組を保護することができます。

※ 録画中にこの操作はできません。

1 保護する番組を▲·▼で選び、サブメニュー を押す

2 ▲·▼で「保護」を選び、決定 を押す

● 選択した番組が保護されます（🔒がつきます）。

● 保護されている番組を選択してサブメニューを表示させると、「保護解除」ができます。

チャプター編集をする

録画済番組の再生中に編集する

● 録画済番組の再生中にチャプターの分割と結合ができます。

1 録画リストを表示させる（75ページ 1～2）

2 チャプター編集をする録画済番組を▲·▼で選び、決定を押す

3 各種の再生操作をして、チャプター分割をしたい場面で静止を押す

● 画面右下に操作ガイドと再生タイムバーが表示されます。

● ◀◀ ·▶▶ で、コマ送りやスロー再生ができます。

▶▶	• 一時停止中に押すとコマ送りができます。 • 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押すたびにスロー再生の速さが変わります（3段階）。
◀◀	• 一時停止中に押すと0.5秒ほど戻って一時停止になります。 • 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻しになります。

4 青 または 赤 でチャプター編集をする

● 青 を押すと、一時停止した場面でチャプターが分割されます。

● 赤 を押すと、一時停止したチャプターとその前のチャプターが結合されます。

● 必要に応じて、手順3と4を繰り返します。

グループ名を変更する

● 「マイフォルダ別」の録画リストで表示されるグループのタブ名を変更することができます。

● 「連ドラ別」の場合にも同様の操作ができます。その場合は、グループ名を変更すると予約リストの予約番組名も同じ名前に変更されます。

● ハードディスクが複数接続されている場合、機器ごとにグループ名を変更することはできません。

● 番組の録画中にこの操作をすることはできません。

1 「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる（75ページ 1～2）

● 連ドラグループ名を変更する場合は、「連ドラ別」の録画リストを表示させます。

2 名前を変更するグループのタブを◀·▶で選ぶ

例「わたし」のグループを選択

3 サブメニュー を押し、▲·▼と決定で「編集・管理」⇨「マイフォルダ管理」⇨「マイフォルダ名の変更」の順に進む

● 「連ドラ別」のグループ名を変更する場合は、「編集・管理」⇨「連ドラグループ名の変更」の順に進みます。

4 文字入力画面でグループ名を入力する

● お好みの分類名にすることができます。

● 文字入力の方法は、161ページをご覧ください。

● 全角文字で10文字まで入力できます。

● 文字入力の操作が終わると、録画リストのグループタブ名が変更されます。

例「わたし」⇨「まさみのお気に入り」に変更

ほかのグループに移動する

● 録画番組をほかのグループに移動することができます。
たとえば、録画時の設定で「わたし」に分類した番組を、録画後に「お気に入り2」に移すことができます。

※ USBハードディスクでの録画中は、この操作はできません。

※ 保護された録画番組は、移動することはできません。

1 「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる（75ページ 1～2）

2 移動する番組が保存されているグループのタブを◀·▶で選ぶ

3 移動する番組を▲·▼で選ぶ

4 サブメニューを押し、▲·▼と決定で「編集・管理」⇨「マイフォルダ管理」⇨「マイフォルダの変更」の順に進む

5 ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **1件変更**…… 選択中の番組を別のグループに移動します。
- **複数変更**…… 複数の番組を選択して、まとめて別のグループに移動します。
- **グループ内全変更**…… 選択中のグループの全番組を別のグループに移動します。

6 移動先のグループを▲·▼で選び、決定を押す

● グループアイコンとグループ一覧（お買い上げ時の設定）

	みんな		お気に入り1
	おとうさん		お気に入り2
	おかあさん		お気に入り3
	ぼく		お気に入り4
	わたし		お気に入り5
	おじいちゃん		お気に入り6
	おばあちゃん		指定しない

7 「複数変更」の場合は以下の操作をする

❶ 移動する番組を▲·▼で選び、決定を押す

● 決定を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。移動する番組に✓をつけます。

● 保護されている番組は移動できません。

❷ 移動する番組をすべて選んだら 黄 を押す

8 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

録画番組をダビング(ムーブ)する

● 本機でUSBハードディスクに録画した番組を他の機器にダビングすることができます。
- 機器の接続や設定については、「レグザリンクダビングの接続・設定をする」55 ～ 56 をご覧ください。
- USBハードディスク間のダビングは、ムーブ(移動)だけできます。
- レグザリンクダビングに対応しているDTCP-IP対応サーバーには、番組のコピー制御情報(コピーワンスやダビング10など)に従ってダビングすることができます。

※ USBハードディスクからDTCP-IP対応サーバーへダビングをした番組をUSBハードディスクに戻すことはできません。
※ USBハードディスクへの2番組同時録画(W録)中は、ダビングできません。
※ ダビング中に機器の接続を変更したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
※ DTCP-IP対応サーバーへのダビング時には、有線LANでの接続をおすすめします。また、無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、ダビングできません。
※ ダビング中の番組は再生できません。
※ 4K放送の録画番組はDTCP-IP対応サーバーへダビングできません。

USBハードディスク間でムーブする

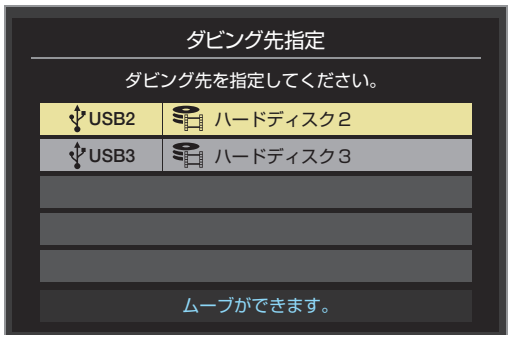
1 録画リストを表示させる(75 1 ～2)

2 ダビングする番組を▲·▼で選び、黄を押す

3 ▲·▼で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、決定を押す

4 ダビング先を▲·▼で選び、決定を押す

● ダビング先に指定できる機器が1台の場合、この手順はありません。



5 「複数ダビング」の場合は以下の操作をする

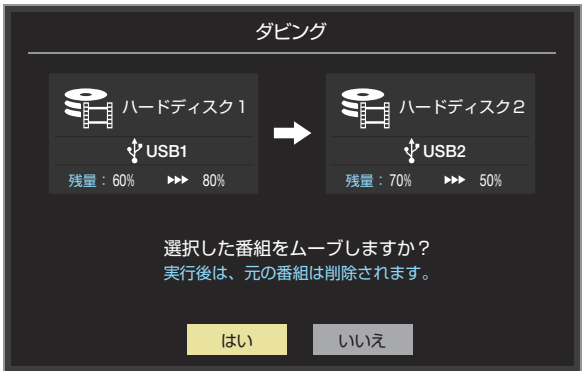
❶ ダビングする番組を▲·▼で選び、決定を押す

● 決定を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わり、✓をつけた番組がダビングされます。
● 保護された番組をダビングする場合は、その番組を選び、青を押して保護を解除してから決定を押します。

❷ ダビングする番組をすべて選んだら黄を押す

● 一度にダビングできるのは64番組までです。

6 「ダビング」画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す



東芝レコーダーにダビングしてディスクに保存する

ネットワーク接続でダビングする

- DTCP-IP対応の東芝レコーダーにネットワーク経由でダビングをすることができます。

※ ダビングは有線LANでの接続をおすすめします。また、無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、ダビングできません。

※ 4K放送の録画番組はダビングできません。

- 番組のコピー制御情報に従ったダビングとなります。

準備

1 本機と東芝レコーダーをLANで接続する

- 「レグザリンクダビングの接続・設定をする」55〜56と同じです。

2 ネットワークの設定を確認する

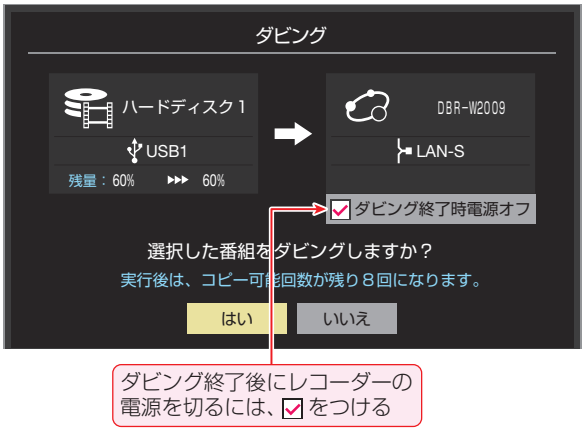
- 「レグザリンクダビングの接続・設定をする」55〜56と同じです。

ダビングの操作

- 前ページの操作手順と同じです。
  手順*4*で、LAN接続したDTCP-IP対応の東芝レコーダーをダビング先に指定します。

※ 使用する機器が「ダビング先指定」の画面（1台だけの場合は「ダビング」の画面）に表示されない場合は、接続や設定を確認します。

- 手順*6*の「ダビング」画面で、必要に応じて▲·▼·◀·▶で「ダビング終了時電源オフ」を選び、決定を押して✓をつけます（この機能に対応しているレコーダーだけ）。



ブルーレイディスクに手間なくダビングする

- 本機でUSBハードディスクに録画した番組を、東芝レコーダーのブルーレイディスクに直接ダビングする操作感覚でダビングすることができます。

※ ダビングは有線LANでの接続をおすすめします。また、無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、ダビングできません。

- 東芝レコーダー対応機種 形名（2019年11月現在）
  DBR-M4008、DBR-W2009
  他の対応機種については、下記URLをご覧ください。
  https://www.toshiba.co.jp/regza/

- 番組のコピー制御情報に従ったダビングとなります。

準備

- 「ネットワーク接続でダビングする」の「準備」を参照してください。

ダビングの操作

1 録画リストを表示させる（75 *1*〜*2*）

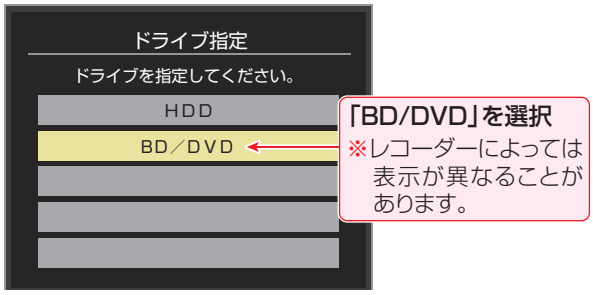
2 ダビングする番組を▲·▼で選び、黄を押す

3 ▲·▼で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、決定を押す

4 ダビング先を▲·▼で選び、決定を押す

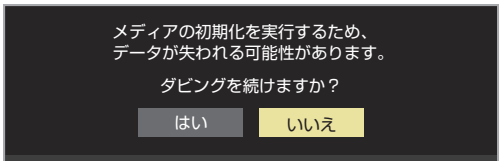
- 対象の東芝レコーダーをダビング先に指定します。

5 ブルーレイディスクが挿入されているドライブを▲·▼で選び、決定を押す

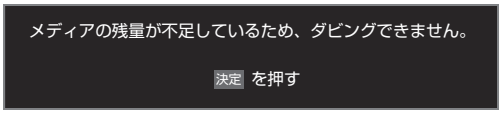


メッセージが表示されたとき

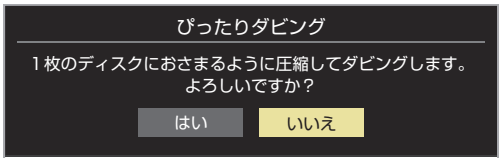
- レコーダーがメディアの自動初期化に対応している場合、レコーダーが未初期化状態として認識するブルーレイディスクが挿入されていると以下のメッセージが表示されます。
  「はい」を選択して続行した場合、ブルーレイディスクに記録されたデータはすべて消去されます（レコーダー以外の機器で記録したデータなどがある場合はご注意ください）。



- レコーダーのハードディスク残量が不足している場合や、ハードディスクに録画できる残りの番組数が不足していると、以下のメッセージが表示されます。



- レコーダーが「ぴったりダビング」に対応している場合は、以下のメッセージが表示されます。
  「はい」を選択した場合、圧縮ダビングによって画質が低下することがあります。



6 「複数ダビング」の場合は 85ページ の手順5 の操作をする

- この場合は選択した順番でダビングされます（☑の右側に順番を表す番号が表示されます）。

7 「ダビング」画面で、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

- ダビング終了時にレコーダーの電源を切る場合は、▲·▼·◀·▶で「ダビング終了時電源オフ」を選び、決定を押して✓をつけてから「はい」を選びます。
- レコーダーのハードディスクや挿入されたブルーレイディスクの状態によっては、手順5のメッセージが表示されます。
- ダビングが始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。
- 本機からレコーダーへのダビングが完了すると、レコーダー側でブルーレイディスクへの書込みが開始されます。

録画番組をSeeQVault™形式にする

● 次の手順によって本機で録画した番組をSeeQVault™形式に変換することができます。
※ SeeQVault™形式で直接録画はできません。ダビング処理でSeeQVault™形式に変換してください。
※ 4K放送の録画番組はSeeQVault™形式に変換できません。

SeeQVault™形式に変換してUSBハードディスクにダビングする

● 録画した番組を、SeeQVault™形式に変換してダビングすると、他の東芝のSeeQVault™対応のレグザやレコーダーで再生できます。

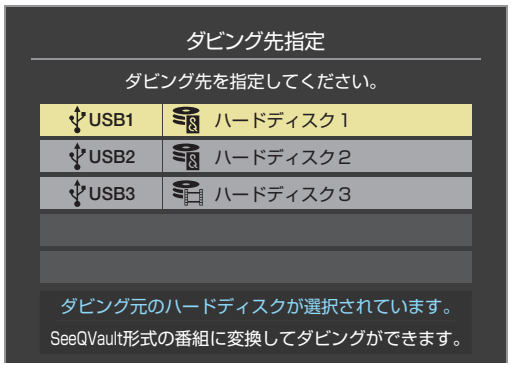
1 録画リストを押し、録画リストを表示させる

● 「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」75をご覧ください。

2 ダビングする番組を▲·▼で選び、黄を押す

3 ▲·▼で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、決定を押す

4 SeeQVault™対応のUSBハードディスクを▲·▼で選び、決定を押す

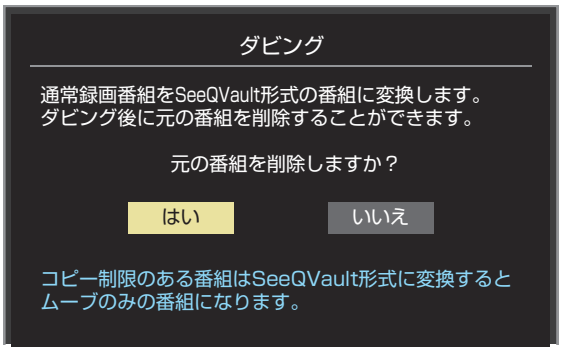


● ダビング元がSeeQVault™対応USBハードディスクの場合は、ダビング先をダビング元と同一にすることもできます。

5 ◀·▶で「はい」または「いいえ」を選び、決定を押す

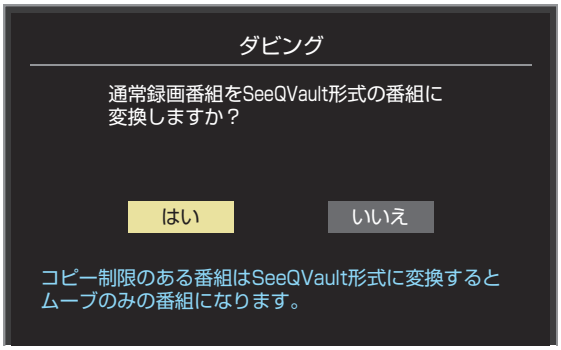
ダビング先がダビング元と同一のとき

● 番組はSeeQVault™形式に変換されます。ダビング後に元の番組を削除するかどうか選択します。



ダビング先がダビング元と異なるUSBハードディスクのとき

❶ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す



6 「複数ダビング」の場合は以下の操作をする

❶ ダビングする番組を▲·▼で選び、決定を押す

● 決定を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わり、✓の番組がダビングされます。
● 保護された番組をダビングする場合は、その番組を選び、青を押して保護を解除してから決定を押します。

❷ ダビングする番組を▲·▼で選んだら黄を押す

● 一度にダビングできるのは64番組までです。

7 「ダビング」画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

SeeQVault™形式に変換して SDメモリーカードにダビングする

1 「SeeQVault™形式に変換してUSBハードディスクにダビングする」の手順*1* ～*3* の操作をする

2 ダビング先に「SDカードリーダー」を▲·▼で選んで 決定 を押す

3 ◀·▶で「はい」を選び、 決定 を押す

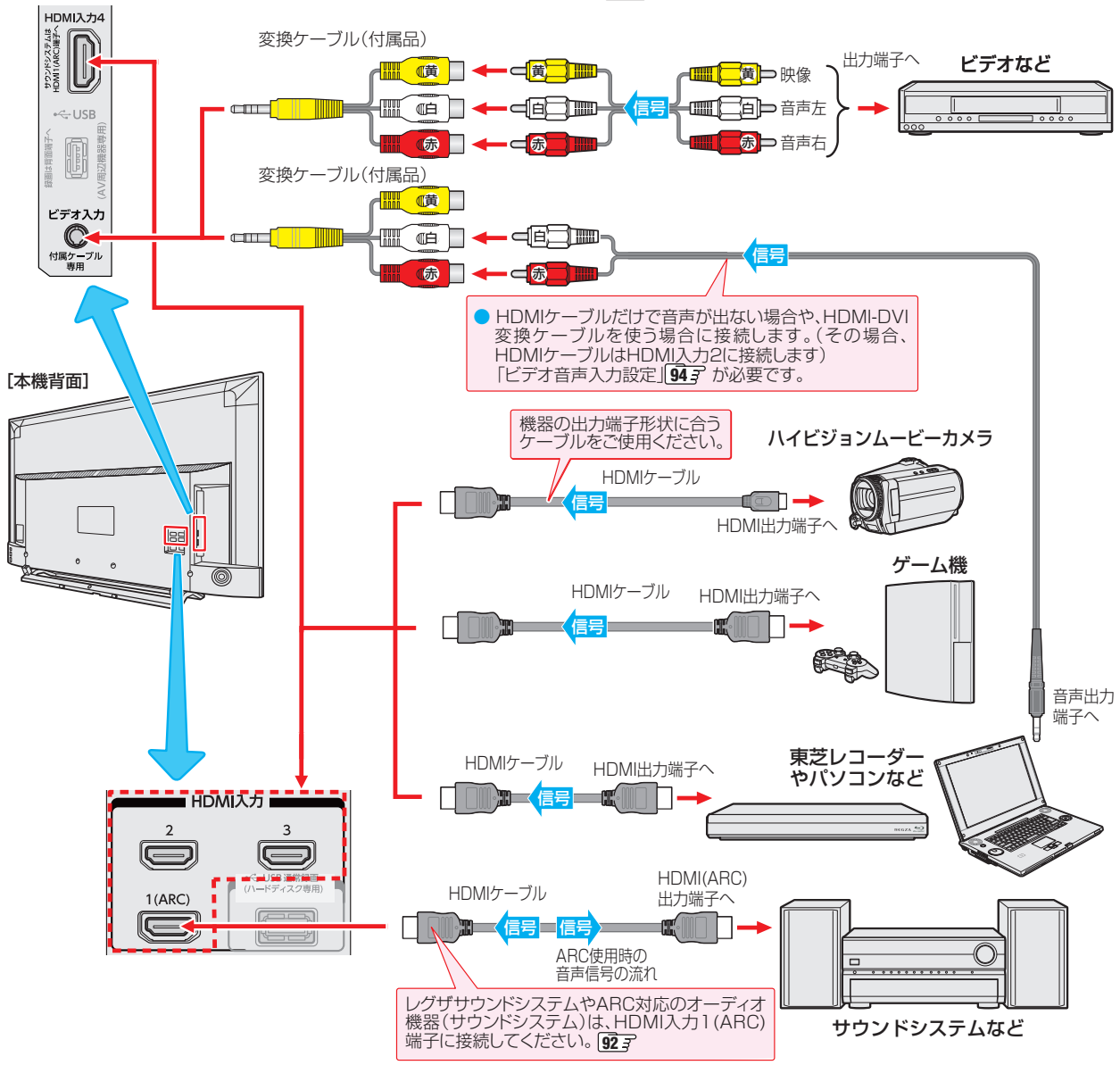
お知らせ

- SeeQVault™形式に変換した番組の番組総時間と、変換前番組の番組総時間表示は同じにならないことがありますが、番組自体の長さは変わりません。

外部機器を接続する

外部機器接続例

- レコーダーなどの録画機器の場合、アンテナの接続については、25をご覧ください。
- 接続が終わったら、「外部入力の機能を設定する」93を参照して必要な設定をしてください。
- HDMI連動機器(レグザリンク対応機器)では、本機との連動機能によって、ワンタッチプレイやシステムスタンバイの機能を使ったり、本機のリモコンで機器の基本操作をしたりすることができます。詳しくは、「レグザリンクについて」96をご覧ください。必要に応じて「HDMI連動機能」98の設定をしてください。
- AVアンプなどのオーディオ機器がARC(オーディオリターンチャンネル)に対応している場合、従来必要だった光デジタルケーブルを無くし、ARC対応のHDMIケーブル1本で接続できます。ARC対応していないオーディオ機器とHDMIケーブルで接続する場合は、「レグザリンク対応のオーディオ機器で聴くとき」92をご覧ください。



お知らせ

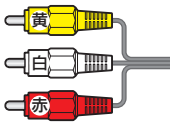
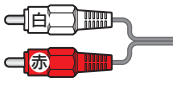
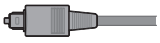
※ 本機の「レゾリューションプラス」137と同様の高画質機能を備えた機器を接続した場合、本機の機能との相互作用で画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、接続機器の高画質機能または本機の「レゾリューションプラス」をオフにしてください。

- レグザリンク対応の東芝レコーダーについては、ホームページ(https://www.toshiba.co.jp/regza/)をご覧ください。
- 本機のHDMI入力端子は、4K映像機器にも対応しています。
- 本機のHDMI入力端子が対応している入力信号およびHDMIケーブルについては次ページをご覧ください。
- HDMI 4K入力については、すべての4K入力映像の表示を保証するものではありません。

パソコンについて

- 外部モニターで表示できるように設定し、本機が対応しているHDMI入力信号フォーマットの信号167を入力してください(本機が対応している信号を入力しても、パソコンによっては本機が認識できないことがあります)。
- パソコンのDVD再生ソフトなどで再生した映像は、本機の画面で正しく表示されなかったり、映像の動きが不自然になったりすることがあります。

● 本機に接続できる接続ケーブル(接続コード)の種類と本機で対応している信号の種類および、これらの中で比較した画質・音質の関係を下表に示します。
● 接続ケーブルの端子形状などは一例です。設置場所や機器の仕様などに合わせて、適切な市販品をご使用ください。
● HDMIケーブルは、HDMIロゴ(HDMI)の表示があるケーブルをご使用ください。
※ 外部機器から1080pの映像信号を入力する場合は、ハイスピードHDMI®ケーブルをご使用ください。
※ 外部機器から4Kの映像信号(2160p)を入力する場合は、プレミアムハイスピードHDMI®ケーブルをご使用ください。

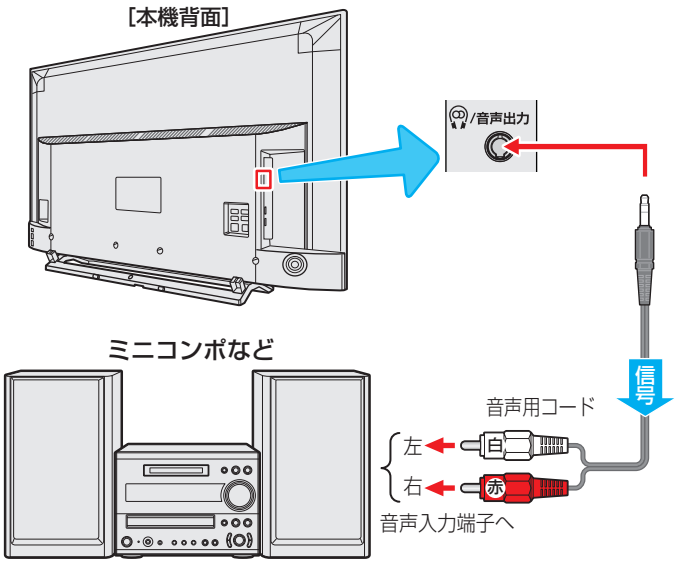
接続ケーブル(接続コード)	画質・音質	本機の入出力対応信号
HDMIケーブル(入力用/ARC用)	画質・音質ともに最高	**デジタル映像信号** 480i、480p、720p、1080i、1080p、4K×2K **デジタル音声信号(入力)** リニアPCM、MPEG-2 AAC サンプリング周波数: 48kHz、44.1kHz、32kHz ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス サンプリング周波数: 48kHz **デジタル音声信号(ARC)** リニアPCM、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス サンプリング周波数: 48kHz MPEG-2 AAC サンプリング周波数: 48kHz、44.1kHz、32kHz
映像・音声用コード(入力用) 	画質・音質ともに標準	**アナログ映像信号** 480i **アナログ音声信号**
音声用コード(入力用) 	標準の音質	**アナログ音声信号**
オーディオ用光デジタルケーブル(出力用) 	最高の音質	**デジタル音声信号(光)** リニアPCM、ドルビーデジタル サンプリング周波数: 48kHz MPEG-2 AAC サンプリング周波数: 48kHz、44.1kHz、32kHz
音声用コード(出力用)	標準の音質	**アナログ音声信号**

著作権保護について

● 本機のHDMI入力端子は、HDCPで著作権保護されている映像の再生に対応しています。
対応HDCPバージョン:
• HDCP1.4、HDCP2.2

アナログ音声入力端子付のオーディオ機器で聴くとき

● ヘッドホン/音声出力端子を使って、アナログ音声入力端子付のオーディオ機器に接続することができます。
● 「ヘッドホン/音声出力設定」144 の「出力設定」を「外部スピーカー」に設定してください。
● 「外部スピーカー出力設定」144 で音量を「固定」または「可変」に設定することができます。



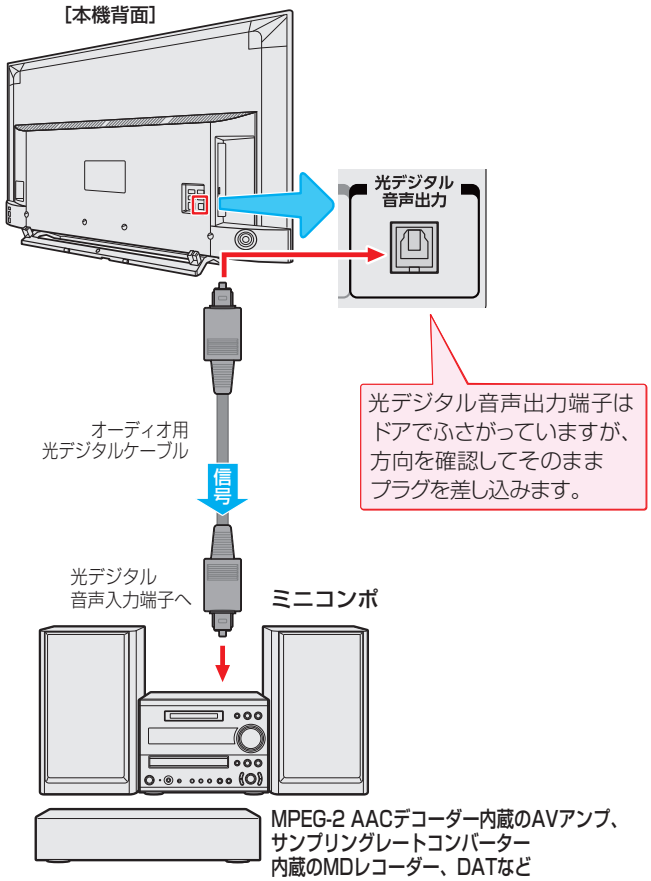
ご注意
● 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
● 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お知らせ
■ ヘッドホン/音声出力端子について
● ヘッドホン/音声出力端子には、音声調整の「低音強調」「サラウンド」の効果は得られません(ドルビーDRCの効果は、ドルビーデジタル音声が記録された映像ソフトなどの視聴時に得られます)。

外部機器を接続する つづき

デジタル音声(光)端子付のオーディオ機器で聴くとき

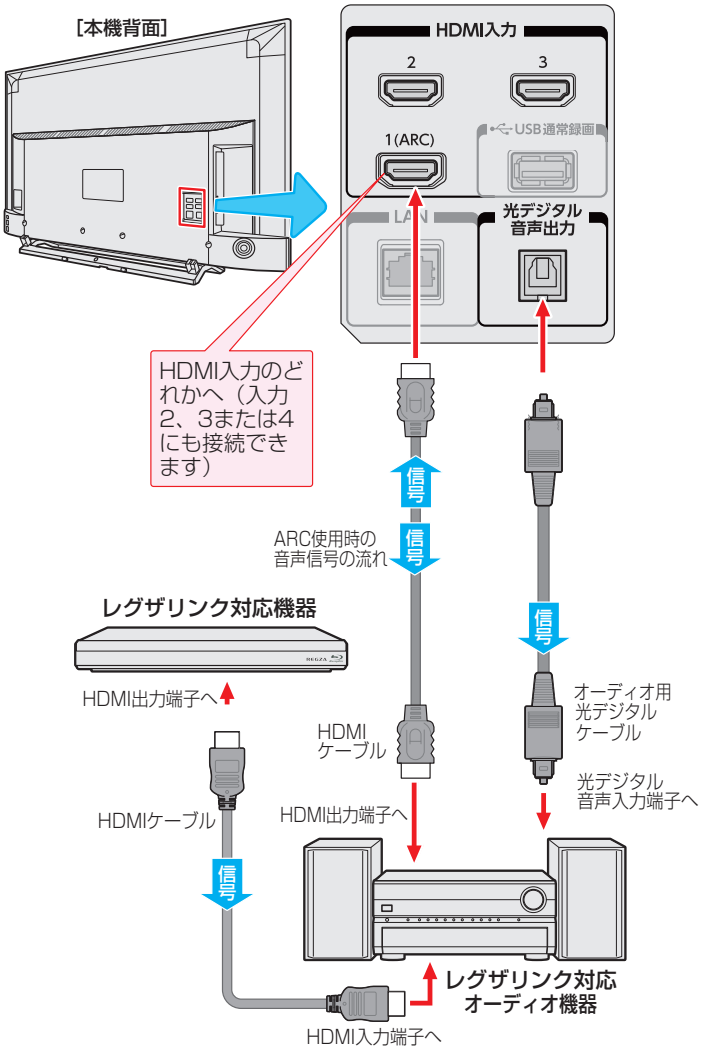
- **ミニコンポなどのオーディオ機器(サウンドシステム)に接続するとき**
  - 本機の音量を最小に調節し、ミニコンポなどのオーディオ機器(サウンドシステム)側で音量を調節してください。
  - オーディオ機器が対応しているデジタル音声入力に従って、「デジタル音声出力」143 の設定をします。
- **サンプリングレートコンバーター内蔵のMDレコーダーやDATに接続するとき**
  - MDレコーダーやDATの光デジタル音声入力端子に接続すれば、高音質で録音して楽しむことができます。
  - 「デジタル音声出力」143 を「PCM」に設定します。
- **MPEG-2 AACデコーダー内蔵AVアンプなどに接続するとき**
  - デジタル放送のMPEG-2 AAC方式の信号を、MPEG-2 AACデコーダー内蔵AVアンプなどで楽しむことができます。
  - 「デジタル音声出力」143 を「デジタルスルー」に設定します。



※ 光デジタルケーブルのプラグには2種類の形状があります。接続する機器の端子形状に合ったケーブルをお買い求めください。
本機側に差し込むプラグの形状は、 です。

レグザリンク対応のオーディオ機器で聴くとき

- レグザリンク対応のオーディオ機器を本機にHDMIケーブルで接続すれば、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節するなどの操作ができます。96
- オーディオ機器のHDMI入力端子にレグザリンク対応機器(HDMI連動機器)を接続することができます。
- オーディオ機器が対応しているデジタル音声入力に従って、「デジタル音声出力」143 の設定をします。また、必要に応じて「HDMI連動設定」98 をしてください。
- レグザサウンドシステムやARC対応のオーディオ機器はHDMI入力1(ARC)端子に接続してください。



※ ARC対応のオーディオ機器を、ARC対応のHDMIケーブルでHDMI入力1(ARC)端子に接続する場合は、光デジタルケーブルの接続は不要です。

お知らせ

- 光デジタル音声出力端子とHDMI入力1(ARC)端子から出力される信号は、音声メニューおよび音声調整の効果を得られません(ドルビー DRCの効果は、「PCM」や「オート」を選択していてリニアPCM信号で出力される場合にだけ得られます)。
- サンプリングレートコンバーターを内蔵していないMDレコーダーには、デジタル信号での録音はできません。
- MPEG-2 AAC音声の場合には、主音声・副音声の切換は本機では行われません。MPEG-2 AACデコーダー側で切り換えてください。
- HDMI入力の選択時に、入力信号が著作権保護されている場合は、光デジタル音声出力端子またはHDMI入力1(ARC)端子から出力される信号を他の機器に録音することはできません。
- 本機のHDMI入力端子が対応している入力信号およびHDMIケーブルについては91 をご覧ください。
- レグザリンク対応のオーディオ機器(推奨機器)については、ホームページ (https://www.toshiba.co.jp/regza/)をご覧ください。

外部入力の機能を設定する

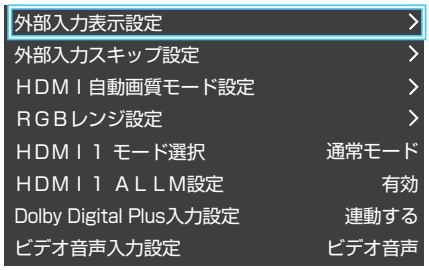
- 外部入力のさまざまな機能を設定することができます。必要に応じて設定してください。
- 「HDMIモードを変更する」、および「自動で低遅延モードを切り換える設定にする」の操作をするときは、事前に 入力切換 を押して、HDMIモードを変更する外部入力を選びます。

入力切換 を押すたびに以下のように切り換わります。

放送→HDMI 1→HDMI 2→HDMI 3→HDMI 4→ビデオ

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「その他の設定」⇨「外部入力・HDMI連動設定」⇨「外部入力設定」の順に進む

2 以降の手順で設定する



入力切換時に画面に表示される機器名を設定する

- 入力切換をしたときに表示される機器の名称(ブルーレイ、DVDなど)を変更することができます。

❶ ▲·▼で「外部入力表示設定」を選び、決定 を押す

❷ 設定する外部入力を▲·▼で選び、決定 を押す

❸ 表示させる機器名を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す

- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

使用しない外部入力をスキップする

- 入力切換をするときに、使っていない入力を自動でスキップする(飛び越す)ことができます。

❶ ▲·▼で「外部入力スキップ設定」を選び、決定 を押す

❷ 設定する外部入力を▲·▼で選び、決定 を押す

❸ ▲·▼で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

- **する**……入力切換時に入力をスキップします。
- **しない**……入力切換時にスキップしません。

- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

HDMIモードを変更する

- **高速信号モード**は4K映像に対応している機器からの4K映像をより高精細に再生するときに選びます。
- **通常モード**は「高速信号モード」で映像や音声が正しく出力されないときに選びます。
- **互換性優先モード**は「通常モード」で映像や音声が正しく出力されないときに選びます。

※ 4K映像信号には対応していません。

ご注意
- 「HDMI モード選択」は、HDMI入力毎に設定が必要です。先にHDMI1 ～ 4の入力を選んでから設定してください。

❶ ▲·▼で「HDMI＊モード選択」を選び、決定 を押す

- 「＊」は現在選ばれているHDMI入力の番号になります。HDMI入力1を選んでいるときは、「HDMI 1 モード選択」と表示されます。

❷ ▲·▼を押してモードを選び、決定 を押す

- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

外部入力の機能を設定する つづき

自動で低遅延モードを切り換える設定にする

● ＡＬＬＭ(Auto Low Latency Mode)設定を切り換える事で、選択している入力機器からの情報に連動して、自動的に「低遅延モード」141の設定を切り換えることができます。

ご注意
● 「ＡＬＬＭ設定」は、HDMI入力毎に設定が必要です。先にHDMI1 ～ 4の入力を選んでから設定してください。

❶ ▲·▼で「HDMI＊ ALLM設定」を選び、決定を押す

● 「＊」は現在選ばれているHDMI入力の番号になります。
HDMI入力1を選んでいるときは、「HDMI 1 ＡＬＬＭ設定」と表示されます。

❷ ▲·▼で以下の設定から選び、決定を押す

- **有効：**
入力機器からの情報に連動して、低遅延モードのオン/オフが自動的に切り換わります。
- **無効：**
この機能は働きません。

● 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

Dolby Digital Plusの入力を設定する

● HDMI端子の入力設定をDolby Digital Plus対応サウンドシステムと連動するかどうかを設定します。

❶ ▲·▼で「Dolby Digital Plus入力設定」を選び、決定を押す

❷ ▲·▼で以下の設定から選び、決定を押す

- **連動する：**
本機のHDMI入力1(ARC)端子に接続したDolby Digital Plus対応サウンドシステムに適した音声設定を、本機のHDMI端子に設定します。
- **連動しない：**
本機のDolby Digital Plus設定で動作します。

● 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

HDMI入力の画質が自動設定されるようにする

● HDMI入力端子に入力される映像に適した画質になるように設定することができます。

❶ ▲·▼で「HDMI自動画質モード設定」を選び、決定を押す

❷ 設定するHDMI入力を▲·▼で選び、決定を押す

HDMI 1	コンテンツ連動オン
HDMI 2	コンテンツ連動オン
HDMI 3	コンテンツ連動オン
HDMI 4	コンテンツ連動オン

❸ ▲·▼で以下の設定から選び、決定を押す

- **コンテンツ連動オン**…入力映像に「映画」などのコンテンツタイプを識別する情報がある場合に、そのタイプに適した画質に自動調整されます。
- **自動ゲームモード**…入力映像がRGB信号の場合に、「映像メニュー」が自動的に「ゲーム」になります。
- **オフ**……この機能は働きません。

● 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

HDMI入力のRGBレンジを設定する

● 本機がRGBレンジを自動識別できない機器を接続している場合は、機器の仕様に合わせて設定します。

❶ ▲·▼で「RGBレンジ設定」を選び、決定を押す

❷ 設定するHDMI入力を▲·▼で選び、決定を押す

HDMI 1	オート
HDMI 2	オート
HDMI 3	オート
HDMI 4	オート

❸ ▲·▼で以下の設定から選び、決定を押す

- **オート**……自動切換になります。
- **フルレンジ**……RGBレンジが0～255の機器の場合に選びます。
- **リミテッドレンジ**…RGBレンジが16～235の機器の場合に選びます。

● 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

ビデオ入力の音声入力を設定する

● HDMI入力2端子に接続した機器からの音声を本機から出したいときに、ビデオ入力の音声入力端子をHDMI入力2のアナログ音声入力端子として使用するように設定できます。

❶ ▲·▼で「ビデオ音声入力設定」を選び、決定を押す

❷ ▲·▼で以下の設定から選び、決定を押す

ビデオ音声入力設定
ビデオ音声
HDMI 2アナログ音声

- **ビデオ音声**…… ビデオ入力の音声入力端子として使用します(お買い上げ時の設定)。
- **HDMI 2アナログ音声**…. HDMI入力2のアナログ音声入力端子として使用します。

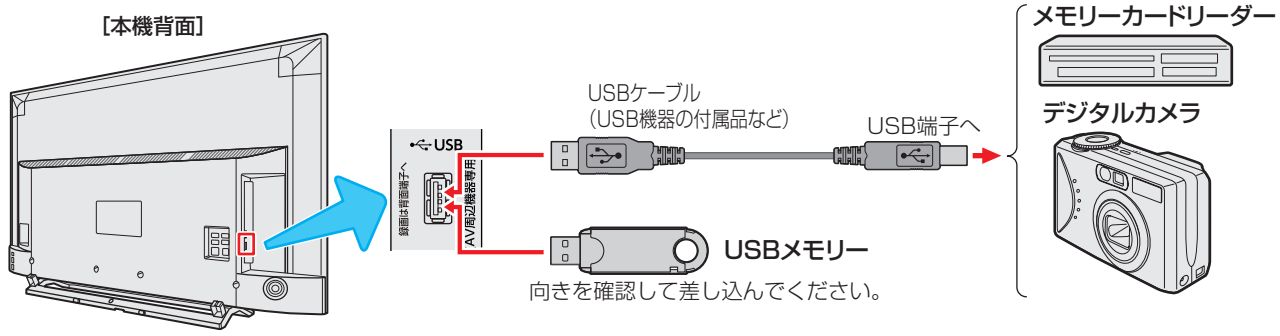
● 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

USB機器を接続する

● USB機器に保存されている動画や写真を本機で見ることができます。116 ～120
※ 暗号化や指紋認証などのセキュリティ機能を有効にした機器や記録メディアなどは、本機では使用できません。

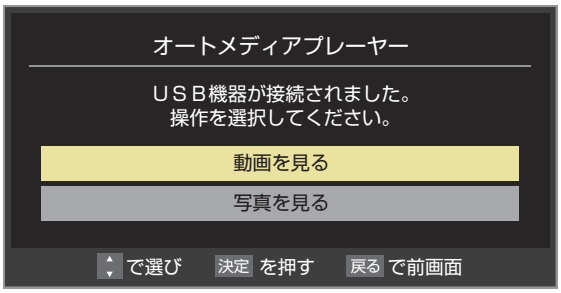
ご注意

- 以下のUSB機器は、図の位置のUSB（AV周辺機器専用）端子に接続してください。背面のUSB（通常録画）端子には接続しないでください。
- USB機器を取りはずすときは、動画や写真の再生を終了させてください。再生中に機器を取りはずしたり、電源を切ったりすると、機器や記録メディアに記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
- それぞれの機器の動作や取り扱いなどについては、機器の取扱説明書をよくお読みください。



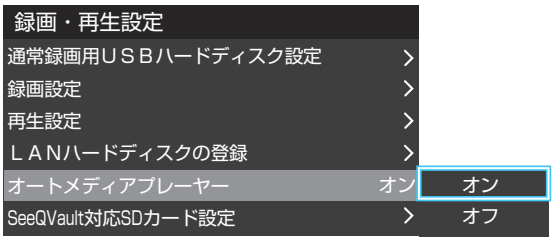
機器の接続時に操作メニューが表示されるようにする

● 「オートメディアプレーヤー」を「オン」に設定しておくと、放送番組や外部入力の視聴時にUSBメモリーなどを挿入したときに、操作の選択メニューが表示されます（お買い上げ時は「オン」に設定されています）。



※ USBメモリーなどを挿入した状態で本機の電源を入れた場合や、放送番組・外部入力の視聴以外の操作をしているときにUSBメモリーなどを挿入した場合には、オートメディアプレーヤーの画面は表示されません。

1 設定 を押し、▲・▼と 決定 で「録画・再生設定」⇨「オートメディアプレーヤー」の順に進む



2 ▲・▼で「オン」または「オフ」を選び、決定 を押す

- **オン**……オートメディアプレーヤーの画面が表示されます。
- **オフ**……オートメディアプレーヤーの画面は表示されません。

お知らせ

- すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。
- USBハブを使って本機のUSB端子に接続した場合に認識できるUSBハブは二つで機器数は最大7台です。スロットを複数持つメモリーカードリーダーなどの場合は、1スロットで1台とみなされます。なお、USBハブを使った場合は、正常に動作しないことがあります。

レグザリンクについて

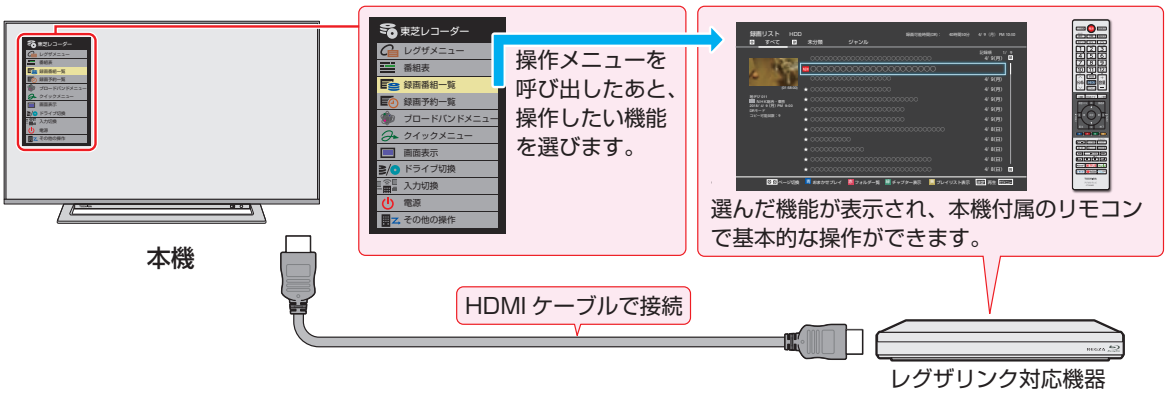
レグザリンク機能でできること

● 本機は以下のレグザリンク機能(HDMI連動)に対応しています。

本機のリモコンで対応機器の操作をする

● 本機に接続したレグザリンク対応の録画機器や再生機器などの操作が本機のリモコンでできます。100

例



電源の入／切や入力切り換えの動作を連動させる

● **ワンタッチプレイ** …… レグザリンク対応機器を操作すると、機器に連動して本機の電源がはいり、操作した機器に合わせて入力が切り換わります。

● **システムスタンバイ** …… 本機の電源を「切」にすると、機器も連動して電源が「切」(待機)になります。

対応機器に録画・予約をする

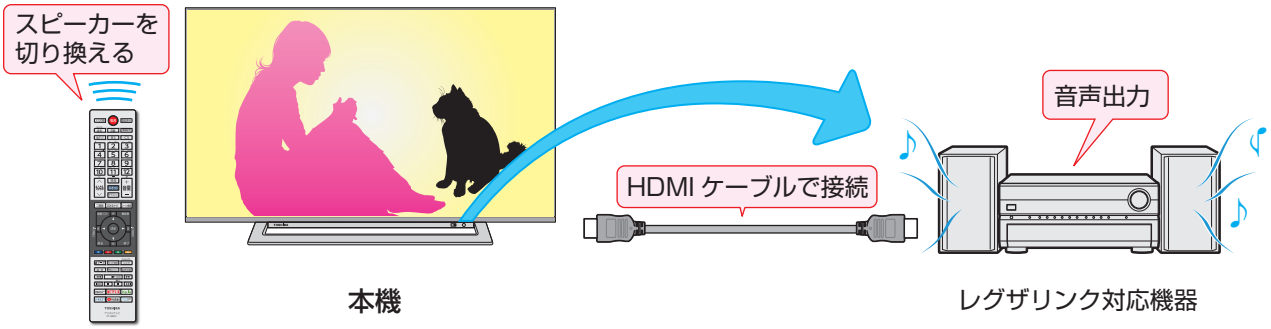
● 本機に接続したレグザリンク対応機器に録画や予約をすることができます。68

例

オーディオ機器と連携させる

● オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。また、ジャンルに適した音声がオーディオ機器のスピーカーから出るようにすることもできます。104

例 音声を対応機器のスピーカーで聴く



準備をする

機器	接続・設定	機器についてのお知らせ
HDMI連動対応の 映像機器やオーディオ機器	映像機器の接続：90 オーディオの接続：92 本機の設定：55	● **レグザリンク(HDMI連動)機能を使うには、接続機器それぞれの設定が必要です。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。** ● レグザリンク対応の映像機器やオーディオ機器については、ホームページ(https://www.toshiba.co.jp/regza/)をご覧ください。

HDMI連動機能について

● 本機のレグザリンク(HDMI連動)機能では、HDMIで規格化されているHDMI CEC(Consumer Electronics Control)を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。
● 本機とレグザリンク対応の東芝レコーダーなど当社推奨の機器をHDMIケーブルで接続することで利用できます。
  • 「録画・予約する」の章に記載されているレグザリンク対応の東芝レコーダーへの録画・予約の操作も、HDMI連動機能を利用したものです。
● 接続確認済機器以外の機器をHDMIケーブルで接続した場合に一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証の対象ではありません。
● 接続確認済機器であっても、機器によっては一部の連動操作ができないことがあります。
● HDMI連動機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。
  • 接続機器の電源をすべて「入」の状態にして、本機の電源を入れ直してください。
  • すべての接続機器の動作を確認してください。
  ※ 機器に割り振られる番号は接続形態によって変化することがあります。

オーディオ機器について

● オーディオ機器の入力状態によっては、本機から音声が出ないことがあります。
● オーディオ機器の連動操作中にオーディオ機器側の入力を切り換えると、実際の映像と画面右上の接続機器表示が一致しないことがあります。

オンキヨー製オーディオ機器でHDMI連動機能を利用する場合のお願い

● 対象機種については、ホームページ(https://www.toshiba.co.jp/regza/)の接続確認済み機器をご覧ください。
● オーディオ機器の電源プラグをコンセントに差し込む前に、本機の電源を「入」にしてください。この順番が逆になると、HDMI連動機能を使用したときにオーディオ機器が正しく動作しないことがあります。その場合は本機の電源を入れた状態で、オーディオ機器の電源を入れ直してください。
  ※ 停電のあとやブレーカーの操作などで本機とオーディオ機器の電源が同時にはいった場合にも、上記の操作が必要になることがあります。

お知らせ
● レグザリンク対応機器については、ホームページ(https://www.toshiba.co.jp/regza/)でお知らせしています。
※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。

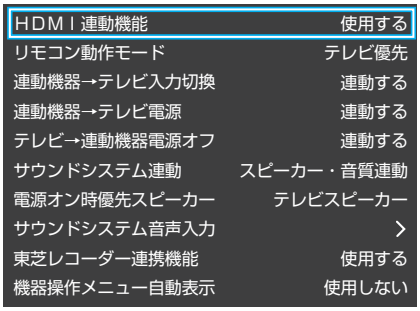
■ **システムスタンバイについて**
● 省エネ設定の機能などで本機が待機状態になったときも同時に機器側の電源が「待機」になります。
● 接続機器側がシステムスタンバイに対応している場合、接続機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」にすることができます。

本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする

- 本機のリモコンでHDMI連動機器の基本操作をしたり、各種の連動動作をさせたりするための設定をします。
- お買い上げ時、本機はHDMI連動機能を使用するように設定されています。接続機器側の設定も必要です。ご確認ください。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「その他の設定」⇨「外部入力・HDMI連動設定」⇨「HDMI連動設定」の順に進む

2 設定する項目を▲·▼で選び、決定 を押す



3 設定したい項目を▲·▼で選び、決定 を押す

HDMI連動機能

- 本機のリモコンでのHDMI連動機器操作、東芝レコーダーの録画・予約、および以下の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。

リモコン動作モード

- 本機からの操作に対応したHDMI連動対応機器を接続している場合、「連動機器優先」に設定すると、本機のリモコンで操作できる機能が増えます。

連動機器→テレビ入力切換

- 連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。本機の電源が「入」の場合に動作します。

連動機器→テレビ電源

- 連動機器の再生操作をしたときに本機の電源が「入」になり、連動機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」になる機能です。

※ この機能と、「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しておくと、本機の電源が「入」になったあとに自動的に入力が切り換わります。

※ 本体の電源ボタンで電源を切った場合、この機能は働きません。リモコンの電源ボタンで電源を「待機」にしてください。

テレビ→連動機器電源オフ

- 本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です（録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならないことがあります）。

※ 本機の「省エネ設定」47 や「オフタイマー」49 とも連動します。

サウンドシステム連動

- テレビのリモコンでサウンドシステムのスピーカーを操作する機能の設定をします。
  - スピーカー・音質連動
    サウンドシステムのスピーカー切換と音量調整、音質調整を使用するときに選びます。
  - スピーカー連動
    サウンドシステムのスピーカー切換と音量調整を使用するときに選びます。
  - 連動しない
    サウンドシステムのスピーカー切換や音量調整を使用しないときに選びます。

電源オン時優先スピーカー

- 本機の電源オン時に優先するスピーカーを選択します。

※「サウンドシステム連動」を「スピーカー・音質連動」、または「スピーカー連動」に設定した場合に設定できます。

  - **テレビスピーカー**
    本機のスピーカーから音声が出ます。
  - **サウンドシステム**
    オーディオ機器の電源が「入」のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。
  - **シンクロドライブ（レグザサウンドシステムのシンクロドライブ対応機器接続時だけ）**
    本機のスピーカーの高音域とレグザサウンドシステムから同時に音声を出します。

- サブメニューでスピーカーを一時的に切り換えることもできます。104

※ サブメニューでスピーカーを切換した場合は本機の電源操作で、優先スピーカー設定で選択した状態に戻ります。

サウンドシステム音声入力

- 連動機器を接続したHDMI入力端子ごとに、オーディオ機器の音声入力を設定することができます。

例 HDMI 2入力端子に接続しているレコーダーの音声を、オーディオ機器の「入力3」に接続しているスピーカーで聴きたいときは、「HDMI 2」を選んで 決定 を押してから、「入力3固定」を選んで 決定 を押します。

東芝レコーダー連携機能

- 「使用する」に設定すると、東芝のレコーダーと連携した高画質化機能が利用できます。

※ 映像が不自然に見えるときは、「使用しない」を選んでください。

機器操作メニュー自動表示

- 「使用する」に設定すると、本機に接続したレグザリンク対応機器に入力を切り換えたときに、機器操作メニューを自動的に表示します。

お知らせ

- 連動機器の機能、設定によっては、HDMI連動設定をしても、一部もしくはすべての機能が働かないことがあります。
- 本機が認識できるHDMI連動対応機器の台数は、HDMI CEC規格に従って、オーディオ機器：1台、録画機器（レグザリンク対応レコーダーなど）：3台、再生機器（東芝のプレーヤー／PCなど）：3台までに制限されます。
- 「サウンドシステム音声連動」の対応機器については、ホームページ（https://www.toshiba.co.jp/regza/）をご覧ください。
- 「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しても、本機の状態によっては自動的に入力が切り換わらないことがあります。
- シンクロドライブの対応機器については、ホームページ（https://www.toshiba.co.jp/regza/）をご覧ください。

外部入力の画面に切り換える

- 本機の外部入力端子(HDMI入力1～4、ビデオ入力)に接続したビデオやDVD・ブルーレイディスクプレーヤー/レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続や設定については、「外部機器を接続する」90 ～ 92 をご覧ください。

1 使用する機器の電源を入れる

2 入力切換 を押す

- 入力切換 を押すと次の入力が選択された状態で画面左上に入力一覧画面が表示され、少し待つとその入力に切り換わります。希望の入力を選ぶには、入力が切り換わる前に次の手順3の操作をします。
  - 「外部入力スキップ設定」93 が「する」になっている入力は薄くなって表示され、入力切換時にスキップされるようになっています。

3 入力切換 を繰り返し押すか、または▲·▼を押して入力を選ぶ

- 入力切換 を押すたびに以下のように切り換わります。

放送→HDMI 1→HDMI 2→HDMI 3→HDMI 4→ビデオ

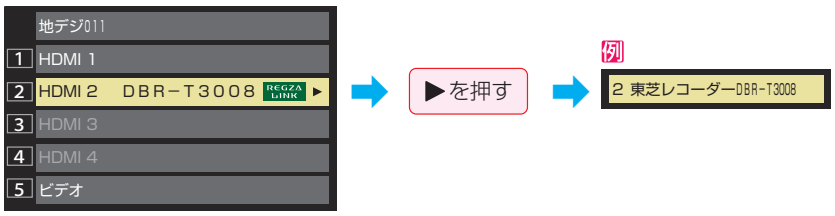
  - ▲·▼では順方向·逆方向の選択ができます。
- 少し待つと選択した入力に切り換わります。
- 入力一覧画面の左側に表示された番号のリモコンボタンを押して、入力を切り換えることもできます。

HDMI連動機器を選ぶとき

- HDMI連動機器は、入力一覧画面に REGZA LINK ▶ が表示されます。
  - REGZA LINK ▶ が表示された機器を選んで▶を押すと、機器の形名などが確認できます。
  - HDMI連動対応のオーディオ機器などにHDMI連動機器が接続されている場合は、機器の一覧が表示されます。使用する機器を以下の手順で選択できます。

入力切換 または▲·▼ で選ぶ　　▲·▼ で選んで 決定 を押す

例



4 選択した機器を操作する

- 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。
- ゲーム機を接続した入力では、「映像メニュー」136 を「ゲーム」にしてください。ゲームのレスポンスを重視した、ゲームに適した画質設定になります。

HDMI連動機器を選んだとき

- 機器操作メニューや本機のリモコンで機器を操作することができます。
- 機器操作メニューの使い方

❶ サブメニュー を押す

❷ ▲·▼で「機器操作」を選び、決定 を押す

- 機器操作メニューが表示されます。機器操作メニューや本機のリモコンで操作できる機能については、「本機のリモコンで対応機器を操作する」100 をご覧ください。

お知らせ

- 本体ボタンでも、「入力切換」ができます。34
- 本体ボタンで「入力切換」を選んだ場合、入力一覧画面に番号が表示されず、リモコンの番号ボタンで入力を選ぶことはできません。
- 入力切換時に画面に表示される「ブルーレイ」などの機器名を変えることができます。「外部入力表示設定」93 をご覧ください。

本機のリモコンで対応機器を操作する

機器を操作する

- 入力切換 の操作でレグザリンク（HDMI連動）対応機器が接続された入力（HDMI1 ～ 4）を選んだあと、「サブメニュー」の「機器操作」を選ぶと、操作メニューが表示されます。
- 機器によって表示される操作メニューの内容や、操作できる内容が異なります。
- 「その他の操作」を選ぶとサブメニューが表示されます。

❶ サブメニュー を押し、▲·▼で「機器操作」を選んで 決定 を押す

例

- 本機のリモコンで、レグザリンク対応のレコーダーやプレーヤーなどの基本操作をすることができます。
- 以降は一例です。ほかのHDMI連動機器でも、本機のリモコンで操作できる場合があります。
- 本機のリモコンでできる操作については、102 をご覧ください。
- 機器を操作すると機器操作メニューが消えます（機器操作メニューを再表示させるには、手順❶の操作をします）。

タイムシフトマシン
- 東芝レコーダーのタイムシフト過去番組表が表示されます。

始めにジャンプ
- 東芝レコーダーのタイムシフト過去番組表の番組を、簡単に番組の冒頭から見ることができます。

レグザメニュー（スタートメニュー）
- 東芝レコーダーのレグザメニューが表示されます（スタートメニューがある東芝レコーダーの場合は、スタートメニューが表示されます）。

番組表
- 東芝レコーダーの番組表が表示されます。

録画番組一覧（見るナビ）
- 東芝レコーダーの録画番組一覧が表示されます（「見るナビ」または「見ながら選択」がある東芝レコーダーの場合は、「見るナビ」または「見ながら選択」画面が表示されます）。

録画予約一覧
- 東芝レコーダーの「録画予約一覧」画面が表示されます。

ブロードバンドメニュー
- 東芝レコーダーのブロードバンドメニューが表示されます。

クイックメニュー
- 東芝レコーダーのクイックメニューが表示されます。

画面表示
- 状態表示の表示／非表示を切り換えます。

ドライブ切換
- ハードディスクとブルーレイ（またはDVD）を切り換えます。

入力切換
- 東芝レコーダーの入力を切り換えます。

電源
- 決定 で電源の「入」、「待機」ができます。

その他の操作メニュー

トップメニュー
- ディスク再生時に選ぶとディスクのトップメニューが表示されます。

ポップアップメニュー
- ディスク再生時に選ぶとディスクのポップアップメニューが表示されます。

W録切換
- W録選択を切り換えます。

タイムシフトマシン対応機器の過去番組表を表示する

- タイムシフトマシン対応機器の過去番組表を、本機のリモコンを使って表示させることができます。
  - タイムシフトマシン対応東芝レコーダー については、ホームページ（https://www.toshiba.co.jp/regza/）をご覧ください。

❶ サブメニュー を押し、▲·▼で「タイムシフトマシン機器」を選んで 決定 を押す
- 機器の過去番組表が表示されます。

❷ ▲·▼·◀·▶で再生したい番組を選び、決定 を押す
- 「番組指定再生」画面が表示されます。

❸ ◀·▶で「見る」を選び、決定 を押す
- 選択した番組の再生（タイムシフトマシン再生）が始まります。

❹ タイムシフトマシン再生を終了するには、終了 を押す
- ほかの操作によってもタイムシフトマシン再生が終了する場合があります。
- 番組を選び直すには、上記手順❶～❹をします。

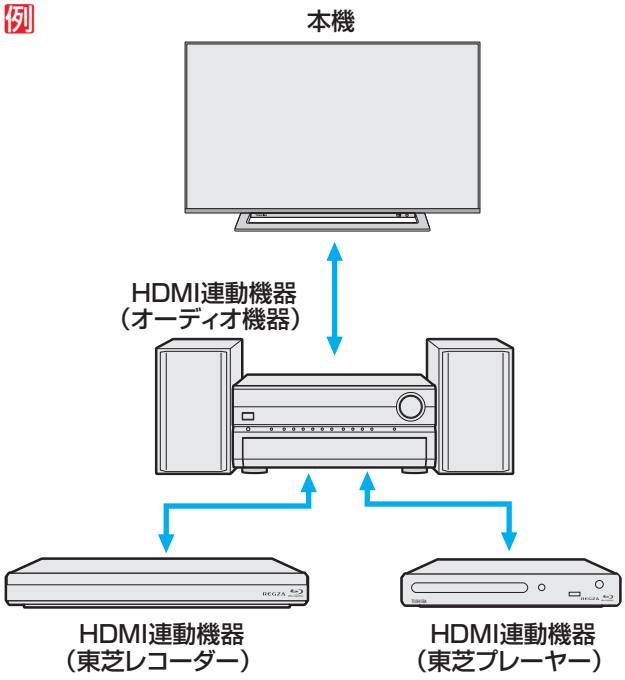
HDMI-CEC対応の機器

- HDMI CEC対応の機器を操作します。
- すべての製品でメニューに表示されたすべての機能の操作ができることを保証するものではありません。

HDMI連動機器に接続された機器

- HDMI連動対応のオーディオ機器などにHDMI連動機器が接続されている場合は、以下のようになります。

例



東芝レコーダーなどを選択したとき

- 「サウンドシステムを操作」を選ぶと、オーディオ機器の機器操作メニューが表示されます。

お知らせ

- レグザリンク対応の東芝レコーダーやオーディオ機器については、ホームページ（https://www.toshiba.co.jp/regza/）をご覧ください。

本機のリモコンで対応機器を操作する つづき

本機のリモコンでできるおもな操作

● HDMI連動機器を接続した場合、本機のリモコンで以下の操作をすることができます。
※ 以下は代表的な動作です。操作する機器によっては、動作が異なる場合があります。

本機のリモコンボタン	動作の内容
►/明聞	番組を再生します。
静止 ❚❚	再生中に押すと一時停止になります。もう一度押すと、再生が再開されます。
■	録画や再生を停止します。
►►I	一つ先に進んで頭出し再生をします。
I◄◄	前に戻って頭出し再生をします。
►►	再生中に押すと早送り再生になります。
◄◄	再生中に押すと早戻し再生になります。
»	再生中に押すと少し先に進んで再生します。
«	再生中に押すと少し戻って再生します。
▲·▼·◄·►	メニューなどで項目を選択します。
決定	選択した内容を決定したり、選択した操作を実行したりします。
戻る	一つ前の操作に戻ります。
終了	操作を終了します。
青	各機器でカラーボタンに割り当てられた機能を操作します。
赤	
緑	
黄	
＋ 音量 －	オーディオ機器の音量を調節します。
消音	オーディオ機器の音を消します。

レグザサウンドシステムで聴く

● 東芝のレグザサウンドシステムをHDMIケーブルで接続すると、レグザサウンドシステムで音声を聴いたり、レグザサウンドシステムと本機のスピーカーと組み合わせて音声を聴いたりすることができます。

ご注意
- レグザサウンドシステムはHDMI入力1(ARC)端子に接続してください。90
- 光デジタルケーブルだけで接続した場合は、操作できません。
- 使用できる機能は機器によって異なります。

1 サブメニューを押し、▲·▼で「スピーカー切換」を選んで決定を押す

2 ◀·▶でお好みのモードを選ぶ

- **テレビスピーカー**
  本機のスピーカーから音声を出します。
- **サウンドシステムスピーカー**
  レグザサウンドシステムから音声を出します。
- **シンクロドライブ**
  本機のスピーカーの高音域とレグザサウンドシステムから同時に音声を出します。

● レグザサウンドシステムの電源を入れて本機とHDMIケーブルで接続し、「HDMI連動設定」98を以下のように設定します。
- HDMI連動機能……使用する
- サウンドシステム連動……スピーカー·音質連動

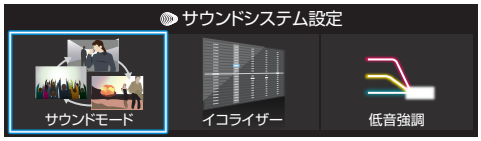
● 「サウンドシステムスピーカー」または「シンクロドライブ」を選択中に 青 を押すと、レグザサウンドシステムの音声を設定することができます。

3 音量を調節する

● 本機のリモコンで音量調節と消音の操作ができます。

レグザサウンドシステムの音声を設定する

1 サブメニューを押し、▲·▼で「サウンドシステム設定」を選んで決定を押す



● サウンドシステム設定メニューが表示されます。

● 「スピーカー切換」で「サウンドシステムスピーカー」または「シンクロドライブ」を選択中に 青 を押しても、サウンドシステム設定メニューが表示されます。

2 ◀·▶で設定する項目を選び、決定を押す

3 お好みの音声に調整する

サウンドモード

● 見る番組の種類に応じて、お好みのサウンドモードを選ぶことができます。

● 「オート」に設定すると、ジャンルに適した音声を聴くことができます。

※ 表示されるメニューは機器によって異なります。

イコライザー

● 音質を詳細に調整できます。詳しくは「イコライザー」143を参照してください。

低音強調

● 低音強調のレベルを「オフ」「弱」「強」から選びます。

お知らせ
- 音量表示が「サウンドシステム音量」に変わっているとき、本機のスピーカーおよび「通常モード」48選択時はヘッドホン端子から音声は出ません。
- レグザサウンドシステム対応機器については、ホームページ(https://www.toshiba.co.jp/regza/)をご覧ください。

オーディオ機器(サウンドシステム)で聴く

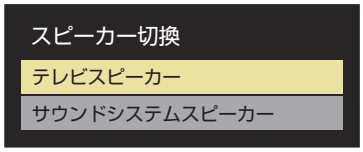
オーディオ機器のスピーカーで聴く

- オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。
- 本機とオーディオ機器をHDMIケーブルおよび光デジタルケーブルで接続します。ARC対応のオーディオ機器はARC対応のHDMIケーブルでHDMI入力1(ARC)端子に接続し、光デジタルケーブルの接続は不要です。92
- 光デジタルケーブルの代わりに音声用コードで接続することもできます。その場合は、「ヘッドホン／音声出力設定」で「外部スピーカー」を選び、「外部スピーカー出力設定」を「固定」に設定します。144
- HDMI連動(レグザリンク)に非対応のオーディオ機器の場合、本機のスピーカーから音声を出さないときは、以下の操作をするか、または本機の音量を最小に調節してください。

1 サブメニューを押し、▲·▼で「スピーカー切換」を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で「サウンドシステムスピーカー」または「外部スピーカー」を選び、決定 を押す

- 以下の場合に「サウンドシステムスピーカー」が表示されます。
  - 本機と音声連携が可能なオーディオ機器がHDMIケーブルで接続されていて、動作状態になっている(オーディオ機器のスピーカーから音声が出るようになっている)。
  - 「HDMI連動設定」98が以下のように設定されている。
    - HDMI連動機能……使用する
    - サウンドシステム連動……スピーカー・音質連動
- 本機のスピーカーで聴くときは、「テレビスピーカー」を選びます。



3 音量を調節する

- レグザリンク対応のオーディオ機器では、本機のリモコンで音量調節と消音の操作ができます。

※ レグザリンク非対応のオーディオ機器を音声用コードで接続している場合は、「ヘッドホン／音声出力設定」の「外部スピーカー出力設定」144に従った方法で音量を調節してください。

- **固定**……オーディオ機器で音量を調節します。
- **可変**……本機のリモコンで音量を調節します。

ヤマハオーディオ機器の音声を調整する

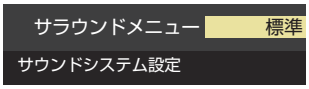
- 音声連動対応のヤマハオーディオ機器が接続されている場合、サラウンドメニューでお好みの音声に調整することができます。

※ 接続する機器によっては、一部の機能を使用できない場合があります。

- 音声連携対応のヤマハオーディオ機器に電源を入れて本機とHDMIケーブルで接続し、「HDMI連動設定」98を以下のように設定します。
  - HDMI連動機能……使用する
  - サウンドシステム連動……スピーカー・音質連動

1 サブメニューを押し、▲·▼で「サウンドシステム設定」を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で「サラウンドメニュー」を選び、決定 を押す



3 お好みの音声に調整する

サラウンドメニュー

- 視聴中の番組に適した音声を選ぶことができます。

※ 画面に表示されるサラウンドメニューは、ヤマハオーディオ機器側のサラウンドメニューの内容と一致しないことがあります。

- 「おまかせ」に設定すると、ヤマハオーディオ機器のスピーカーから番組のジャンルに適した音声が出るようになります。

お知らせ

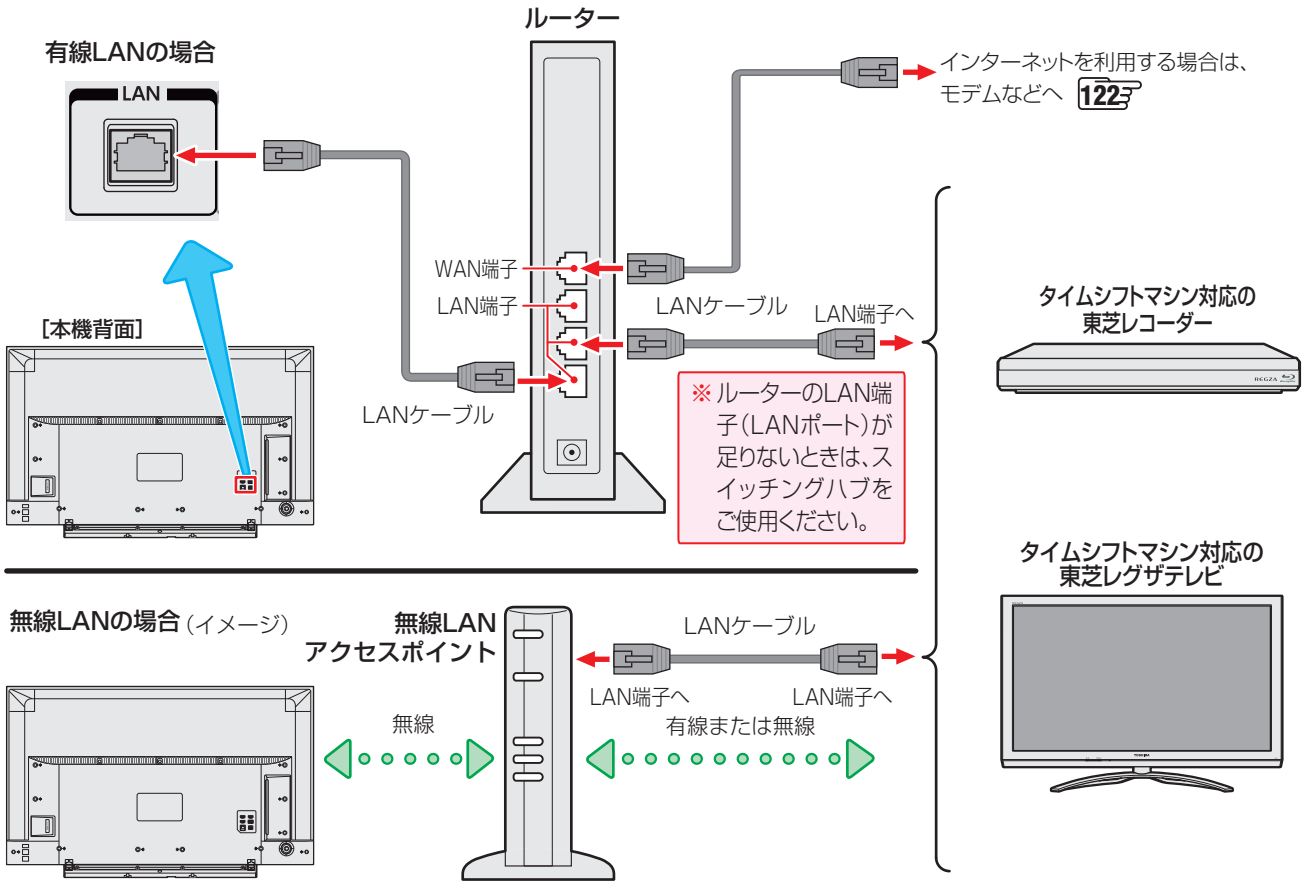
- 音量表示が「サウンドシステム音量」に変わっているとき、本機のスピーカーおよび「通常モード」48選択時はヘッドホン端子から音声は出ません。
- レグザリンク対応のオーディオ機器については、ホームページ(https://www.toshiba.co.jp/regza/)をご覧ください。
- サウンドシステム音声連動対応のオーディオ機器については、ホームページ(https://www.toshiba.co.jp/regza/)をご覧ください。

タイムシフトリンク機能を使う

● タイムシフトリンク機能は、同一ネットワーク上に接続した、ホームサーバー機能が搭載されている他のタイムシフトマシン対応の東芝レコーダーや東芝レグザのタイムシフトマシン録画の番組を、本機で再生したり操作したりできる機能です。

※ タイムシフトリンク機能を利用するには、ホームネットワークでの接続と設定 61 ～ 66 、およびタイムシフトリンク機能の設定 106 が必要です。

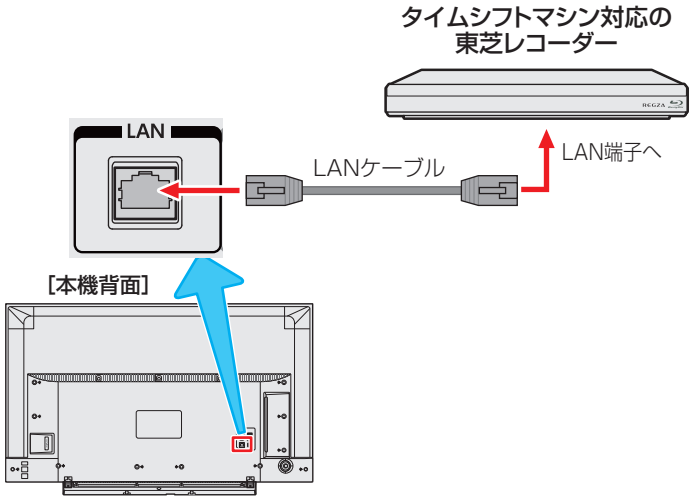
機器を接続する



本機とタイムシフトマシン対応の東芝レコーダーを直接接続する場合

● ホームネットワークやインターネットへの接続をしない場合や、他のネットワーク機器の通信による影響を受けないようにしたい場合は、本機と直接接続します。

※ 設定は、「本機と東芝レコーダーを直接接続する場合」 55 を参照してください。



タイムシフトリンク機能を使う つづき

タイムシフトリンク機能を使う設定をする

- タイムシフトリンク機能で操作する機器を選びます。
- タイムシフトリンク機能で連携する機器の電源を入れて、サーバー機能の設定をしてから、以下の操作をしてください。

1 設定 を押して、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「タイムシフトリンク設定」⇨「機器の登録」の順に進む

2 ▲·▼を押して、タイムシフトリンク機能で使用する機器を選び、決定 を押す

- 選んだ機器のタイムシフトマシン録画番組を、過去番組表に表示したり、再生したりできます。

※ 選んだ機器のネットワークの状態や接続を変更したときに、本機でタイムシフトリンク機能を使用する機器として認識できなくなった場合は、上記の操作で再度機器を選んでください。

※「使用しない」を選んだ場合は、タイムシフトリンク機能は働きません。

タイムシフトリンクメニューを表示する(基本操作)

- タイムシフトリンク機能を使った操作をします。

1 タイムシフト リンク を押す

- タイムシフトリンクメニューが表示されます。

- 本機およびタイムシフトリンク機能で選んだ機器のリモート電源の設定によって、再生時に自動的に電源を入れることもできます。

2 ◀·▶を押して、操作するメニューを選び、決定 を押す

※「始めにジャンプ」と「機器操作」は、HDMIケーブルも接続していて、「HDMI連動機能」が「使用する」のときに操作できます。

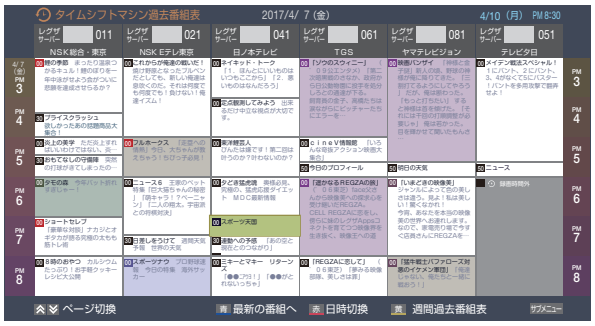
タイムシフトマシン録画番組を見る

- タイムシフトリンク機能で選んだ機器の過去番組表を表示させ、タイムシフトマシン録画番組を選びます。

※「タイムシフトリンク機能を使う設定をする」(上の説明)の操作をした直後は、選んだ機器からの過去番組表の表示には時間がかかります。

1 タイムシフト リンク を押し、◀·▶で「過去番組表」を選び、決定 を押す

- タイムシフトマシン録画の過去番組表が表示されます。



- 「週間過去番組表」については「週間過去番組表を表示させる」107 をご覧ください。
- テレビの状態によっては、日時の古い番組が表示されないことがあります。

2 見たい番組を▲·▼·◀·▶で選ぶ

- 過去番組表に表示しきれていない日時のページを表示させるには ⩓ · ⩔ を押します。
- 青 を押すと、選ばれているチャンネルの最新番組へ移動します。
- 赤 を押すと日時指定ジャンプ画面が表示されます。日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。39 の手順2 をご覧ください。
- 選んだ番組を番組冒頭(録画開始部分)から見たいときは、サブメニューから「頭出し再生」108 を選びます。
- 選んだ番組の番組説明を見るには、番組説明 を押します。

3 決定 を押す

- 選択した番組の再生(タイムシフトマシン再生)が始まります。
- 再生中の番組の番組説明を見るには、番組説明 を押します。

4 タイムシフトマシン再生を終了するには、終了 または ■ を押す

- ほかの操作によってもタイムシフトマシン再生が終了する場合があります。

- タイムシフトマシン再生を開始すると、再生を開始した番組から同じチャンネルの最新の録画番組まで順に連続再生が行われます。
- 録画が完了した最新番組の再生が終わるとタイムシフトマシン再生が終了します。
- 番組を選び直すには、手順1 から操作します。

過去番組表について

● タイムシフトリンク機能で選んだ機器によっては、録画中の番組（放送中の番組）は表示されません。

［過去番組表の例］

※ グレーに表示されている番組は、「番組表を更新する」108 の操作をすると表示される場合があります。

ご注意

- 「タイムシフトリンク機能」が「使用しない」になっているとき、またはHDMIケーブルだけで接続しているときは、タイムシフトマシン対応の東芝レコーダーの過去番組表が表示されます。その場合の過去番組表の操作は、東芝レコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- タイムシフトリンク機能を使って本機が表示する過去番組表は、タイムシフトリンク機能で選んだ機器の情報を基に本機が作成した過去番組表になります。タイムシフトマシン搭載の東芝レコーダーが表示する過去番組表とはデザイン、レイアウトが異なります。
- 表示できる番組数には制限があります。日時の古い番組は表示されないことがあります。
- タイムシフトリンク機能で選んだ機器が自動削除をしている時間帯の番組は、再生できなかったり途中からの再生になったりします。

過去番組表を便利に使う

● 過去番組表が表示されているときに以下の操作をします。

週間過去番組表を表示させる

● 選んだ放送局の一週間分の番組表を表示させることができます。

1 ◀·▶で一週間分の番組表を表示させたいチャンネルを選び、黄（週間過去番組表）を押す

- « · » で他のチャンネルの週間過去番組表に切り換えることができます。
- 操作方法は、通常番組表の場合と同じです。

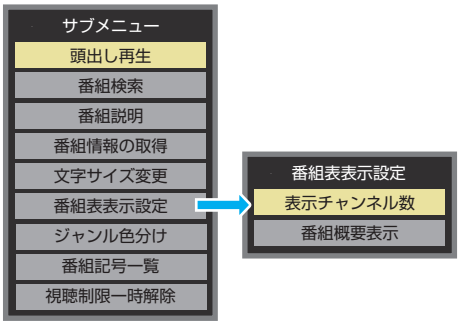
サブメニューを使って操作する

● 過去番組表が表示されているときにサブメニューを押して、過去番組表のさまざまな設定をすることができます。

1 サブメニューを押す

- 過去番組表のサブメニューが表示されます。

2 設定する項目を▲·▼で選んで決定を押し、以降を参照して操作する



● 以下の項目は通常番組表と同じ操作になります。
該当タイトルの説明をご覧ください。

項目	該当タイトル	ページ
番組説明	番組説明を見る	39
ジャンル色分け	ジャンル別に色分けする	40
番組記号一覧	番組記号の説明を見る	41
番組概要表示	番組概要の表示／非表示を設定する	41
視聴制限一時解除	番組表で視聴制限を一時解除する	41

タイムシフトリンク機能を使う つづき

頭出し再生

● 過去番組表で選んだ番組を番組冒頭(録画開始部分)から見ることができます。

❶ ▲·▼で「頭出し再生」を選び、決定を押す

「番組検索」で見たいタイムシフトマシン録画番組を探す

● タイムシフトマシン録画された番組の中から、見たい番組を探して視聴することができます。

❶ ▲·▼で「番組検索」を選び、決定を押す

❷ 検索するグループのタブを◀·▶で選ぶ

❸ 検索条件を指定する

● 「日付」と「チャンネル」以外の指定方法は、「条件を絞りこんで番組を探す」42ページの手順 *4* と同じです。

※ 過去番組表で番組検索する場合、「ジャンル」の「サブジャンル」は「ゴルフ」、「サッカー」、「野球」、「相撲・格闘技」、「競馬·公営競技」、「ショッピング·通販」、「グルメ·料理」、「天気」、「交通」の検索ができます。他の「サブジャンル」は、タイムシフトリンク機能で選んだ機器によっては検索できません。

■「日付」を指定するとき

① ▲·▼で「日付」を選び、決定を押す

② ◀·▶で左端の欄に移動し、▲·▼で「指定する」を選ぶ

③ ◀·▶で欄を移動し、検索範囲の開始～終了の年、月、日を▲·▼で選ぶ

④ 指定が終わったら、決定を押す

■「チャンネル」を指定するとき

① ▲·▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

② ▲·▼·◀·▶でチャンネルを選び、決定を押す

● タイムシフトマシン録画チャンネルの中から、お好みのチャンネルまたは「すべて」が指定できます。

❹ ▲·▼で「検索開始」を選び、決定を押す

● 検索にはしばらく時間がかかることがあります。

● 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

❺ 「番組検索結果」画面からお好みの番組を▲·▼で選び、決定を押す

● 再生が始まります。

■頭出し再生をする

● 選んだ番組を番組冒頭(録画開始部分)から見ることができます。

① ▲·▼で頭出し再生をしたい番組を選び、赤(頭出し再生)を押す

番組表を更新する

● タイムシフトリンク機能で選んだ機器の過去番組表を更新します。

❶ ▲·▼で「番組情報の取得」を選び、決定を押す

● 番組情報の取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。

● 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中にサブメニューを押し、サブメニューから「番組情報の取得中止」を選択します。

文字サイズ変更

● 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに、文字の大きさを切り換えることができます。

❶ ▲·▼でお好みの文字の大きさを選び、決定を押す

表示チャンネル数

● お買い上げ時は、録画チャンネル数が1～4のときは4チャンネル表示、5～6のときは6チャンネル表示、7のときは7チャンネル表示になりますが、以下の操作で表示するチャンネル数を変更することができます。

● 録画チャンネル数が表示チャンネル数よりも少ないときは、番組表の空き部分が灰色になります。

❶ ▲·▼と決定で「番組表表示設定」⇨「表示チャンネル数」の順に進む

● 9チャンネル表示も選ぶこともできます。

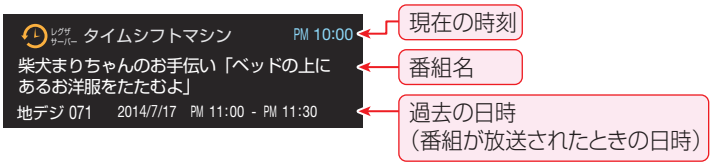
※ オートでは、録画チャンネル数にかかわらず9チャンネル表示はされません。

❷ ▲·▼で表示させるチャンネル数を選び、決定を押す

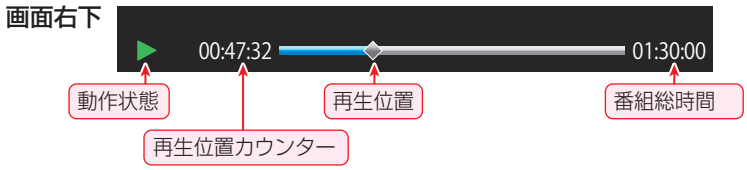
番組情報やタイムバーを表示させる

- タイムシフトマシン再生中に 画面表示 を押すと、画面右上に番組情報、画面右下にタイムバーが表示されます。
- 停電や「タイムシフトマシン録画の一時停止」などで録画されなかった部分があっても、その様子はタイムバーに表示されません。その部分は再生時にスキップされます。

画面右上



画面右下



タイムシフトマシン再生中にできるリモコンの基本操作

- 本機のリモコンで以下の再生操作ができます。

ボタン	動　作
▶/一時停止	一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。 • 再生中に繰り返し押すと、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。
静止 ⏸	再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
■	タイムシフトマシン再生を停止し、放送画面などに戻ります。
▶▶	早送り再生をします（押すたびに速さが変わります）。 • 一時停止中に1秒ほど押し続けると、連続コマ送りになります。連続コマ送り中に押すと、押すたびに速さが変わります（2段階）。
◀◀	早戻し再生をします（押すたびに速さが変わります）。 • 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。
»	再生中または可変再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します（ワンタッチスキップ）。
«	再生中または可変再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します（ワンタッチリプレイ）。
◀·▶	再生中に押すと、20ポイントに分割された番組の前後のポイントへスキップします。 • 録画時間が短い番組では動作しないことがあります。 • ざんまいスマートアクセスのように、◀·▶を別に使う機能では、この機能は使えません。
▶▶|	次の番組を再生します。 • ざんまいスマートアクセスからタイムシフト再生したときは働きません。
|◀◀	再生中の番組の先頭にスキップして再生します。再生してから約4秒以内に押した場合は、一つ前の番組の先頭にスキップします。 • ざんまいスマートアクセスからタイムシフト再生したときは、再生中の番組の先頭にスキップして再生します。

- 「始めにジャンプ」でタイムシフト再生を行う場合、タイムシフトリンク先の機器による再生動作になります。102
- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間は、接続機器の設定・機能によって異なる場合があります。

※ 録画番組によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。

タイムシフトリンク機能を使う つづき

タイムシフトマシン録画番組をざんまいスマートアクセスで楽しむ

● タイムシフトマシン録画番組の中からお好みの番組を簡単に見つけ出し、番組を楽しむことができます。

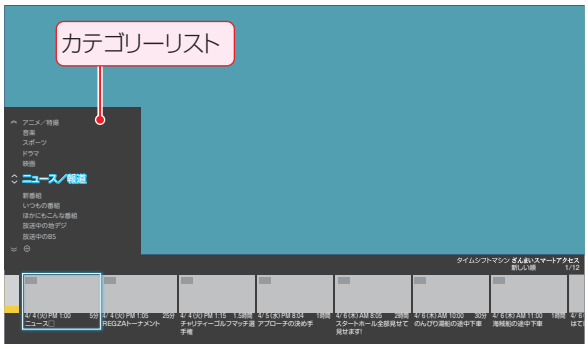
お好みの番組を選ぶ

1 タイムシフトリンクを押し、◀·▶で「ざんまいスマートアクセス」を選び、決定を押す

● ざんまいスマートアクセスの画面が表示されます。

2 ▲·▼を押して、カテゴリーリストからお好みのカテゴリーを選ぶ

● サムネイルが表示されます。

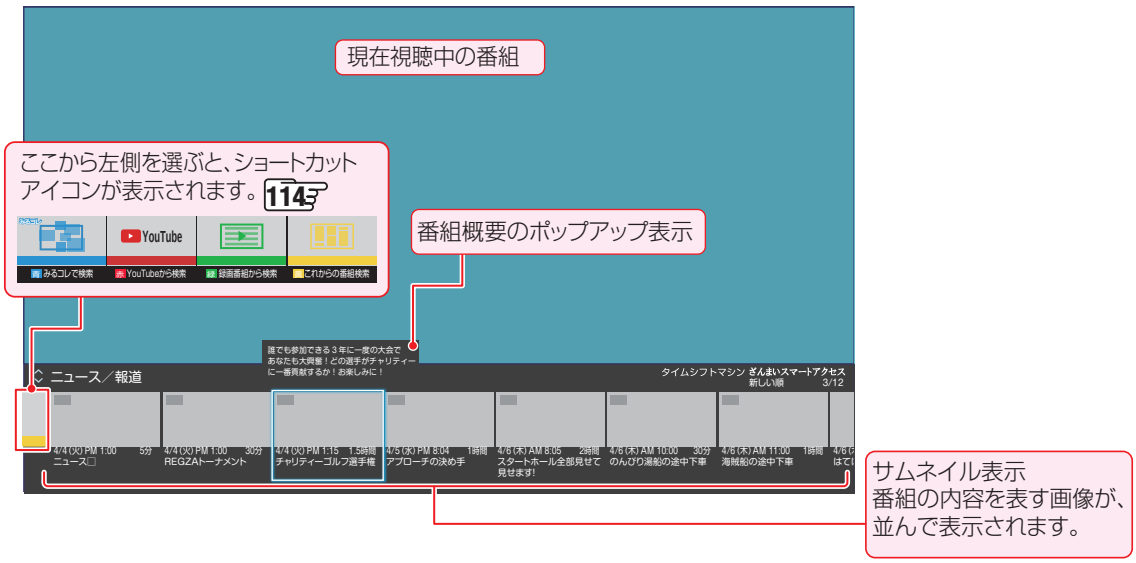


3 ◀·▶を押して見たい番組をサムネイルから選び、決定を押す

● 選択した番組の再生(タイムシフトマシン再生)が始まります。
● タイムシフトマシン再生の操作については、「タイムシフトマシン再生中にできるリモコンの基本操作」109をご覧ください。
● 放送中の番組を選んで決定を押した場合は、選んだ番組が選局されます。
● 視聴制限番組の場合は、ポップアップの番組概要や番組タイトルが伏せ字(「＊＊＊＊」)で表示されます。

カテゴリーリストについて

● カテゴリーリストには、カテゴリー設定画面で☑がついている項目が表示されます。カテゴリー設定画面は、「カテゴリーリストの項目を変更する」111の操作で確認することができます。
● カテゴリーは、あとからお好みの内容に変更することができます。111



お知らせ

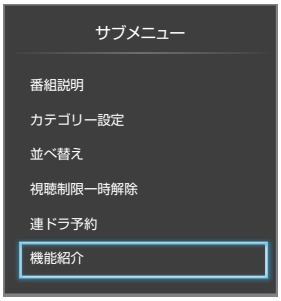
■ **サムネイルの種類について**

● 番組のジャンルを表すアイコンが表示されます。
● 番組の状態によっては、ジャンルアイコンや「▶」(録画番組)、「📺」(地デジ番組)、「🛰」(BS／CS／BS/CS 4K番組)が表示されます。

機能紹介を見る

● ざんまいスマートアクセスの楽しみかたを紹介する、機能紹介を表示します。

1 ざんまいスマートアクセスの画面を表示中に、サブメニュー を押し、▲·▼で「機能紹介」を選び、決定 を押す



● 機能紹介の画面が表示されます。

● 機能紹介の画面では、決定 を押すと次の画面に進み、戻る を押すと前の画面に戻ります。

最後の画面で 決定 を押すと、機能紹介が終了し、ざんまいスマートアクセスの画面に戻ります。

- ◀·▶を押しても画面を進める(または戻る)ことができます。

カテゴリーをお好みに変更する

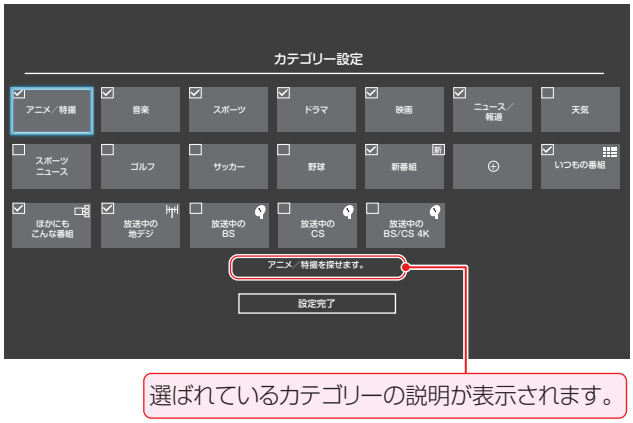
● カテゴリーリストを、お好みの内容に変更することができます。

カテゴリーリストの項目を変更する

1 サブメニュー を押し、▲·▼で「カテゴリー設定」を選び、決定 を押す

● カテゴリー設定画面が表示されます。

※ 下のカテゴリー設定画面イラストは、イメージになります。実際の画面とは若干異なります。



● カテゴリーリストの⊕を選んでも、カテゴリー設定画面が表示されます。

● カテゴリーリストに表示されている項目には、☑がついています。

2 ▲·▼·◀·▶でカテゴリーを選び、決定 を押す

● 決定 を押すたびに、☑(表示する)と☐(表示しない)が交互に切り換わります。

● 手順2の操作を繰り返して、カテゴリーリストに表示する項目、または表示しない項目を設定します。

● 「＋」が表示されているカテゴリーを選んで 決定 を押すと、カテゴリー編集画面が表示されます。「カテゴリーを追加·編集する」112 の操作をして、お好みのカテゴリーを追加することができます。

3 変更が終了したら、▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定 を押す

タイムシフトリンク機能を使う つづき

カテゴリーを追加・編集する

● 好みのカテゴリーを追加したり、選んだカテゴリーを編集したりできます。

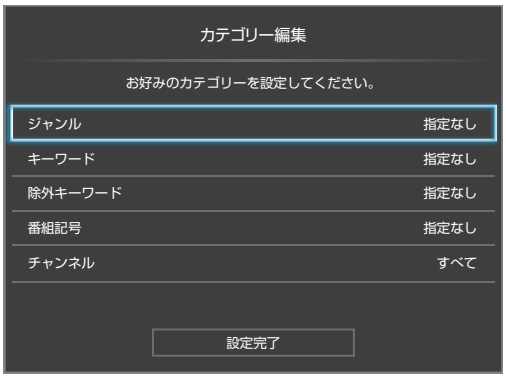
1 カテゴリーを追加するとき：カテゴリー設定画面で、「＋」が表示されているカテゴリーを選び、決定を押す

● カテゴリー編集画面が表示されます。

カテゴリーを編集するとき：カテゴリー設定画面で、編集するカテゴリーを選び、青を押す

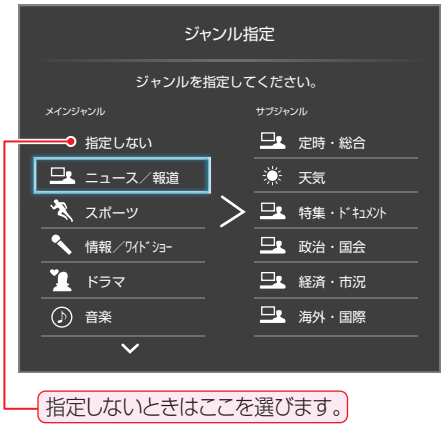
● 「いつもの番組」、「ほかにもこんな番組」、「放送中（地デジ／BS／CS／BS/CS 4K）」以外のカテゴリーを選びます。
● カテゴリー編集画面が表示されます。

2 カテゴリー編集画面で、以降の操作をする



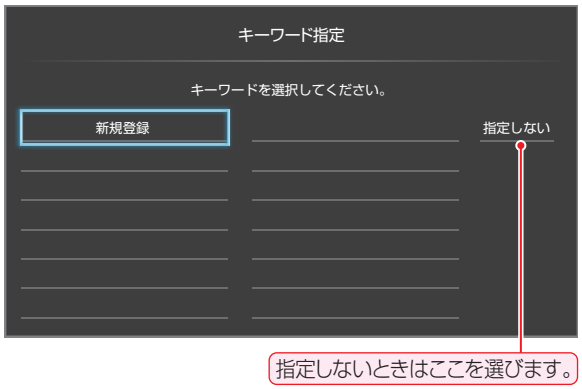
「ジャンル」を指定するとき

❶ ▲·▼で「ジャンル」を選び、決定を押す
❷ 指定するジャンルを▲·▼·◀·▶で一つ選び、決定を押す
● サブジャンルを指定する場合、検索できないことがあります。



「キーワード」を指定するとき

● 指定したキーワードを含んだ番組を表示させます。
❶ ▲·▼で「キーワード」を選び、決定を押す
❷ 指定するキーワードを▲·▼·◀·▶で一つ選び、決定を押す
● キーワード指定画面が表示されます。
● お買い上げ時は登録されていません。以下の操作で「キーワード」を登録します。



■新しいキーワードを登録する場合

① ▲·▼·◀·▶で「新規登録」を選び、決定を押す
● 文字入力画面が表示されます。
② キーワードを入力して、決定を押す
● 文字入力の方法は、161ページをご覧ください。
● キーワードは14個まで登録できます。

■キーワードを編集する場合

① 編集するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、青を押す
② キーワードを編集し、決定を押す
● 編集したキーワードが、キーワード指定画面に表示されます。

■キーワードを削除する場合

① 削除するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、赤を押す
② ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

「除外キーワード」を指定するとき

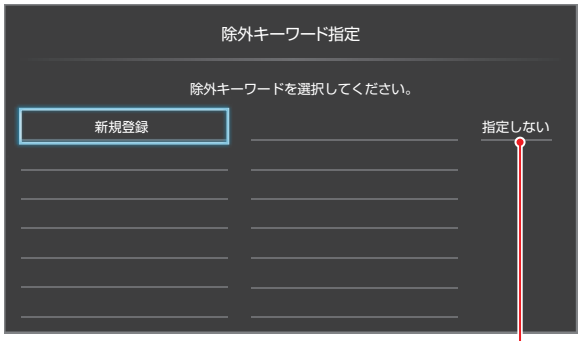
● 指定したキーワードを含んだ番組を、表示させないようにします。

❶ ▲·▼で「除外キーワード」を選び、決定を押す

❷ 指定するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

● お買い上げ時は登録されていません。

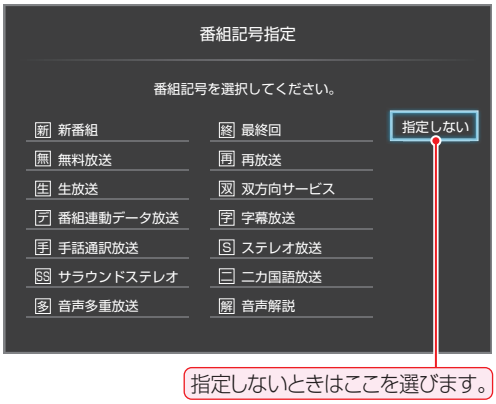
● キーワードの登録方法は、「「キーワード」を指定するとき」112 をご覧ください。



「番組記号」を指定するとき

❶ ▲·▼で「番組記号」を選び、決定を押す

❷ 指定する番組記号を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す



「チャンネル」を指定するとき

● タイムシフトリンク機器で設定されているチャンネルから指定します。

❶ ▲·▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

❷ 指定するチャンネルを▲·▼選び、決定を押す

● 決定を押すたびに、☑(指定する)と☐(指定しない)が交互に切り換わります。

❸ 指定が終わったら▶で「設定完了」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「設定完了」を選び、決定を押す

カテゴリーを削除する

1 カテゴリー設定画面で、削除するカテゴリーを選び、赤を押す

※ 削除できないカテゴリーの場合は、「このカテゴリーは削除できません。」が表示されます。

※ カテゴリーが一つしかない場合は、「これ以上カテゴリーを削除できません。」が表示されます。

2 確認画面で、◀·▶を押して「はい」を選び、決定を押す

カテゴリーをお買い上げ時の状態に戻すには

● 「設定の初期化」154 をすると、カテゴリー設定画面の内容が、お買い上げ時の状態に戻ります。

タイムシフトリンク機能を使う つづき

ざんまいスマートアクセスを便利に使う

- ざんまいスマートアクセスのサブメニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。
- ざんまいスマートアクセスのサブメニューは、一定の時間操作をしないと、ざんまいスマートアクセスの画面を表示する前に戻ります。

番組説明を見る

- 選んだ番組の番組説明を見ることができます。

1 番組説明を見たい番組を選ぶ

2 サブメニュー を押し、▲·▼で「番組説明」を選んで、決定 を押す

番組を並べ替える

- リストに表示される番組の並び順を変えることができます。

※ 放送中の番組、「ほかにもこんな番組」の並べ替えはできません。

1 サブメニュー を押し、▲·▼で「並べ替え」を選んで、決定 を押す

2 ▲·▼で項目を選び、決定 を押す

- **新しい順**……日付の新しい順に表示されます。
- **古い順**……日付の古い順に表示されます。
- **おすすめ順**…本機がおすすめする順に表示されます。

- おすすめ順は「いつもの番組」のときに選べます。

連ドラ予約をする

- 表示されている「放送中の番組」を選んで、「連ドラ予約」をすることができます。

1 連ドラ予約する番組を▲·▼で選び、サブメニュー を押す

2 ▲·▼で「連ドラ予約」を選び、決定 を押す

3 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀·▶で「はい」を選んで決定 を押す

- 番組名や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。
- 設定を変更する場合は、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」71 の操作をします。

ショートカットアイコンを使う

- ショートカットアイコンを選ぶと、ざんまいスマートアクセスで選ばれているカテゴリーの条件で、以下の検索を行います。

※ ショートカットアイコンと同じ色のリモコンのカラーボタンを押しても操作できます。

- **みるコレで検索**……番組やシーン、YouTube™の動画などをまとめて検索した画面にジャンプします。
- **YouTubeから検索**……クラウドサービスのYouTube™の検索結果ページにジャンプします。
- **録画番組から検索**……録画リストの番組検索画面にジャンプします。
- **これからの番組検索**…通常番組表の番組検索画面にジャンプします。

※ 「みるコレで検索」と「YouTubeから検索」は、インターネットへの接続が必要です。接続されていない場合は、接続を確認する画面が表示されます。

※ お買い上げの時期によっては、「YouTubeから検索」のご利用にはソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。

※ 「YouTubeから検索」を利用する場合、「リモート電源オン設定」の「外部機器から電源オン」は自動的に「電源オン」に設定されます。

始めにジャンプを使う

- 視聴中の番組を始めから見ることができます。

※ HDMIケーブルも接続していて、「HDMI連動機能」を「使用する」に設定しているときに利用できます。

1 タイムシフトリンク を押し、◀·▶で「始めにジャンプ」を選び、決定 を押す

- 視聴中の番組の冒頭（録画開始部分）からタイムシフトマシン再生が始まります。

機器操作を使う

- HDMIケーブルで接続していて、「HDMI連動機能」を「使用する」に設定しているときに、レグザリンクの操作メニュー 100 を表示することができます。

※ ネットワーク接続して、タイムシフトリンク機能を利用しているときは使用できません。

1 タイムシフトリンク を押し、◀·▶で「機器操作」を選び、決定 を押す

- HDMI連動機器が複数あるときは、機器選択の画面が表示されます。「機器操作」をする機器を選びます。
- レグザリンクの操作メニュー 100 が表示されます。

おまかせ録画番組表を使う

- テレビの視聴履歴や選んだテーマをもとに、おすすめの番組を自動的に録画し、一覧できる機能です。

※ USBハードディスクの接続 51 とインターネット接続 122 の設定が必要です。

※ おまかせ録画番組表については、ホームページ(http://timeon.jp/)をご覧ください。

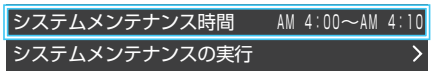
システムをメンテナンスする

- 本機のシステムメンテナンスを行います。システムメンテナンスをすることで、本機システム内のデータが整理され、効率的に動作するようになります。

毎日自動的に実行する

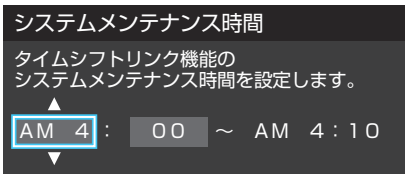
- 設定した時刻に毎日自動的に本機システムメンテナンスが実行されます。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「タイムシフトリンク設定」⇨「システムメンテナンス」⇨「システムメンテナンス時間」の順に進む



2 ◀·▶で「時」、「分」の欄を選び、▲·▼で開始時刻を設定する

- 開始時刻は10分単位で設定できます。システムメンテナンスの所要時間は約10分間です。



3 設定が終わったら、決定 を押す

手動で今すぐ実行する

※ システムメンテナンスを実行すると、動作中の録画、ダビングは中止します。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「タイムシフトリンク設定」⇨「システムメンテナンス」⇨「システムメンテナンスの実行」の順に進む

2 ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

- 本機の電源がいったん切れてから「入」になり、システムメンテナンスが開始されます。
- システムメンテナンスが終了するまでの約10分間は操作できません。

タイムシフトリンク省エネ設定をする

- タイムシフトリンクを使用しているときの、省エネ設定をします。

1 設定 を押して、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「タイムシフトリンク設定」⇨「省エネ設定」の順に進む

2 ▲·▼を押して、「オン」または「オフ」を選び、決定 を押す

- **オン**……省エネ設定が働き、電源が「入」のときだけタイムシフトリンク機器から番組情報を取得します。電源を「入」にした直後は、タイムシフトリンク機器からの番組情報が表示されないことがあります。
- **オフ**……省エネ設定を解除し、電源が「待機」や「切」のときでもタイムシフトリンク機器から番組情報を取得します。

おすすめ履歴を初期化する

- おすすめ履歴をお買い上げ時の状態に戻します。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「タイムシフトリンク設定」⇨「おすすめ履歴の初期化」の順に進む

2 初期化の確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

3 初期化が終了したら、決定 を押す

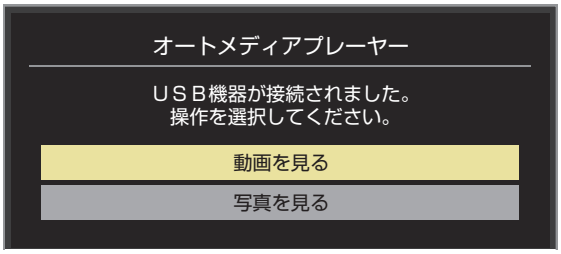
動画を再生する

- USB機器、ネットワークメディアサーバー、DTCP-IP対応サーバー、LANハードディスクに保存されている動画を本機で視聴できます。
- 機器の接続や設定などの準備については、「USB機器を接続する」95、「ホームネットワーク機器の準備をする」61～66をご覧ください。
- 本機で再生できる動画のフォーマットについては、167をご覧ください。

ご注意
- 再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているコンテンツが損なわれることがあります。
- 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときにはデジタル放送などの著作権保護付コンテンツをホームネットワーク上で視聴することができません。著作権保護無しのコンテンツを取り扱う場合も無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。

動画再生の操作

- オートメディアプレーヤーの画面が表示された場合は、▲·▼で「動画を見る」を選んで 決定 を押し、手順3から操作します。



1 みるコレ を押し、▲·▼·◀·▶と 決定 でみるコレの項目から「メディアプレーヤー 動画」の順に進む

- サブメニューの「メディアプレーヤー」からも「動画」に進むことができます。

2 再生機器を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す

- 青 を押すと、再生機器を検索することができます。

※ リモート電源オン機能で登録した機器で起動していない機器（薄くなって表示されている機器）を選んで 決定 を押すと、Wake on LAN画面から起動できることがあります。

3 LANハードディスクのユーザー名とパスワードの入力画面が表示された場合は入力する

- 入力画面は、LANハードディスク側でユーザー名とパスワードを設定している場合に表示されます。

4 フォルダを▲·▼で選び、決定 を押す

- 機器によっては、この操作はありません。
- 複数のUSBハードディスクが接続されたホームサーバー機能対応レグザなどの場合は、それぞれのUSBハードディスクがフォルダとして表示されます。

例

5 動画を▲·▼で選び、決定 を押す

例

- 再生中に次ページのリモコン操作ができます。

表示モード切換ができるとき

- 操作ガイドに「緑 表示モード切換」が表示される場合、動画再生リストの表示モード切換ができます。
- 「タブ表示」にしたときのリスト画面の表示切換操作については、75の手順2をご覧ください。

6 動画再生を終了するには、■ または 終了 を押す

- 放送画面などに戻ります。

お知らせ
- ホームネットワーク機器の場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては再生できないことがあります。
- レジュームポイントが記憶されている場合は、続きから再生されます。
- USB機器で記録されたコンテンツの場合、手順5で選択した動画を先頭にリスト内の動画の連続再生になります。
- みるコレについては「クラウドサービスとネットワークサービスについて」132をご覧ください。

動画再生時にできるリモコン操作

- 機器によっては再生と停止しかできないなど、機能が制限されることがあります。
- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間は、「ワンタッチスキップ／ワンタッチリプレイの時間を変更する」76 で変更することができます。

ボタン	内　容
▶/早見早聞	動画の再生を開始します。 • 再生中に繰り返し押すと、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 ※ 動画や機器によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。
静止 ❚❚	再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
■	動画の再生を終了し、放送画面などに戻ります。
▶▶	早送り再生をします（押すたびに速さが変わります）。 • 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生、または連続コマ送りになります。スロー再生または連続コマ送り中に押すと、押すたびに速さが変わります（2段階または3段階（再生する動画のある機器によって異なります））。
◀◀	早戻し再生をします（押すたびに速さが変わります）。 • 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻しになります。
◀·▶	再生中に押すと、20ポイントに分割された動画の前後のポイントへスキップします。 • 再生時間が短い動画では動作しないことがあります。
»	再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します（ワンタッチスキップ）。
«	再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します（ワンタッチリプレイ）。
▶▶❙ ※	次の動画の先頭にスキップして再生します。
❙◀◀ ※	現在の動画の先頭にスキップして再生します。再生してから約4秒以内に押した場合は、一つ前の動画の先頭にスキップします。
録画リスト	再生中に押すと、動画再生のリスト画面が表示されます。

※ 機器によってはスキップの対象がチャプターになります。

動画の再生方法を設定する

- 動画を繰り返して再生することができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1 動画再生リストの表示中に サブメニュー を押す

2 ▲·▼で「再生設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で以下から選び、決定 を押す

- 1コンテンツリピート‥選択した一つの動画の再生を繰り返します（⟲1）。
- リピート……フォルダ内にあるすべての動画の連続再生を繰り返します（⟲）。
- オフ……繰り返し再生をしません。

時間を指定して再生する（タイムサーチ）

1 再生中に サブメニュー を押し、▲·▼で「サーチ」を選んで 決定 を押す

- 画面右上に サーチ－－:－－:－－ が表示されます。

2 1 ～ 10 (0) で時間を指定する

例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき
10 (0) 1 2 5 10 (0) 5 の順に押します。

動画を並べ替える

- 機器によっては並べ替えができないことがあります。

1 動画再生リストの表示中に サブメニュー を押す

2 ▲·▼で「並べ替え」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「新しい順」または「古い順」を選び、決定 を押す

機器を選び直す

- 使用する機器を選び直すときは、青 を押します。
  動画再生リストのときに サブメニュー を押し、▲·▼ で「機器の情報」を選んで 決定 を押すと、機器の情報を確認できます。

動画再生リストの操作ガイドについて

- 機器によっては、以下の操作ガイドが表示される場合があります。
  - 赤 削除
    「不要な録画番組を消す」82 を参考にしてください。
  - 緑 表示モード切換
    「表示モード切換ができるとき」116 をご覧ください。

写真を再生する

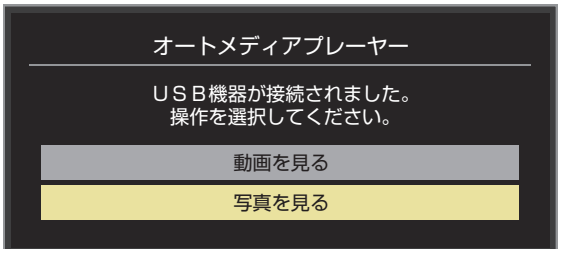
- USB機器、ネットワークメディアサーバー、LANハードディスクに保存されている写真を本機で見ることができます。
- 機器の接続や設定などの準備については、「USB機器を接続する」95、「ホームネットワーク機器の準備をする」61～66をご覧ください。
- 本機で再生できる写真のフォーマットについては、168をご覧ください。

ご注意

- 再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているデータが損なわれることがあります。
- 無線LANをご使用の場合、無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。

写真再生の操作

- オートメディアプレーヤーの画面が表示された場合は、▲·▼で「写真を見る」を選んで 決定 を押し、手順3から操作します。



- 「オートメディアプレーヤー」または、以下の手順1または手順2の操作で写真再生が起動すると、「写真再生」のマルチ表示画面になります（図はUSB機器の例です）。

1 みるコレ を押し、▲·▼·◀·▶と 決定 でみるコレの項目から「メディアプレーヤー 写真」の順に進む

- サブメニューの「メディアプレーヤー」からも「写真」に進むことができます。

2 再生機器を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す

- 対象機器が1台の場合、この操作はありません。

※ リモート電源オン機能で登録した機器で起動していない機器（薄くなって表示されている機器）を選んで 決定 を押すと、Wake on LAN画面から起動できることがあります。

3 以下の操作で写真を見る

1枚だけ拡大して表示する（シングル再生）

❶ マルチ表示画面から、見たい写真を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す

- 選択した写真が画面に拡大表示されます。

- ◀·▶で前の写真や次の写真に切り換えられます。
- « · » で最初の写真や最後の写真にスキップできます。
- マルチ表示画面に戻るときは 戻る を押します。

自動的に順番に表示する（スライドショー再生）

❶ 緑 を押す

- 選択中の写真から順番に表示されます。

- スライドショー再生を一時停止するには 青 を押します。もう一度 青 を押すと再開されます。
- ◀·▶で前の写真や次の写真に切り換えられます。
- « · » で最初の写真や最後の写真にスキップできます。
- シングル再生に戻るときは 緑 を押します。
- マルチ表示に戻るときは 黄 を押します。

お知らせ

- 写真の表示中は、音声出力（固定/可変）端子から音声信号は出力されません。
- フォルダ内にサイズの大きい写真が複数ある場合や、サーバーからの転送速度が遅い場合、写真リストが表示されないことがあります。
- ホームネットワーク機器の場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては再生できないことがあります。
- パソコンのアプリケーションソフトを使って加工や編集をした写真は、再生できないことがあります。
- みるコレについては「クラウドサービスとネットワークサービスについて」132をご覧ください。

写真を回転させるには

● マルチ表示画面、シングル再生画面、スライドショー再生画面で写真を回転させることができます。

❶ 赤 を押す

● 赤 を押すたびに時計回りに90度ずつ回転させることができます。

● 回転させた状態は記憶されません。

写真だけを表示するには

● シングル再生画面、スライドショー再生画面に表示された写真以外の情報を消すことができます。

❶ 画面表示 を押す

● もう一度 画面表示 を押すと情報が表示されます。

4 写真再生を終了するときは、終了 を押す

マルチ表示画面の表示モードを切り換える

● USB機器の場合に、マルチ表示画面の表示モードを切り換えることができます(ネットワークメディアサーバーは「フォルダ別」の表示だけになります)。

1 マルチ表示画面のときに 黄 を押す

● 黄 を押すごとに以下の「シームレス」または「フォルダ別」に切り換わります。

- **シームレス**…第1階層にあるDCIMフォルダや、その中にある第6階層までのフォルダに保存されている写真だけが最大1000枚まで表示されます(シームレス表示で写真が見つからないときは、自動でフォルダ別表示に切り換えます)。
- **フォルダ別**…写真および、同じ階層にあるフォルダが合計1000まで表示されます。

フォルダを開くには

● 「フォルダ別」の表示モードのときに、フォルダを開くには以下の操作をします。

❶ ▲·▼·◀·▶でフォルダを選び、決定 を押す

● 上の階層に戻るときは 戻る を押します。

再生を繰り返す

● シングル再生やスライドショー再生を繰り返すことができます。

● 設定した状態は本機に記憶されます。

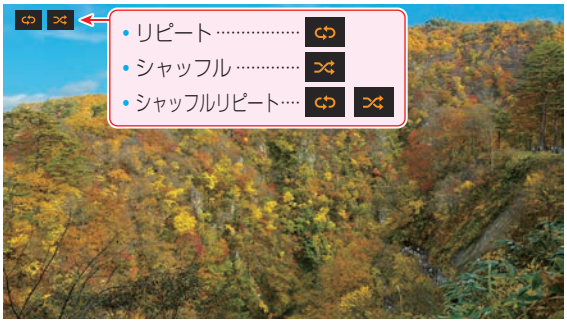
1 マルチ表示、シングル再生、またはスライドショー再生画面のときに サブメニュー を押す

2 ▲·▼で「再生設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で以下から選び、決定 を押す

- **リピート**…… フォルダ内にあるすべての写真の連続再生を繰り返します。
- **シャッフル**…… フォルダ内のすべての写真をランダム順に再生します。
- **シャッフルリピート**… ランダム再生を繰り返します。
- **オフ**…… 繰り返し再生やランダム順再生をしません。

● 設定に従って、再生画面やマルチ画面にアイコンが表示されます。



スライドショーの表示間隔の設定をする

● 写真の表示が完了してから次の写真の表示が始まるまでの時間を設定します。表示が完了するまでの時間は、写真のファイルサイズによって異なります。

● 設定した状態は本機に記憶されます。

1 マルチ表示画面またはスライドショー再生画面のときに サブメニュー を押す

2 ▲·▼で「間隔設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で以下から選び、決定 を押す

● 以下は目安です。

- **速い**……表示が完了してから約5秒後
- **標準**……表示が完了してから約10秒後
- **遅い**……表示が完了してから約30秒後

写真を再生する つづき

マルチ表示画面の写真の並び順を変える

- 表示モードが「フォルダ別」のマルチ表示画面で、写真の並べ替えができます。
- 機器によっては、並べ替えができないことがあります。

1 マルチ表示画面のときに 青 を押す

- 青 を押すたびに、「古い順」と「新しい順」が交互に切り換わります。
- フォルダが先に並び、次に写真が並びます。

機器を選び直す

- 使用する機器を選び直すには、マルチ表示のときに サブメニュー を押し、▲·▼で「機器選択」を選んで 決定 を押します。
- マルチ表示のときに サブメニュー を押し、▲·▼で「機器の情報」を選んで 決定 を押すと、機器の情報を確認できます。

※ 機器によっては、「機器選択」の選択画面に表示されないことがあります。

スカパー！プレミアムサービスLink（録画）の番組を再生する

- 「スカパー！プレミアムサービスLink」（録画）と配信に対応したサーバーで録画したスカパー！の番組を、ホームネットワーク経由で本機に配信して視聴することができます。ただし、4K放送の番組とラジオ番組は視聴できません。
- 機器の接続・設定については、「ホームネットワーク機器の準備をする」61 ～ 66 をご覧ください。

※ 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときには「スカパー！プレミアムサービスLink」（録画）の録画番組をネットワーク経由で視聴することができません。無線LANのセキュリティ設定を正しく実施してください。

基本操作

1 録画リスト を押す

2 青 を押す

3 ▲・▼・◀・▶で機器を選び、決定 を押す

- 対象機器が1台の場合、この操作はありません。

※「スカパー！プレミアムサービスLink」（録画）と配信に対応したサーバーを選択してください。

※ 起動していないWake on LAN対応機器（薄くなって表示されている機器）を選んで 決定 を押すと、Wake on LAN画面から起動することができます。

- 選択したサーバーの番組リストが表示されます。

4 見たい番組を▲・▼で選び、決定 を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。

5 番組再生を終了するときは、終了 を押す

- 放送画面などに戻ります。

視聴制限について

- 本機の視聴制限機能 151 を使用していない場合、視聴年齢が制限されたスカパー！の録画番組は本機の番組リストに表示されません。
- 番組の視聴年齢制限が番組冒頭または途中で変化する場合などには、本機の放送・インターネット制限設定によっては再生できないか、または再生が停止することがあります。
- 視聴年齢が制限された番組を表示・再生する場合は、以下の手順に従って適切な視聴制限設定をしてください。

本機の視聴制限設定をするには

❶ 暗証番号を設定する

- 設定の手順については「制限するために暗証番号を設定する」151 をご覧ください。

❷ 視聴制限を設定する

- 設定の手順については「番組の視聴を制限する」151 をご覧ください。
- 設定した年齢よりも制限年齢が上の番組は番組リストに表示されません。
- 視聴制限をしない場合は、「20歳（制限しない）」に設定します。

視聴制限を一時解除するには

❶ サブメニュー を押し、▲・▼で「視聴制限一時解除」を選び 決定 を押す

- 暗証番号入力画面が表示されます。

❷ 1（あ） ～ 10（小文字）(0) で暗証番号を入力する

- 入力した暗証番号が正しい場合は視聴制限が解除され、すべての番組が番組リストに表示されます。
- 本機の電源を「待機」または「切」にした場合や、録画リストを終了した場合、番組再生を中止・終了して放送画面に切り換えたり、他の番組再生にしたりする場合などに、視聴制限の一時解除は無効になります。

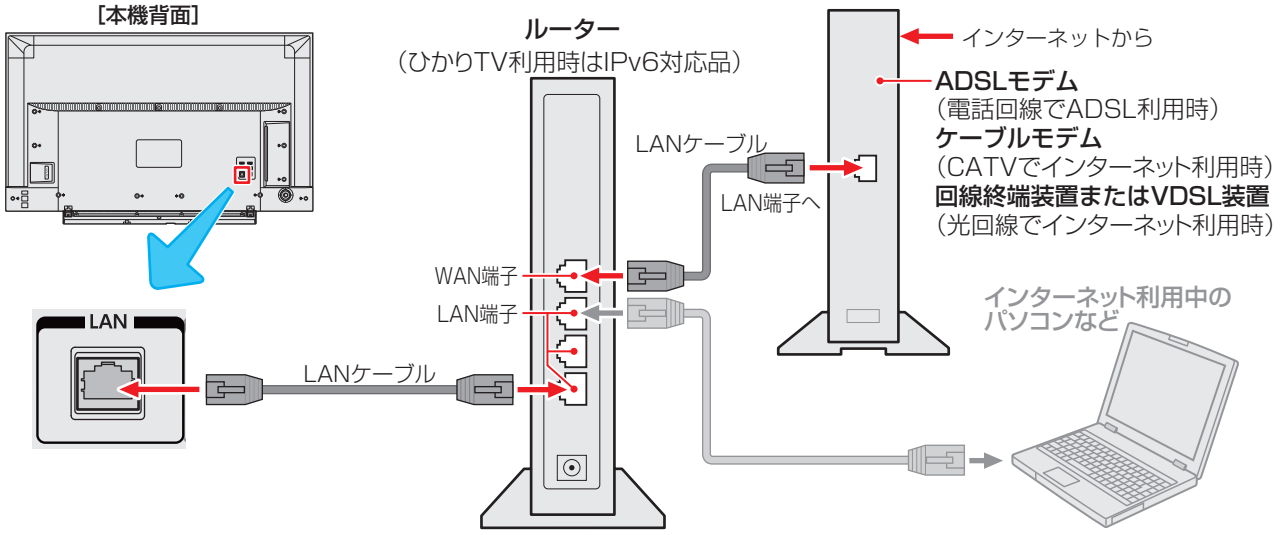
インターネットを利用するための接続をする

- はじめてインターネットを利用する場合は、通信事業者やプロバイダー(インターネット接続業者)との契約が必要です。通信事業者または取り扱いの電気店などにご相談ください。「ひかりTV」の視聴申込については、131をご覧ください。
- 接続方法でご不明な点は、裏表紙に記載の「東芝テレビご相談センター」にお問い合わせください。
- 接続が終わったら、必要に応じて次ページの「ネットワーク設定」をしてください。
- すでにパソコンでインターネットを利用している場合は、本機のLAN端子とルーターのLAN端子を市販のLANケーブルで接続するだけです。
- モデムとルーターが一体化されている場合もあります。それぞれの取扱説明書もよくお読みください。

本機をインターネットに接続したときにできること

できること	内　容	記載ページ
ネットワークサービス	● クラウドサービスなどのネットワークサービスを楽しむことができます。	132
データ放送の双方向サービス	● データ放送の双方向サービスを利用して、クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物をしたりすることができます。 ※ 本機は電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません。	44
ソフトウェアの更新	● 東芝サーバーから本機の最新ソフトウェアをダウンロードすることができます。	158

接続のしかた(有線LANの場合)



ご注意

- LANケーブルを抜き差しするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

- LANケーブルは、カテゴリ5(CAT5)と表示された規格以上のものをご使用ください。テレビ・ビデオサービスや動画配信サービスなどを利用する場合、カテゴリ3と表示されたケーブルでは、正しく視聴できないことがあります。
- 本機のLAN端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターなどに接続してください。
- 通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および利用料金などは、ご自身でお支払いください。
- 以下の場合やご不明な点は、ご契約の回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダーなどにお問い合わせください。
  - ご契約によっては、本機やパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
  - 一部のインターネット接続サービスでは、本機を利用できないことがあります。
  - プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
  - 回線の状況によっては、うまく通信できないことがあります。
  - モデムについてご不明な点など。

お知らせ

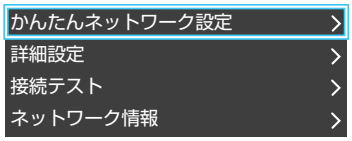
- 本機では、ルーターやルーター内蔵モデムの設定はできません。これらの機器によっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。
- 本機はダイヤルアップ通信やISDN回線などでインターネットを利用することはできません。
- この取扱説明書で図示していない機器が接続されている場合は、正常に通信できないことがあります。
- ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機のLAN端子を接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。

インターネットを利用するための設定をする

● お買い上げ時の設定でインターネットが利用できない場合やネットワークの設定をやり直す場合などに、必要に応じて設定します。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」の順に進む

2 設定する項目を▲·▼で選んで、決定 を押す



3 以降の手順で設定する

かんたんネットワーク設定

● はじめてネットワークの設定をするときや、ネットワークの設定をし直すときなどに、設定します。

有線LANの設定をする

● 有線LANの接続については、122 をご覧ください。

❶ ◀·▶で「有線LAN」を選んで、決定 を押す

❷ 接続テストをする場合は◀·▶で「はい」を選んで、決定 を押す

● 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選びます。あとから接続テストをする場合は、「接続テスト」128 をご覧ください。

● 「接続できませんでした。」と表示された場合は、LANケーブルの接続を確認してから、再度接続テストを行ってください。

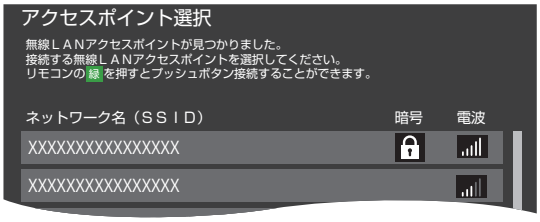
❸ 「インターネットに接続できました。」と表示されたら、決定 を押す

● 有線LANの設定は終了です。

無線LANの設定をする

❶ ◀·▶で「無線LAN」を選んで、決定 を押す

● アクセスポイント選択画面が表示されます。



● 設定方法には、
「**アクセスポイント選択**」（下の説明）、
「**プッシュボタン接続**」124、
「**PINコード接続**」124
があります。接続する無線LANアクセスポイントに合わせて、設定方法を選びます。

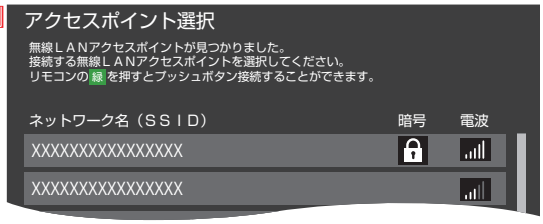
● お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書も、お読みください。

アクセスポイント選択

● 本機が使用可能な無線LANアクセスポイントを検出し、接続します。

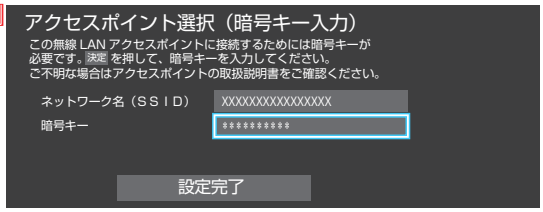
① 表示された接続可能なアクセスポイントから、本機の接続先を▲·▼で選び、決定 を押す

例



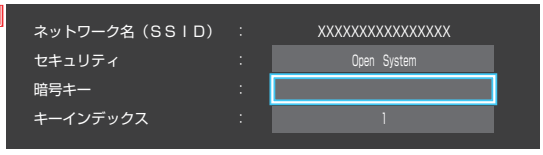
② ①で選択した無線LANアクセスポイントの暗号キーを入力する

例



● 選択先によっては下記の表示になることがあります。

例



インターネットを利用するための設定をする つづき

● 暗号キーについては、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
● 文字入力の方法は、161 をご覧ください。

③ ▲·▼で「設定完了」を選び、決定 を押す

④ 設定内容を確認し、決定 を押す

例

無線ＬＡＮ設定完了

以下のとおり無線 LAN の設定をおこないました。

ネットワーク名（ＳＳＩＤ）	:	XXXXXXXXXXXXXXX
暗号方式	:	AES
暗号キー	:	**********

プッシュボタン接続

● 「接続ボタン」が押され使用可能になった無線LANアクセスポイントを本機が検出し、接続します。

① 緑 を押す

② 無線LANアクセスポイントの接続ボタンを押す

● 本機がアクセスポイントを検出し、接続します。
● 接続に成功すると、設定内容が表示されます。

③ 設定内容を確認し、決定 を押す

例

無線ＬＡＮ設定完了

以下のとおり無線 LAN の設定をおこないました。

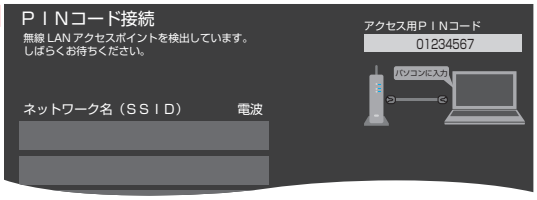
ネットワーク名（ＳＳＩＤ）	:	XXXXXXXXXX
暗号方式	:	AES
暗号キー	:	******

PINコード接続

① 黄 を押す

② 画面の指示に従い、表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントにパソコンで設定する

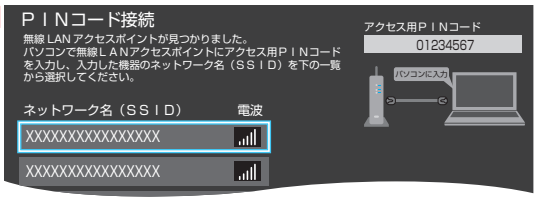
例



● PINコードの設定方法については、お使いのアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

③ 表示された接続可能なアクセスポイントから、本機の接続先を▲·▼で選び、決定 を押す

例



④ 設定内容を確認し、決定 を押す

例

無線ＬＡＮ設定完了

以下のとおり無線 LAN の設定をおこないました。

ネットワーク名（ＳＳＩＤ）	:	XXXXXXXXXX
暗号方式	:	AES
暗号キー	:	******

お願い

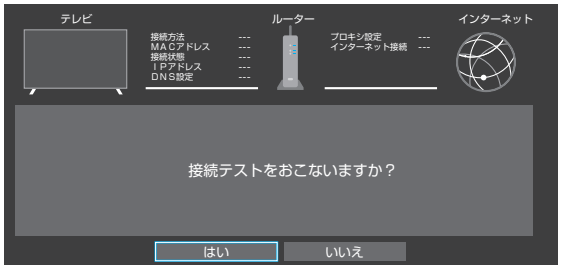
● 無線LANアクセスポイントが複数ある場合、本機と接続する無線LANアクセスポイントのチャンネルは、他の無線LANアクセスポイントと異なるチャンネルに設定してください。
● 5GHz帯に対応している無線LANアクセスポイントに無線LAN接続する場合、その無線LANアクセスポイントと本機は5GHz帯を使用する設定にしてください。
● 52以上のチャンネルでSSIDが公開されていない（ステルス設定された）無線LANアクセスポイントに接続できません。無線LANアクセスポイントの設定を変更してください。
● 同時に複数のチャンネル（デュアルチャンネルあるいはクアッドチャンネル、40MHzあるいは80MHzの使用帯域またはチャンネル幅）で通信できる無線LANアクセスポイントと接続する場合は、事前に無線LANアクセスポイントで有効にすることをお勧めします。
● 無線LANで接続していて、ネットワーク経由で映像を取得しているとき、映像が止まったりノイズが出たりする場合は、無線LANアクセスポイントと本機の設定を見直してから、無線LANアクセスポイントと本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと再度電源を入れます。それでも解消されない場合は、有線LANで接続してください。
● 本機の近くに無線LANアクセスポイントが設置されていると、アクセスポイント選択の一覧に表示されない、電波強度が弱く表示される、あるいは接続に失敗することがあります。このような現象が発生した場合、本機と無線LANアクセスポイントを離してお試しください。また、無線LANアクセスポイントの送信強度を下げることで改善できる場合もあります。

お知らせ

● 無線LANアクセスポイントに本機以外が無線LAN接続されていると、ネットワーク経由で映像を取得しているときに、その映像が止まったりノイズが出たりすることがあります。
● 無線LANアクセスポイントには、主に52以上のチャンネルで、気象レーダーなどとの干渉を検知してチャンネルを自動的に変更する機能が搭載されています。この機能によって、ネットワーク経由での映像再生が中断される場合があります。
● すべての無線LANアクセスポイントとの接続を保証するものではありません。
● 本機の設置環境によっては、無線LANを使用できないことがあります。
● 無線LANアクセスポイントのソフトウェアは最新バージョンで使用することをおすすめします。ソフトウェアのバージョンとアップデートについては、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

❷接続テストをする場合は◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

- 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選びます。あとから接続テストをする場合は、「接続テスト」128 をご覧ください。



- 「接続できませんでした。」と表示された場合は、無線LANの設定を確認してから、再度接続テストを行ってください。

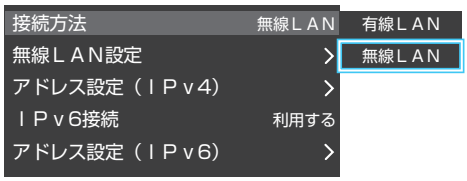
❸「インターネットに接続できました。」と表示されたら、決定を押す

- 無線LANの設定は終了です。

接続方法

❶ 設定 を押し、▲·▼と決定で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「詳細設定」⇨「接続方法」の順に進む

❷▲·▼で「有線LAN」または「無線LAN」を選んで、決定を押す



- 「有線LAN」から「無線LAN」に変更した場合、切換に数秒間かかります。

無線LAN設定

- 無線LANを使用する場合に、設定してください。
- 設定 を押し、▲·▼で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「詳細設定」に進め、「接続方法」が「無線ＬＡＮ」になっていることを確認してください。

「有線LAN」になっている場合

- 以下の操作で「無線LAN」に設定します。

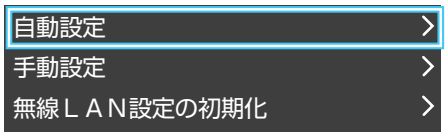
①▲·▼と決定で「詳細設定」⇨「接続方法」の順に進む

②▲·▼で「無線LAN」を選び、決定を押す

- 「詳細設定」の画面に戻り、「接続方法」が「無線LAN」になります。

1 設定 を押し、▲·▼で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「詳細設定」⇨「無線ＬＡＮ設定」の順に進む

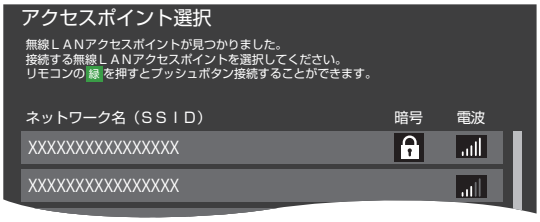
2 設定する項目を▲·▼で選んで決定を押す



3 以降の手順で設定する

自動設定

- アクセスポイント選択画面が表示されます。

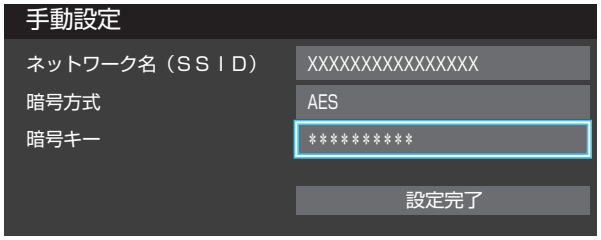


- 各接続方法と設定については、
「アクセスポイント選択」123
「プッシュボタン接続」124
「PINコード接続」124
をご覧ください。
- お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書も、お読みください。

手動設定

- 接続に必要な設定を、一つ一つ手動で設定する場合に選びます。
- お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

❶各項目を、以降の手順で設定する



- ▲·▼で「ネットワーク名(SSID)」を選び、決定を押します。
接続したいアクセスポイントのSSID（ネットワーク名）を入力してください。
- ▲·▼で「暗号方式」を選び、決定を押します。
▲·▼で「AES」、「AES/TKIP」、「WEP-Open」、「WEP-Shared」または「暗号なし」から選び、決定を押します。

インターネットを利用するための設定をする つづき

「暗号なし」に設定すると、無線 LAN 経由で本機から送信する情報のセキュリティが無防備になるため、悪意ある第三者に情報を盗み見られるおそれがあります。
暗号方式は「AES」などに設定することをおすすめします。

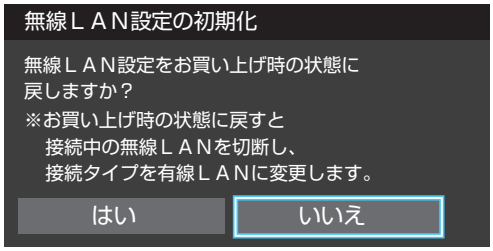
- ▲·▼で**「暗号キー」**を選び、決定を押します。
  接続したいアクセスポイントが指定する、**「暗号キー」**を入力します。
- **「WEP-Open」**、**「WEP-Shared」**を選んだ場合は、▲·▼で**「キーインデックス」**を選び、決定を押します。
  ▲·▼で**「キーインデックス1 ～ 4」**から選び、決定を押します。

❷ ▲·▼で「設定完了」を選び、決定を押す

❸ 設定内容を確認し、決定を押す

無線LAN設定の初期化

❶ ◀·▶で「はい」または「いいえ」を選び、決定を押す



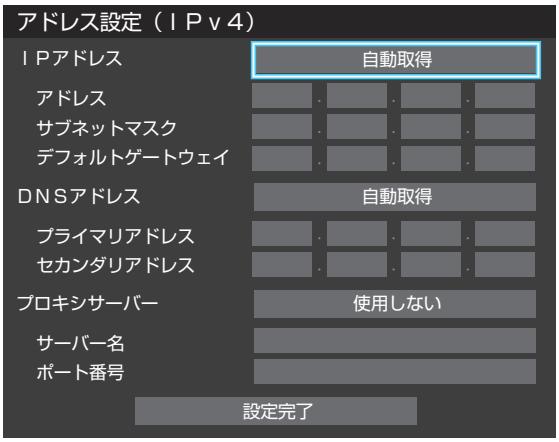
アドレス設定(IPv4)

- インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

IPアドレス

※「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

❶ IPアドレスを自動取得できる場合は、▲·▼で「自動取得」を選び、決定を押す



自動取得できないネットワーク環境の場合

① ▲·▼で「手動設定」を選び、決定を押す

② ▲·▼で「アドレス」を選び、1 ～ 10 (0) で入力する

③ ▲·▼で「サブネットマスク」を選び、1 ～ 10 (0) で入力する

④ ▲·▼で「デフォルトゲートウェイ」を選び、1 ～ 10 (0) で入力する

- ②～④では0～255の範囲の数字（左端の欄は0以外）を四箇所の欄に入力します。
- 欄を移動するには、◀·▶を押します。

❷ ▲·▼で「設定完了」を選び、決定を押す

DNSアドレス

● ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

※「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

❶DNSアドレスを自動取得できる場合は、▲·▼で「自動取得」を選び、決定を押す

自動取得できないネットワーク環境の場合

①▲·▼で「手動設定」を選び、決定を押す

②▲·▼で「プライマリアドレス」を選び、1(あ)～10(小文字)(0)で入力する

③▲·▼で「セカンダリアドレス」を選び、1(あ)～10(小文字)(0)で入力する

- ②と③では0～255の範囲の数字（左端の欄は0以外）を四箇所の欄に入力します。
- 欄を移動するには、◀·▶を押します。

❷▲·▼で「設定完了」を選び、決定を押す

プロキシサーバー

● インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。

● ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。

● ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。

❶▲·▼で「使用する」を選び、決定を押す

❷▲·▼で「サーバー名」を選び、決定を押す

❸サーバー名を入力する

- 文字入力の方法は、161ページをご覧ください。
- 入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角の！ "#%&()*+,-.:;<=>@[¥]^{|}~?_/です。

❹▲·▼で「ポート番号」を選び、1(あ)～10(小文字)(0)でポート番号を入力する

❺▲·▼で「設定完了」を選び、決定を押す

IPv6接続

● IPv6アドレスを用いてネットワークに接続する場合に設定します。

※ ひかりTVを利用する場合は、IPv6接続を利用してください。NetflixはIPv6にも対応しています。

※ ルーターのIPv6パススルー（IPv6ブリッジ）を有効にした場合は、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。同じルーターにつなぐパソコンは、正しくアクセス制限の設定を行い、セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

❶▲·▼で「利用する」または「利用しない」を選んで、決定を押す

アドレス設定(IPv6)

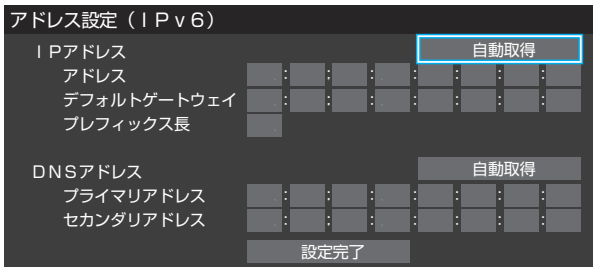
● IPv6で接続するときに、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

IPアドレス

※「IPアドレス」を「自動取得」に設定した場合は、IPv6ステートレスアドレス自動設定方式によりIPアドレスを取得したあと、DHCPv6によりDNSアドレスを取得します。

※「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

❶IPアドレスを自動取得できる場合は、▲·▼で「自動取得」を選び、決定を押す



自動取得できないネットワーク環境の場合

①▲·▼で「手動設定」を選び、決定を押す

②▲·▼で「アドレス」を選び、1(あ)～10(小文字)(0)、11(わをんゃゅょ)(a～c)、12(っ)(d～f)で入力する

③▲·▼で「デフォルトゲートウェイ」を選び、1(あ)～10(小文字)(0)、11(わをんゃゅょ)(a～c)、12(っ)(d～f)で入力する

④▲·▼で「プレフィックス長」を選び、1(あ)～10(小文字)(0)で入力する

- ②、③では0～9、a～fの英数字（左端の欄は0以外）を八箇所の欄に入力します。
- ④では1～127の範囲の数字を入力します。
- 欄を移動するには、◀·▶を押します。

❷▲·▼で「設定完了」を選び、決定を押す

インターネットを利用するための設定をする つづき

DNSアドレス

※「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

❶DNSアドレスを自動取得できる場合は、▲·▼で「自動取得」を選び、決定を押す

自動取得できないネットワーク環境の場合

①▲·▼で「手動設定」を選び、決定を押す

②▲·▼で「プライマリアドレス」を選び、1～10 (0)、11 (a～c)、12 (d～f)で入力する

③▲·▼で「セカンダリアドレス」を選び、1～10 (0)、11 (a～c)、12 (d～f)で入力する

- ②と③では0～9、a～fの英数字（左端の欄は0以外）を八箇所の欄に入力します。
- 欄を移動するには、◀·▶を押します。

❷▲·▼で「設定完了」を選び、決定を押す

ネットワーク情報

1 設定を押し、▲·▼と決定で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」の順に進む

2 ▲·▼で「ネットワーク情報」を選び、決定を押す

- 現在利用しているネットワーク情報が表示されます。
- ネットワーク接続の設定によっては、表示されない項目もあります。

接続テスト

1 設定を押し、▲·▼と決定で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」の順に進む

2 ▲·▼で「接続テスト」を選び、決定を押す

- 「ネットワーク設定」が正しいかテストします。テストが終わると「接続テスト結果」画面が表示されます。「インターネットに接続できました。」と表示された場合は、「終了」を押します。
- 正しく接続できなかった場合は、「再テスト」を選んで決定を押します。再度接続テストを行い、接続テスト結果画面が表示されます。再テストを行っても接続できない場合は、「設定をやりなおす」を選んで決定を押し、設定をやり直してください。

ネットワーク設定の接続テスト結果について

- 接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認します。

①LAN端子の接続状態と「ネットワーク設定」を確認する

- 正しく接続·設定されているかご確認ください。設定内容については、ルーターの設定内容に関係することがありますのでご注意ください（ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください）。

②ネットワーク環境の接続確認

- 以下の手順で本機と同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。

❶ パソコンのインターネット・ブラウザ（Internet Explorerなど）を起動する

❷ URL欄に「www.toshiba.co.jp/regza/ 」を入力し、ページが表示されることを確認する

- ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコンやルーターの設定が正しいか確認します（詳しくは、パソコン、ルーターの取扱説明書をご覧ください）。この場合、本機の問題ではない可能性があります。

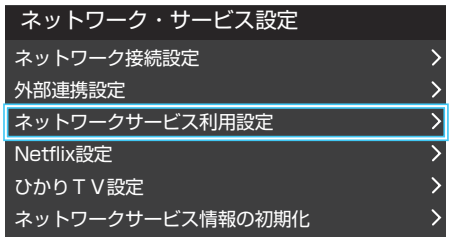
- 接続テストの結果で「ＩＰｖ６接続のご利用について」が表示された場合
  - 「アドレス設定（ＩＰｖ６）」の設定内容が、ご使用のネットワーク環境に合っているかをご確認ください。
  - ルーターのIPv6設定が有効かご確認ください。
    上記を確認してもIPv6の接続ができない場合は、IPv6をご利用いただける契約か、プロバイダーにご確認ください。

※IPv6接続でネットワーク接続をご利用にならない場合は、「ＩＰｖ６接続」を「利用しない」に変更してください。

ネットワークサービスを利用するための設定をする

● インターネットに接続して、クラウドサービス 132 などのネットワークサービスを利用するには、「ネットワークサービス利用設定」を「利用する」に設定します。
※「クラウドサービス」の使用には、ソフトウェアの更新が必要な場合があります。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワークサービス利用設定」の順に進む



2 内容を最後まで読む

3 ◀·▶で「利用する」または「利用しない」を選び、決定 を押す

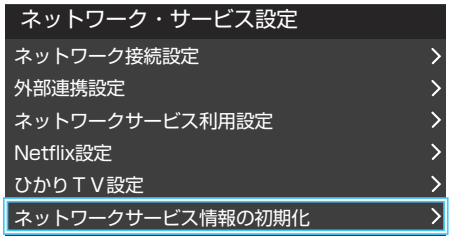
● 「TimeOn利用規約を表示」を選んで 決定 を押すと、TimeOnの利用規約を確認することができます。
もう一度 決定 を押すか、 戻る を押すと元の画面に戻ります。

4 ◀·▶で「設定完了」を選び、決定 を押す

ネットワークサービスの情報を初期化する

● クラウドサービスの設定内容や、動画配信サービスのログイン情報※などを削除します。
※ Netflixなど、一部初期化されない動画配信サービスがあります。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワークサービス情報の初期化」の順に進む



2 ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

● ネットワークサービスの情報が初期化され、テレビの電源が「待機」になったあと、ふたたび「入」になります。

インターネットを利用するための設定をする つづき

お知らせ

■ネットワークサービス利用設定について

- ネットワークサービス利用設定を「利用する」に設定すると、本機の操作情報(チャンネル切換、入力切換、録画予約、視聴予約、再生履歴、番組複製履歴、番組編集履歴など)、動作状態の履歴情報、本機に接続されたUSBハードディスク等の識別情報や動作状態の履歴情報などや、ご登録いただいた都道府県、性別等の情報が当社または当社の委託先のサーバーで記録されますが、これらの情報から当社が利用者個人を特定することはありません。
- クラウドサービスなどのネットワークサービス(以下「本サービス」と表します)のご利用には、住所・氏名・連絡先等の個人情報の入力は不要です(ただし、動画配信サービスによっては、契約が必要な場合があります。ご利用の動画配信サービスなどにご相談ください)。
- サーバーが収集した情報は、本サービスの提供以外に、品質改善や統計情報としてマーケティングなどの目的で利用することがあり、この目的の範囲内で第三者に提供する場合があります。ただし、お客様が特定のキャンペーン提供会社に対して、本機の利用履歴やお客様のプロフィール情報(ご登録いただいた都道府県、性別等の情報)を提供することに同意された場合は、当社はその情報をお客様が同意したキャンペーン提供会社へ提供する場合があります。
- 本サービスは、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。
- 本サービス中で、本サービス以外の第三者によって提供されるサービスをご利用いただく場合、各サービス提供者の利用規約およびその他規約が適用されます。当社は、本サービス以外の第三者によって提供されるサービスおよびこれに関連する事項について、一切の責任を負いません。
- ネットワークサービス利用設定を「利用しない」に設定を変更した場合、それまでにサーバーが収集した本機や本機に接続された機器に関する情報は、サーバーから消去されます。なお、お客様のプロフィール情報(ご登録いただいた都道府県、性別等の情報)は、本機の「すべての初期化」を行って次にネットワークにつないだときに、サーバーから消去されます。また、お客様が個別に作成した本サービスのユーザーアカウント情報は、ユーザーアカウントを削除したときに、サーバーから消去されます。
- クラウドサービスの内容やサーバーが収集した情報の削除方法については、ホームページ(http://timeon.jp/)をご覧ください。

ネットワークに関するお知らせ・用語

お知らせ

■アドレス設定(IPv4)のIPアドレスについて

- 本機に接続されたルーターのDHCP機能(IPアドレスを自動的に割り当てる機能)がONのときは、アドレス設定(IPv4)のIPアドレスを「自動取得」、「手動設定」のどちらでも設定できます(通常は、「自動取得」に設定します。「手動設定」の方法は126ページをご覧ください)。
- ルーターのDHCP機能がOFFのときは、「手動設定」にして、プロバイダーから指定されたアドレスを手動で設定します。
- 手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定します。設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
- 設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワークID部分がそれぞれ同じであることを確認します(詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。

■アドレス設定(IPv4)のDNSアドレスについて

- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がONのときは、アドレス設定(IPv4)のDNSアドレスを「自動取得」、「手動設定」のどちらでも設定できます(通常は、「自動取得」に設定します。「手動設定」の方法は127ページをご覧ください)。
- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がOFFのときは、アドレス設定(IPv4)のDNSアドレスを「手動設定」にして、プロバイダーから指定されたものを手動で設定します(プロバイダーによって設定方法が異なります。プロバイダーとの契約内容に沿った設定をしてください)。

■PPPoE設定について

- 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください(設定にはパソコンが必要です)。

用語

■アドレス(ＩＰｖ４)
ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。最大3ケタの数字4組を点で区切った形式で表現されます(例:111.112.xxx.xxx)。

■アドレス(ＩＰｖ6)
ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。最大4ケタの数字またはa ～ fまでのアルファベット8組を「:」で区切った形式で表現されます(例:1111:ABCD:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx)。

■DNSサーバー
ドメイン名(xxx.co.jpなど)をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定されたDNSサーバーのアドレスを「プライマリアドレス」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリアドレス」に入力します。ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

■サブネットマスク
ネットワークを区切るために、端末に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するためのものです(例:255.255.xxx.xxx)。

■デフォルトゲートウェイ
ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IPアドレスで特定されています。

■プロキシ
ご契約のプロバイダーから指定があるときだけ設定してください(例:proxy.xxx.xxx.xxx)。
この設定をすると、HTTPプロキシサーバーからファイアウォール(外部からの不正侵入防護壁)を越えて通信先のサーバーにデータを送ることができます。

■MACアドレス
ネットワーク上に接続されている機器の識別のために、機器ごとに割り当てられる固有の番号です。

ひかりTVの設定をする

- ネットワークサービスのひかりTVは、NTTの光回線を利用して多チャンネル放送やビデオサービス、ショッピングなどが楽しめる有料サービスです。
- フレッツ回線を利用するには、NTTおよびプロバイダーとの契約が必要です。
- ひかりTVをインターネットに接続するにはIPv6の対応が必要です。インターネットを利用するための設定では、IPv6接続、アドレス設定(IPv6) 127 も設定してください。
- ひかりTVを視聴するには、あらかじめ申し込みが必要です。

ひかりTVのお問い合わせ・お申し込みはこちらから

お電話でのお問い合わせ	009192-144 (通話無料) ひかりTVカスタマーセンター　営業時間10:00～19:00　年中無休	ひかり電話など※からおかけの場合 0120-001144 (通話無料・携帯電話不可)
ホームページ	https://www.hikaritv.net/	

※ NTT東日本・NTT西日本のひかり電話、NTT東日本・NTT西日本以外の固定電話、IP電話、PHS、及び公衆電話など

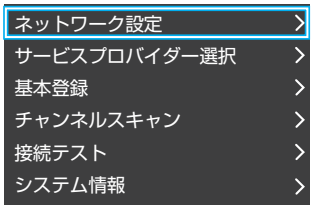
- ネットワークサービスのひかりTVを利用するための設定、確認をします。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ひかりTV設定」の順に進む

※ ひかりTVの設定が変更できない場合は、「IPv6接続」を「利用する」に変更してください。

設定 を押し、「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「詳細設定」から変更してください。

2 設定する項目を▲·▼で選んで 決定 を押す



3 以降の手順で設定・確認する

ネットワーク設定

- ご契約の回線を選びます。

❶ ◀·▶で以下から選び、決定 を押す
「NTT東日本」/「NTT西日本」

❷ フレッツ 光ネクストを利用している場合は、◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

サービスプロバイダー選択

- サービスプロバイダーが一覧表示されます。

❶ 契約しているプロバイダーを▲·▼で選び、決定 を押す

❷ 確認画面が表示されたら、決定 を押す

基本登録

- ひかりTVの場合は、申込後に発行される資料に記載されている内容を入力します。
- 文字入力の方法は、161 をご覧ください。

チャンネルスキャン

- テレビサービスで視聴できるチャンネルを設定します。
- テレビサービスが開通していないと、チャンネルスキャンはできません。
- チャンネルスキャンの設定には数分かかることがあります。

❶ チャンネルスキャンをする場合は、◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す
- スキャンが始まります。
- 中止する場合は 戻る を押します。
- スキャンの完了後、設定の内容が表示されます。

❷ 内容を確認したら、決定 を押す
- ページが複数ある場合は、▲·▼で切り換えられます。

接続テスト

- 接続と設定が正しいか、テストします。
  - 接続テストが始まります。
  - 中止する場合は 戻る を押します。
  - エラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従って対処してください。

システム情報

- システム情報が表示されます。
  - DRM番号：ひかりTVサービスで利用される受信機固有の番号です。契約をする場合などの参考情報です。

お知らせ

- 集合住宅(マンションなど)でPNA装置を使用している場合は、ひかりTVの視聴はできません。
- 本機ではルーターの設定はできません。ルーターによってはパソコンでの設定が必要な場合があります。
- 以下について詳細は、NTT東日本、またはNTT西日本にお問い合わせください。
  - フレッツ回線を用いて通常のインターネット接続をするには、PPPoEに関する項目をルーターに設定する必要があります。
  - パソコンでIPv6サービスを使用する際の制限事項。
- ひかりTVのサービスを視聴中にパソコンなどでインターネットを使用すると、ひかりTVの映像や音声が乱れることがあります。
- テレビサービスが利用できるようになるまでには、かなりの時間がかかることがあります。
- 無線LANをご使用の場合、映像にノイズが出たり、音声が途切れたりする場合は、無線LANアクセスポイントおよび本機の設定を見直すか、有線LANで接続してください。

クラウドサービスとネットワークサービスについて

- ネットワークサービスとはネットワーク機能を使ったサービスです。
- クラウドサービスはネットワークサービスの一部で、当社が提供するサービスです。タレントや好みのテーマに関する番組・シーン・動画などを自動で検索する「みるコレ」サービスや、お好みの動画配信サービスなどを楽しめる他社サービスへのリンクも提供します。

※ サービスの概要などについては、ホームページ(http://timeon.jp/)をご覧ください。

クラウドサービスやネットワークサービスに必要な準備

- クラウドサービスやネットワークサービスを楽しむ前に、以下の接続と設定が必要です。

必要な接続・設定	記載ページ
• インターネットを利用するための接続をする。 • インターネットを利用するための設定をする。 • 「ネットワークサービス利用設定」を「利用する」に設定する。 • インターネットの利用制限を設定する。	122 123 ～ 130 129 152

クラウドサービスの基本操作

1 みるコレを押す

- クラウドサービスの画面が表示されます。
- みるコレのサービス内容については、クラウドサービスのホームページ(http://timeon.jp/)をご覧ください。

2 ▲·▼·◀·▶でお好みのサービスを選んで決定を押す

暗証番号の入力画面が表示された場合

❶ 1(あ) ～ 10(わ)(0)を押して暗証番号を入力する

- 暗証番号の入力画面は、「ネットワークサービス制限設定」152を「制限する」に設定している場合に表示されます。

3 見たい項目を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

4 サービスを終了するには、終了を押す

- 確認のメッセージが表示されたら、◀·▶で「はい」を選んで、決定を押します。

お知らせ

- 当社および他社が提供するネットワークサービスの名称およびサービス内容の一部または全部は、予告なく変更・終了する場合があります。
- ネットワークサービスによっては、事前に利用者登録などが必要なサービスがあります。
- ご利用の回線業者やプロバイダーが採用している接続方式・契約約款によっては、サービスを利用できない場合があります。
- 他社が提供するサービスやコンテンツに関して当社は一切の責任を負いません。
- ネットワークサービスの内容は録画することはできません。
- みるコレを押してもクラウドサービスの画面が表示されない場合は、終了を2秒以上押してから、みるコレを押します。
  終了を2秒以上押すと、クラウドサービス終了後再読込みが行われ、みるコレを押すと再読込み後の画面が表示されます。

「Netflix」について

- Netflixは世界最大級のオンラインストリーミングサービスです。お好きなテレビ番組や映画をすぐにテレビでお楽しみいただけます。 CMなし、月額定額制、簡単登録、そしていつでもキャンセル可能です。

※ お買い上げの時期によっては、Netflixのご利用にはソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。

※ サービスは、予告なく変更や終了する場合があります。

「Netflix」の利用に必要な準備

- インターネットへの接続と設定が必要です。
- 本機のソフトウェアが最新バージョンであることを確認します。
  - ソフトウェアのバージョンが、ホームページ(https://www.toshiba.co.jp/regza/support/)の「ソフトウェアダウンロード情報」でお知らせしている最新のソフトウェアのバージョン番号と一致していることを確認してください。
- 「Netflix」のアカウントを取得します。
  - アカウントの取得方法は、「Netflix」のホームページ(https://www.netflix.com/jp/)を参照してください。

「Netflix」による操作

- おもな操作は「Netflix」の画面に従います。
- テレビの電源が「入」のときに NETFLIX を押すと、「Netflix」のサービスが起動します。
  ※ みるコレ を押して表示されるクラウドサービスのメニューから選択して起動することもできます。
- テレビの電源が「待機」のときに NETFLIX を押すと、直接「Netflix」のサービスが起動します。テレビのチャンネルは表示されません。
- 「すべての初期化」を実行すると、「Netflix」のログイン設定も削除されます。

お好みの映像に調整する

- 「Netflix」の視聴中は、通常の映像メニューの他に「シアター」と「リビング」が選択できます。
  - **シアター：**
    ご家庭の暗い部屋で楽しむときに適した設定です。
  - **リビング：**
    ご家庭の明るい部屋で楽しむときに適した設定です。

「Netflix」サービス起動中の制限

- 無操作自動電源オフ機能が無効になります。
- 一部のリモコン操作について、リモコンコード1とリモコンコード2の両方のリモコン操作に反応します。
- 画面サイズの切換はできません。

「Netflix」サービス起動中に予約開始の時刻になった場合

- 視聴予約の時刻になると、「Netflix」を終了して予約を実行するか問い合わせるメッセージが表示されます。画面の説明に従って、予約を実行するか、予約をキャンセルして「Netflix」を続けるか選ぶことができます。

「Netflix」サービスが起動できない場合

- 視聴予約の時刻が近いときは「Netflix」サービスを起動することができません。

「Netflix」に関するその他の操作

- 「Netflix」に関するその他の操作を設定メニューから行うことができます。これらの操作はインターネットに接続していないときでも、操作することができます。

ESN表示

- 「ESN」は、「Netflix」サービスのために発行される機器固有のIDです。保守サービスのために必要になります。

❶ 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「Netflix設定」の順に進む

❷ ▲·▼で「ESN表示」を選び、決定 を押す

- ESN情報が表示されます。

ログイン設定の初期化

❶ 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「Netflix設定」の順に進む

❷ ▲·▼で「ログイン設定の初期化」を選び、決定 を押す

❸ ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

- ログイン設定が初期化されます。

クラウドサービスとネットワークサービスについて つづき

動画配信サービスを楽しむ

- 「AbemaTV」、「Hulu」、「U-NEXT」、「YouTube」、「Amazon Prime Video」などの動画配信サービスを楽しむことができます。

※ お買い上げの時期によっては、サービスをご利用いただくにはソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。
※ サービスは、予告なく変更や終了する場合があります。
※ サービスによっては、ＢＳ/ＣＳ ４Ｋ放送を録画中は、視聴できない場合があります。

動画配信サービスの利用に必要な準備

- インターネットへの接続と設定が必要です。
- 動画配信サービスの利用者登録が必要な場合があります。
  - 対応している動画配信サービスについては、ホームページ（https://www.toshiba.co.jp/regza/）をご覧ください。
  - アカウントの取得方法は、各社のホームページを参照してください。

動画配信サービスを見る

AbemaTV、hulu、U-NEXT、YouTube、prime video を押す

- 動画配信サービスの画面に切り替わります。
  ※ みるコレ を押して表示されるクラウドサービスのメニューから選択して切り替えることもできます。
- おもな操作は動画配信サービスの画面に従います。
- 「ネットワークサービス情報の初期化」や「すべての初期化」を実行すると、ログイン設定も削除されます。

サービス起動中の制限

- 画面サイズの切換はできません。

サービス起動中に予約開始の時刻になった場合

- 視聴予約の時刻になると、動画配信サービスを終了して予約したチャンネルが選局されます。

スマートスピーカーで本機を操作する

● 対応するスマートスピーカーと連携すれば、スマートスピーカーに話しかけることで本機を操作することができます。
※対応のスマートスピーカーについては、スマートスピーカー連携機能のホームページ（https://m.timeon.jp/special/smartspeaker/）をご覧ください。

ご注意
● 本機能を使用するためには、本機をインターネットへ接続し、「ネットワークサービス利用設定」を「利用する」に設定する必要があります。

スマートスピーカーと連携する

● セットアップ済の対応スマートスピーカーと、そのスマートスピーカーの設定アプリをインストールしたスマートフォンを用意します。

1 スマートフォンのスマートスピーカーの設定アプリで、レグザのアプリまたはスキルを検索し、連携コード入力画面を表示する。

● 連携コード入力画面の表示方法は、スマートスピーカーの設定アプリによって異なります。詳しくは各スマートスピーカーの説明書およびスマートスピーカー連携機能のホームページ（https://m.timeon.jp/special/smartspeaker/）をご覧ください。

2 みるコレ を押し、▲・▼・◀・▶と 決定 でみるコレの項目から「クラウド設定」⇨「スマートスピーカー連携設定」⇨「スマートスピーカー連携」の順に進む

● 8ケタの連携コードが表示されます。

3 スマートフォンの連携コード入力画面に、8桁の連携コードを入力する

※ 連携コードの有効期限は10分間です。10分を超えてコードが無効になってしまった場合は、手順3の画面でリロードを選んで連携コードを再発行してください。

連携を解除するには

● 以下のいずれかの方法で、スマートスピーカーとの連携を解除できます。

● 「クラウド設定」⇨「スマートスピーカー連携設定」⇨「スマートスピーカー連携の解除」を選ぶ
● スマートフォンの設定アプリから、レグザのリンク解除をする

スマートスピーカーで操作する

スマートスピーカーに呼びかけたあと、続けて以下の発話例のように話しかけて操作する

● 呼びかけ方や発話例はスマートスピーカーによって異なります。
● スマートスピーカーにより、他にも利用できる機能があります。詳しくはスマートスピーカー連携機能のホームページ（https://m.timeon.jp/special/smartspeaker/）をご覧ください。

主な機能と発話例

機能	発話例	テレビ動作
電源オン※／オフ	・テレビつけて ・テレビけして	電源のオン／オフをする。
チャンネル切換	・8チャンネルに変えて ・次のチャンネルにして	チャンネルを切り換える。
入力切換	・入力切換して	入力切換をする。
消音オン／オフ	・音けして ・ミュート解除	消音のオン／オフをする。
音声切換	・音声切換	音声切換をする。
始めにジャンプ	・先頭からみせて	始めにジャンプをする。
音量アップ／ダウン	・音量あげて ・ボリュームダウン ・音量を10あげて	音量のアップ／ダウンをする。 アップ／ダウンする量を指定された場合は指定された分だけ音量変更する（上限値あり）。

※ 本機の電源のオンの操作をするには、あらかじめ「クラウド設定」⇨「スマートスピーカー連携設定」⇨「電源待機中の操作」を「受け付ける」にする必要があります。
なお、この設定を行うと、本機の待機電力が増加します。また、「無操作自動電源オフ」設定が「待機にする」に設定されます。

お好みの映像メニューを選ぶ

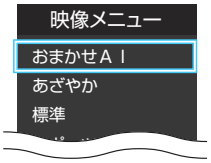
- 見る映像の種類に応じて、お好みの映像メニューを選ぶことができます。
- 映像メニューは、放送/再生の映像や各入力端子・写真再生の映像、信号特性などでそれぞれ記憶させることができます。

※ HDR信号を受信しているときは、映像設定はHDR信号にあわせた画質に設定されます。その場合、映像設定に HDR のアイコンが表示されます。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「映像設定」⇨「映像メニュー」の順に進む

2 お好みの映像メニューを▲·▼で選び、決定 を押す

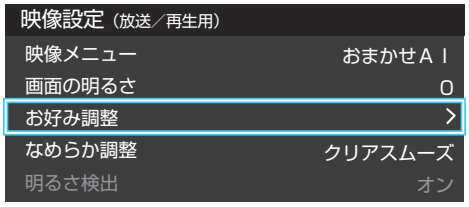
- 選択できる映像メニューは、視聴している映像の種類によって異なり、選択できない映像メニューは表示されません。



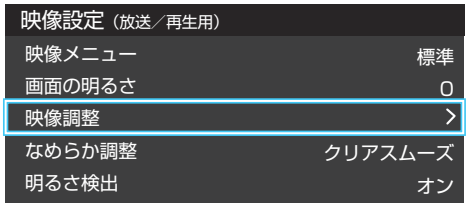
映像メニュー	内　容
おまかせＡＩ	映像の内容と周囲の明るさに合わせて、常に見やすい画質に自動調整されます。
あざやか	日中の明るいリビングで、迫力ある映像を楽しむときに適した設定です。
標準	室内で落ち着いた雰囲気で楽しむときに適した設定です（日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です）。
スポーツ	スポーツ番組などを見るときに適した設定です。
アニメ	アニメ番組などを見るときに適した設定です。
映画	映画を見るときに適した設定です（暖か味のある色あいが再現されます）。
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視した、ゲームをするのに適した設定です（HDMI入力、ビデオ入力のときに選択できます）。
PC	パソコンの画面を表示するのに適した設定です（HDMI入力のときに選択できます）。
写真	写真（JPEG画像）を表示するのに適した設定です（写真再生のときに選択できます）。
リビング	ご家庭の明るい部屋で楽しむときに適した設定です。（Netflixのときに選択できます）
シアター	ご家庭の暗い部屋で楽しむときに適した設定です。（Netflixのときに選択できます）

お好みの映像に調整する

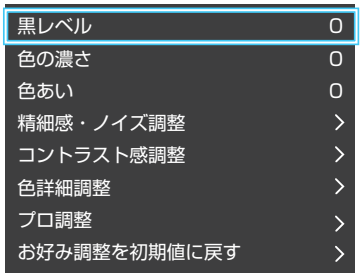
1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「映像設定」⇨「お好み調整」の順に進む



- 「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」以外のときは、「映像調整」に進みます。



2 調整する項目を▲·▼で選び、決定 を押す



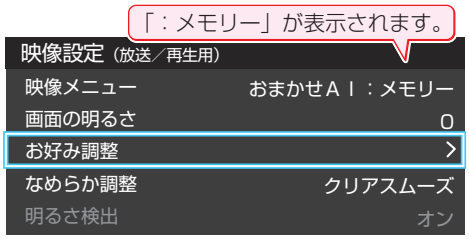
※ 映像メニューが「おまかせＡＩ」以外のときは、「お好み調整を初期値に戻す」は「映像調整を初期値に戻す」になります。

3 以降の手順（141ページまで）でお好みの映像に調整する

- 他の項目を調整するときは、手順2から繰り返します（「黒レベル」、「色の濃さ」、「色あい」の調整時は、▲·▼を押せば調整項目を切り換えることができます）。

「お好み調整」や「映像調整」をした場合

- 映像を調整すると、そのときに選択していた「映像メニュー」に調整状態が記憶され、「映像メニュー」の表示に「：メモリー」が加わります。
- 調整状態は、放送/再生や各入力端子、写真再生などの区分ごとに記憶されます。たとえば、(放送/再生)の「おまかせＡＩ：メモリー」と(HDMI1)の「おまかせＡＩ：メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。



黒レベル

- 映像の暗い部分(黒)の再現性(明るさ)を調整します。

❶ ◀·▶でお好みの明るさに調整し、決定を押す

- 「−50」(暗)～「+50」(明)の範囲で調整できます。

色の濃さ

- 映像の色の濃さを調整します。

❶ ◀·▶でお好みの濃さに調整し、決定を押す

- 「−50」(淡)～「+50」(濃)の範囲で調整できます。

色あい

- 肌の色に注目して、色あいを調整します。

❶ ◀·▶でお好みの色あいに調整し、決定を押す

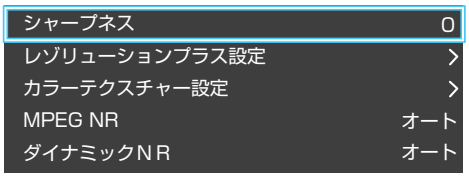
- 「−50」(紫)～「+50」(緑)の範囲で調整できます。

精細感・ノイズ調整

- 「精細感・ノイズ調整」を選択して決定を押すと、精細感・ノイズ調整のメニューが表示されます。

❶ 調整する項目を▲·▼で選び、決定を押す

- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。



❷ 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

シャープネス

- 映像の鮮明さを調整します。

① ◀·▶でお好みの映像に調整し、決定を押す

- 「−50」～「+50」の範囲で調整できます。

レゾリューションプラス設定

- 緻密で精細感のある映像を表示します。
- 「レゾリューションプラス設定」を選択して決定を押すと、「レゾリューションプラス」、「ゲイン調整」の選択メニューが表示されます。それぞれ以下の要領で設定します。

※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

レゾリューションプラス

- レゾリューションプラスの機能を使うかどうかを設定します。「オフ」に設定した場合は、「ゲイン調整」は機能しません。

※ レゾリューションプラスと同じ高画質処理機能を持った機器を接続した場合、画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、本機のレゾリューションプラス、または、接続した機器の高画質処理機能をオフにしてください。

① ▲·▼で「レゾリューションプラス」を選び、決定を押す

② ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オン**……映像の種類に応じて自動的にレゾリューションプラスの機能が働きます。
- **オフ**……この機能は働きません。

ゲイン調整

- レゾリューションプラスの効果(強さ)を調整します。

① ▲·▼で「ゲイン調整」を選び、決定を押す

② ◀·▶で調整し、決定を押す

映像メニュー	調整レベル	
おまかせＡＩ	−5 ～+5	数値が大きくなるほど、映像の精細感が強調されます。
おまかせＡＩ以外	0 ～ 10	

カラーテクスチャー設定

- 色鮮やかな花や果物など、色の濃い映像部分の精彩感や質感を復元する機能です。

カラーテクスチャー

① ▲·▼で「カラーテクスチャー」を選び、決定を押す

② ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オン**……この機能が常に働きます。
- **オフ**……この機能は働きません。

お好みの映像に調整する つづき

ゲイン調整

● 「カラーテクスチャー」の復元効果を調整できます。

① ▲·▼で「ゲイン調整」を選び、決定 を押す

② ◀·▶で調整し、決定 を押す

映像メニュー	調整レベル	
おまかせＡＩ	−5 ～ +5	数値が大きくなるほど、効果が大きくなります。
おまかせＡＩ以外	0 ～ 10	

MPEG（エムペグ）NR

● デジタル放送やDVDなどの動きの速い映像のブロックノイズ（モザイク状のノイズ）と、モスキートノイズ（輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ）を減らす機能です。

※ 「映像メニュー」が「ゲーム」、「PC」、「写真」以外のときに設定できます。

① ▲·▼で以下から選び、決定 を押す

- **オート**…… 映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **手動**…… 手動で調整します。

「手動」にしたとき

⑴ ◀·▶で調整し、決定 を押す

● 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。

ダイナミックNR

● 映像のざらつきやちらつきを減らす機能です。

※ 「映像メニュー」が「ゲーム」、「PC」、「写真」以外のときに設定できます。

① ▲·▼で以下から選び、決定 を押す

- **オート**…… 映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **手動**…… 手動で調整します。

「手動」にしたとき

⑴ ◀·▶で調整し、決定 を押す

● 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。

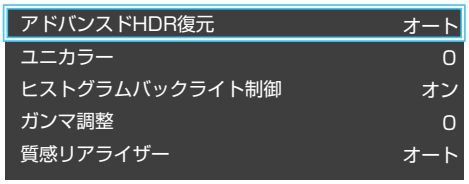
※ 通常は「オート」に設定してください。効果を強くすると残像が目立つ場合があります。

コントラスト感調整

● 「コントラスト感調整」を選択して決定 を押すと、コントラスト感調整のメニューが表示されます。

❶ 調整する項目を▲·▼で選び、決定 を押す

● 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。



❷ 以降の手順で調整する

● 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

アドバンスドHDR（ハイダイナミックレンジ）復元

● 明るさの領域を復元し、表現領域を拡大する機能です。

※ 映像信号によっては、選択できない場合があります。

① ▲·▼でお好みの映像に調整し、決定 を押す

- **オート**
  映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **オン**
  明るさの領域を復元し、表現領域を拡大します。
- **オフ**
  この機能は働きません。

ユニカラー

● 映像のコントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。

① ◀·▶でお好みの映像に調整し、決定 を押す

● 「−50」～「+50」の範囲で調整できます（数値が大きくなるほど映像のコントラストが強くなります）。

ヒストグラムバックライト制御

● 映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。

① ▲·▼で以下から選び、決定 を押す

- **オン**……ヒストグラムバックライト制御の機能が働きます。
- **オフ**…… この機能は働きません。

ガンマ調整

● 映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整することができます。

① ◀·▶で調整し、決定 を押す

調整範囲	
−10 ～ +10	調整値が大きくなるほど画面全体が明るくなります。

質感リアライザー

● 映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての階調が自動的に調整されます。

「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」のとき

① ◀·▶で調整し、決定 を押す

● 「−５」～「＋５」の範囲で調整できます（数値が大きくなるほどメリハリが強調されます）。

● 青 を押すと、「詳細質感リアライザー」に切り換えることができます。

詳細質感リアライザー

(1) ▲·▼で「明部調整」または「暗部調整」を選び、決定を押す

(2) ◀·▶で調整し、決定を押す

項目	調整範囲	調整要領
明部調整	−5〜+5	映像の明るい部分の再現性に注目して調整します。
暗部調整		映像の暗い部分の再現性に注目して調整します。

「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」以外のとき

① ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オート**…… 映像の内容に応じて自動的に制御されます。
- **手動**…… 手動で調整します。
- **オフ**…… この機能は働きません。

「手動」にしたとき

(1) ▲·▼で「明部調整」または「暗部調整」を選び、決定を押す

(2) ◀·▶で調整し、決定を押す

項目	調整範囲	調整要領
明部調整	0〜10	映像の明るい部分の再現性に注目して調整します。
暗部調整		映像の暗い部分の再現性に注目して調整します。

色詳細調整

● 「色詳細調整」を選択して決定を押すと、色詳細調整のメニューが表示されます。

❶ 調整する項目を▲·▼で選び、決定を押す

● 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

❷ 以降の手順で調整する

● 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

色温度

● 画面全体の色味を調整します。

「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」のとき

① ◀·▶で調整し、決定を押す

● 「−5」〜「+5」の範囲で調整できます。
調整値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。

● 青 を押すと、「RGBゲイン調整」に切り換えることができます。

▲·▼で「Rゲイン」(赤)、「Gゲイン」(緑)または「Bゲイン」(青)を選び、◀·▶で調整する

● 明るい部分の色温度を微調整します。

調整範囲	調整値が大きくなるほど、選んでいる色の色味が強くなります。
−30〜+30	

「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」以外のとき

① ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オート**…… 映像の内容に応じて自動的に制御されます。
- **手動**…… 手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1) ◀·▶で調整し、決定を押す

● 「0」〜「10」の範囲で調整できます。
調整値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。

● 青 を押すと、「RGBゲイン調整」に切り換えることができます。

▲·▼で「Rゲイン」(赤)、「Gゲイン」(緑)または「Bゲイン」(青)を選び、◀·▶で調整する

● 明るい部分の色温度を微調整します。

調整範囲	調整値が大きくなるほど、選んでいる色の色味が強くなります。
−30〜+30	

プロ調整

● 「プロ調整」を選択して決定を押すと、プロ調整のメニューが表示されます。

ワイドビューアングル

● 広い範囲で見る場合に見やすい階調設定にします。

① ▲·▼で以下から選び、決定を押す

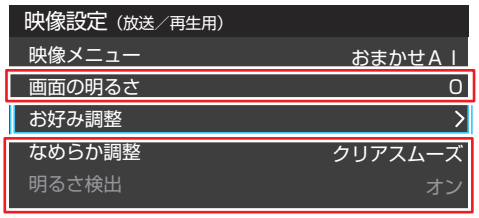
- **オン**…… ワイドビューアングル機能が働きます。
- **オフ**…… この機能は働きません。

お好みの映像に調整する つづき

その他の映像設定

- 「映像設定」のメニューに表示されている「コンテンツモード」、「バックライト」、「画面の明るさ」、「なめらか調整」、「低遅延モード」、「明るさ検出」は、項目を選択してから以下の手順で設定します。

※「低遅延モード」は、外部入力(HDMI)のときに表示されます。



コンテンツモード

- HDMI入力からの映像のときに表示され、設定できます。映像メニューの下に表示されます。
- 選択できる項目は、視聴している映像の種類や解像度によって異なります。

「映像メニュー」が「ゲーム」、「ＰＣ」以外のとき

- 選択できる項目は、視聴している映像の種類や解像度によって異なり、選択できない項目は薄く表示されます。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

・オート	本機が自動的に切り換えます。
・４Ｋ－ＢＤ	4K映像をそのままの画質で再生するモードです。
・４Ｋ放送	4K放送に適したモードです。
・ＢＤ	通常のブルーレイディスクの再生に適したモードです。
・２Ｋ放送	2K放送の映像に適したモードです。

「映像メニュー」が「ゲーム」のとき

- 「映像メニュー」が「ゲーム」のときは、以下のモードから選びます。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

・オート	本機が自動的に切り換えます。
・ＨＤゲーム	高解像度映像のゲーム機に適したモードです。
・ポータブルゲーム	ポータブルタイプのゲーム機に適したモードです。
・ＳＤゲーム	低解像度映像のゲーム機に適したモードです。

「映像メニュー」が「ＰＣ」のとき

- 「映像メニュー」が「ＰＣ」のときは、コンテンツモードは「オート」になります。

・オート	本機が自動的に切り換えます。

バックライト

- この調整項目は、「明るさ検出」が「オフ」に設定されているときに表示されます。
- お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。

❶ ◀·▶でお好みの明るさに調整し、決定を押す

- 「０」～「１００」の範囲で調整できます（調整値が大きくなるほど画面が明るくなります）。

画面の明るさ

- この調整項目は、「明るさ検出」が「オン」で、「明るさ詳細設定」を設定していないときに表示されます。
- お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。

❶ ◀·▶でお好みの明るさに調整し、決定を押す

- 「－15」～「+15」の範囲で調整できます（調整値が大きくなるほど画面が明るくなります）。
- 青を押すと、「明るさ詳細設定」に切り換えることができます。

明るさ詳細設定

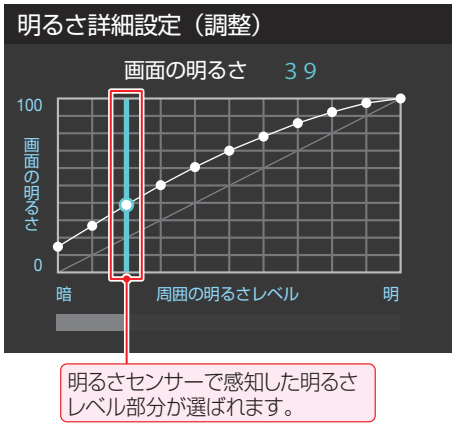
- この調整項目は、「明るさ検出」が「オン」で、「明るさ詳細設定」で明るさを設定しているときに表示されます。
- 明るさ検出機能によって自動調整される画面の明るさを調整することができます。

❶ 決定を押す

- 青を押すと、「画面の明るさ」に切り換えることができます。

❷ 明るさを変えたいレベルを◀·▶で選び、▲·▼で明るさを調整する

- 必要に応じて異なるレベルの調整を繰り返します。
- 青を押すと、調整前のレベルに戻ります。
- 赤を押すと、お買い上げ時の調整に戻ります。



❸ 調整が終わったら、決定を押す

なめらか調整

● 映画やアニメなどコマ数が少ない映像に対し、なめらかな動きで映像を表示する機能です。
※ 映像メニューが「ゲーム」、「PC」、「写真」以外のときに設定できます。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す
- **クリアスムーズ**……映画やアニメが最もなめらかな動きで表示されます。
- **スムーズ**……映画やアニメがなめらかな動きで表示されます。
- **オフ**……元の入力映像をそのまま表示します。

低遅延モード

● 画像処理による表示の遅延時間を短縮します。
※「低遅延モード」は、外部入力(HDMI)のときに設定できます。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す
- **オン**……低遅延モード機能が働きます。
- **オフ**……この機能は働きません。

明るさ検出

● 明るさセンサーで検出した周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動で調整されます。
※「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」に設定されている場合は「オン」になり、設定を変えることはできません。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す
- **オン**……明るさ検出機能が働きます。
- **オフ**……この機能は働きません。

お好み調整を初期値に戻す／映像調整を初期値に戻す

● 「お好み調整」、「映像調整」の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「映像設定」⇨「お好み調整」⇨「お好み調整を初期値に戻す」の順に進む
● 「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」以外のときは、「映像調整」⇨「映像調整を初期値に戻す」に進みます。

2 ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

テレビの電源ランプを消灯する

● テレビの視聴中に、電源ランプの明かりが気になる場合に設定します。
※ テレビの状態を知りたい場合は、「点灯」(お買い上げ時の設定)で使用することをおすすめします。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「その他の設定」⇨「詳細機能設定」⇨「電源LED表示設定」に進む

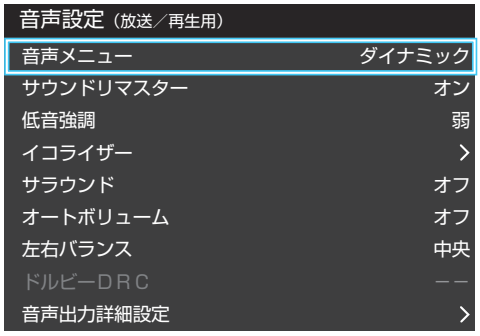
2 ▲·▼を押して「消灯」を選び、決定を押す
● 「消灯」に設定すると、本機の電源ランプが消灯します。次回電源を入れたときは、電源ランプが点灯し、そのあと消灯します。

お知らせ
■「画面の明るさ」と明るさセンサーについて
● 調整中に照明をつけるなど、周囲の明るさを変えた場合は、調整後に画面の明るさが変わらないことがあります。
● 明るさセンサーの近くにものを置いたり、ふさいだりすると、明るさセンサーが正しく動作しなくなることがあります。明るさセンサーの位置は15ページをご覧ください。

お好みの音声メニューを選ぶ

- 見る番組の種類に応じて、お好みの音声メニューを選ぶことができます。
- 音声メニューは、放送/再生の音声、各外部入力端子の音声、音楽再生の音声でそれぞれ記憶させることができます。
- サブメニューの「スピーカー切換」が「テレビスピーカー」、「外部スピーカー」以外のときは、「音声メニュー」は「ーー」と表示され、操作できません。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「音声設定」⇨「音声メニュー」の順に進む



2 お好みの音声メニューを◀·▶で選ぶ

音声メニュー	内　容
おまかせ	番組のジャンルに合わせて本機が音質を自動調整します。 放送を視聴するときに選択できます。
ダイナミック	音楽やドラマなどを楽しむときに適した設定です。
標準	ニュースや情報番組などを楽しむときに適した設定です。
クリア音声	人の声を強調して、声を聴きやすくします。
映画	映画を鑑賞するときに適した設定です。

- 外部入力を選んでいるときは、「おまかせ」を選択できません。
- ▲·▼で、サウンドリマスター画面や低音強調画面、イコライザー画面に移行できます。

お好みの音声に調整する

1 設定 を押し、▲·▼で「音声設定」を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で調整したい項目を選んで 決定 を押す

3 以下の手順でお好みの音声に調整する

音声を調整した場合

- 調整や設定をすると、そのときに選択していた「音声メニュー」に調整·設定状態が記憶され、「音声メニュー」の表示に「：メモリー」が加わります。
- 調整·設定状態は、入力端子などの区分ごとに記憶されます。たとえば、(放送/再生)の「ダイナミック：メモリー」と(HDMI1)の「ダイナミック：メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。

サウンドリマスター

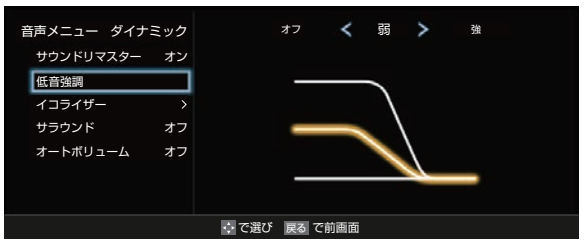
- 微小信号を再現し、より高精細な音質にします。
- サブメニューの「スピーカー切換」が「テレビスピーカー」、「外部スピーカー」以外のときは、「サウンドリマスター」は「ーー」と表示され、操作できません。

❶ ◀·▶でお好みの設定を選ぶ

- **オン**…… 高精細な音質になります。
- **オフ**…… この機能は働きません。

低音強調

- 低音の強さを調整します。



❶ ◀·▶でお好みの設定を選ぶ

「音声メニュー」が「おまかせ」のとき

- **おまかせ**…… 番組のジャンルに合わせて低音を自動調整します。
- **オフ**…… この機能は働きません。

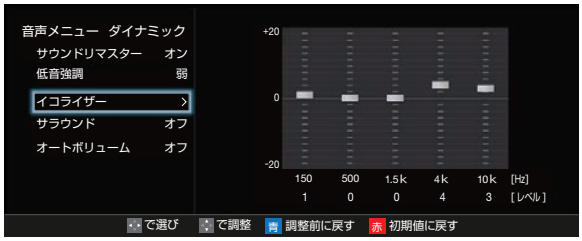
「音声メニュー」が「おまかせ」以外のとき

- **強／弱**…… 低音をお好みの強さに調整します。
- **オフ**…… この機能は働きません。

イコライザー

- イコライザーで音質をより詳細に調整できます。
- サブメニューの「スピーカー切換」が「テレビスピーカー」、「外部スピーカー」以外のときは、「イコライザー」は「ーー」と表示され、操作できません。

❶ 調整する音域を◀·▶で選び、▲·▼でレベルを変える



- 調整前の音に戻すには、青 を押します。
- お買い上げ時の調整に戻すには、赤 を押します。

サラウンド

- ステレオ音声に、広がりを持たせます。
- サブメニューの「スピーカー切換」が「テレビスピーカー」、「外部スピーカー」以外のときは、「サラウンド」は「ーー」と表示され、操作できません。
- クリア音声選択時は、「サラウンド」は「ーー」と表示され操作できません。

※ 音声多重放送の視聴時に、「主」または「副」46ページを選んでいる場合は、効果が得られません。

「音声メニュー」が「おまかせ」のとき

❶ ◀·▶でお好みの設定を選び、決定 を押す

- **おまかせ**…… ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりが出ます。
- **オフ**…… この機能は働きません。

「音声メニュー」が「おまかせ」以外のとき

❶ ◀·▶でお好みの設定を選び、決定 を押す

- **ライブ**…… ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりが出ます。
- **シネマ**…… ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりに合わせて、奥行き感も加わります。
- **オフ**…… この機能は働きません。

オートボリューム

- コンテンツの違いなどで生じる音量差を調整して、音声を聴きやすくします。
- サブメニューの「スピーカー切換」が「テレビスピーカー」、「外部スピーカー」以外のときは、「オートボリューム」は「ーー」と表示され、操作できません。

❶ ◀·▶で以下から選び、決定 を押す

- **オン**…· オートボリュームの機能が働きます。
- **オフ**…· この機能は働きません。

左右バランス

- スピーカー、ヘッドホンの左右の音量バランスを調整します。
- サブメニューの「スピーカー切換」が「テレビスピーカー」、「外部スピーカー」以外のときは、「左右バランス」は「ーー」と表示され、操作できません。

❶ ◀·▶でお好みのバランスに調整し、決定 を押す

ドルビー DRC

- コンテンツの違いなどで生じる音量差を調整して、音声を聴きやすくします。
- HDMI入力端子やホームネットワークに接続した機器から、ドルビーデジタルやドルビーデジタルプラスで記録されたコンテンツが入力された場合にだけ機能します（機器からドルビーデジタルやドルビーデジタルプラスの音声信号が出力されるよう接続機器側で設定してください）。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定 を押す

- **強**…… 音声レベルの補正効果が強く働きます。
- **弱**…… 音声レベルの補正効果が弱く働きます。

音声出力詳細設定

- スピーカーや音声出力端子から出力する音声の詳細を設定できます。

❶ 調整する項目を▲·▼で選び、決定 を押す

❷ 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

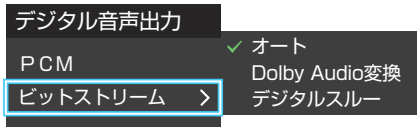
デジタル音声出力

- 光デジタル音声出力端子またはHDMI入力1(ARC)端子から出力する音声信号の設定です。
- オーディオ機器が対応している音声信号については、オーディオ機器の取扱説明書でご確認ください。
- オーディオ機器から音声が出ない、または正常に再生できない場合は、「PCM」に設定してください。

※ サブメニューの「スピーカー切換」が「シンクロドライブ」に設定されている場合は「PCM」になり、設定を変えることはできません。

お好みの音声に調整する つづき

❶ ▲·▼で信号を選び、決定を押す



- **PCM**……
  常にリニアPCM信号が出力されます。
  オーディオ機器がリニアPCM信号だけに対応している場合は、この設定にします。
- **オート**……
  信号が自動で出力されます。
- **Dolby Audio変換**
  Dolby信号に変換して出力します。
- **デジタルスルー**……
  AACやDolby信号がそのまま出力されます。

ご注意

- **非対応の音声フォーマットを対応と通知してくるARC対応機器もあります。その場合、非対応音声フォーマットの再生中は音が出なくなります。**
- **本機から出力されるデジタル音声は、デジタル音声出力設定を「ＰＣＭ」以外に設定するとコンテンツによってはオーディオ機器（ＡＶアンプなど）で正常に再生できない形式があります。**

お知らせ

- デジタル音声出力設定が「PCM」以外に設定されている場合で、MPEG-2 AAC音声の場合には、データ放送の一部の音声（効果音など）が光デジタル音声出力端子またはHDMI入力1(ARC)端子から出力されないことがあります。
- 外部入力としてビデオ入力を選択しているときは、光デジタル音声出力端子およびHDMI入力1(ARC)端子からは設定にかかわらずリニアPCM信号が出力されます。
- HDMI入力の選択時に、HDMI入力端子が対応していない音声信号が入力された場合は、設定にかかわらず光デジタル音声出力端子またはHDMI入力1(ARC)端子から信号は出力されません(HDMI入力端子が対応している音声信号については、91ページをご覧ください)。

デジタル音声出力タイミング

- 光デジタル音声出力端子とHDMI入力1(ARC)端子から出力するデジタル音声信号のタイミングを設定することができます。

❶ ◀·▶でお好みのタイミングに調整し、決定を押す

- 数値が小さくなるほど、音声を出力するタイミングが早くなります。

お知らせ

- 映像の遅延が小さい場合、設定を変えても音声のタイミングは変わりません。

ヘッドホン／音声出力設定

- ヘッドホン／音声出力端子の設定をします。

❶ ▲·▼で「ヘッドホン／音声出力設定」を選び、決定を押す

- 以下、「出力設定」、「ヘッドホン出力設定」、「外部スピーカー出力設定」を設定します。

出力設定

- ヘッドホン／音声出力端子に接続する機器にあわせて設定します。

※ ヘッドホンで聴くときは、必ず「ヘッドホン」に設定してください。

① ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **ヘッドホン：**
  ヘッドホン／音声出力端子にヘッドホンを接続する場合に選択します。
- **外部スピーカー：**
  ヘッドホン／音声出力端子にAVアンプやミニコンポなどを接続する場合に選択します。

ヘッドホン出力設定

- 「出力設定」で「ヘッドホン」を選んだときに設定します。

① ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **通常モード**…… ヘッドホン／音声出力端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからの音が消え、ヘッドホンから音が聞こえます。
- **親切モード**…… ヘッドホン／音声出力端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーとヘッドホンの両方から音が聞こえます。

外部スピーカー出力設定

- 「出力設定」で「外部スピーカー」を選んだときに設定します。

① ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **固定**…… ヘッドホン／音声出力端子から一定の音量レベルで音声が出力されます。外部接続機器で音量を調節してください。
- **可変**…… ヘッドホン／音声出力端子からの音量を本機のリモコンで調節することができます。

テレビ設置設定

- 本機の設置状況に合わせた音質に設定します。
- サブメニューの「スピーカー切換」が「テレビスピーカー」、「外部スピーカー」以外のときは、「テレビ設置設定」は「ーー」と表示され、操作できません。

❶ ▲·▼で「スタンド」、「壁掛け」または「コーナー」を選ぶ

アンテナを調整する

電波の強さ(信号強度)を確認する

● テレビが全く映らない、または画面が乱れるなどの場合は、以下の手順でアンテナレベルを確認します。

地上デジタル用アンテナの場合

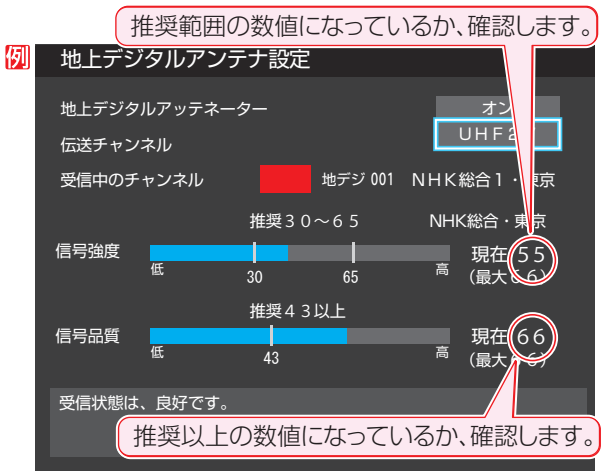
1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「地上デジタル設定」⇨「地上デジタルアンテナ設定」の順に進む

2 ▲·▼で「伝送チャンネル」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼でチャンネルを選び、決定 を押す

● お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選びます(お買い上げの販売店などにお聞きください)。

● 信号強度(○印の数値)が推奨範囲内になっているか、信号品質(○印の数値)が推奨の数値以上になっているかを確認します。



BS・110度CS用アンテナの場合

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「BS・110度CSアンテナ設定」の順に進む

2 BS または CS で放送の種類を選ぶ

3 チャンネル でチャンネルを選ぶ

● 無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。

● 信号強度が推奨範囲内になっているか、信号品質が推奨数値以上になっているかを確認します。

BS・110度CS 4K放送用アンテナの場合

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「BS/CS 4K設定」⇨「BS/CS 4Kアンテナ設定」の順に進む

2 チャンネル でチャンネルを選ぶ

● 無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。

● 信号強度が推奨範囲内になっているか、信号品質が推奨数値以上になっているかを確認します。

BS・110度CS 4K放送の受信環境を確認したいとき

● 現在の受信環境でBS/CS 4K放送が視聴できるか確認できます。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「BS/CS 4K設定」⇨「BS/CS 4K受信環境確認」の順に進む

お知らせ

● アンテナレベルの信号強度の数値は、受信入力電力を換算したものです。

● アンテナレベルの信号品質の数値は、受信C/Nを換算したものです(「受信C/N」とは放送電波と雑音電波の比を表すもので、電波の品質を知るときの目安となります)。

アンテナを調整する つづき

アンテナを調整する

● 衛星を使用していて、アンテナレベルが不足している場合は、「アンテナレベル」の画面を確認しながらアンテナの調整をします。

※ **高所での作業は危険です。アンテナの調整については、販売店にご相談ください。**

1 アンテナをゆっくり動かして、アンテナレベルの数値が最大となるように調整する

● 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認します。

2 アンテナを固定して、決定を押す

地上デジタルアッテネーター設定を変更する

● 信号強度が高すぎて受信障害が発生している場合は、「地上デジタルアッテネーター設定」を「オン」にします。

● お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「放送受信設定」⇨「地上デジタル設定」⇨「地上デジタルアンテナ設定」の順に進む

2 ▲·▼で「地上デジタルアッテネーター」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

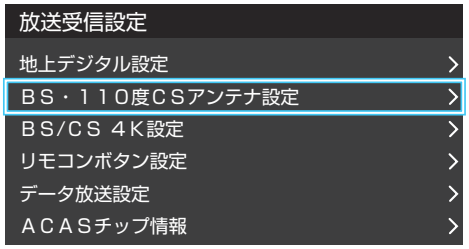
※「オン」または「オフ」に切り換えたとき、画面にブロックノイズなどの映像乱れや音声ノイズが発生することがあります。

BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する

● BS・110度CS用アンテナは電源を必要とします。

● お買い上げ時は、「オート」に設定されています。
マンションなどで、他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、「しない」に設定します。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「放送受信設定」⇨「BS・110度CSアンテナ設定」の順に進む



2 ▲·▼で「衛星アンテナ電源供給」を選び、決定を押す

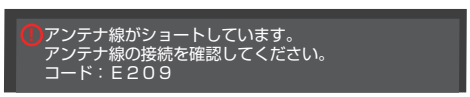
3 ▲·▼で「する」、「しない」または「オート」を選び、決定を押す

- **する：**
本機の状態に関わらず、アンテナに電源を供給します。
- **しない：**
アンテナに電源を供給しません。
- **オート：**
必要に応じて、本機が自動的にアンテナに電源を供給します。

アンテナ線がショートしたとき

● BS・110度CS用アンテナのレベル表示画面に「アンテナ線がショートしています。」のメッセージが表示された場合は、電源を切ってから電源プラグを抜き、ショートの原因を取り除いてからもう一度電源を入れてアンテナレベル表示の操作をしてください。

● マンションなどの共聴アンテナを使用しているときは、以下のエラーメッセージは表示されず、「衛星アンテナ電源供給」の設定が「しない」に切り換わります。



お知らせ

● 「衛星アンテナ電源供給」を「オート」に設定している場合、本機の電源が「切」または「待機」のときは、番組情報の取得中や予約した番組の録画中、およびダウンロード中などの場合以外はアンテナ電源が供給されません（BS・110度CSデジタル放送録画機器単独で録画するときなどは、録画機器からアンテナ電源を供給する必要があります）。

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき

地上デジタルチャンネルを自動で設定する

● 地上デジタル放送には以下の3種類のチャンネル自動設定機能があります。
- **初期スキャン**……「はじめての設定」の「① 地上デジタルチャンネル設定」で行われる「初期スキャン」だけをやり直すことができます。
- **再スキャン**……放送局が増えたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。
- **自動スキャン**……本機の電源が「切」や「待機」のときに自動的に探し、変更されたチャンネルがあればワンタッチ選局ボタンに自動で設定されます。

※ 初期スキャンをしていないと、再スキャンや自動スキャンはできません。

初期スキャンをするとき

● 受信可能なチャンネルを本機が探し、ワンタッチ選局ボタン（1〜12）に放送の運用規定に基づいて設定します。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「地上デジタル設定」⇨「地上デジタルスキャン設定」⇨「初期スキャン」の順に進む

2 お住まいの地方を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す

3 お住まいの都道府県または地域を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す

再スキャンをするとき

● 新たに放送局が開局してチャンネルが増えた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「地上デジタル設定」⇨「地上デジタルスキャン設定」⇨「再スキャン」の順に進む

自動スキャンの設定を変えるとき

● お買い上げ時は自動スキャンは「する」に設定されています。チャンネル設定の内容が自動変更されないようにする場合は、自動スキャンを「しない」に設定してください。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「地上デジタル設定」⇨「地上デジタルスキャン設定」⇨「自動スキャン」の順に進む

2 ▲·▼で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき つづき

チャンネルをお好みに手動で設定する

- お好みで、リモコンのワンタッチ選局ボタン（あ 1 ～ わ 12 ）で選局するチャンネルを変更したり、空いているワンタッチ選局ボタンに設定を追加したりすることができます。
- はじめて地上デジタル放送の「チャンネルボタン設定」をする場合は、前ページの「初期スキャン」をしてください。「初期スキャン」をしていない状態では「チャンネルボタン設定」はできません。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「リモコンボタン設定」⇨「チャンネルボタン設定」の順に進む

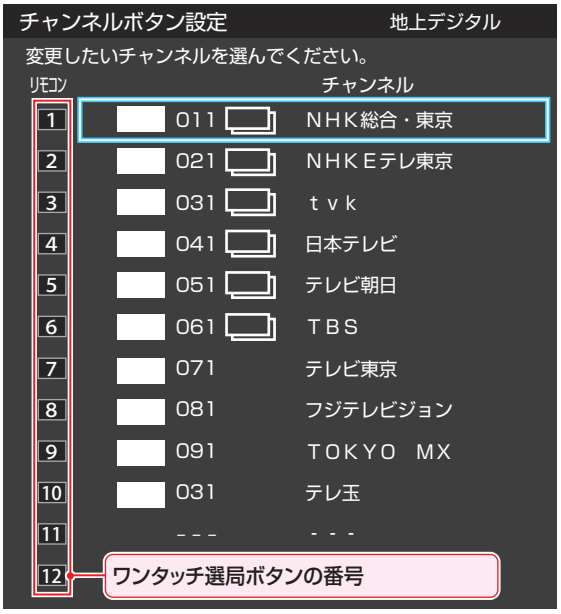
- 放送の種類を選択する画面が表示されます。

2 設定するデジタル放送の種類を▲·▼で選び、決定 を押す

3 設定するボタン（あ 1 ～ わ 12 ）の番号を▲·▼で選び、決定 を押す

- 図は手順2で「地上デジタル」を選んだ場合の例です。

例



- 地上デジタル以外の放送の場合は、リモコン列の左にグループ列が表示されます。
  グループのA、B（BSデジタル放送、BS·110度CS 4K放送）、A ～ F（110度CSデジタル放送）は選局ガイドのグループになります。
  グループAはワンタッチ選局ボタンになります。

4 ▲·▼で受信チャンネルを選び、決定 を押す

110度CSデジタル放送のチャンネルを簡単に設定する

- 手順2、3で以下の操作をすると、簡単にチャンネルを設定することができます。

❶ 手順2で、「110度CS」を選び、決定 を押す
❷ チャンネルボタン設定画面（手順3）で 緑 を押す
❸ ▲·▼で登録したいチャンネルを選び、決定 を押す

- 選んだチャンネルは、登録されていないボタンで数字が小さいボタンに登録されます。
- ボタンが登録されているチャンネルを選んだときは、登録が解除されます。

お知らせ

- チャンネルボタン設定をしたあとで、「初期スキャン」や「はじめての設定」をすると、チャンネルボタン設定をした内容が消えますので再度設定をしてください。
- BS·110度CS 4K放送のAグループの「チャンネルボタン設定」をユーザーが変更していない場合、放送局からの情報に従って、チャンネルボタン設定の内容が更新される場合があります（「チャンネルボタン設定」の設定内容をユーザーが変更した場合は、放送局からの情報が更新されても、チャンネルボタンの設定内容は更新されません。）。

視聴しないチャンネルをスキップする

- チャンネル で選局するときに、視聴しないチャンネルを飛ばすことができます。
- 「スキップ」に設定したチャンネルは番組表 38 に表示されません。また、番組検索 42 の対象になりません。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「リモコンボタン設定」⇨「チャンネルスキップ設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。

2 設定する放送の種類を▲·▼で選び、決定 を押す

3 スキップ設定を変更したいチャンネルを▲·▼で選び、決定 を押す

例

チャンネルスキップ設定		地上デジタル
チャンネル		スキップ
011	NHK総合1・東京	しない
012	NHK総合2・東京	しない
021	NHKEテレ1東京	しない
022	NHKEテレ2東京	しない
023	NHKEテレ3東京	しない
031	tvk1	しない
032	tvk2	しない
033	tvk3	しない
041	日テレ1	する
042	日テレ2	する
051	テレビ朝日	する
052	テレビ朝日	しない

手順**2**で「地上デジタル」を選んだ場合

- 決定 を押すたびに「する」⇔「しない」と交互に切り換わります。
- 他のチャンネルの設定をする場合は、手順**3**の操作を繰り返します（違う放送のチャンネルを設定する場合は 戻る を押し、手順**2**からの操作を繰り返します）。

お知らせ

■ チャンネルスキップ設定について

- 放送局の代表チャンネルを「する」に設定すると、その放送局の代表チャンネル以外のチャンネルもスキップされます。代表チャンネル以外のチャンネルを「する」に設定した場合は、代表チャンネルは選局できます。
- お買い上げ時には、BS/CS 4K放送の102チャンネルはスキップ「する」に設定されています。

データ放送の設定をする

地域と郵便番号を設定する

- お住まいの地域に応じたデータ放送や緊急警報放送などを視聴するための設定です。
- 「はじめての設定」で設定した状態から変更したいときに以下の操作をします。

地域を設定する

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「データ放送設定」⇨「地域設定」の順に進む

2 該当する地方を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す
- 「設定しない」を選んだ場合は、これで終わりです。

3 該当する地域を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す
- 伊豆、小笠原諸島地域の方は「東京都島部」を選んでください。
- 南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。

郵便番号を設定する

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「データ放送設定」⇨「郵便番号」の順に進む
- 郵便番号の入力画面が表示されます。

2 お住まいの地域の郵便番号を 1(あ) ～ 10(小文字) (0) で入力し、決定 を押す
- 上3ケタを入力して 決定 を押すと、残り4ケタは自動的に「0」が入力されます。

例

災害発生時に文字情報を表示させる

- デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、表示する言語を選択することができます。
- お買い上げ時は、文字スーパーが日本語優先で表示されるように設定されています。

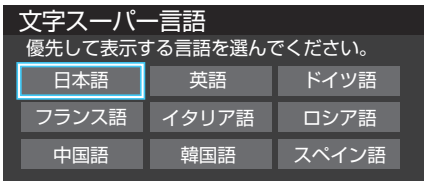
1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「データ放送設定」⇨「文字スーパー表示」の順に進む
- 「文字スーパー表示」の画面が表示されます。

2 ▲·▼で「する」を選び、決定 を押す

文字スーパーの言語を設定する

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「データ放送設定」⇨「文字スーパー言語」の順に進む
- 「文字スーパー言語」の画面が表示されます。

2 優先する言語を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す



ルート証明書の番号を確認する

- 地上デジタル放送/BSデジタル放送/110度CSデジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されるルート証明書の番号を確認することができます。
- このルート証明書は放送電波で送られます。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「データ放送設定」⇨「ルート証明書番号」の順に進む
- ルート証明書番号のリストが表示されます。

2 ルート証明書番号を確認し、決定 を押す

お知らせ

■ **郵便番号と地域の設定について**
- データ放送を視聴している状態で設定を変更した場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局してください。

■ **文字スーパー表示の設定について**
- 設定した言語の文字スーパーがあるときは、その言語で表示されます。設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。
- 「しない」を選択した場合でも、災害時などの速報は、放送局指定によって放送受信時に強制表示することがあります。

用語

■ **ルート証明書**

サーバーを認証する第三者機関(認証局)を証明するものです。この証明書を基にして、「サーバ証明書」のデジタル署名を検証し、「サーバ証明書」が信頼できることを確認します。

視聴できる番組を制限する

制限するために暗証番号を設定する

- 暗証番号は、視聴年齢制限のある番組を見たり、ネットワークサービスの利用を制限したりするときに必要です。
- 暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更・削除および「すべての初期化」[154] をするときにも暗証番号の入力が必要になります。

ご注意

- 暗証番号を忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れた場合は、裏表紙に記載の「東芝テレビご相談センター」にご連絡ください。
  ※ 必要としない場合は、登録しないことをおすすめします。

1 設定 を押し、▲・▼と 決定 で「その他の設定」⇨「視聴制限設定」⇨「暗証番号設定」の順に進む

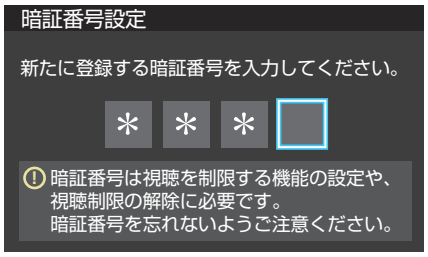
- 暗証番号の入力画面が表示されます。

2 暗証番号を変更する場合は、変更前の暗証番号を 1 ～ 10 (0) で入力する

- 新規設定の場合、この手順はありません。

3 登録したい暗証番号を 1 ～ 10 (0) で入力する

- 間違えて入力した場合は、◀を押し、もう一度入力します。
- 入力した数字は画面には「＊」で表示されます。



重要
登録した暗証番号はメモするなどして、忘れないようにしてください。

4 1 ～ 10 (0) でもう一度同じ暗証番号を入力する

5 確認画面で 決定 を押す

暗証番号を削除するとき

1 設定 を押し、▲・▼と 決定 で「その他の設定」⇨「視聴制限設定」⇨「暗証番号削除」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

2 1 ～ 10 (0) で暗証番号を入力する

3 確認画面で、◀・▶で「はい」を選び、決定 を押す

番組の視聴を制限する

- デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには設定が必要です。
- お買い上げ時には、番組の視聴制限は設定されていません。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。

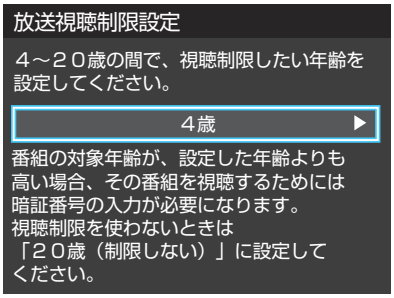
1 設定 を押し、▲・▼と 決定 で「その他の設定」⇨「視聴制限設定」⇨「放送視聴制限設定」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

2 1 ～ 10 (0) で暗証番号を入力する

3 ◀・▶で年齢を設定し、決定 を押す

- 設定できる年齢は、4歳から20歳までです。
- 視聴年齢制限機能を使わない場合は、「20歳（制限しない）」に設定します。



- 視聴時の動作および必要な操作は以下のとおりです。

番組の制限年齢が設定した年齢よりも上の場合

- メッセージが表示されます。
- 決定 を押し、1 ～ 10 (0) で暗証番号を入力します。

視聴年齢制限が設定されていない場合

- 視聴年齢制限のある番組を見ることはできません。
- 決定 を押し、設定が必要な項目を設定します。

視聴できる番組を制限する つづき

インターネットの利用を制限する

- ネットワークサービスを使用する際に、パスワードで利用を制限することができます。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に前ページの手順で暗証番号を設定します。

ネットワークサービス制限設定(パスワードロック機能)

- ネットワークサービスを使用する際に、暗証番号の入力が必要となるように設定することができます。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「その他の設定」⇨「視聴制限設定」⇨「インターネット制限設定」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

2 1(あ)～10(わ゛゜小文字)(0)で暗証番号を入力する

3 ▲·▼で「ネットワークサービス制限設定」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼で「制限する」または「制限しない」を選び、決定 を押す

- **制限する**……ネットワークサービスを起動したときに、暗証番号の入力が必要です。
- **制限しない**……暗証番号入力は不要です。

リモコンの設定を変更する

2台のレグザをそれぞれのリモコンで操作する

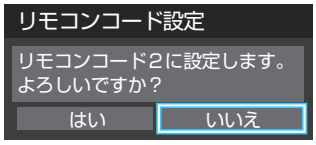
● 同じ室内で東芝テレビを2台使用している場合などに、リモコンを操作すると2台とも反応してしまうことがあります。このような場合、リモコンコードの設定を変えれば1台だけが操作できるようになります。

※ 必ず以下の手順で操作してください。手順が異なるとリモコン操作ができなくなります。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「その他の設定」⇨「詳細機能設定」⇨「リモコン設定」⇨「リモコンコード設定」の順に進む

2 ▲·▼で「リモコンコード1」または「リモコンコード2」を選び、決定を押す

3 ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す



● 今までと異なるコードに設定した場合、次の手順*4*を終えるまでの間リモコン操作ができなくなります。

4 決定を押したままで、1（あ）または2（か ABC）を約2秒間以上押し続ける

● 手順*2*～*3*で「リモコンコード1」に設定した場合は1（あ）を、「リモコンコード2」に設定した場合は2（か ABC）を押し続けます。

※ この操作ができるのは、付属のリモコンだけです。

5 リモコンでテレビが操作できることを確認する

リモコンの乾電池を取りはずした場合（電池交換などの際）、「リモコンコード1」になることがあります。

テレビ本体のボタンで設定するとき

● テレビ本体のリモコンコードを、本体の操作ボタンを使って以下の手順で設定することもできます。

1 本体ボタンを下※に動かし、そのまま下※に押し続ける

● リモコンコード1とリモコンコード2が交互に切り換わります。

※ 75M540Xでは、手前に動かしてください。

使わない放送選択ボタンの操作を無効にする

● リモコンの放送選択ボタン 地デジ、BS、CS、BS/CS 4K のうち、使用しないボタンの操作を無効にすることができます。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「その他の設定」⇨「詳細機能設定」⇨「リモコン設定」⇨「操作無効設定」の順に進む

2 ▲·▼でボタンを選び、決定を押す

3 ▲·▼で「有効」または「無効」を選び、決定を押す

お知らせ

● テレビ本体とリモコンのリモコンコードが一致していない場合、電源が「待機」のときにリモコンの電源を押すと、本体の「電源」表示が赤色に点滅します。その場合は、リモコンまたは本体のリモコンコードを変更してください。

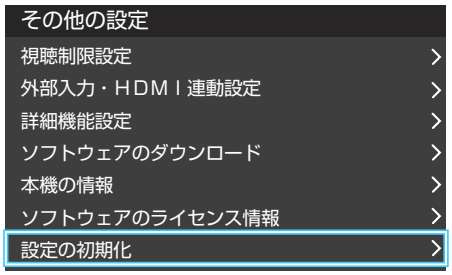
お買い上げ時の設定に戻すには（設定内容を初期化するには）

● お買い上げ時の設定（工場出荷設定）に戻す方法は3種類あります。目的に合わせて操作してください。

ご注意 ※ 初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできませんのでご注意ください。

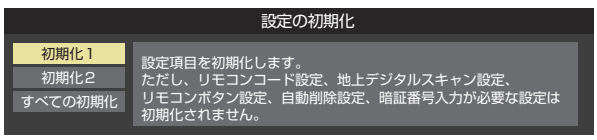
項　目	内　容
初期化1	● 以下の項目以外の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。 ・「チャンネル設定」 ・「視聴制限設定」の「暗証番号設定」、「放送視聴制限設定」 ・「リモコンコード設定」 ・USBハードディスクの「自動削除設定」 ・「みるコレ パック」の登録情報など、クラウドサービスでの設定
初期化2	● 以下の項目以外の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。 ・「視聴制限設定」の「暗証番号設定」、「放送視聴制限設定」 ・「リモコンコード設定」 ・USBハードディスクの「自動削除設定」 ・「みるコレ パック」の登録情報など、クラウドサービスでの設定
すべての初期化	● 本機に設定された「リモコンコード設定」以外のすべての内容をお買い上げ時の状態に戻します。 **※ この初期化は、データ放送の個人情報（住所、氏名、視聴ポイント数など）、ネットワークサービスの登録情報などについてもすべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合にだけ行ってください。**

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「その他の設定」⇨「設定の初期化」の順に進む



2 ▲·▼で「初期化1」、「初期化2」、または「すべての初期化」を選び、決定 を押す

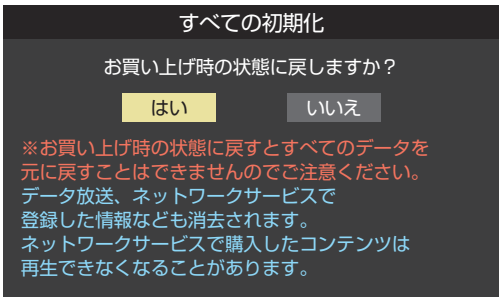
● 初期化される項目の内容は、上の表をご覧ください。



すべての初期化をする場合

● 暗証番号を設定している場合は暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号を入力します。

3 初期化する場合は◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

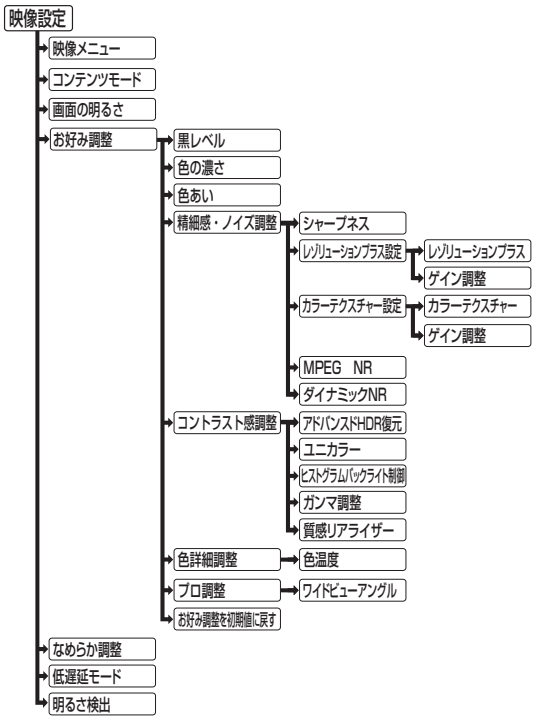


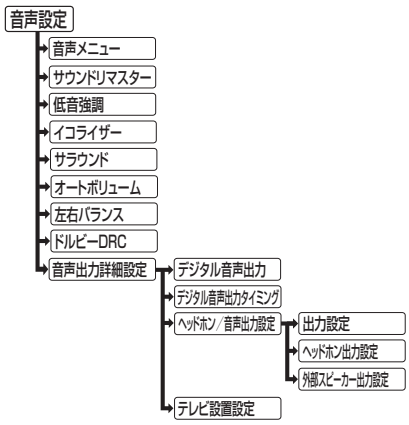
4 初期化終了の画面が表示されたら、以下の操作をする

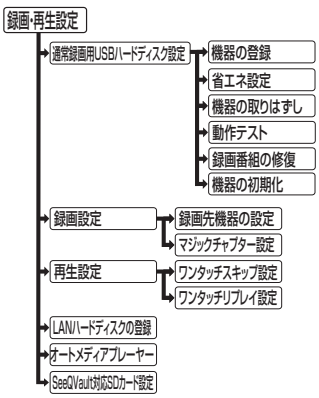
● 「初期化1」、「初期化2」の場合は 決定 を押します。
● 「すべての初期化」の場合は電源を切ります。

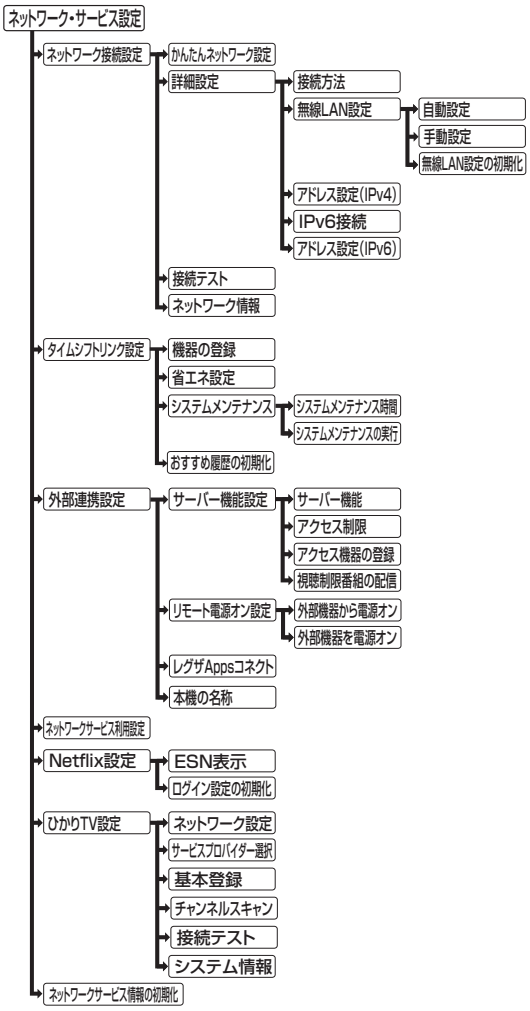
設定メニュー 一覧

- 設定メニュー 一覧を下図に示します。
- メニューに表示される項目や項目名、選択できる項目などは、設定状態や接続機器の有無などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄くなって表示されます。
- 「映像設定」のメニューは、「映像メニュー」で「おまかせＡＩ」を選んでいる場合の内容です。
  「コンテンツモード」、「低遅延モード」は、HDMI入力を選んでいるときにだけ表示されます。
- 「音声設定」のメニューは、「音声メニュー」で「おまかせ」を選んでいる場合の内容です。

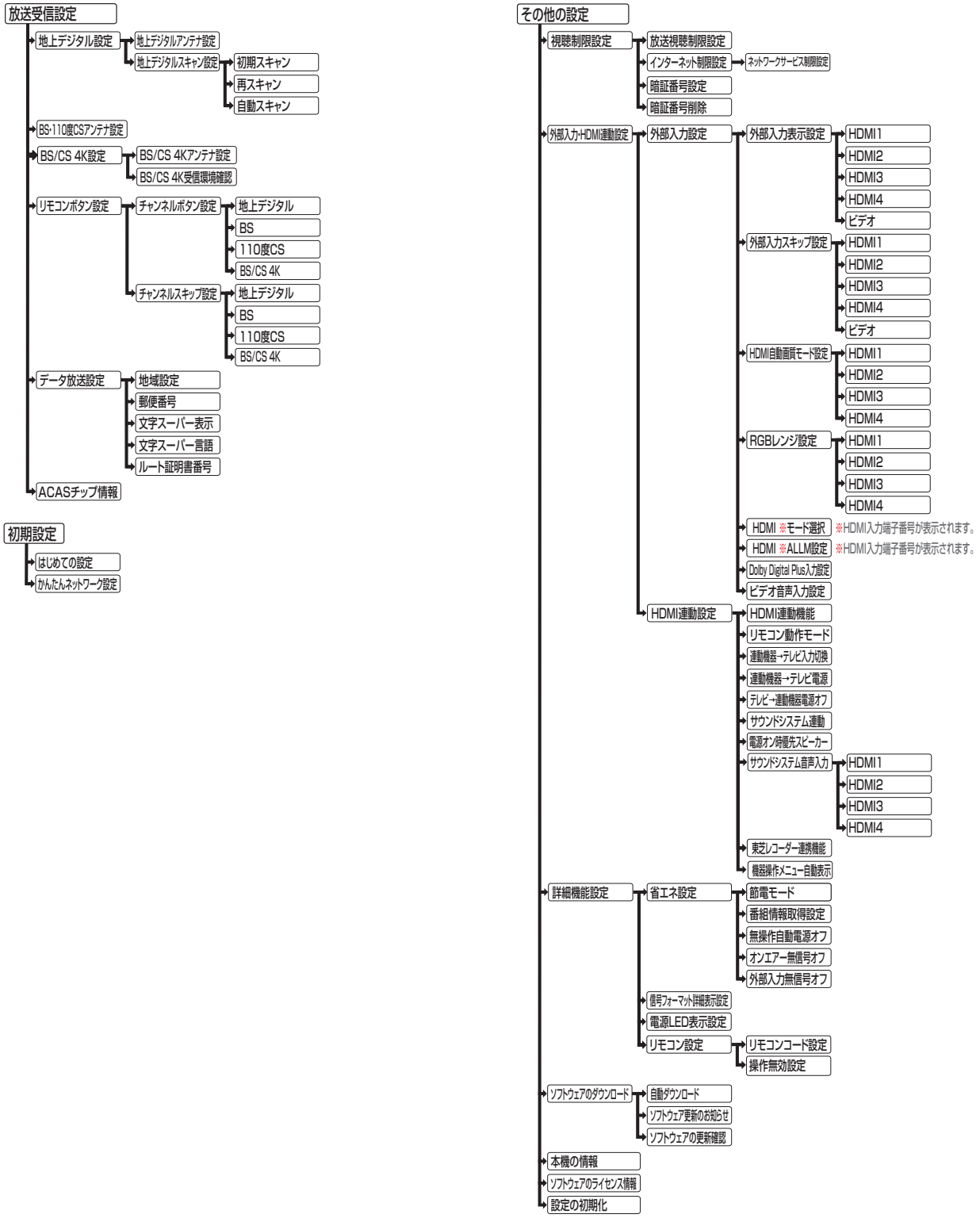








設定メニュー 一覧 つづき



ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア（制御プログラム）で動作するようになっています。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタルや地上デジタルの放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。
  ネットワークに接続している場合は、ネットワーク経由でソフトウェアを自動的にダウンロードし、更新することもできます。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページ（https://www.toshiba.co.jp/regza/support/）でお知らせしています。
  - 放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、都度、限られた日時に行われます。
- 電源プラグが抜かれていたなどの事情で自動ダウンロードができなかった場合は、都合のよいときにインターネットを利用して東芝サーバーから更新用のソフトウェアを入手することができます。
- ソフトウェアの更新中は電源プラグを抜かないでください。ソフトウェアの更新が正常に行われず、本機が起動しなくなるおそれがあります。
  - ソフトウェアの更新中は「電源」表示が緑色と赤色に交互に点灯します。

ソフトウェアの自動ダウンロードについて

- 「自動ダウンロード」の設定を「する」（お買い上げ時の設定）にしておき、日常的にデジタル放送を視聴し、視聴しないときにも電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておけば、特別に意識する必要はありません。放送電波やネットワーク経由での更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新することができます。
  更新用のソフトウェアがある場合は、ダウンロード情報が放送電波で送られます。本機は、地上デジタル放送またはBSデジタル放送を視聴しているときにダウンロード情報を取得します（情報を確認する操作はありません）。
  放送を受信していなくても、ネットワークに接続していれば、自動的にソフトウェアの更新を行います。

自動ダウンロードの設定を変更する

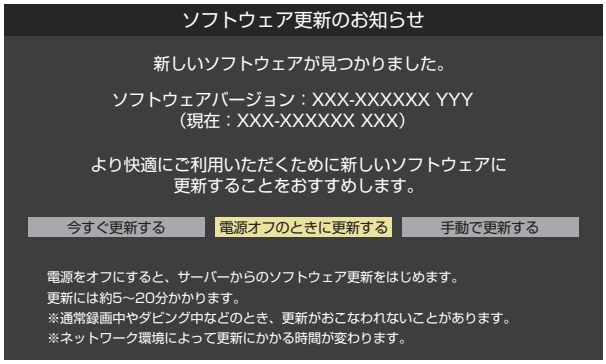
1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「その他の設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「自動ダウンロード」の順に進む

2 ◀·▶で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

- 青 を押すと、放送電波でのダウンロード予定を一覧で確認することができます。
- 「しない」を選んだときは、「ソフトウェア更新のお知らせ」の設定が「表示する」に自動的に変更されます。また、手動でソフトウェアの更新をすることもできます。158

インターネットに接続している場合

- 「自動ダウンロード」を「しない」に設定し、「ソフトウェア更新のお知らせ」が「表示する」に設定されている場合、本機の電源を入れたときに更新用のソフトウェアを検出すると、ソフトウェア更新のお知らせ画面が表示されます。



- ◀·▶で以下のどれかを選び、決定 を押します。
  - **今すぐ更新する**……ソフトウェアの更新を始めます。
  - **電源オフのときに更新する**…本機の電源を待機状態にすると、ソフトウェアの更新を始めます。
  - **手動で更新する**……ソフトウェアの更新は始めません。「東芝サーバーから手動でダウンロードする」158の操作でソフトウェアをダウンロードします。

お知らせ

- 電源プラグがコンセントから抜かれていると、自動ダウンロードができないため、ソフトウェアの自動更新は行われません。
- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 悪天候などでダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。
- テレビの状態によっては、ソフトウェアの更新が行われない場合があります。

用語

■ **ダウンロード**
放送電波やインターネットを使って、ソフトウェアなどを端末（この場合は本機）に転送することです。

ソフトウェアを更新する つづき

ソフトウェア更新のお知らせ画面を表示させないようにする

●ソフトウェア更新のお知らせ画面は、以下の操作で表示させないようにすることもできます。

❶ 設定 ⇨「その他の設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「ソフトウェア更新のお知らせ」の順に進む

❷ ▲·▼で「表示しない」を選び、決定 を押す

- 上記の操作で「表示する」を選ぶと、ソフトウェア更新のお知らせ画面が表示されるようになります。

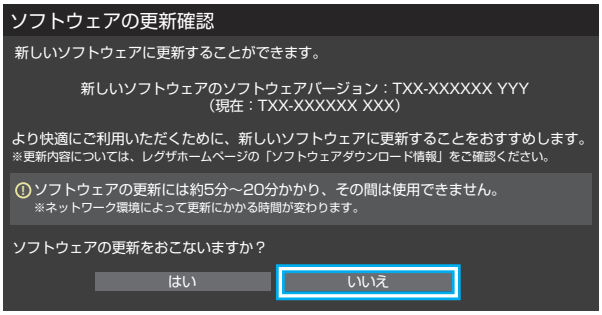
●「自動ダウンロード」を「する」に設定している場合、「ソフトウェア更新のお知らせ」は「しない」に設定され、変更することはできません。

東芝サーバーから手動でダウンロードする

- インターネットを利用して東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードし、本機内部のソフトウェアを更新することができます。
- インターネットへの接続と設定122 ～ 130が必要です。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「その他の設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「ソフトウェアの更新確認」の順に進む

- 新しいソフトウェアがある場合、更新の確認画面が表示されます。



2 ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

- ソフトウェア更新が始まります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。そのままで終了するまでお待ちください。
- 電源が「待機」になってから再び「入」になり、通常の視聴ができるようになります。

ソフトウェアのバージョンを確認するには

1 サブメニュー を押し、▲·▼と 決定 で「その他の操作」⇨「本機の情報」の順に進む

- 設定 ⇨「その他の設定」⇨「本機の情報」でも確認できます。

お知らせ

■ **東芝サーバーからのダウンロードについて**

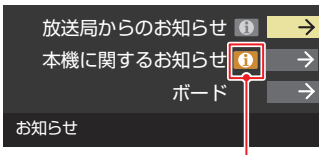
- 回線の速度が遅いと正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、インターネットへの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度ダウンロードしてみてください。

お知らせを見る

- お知らせには、「本機に関するお知らせ」、「放送局からのお知らせ」、「ボード」の3種類があります。
- 未読のお知らせ（「ボード」を除きます）があると、チャンネル切換時や 画面表示 を押したときに、画面に「お知らせアイコン」 が表示されます。162

1 サブメニュー を押し、▲·▼と 決定 で「その他の操作」⇨「お知らせ」の順に進む

2 ▲·▼でお知らせの種類を選び、決定 を押す



- **放送局からのお知らせ**…デジタル放送局からのお知らせです。
- **本機に関するお知らせ**…本機が発行したお知らせです。
- **ボード**……110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

3 読みたいお知らせを▲·▼で選び、決定 を押す

- 選択したお知らせの内容が表示されます。

画面に「本機のお知らせを確認」が表示されたときは

❶ 青 を押す

- 「本機に関するお知らせ」が表示されます。
- お知らせが複数件ある場合は、「本機に関するお知らせ」一覧が表示されます。▲·▼で確認するお知らせを選び、決定 を押して表示させます。

「本機に関するお知らせ」を削除するには

※ 削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

❶「本機に関するお知らせ」の画面で、青 を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

※ 本機に関するお知らせがすべて削除されます。

お知らせ

■「お知らせ」について

- 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタル放送が7通まで記憶され、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送は、合わせて24通まで記憶されます。放送局の運用によっては、それより少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- BS 4K放送とCS 4K放送は、それぞれ10通まで記憶されます。
- 「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。
- 「ボード」は110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。
- 「お知らせアイコン」は、未読のお知らせが1件でも残っていると表示されます。

ACASチップ情報を確認する

- ACASチップの状態やID番号などをテレビ画面で確認することができます。
- ACASチップは、新しいCASの方式です。本機には、この新CASのプログラムを書き込んだ「ACASチップ」が搭載されています。

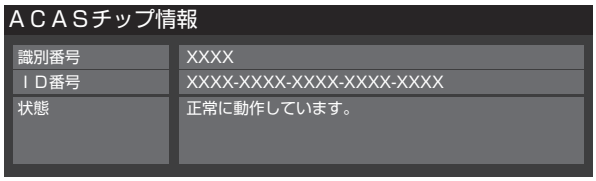
※ **ACASチップには、これまでのB-CASカードの機能も含まれています（B-CASカードは付属していません）。**

ACASチップ情報を確認する

- ACASチップの状態やID番号などをテレビ画面で確認することができます。

1 設定 を押し、▲・▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「ACASチップ情報」の順に進む

- ACASチップの情報が表示されます



2 情報を確認したら、戻る を押す

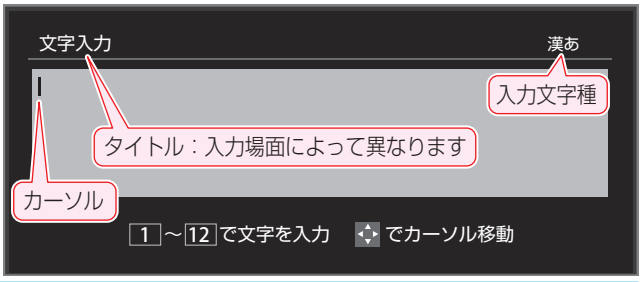
ACASチップID番号記入欄

- 下欄にACASチップのID番号を記入しておくと、有料放送のご契約やお問い合わせの際などに役立ちます。

ACASチップ

文字を入力する

● 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。



1 1～12で文字を入力する

● 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。

入力例：がっこう

➡ 2(が)、10(が)、4(6回)(っ)、2(5回)(こ)、1(3回)(う)

「っ」の別の入力方法➡ 4(3回)、10(2回)(っ)

● 文字に続けて10を押せば、濁点(゛)や半濁点(゜)の入力および小文字変換ができます。

● 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に▶を押します。

入力例：あい ➡ 1(あ)、▶、1(2回)(い)

● 入力文字の種類を変えるときは、青(文字切換)を押します。

● 文字を挿入するには、挿入する場所を▲・▼・◀・▶で選んで入力します。

«・»を押すと、カーソルがその行の先頭または末尾に移動します。

● スペースを入力するときは、緑を押します。

文字を削除するには

● 1文字を削除するには、赤を短く押します。
カーソルの右に文字がない場合は、カーソルの左の1文字が削除されます。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルの右の1文字が削除されます。

● 文字をまとめて削除するには、赤を押し続けます。
カーソルの右に文字列がない場合は、文字がすべて削除されます。カーソルの右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字がすべて削除されます。

2 以下の操作で文字を確定する

● 漢字に変換しないときは、決定を押す

● 漢字に変換するときは、▼を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら決定を押す

- 希望する漢字に変換されない場合は、変換する範囲を◀・▶で変え、▲・▼で再度変換します。

3 すべての入力が終わったら、決定を押す

● 文字入力画面が表示される前の操作場面に戻ります。

文字切換(入力文字種の切り換え)

「漢あ」	漢字変換	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」	全角カナ	カタカナを入力できます。
「ａＡ」	全角英字	全角の英字を入力できます。
「abAB」	半角英字	半角の英字を入力できます。
「１２」	全角数字	全角の数字を入力できます。
「1234」	半角数字	半角の数字を入力できます。
「全角記号」	全角記号	全角の記号を入力できます。
「半角記号」	半角記号	半角の記号を入力できます。
「定型文」	定型文	定型文を入力できます。

● 文字入力の場面によっては、使用できる入力文字種が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。

● 入力文字種が「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

入力文字一覧

リモコン	入力文字種			
	漢字変換	全角カナ	英字	数字
1	あ→い→う→え→お →あ→い→う→え→お	ア→イ→ウ→エ→オ →ア→イ→ウ→エ→オ	1→2→3→4→5→ 6→7→8→9→0	1
2	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ →カ→ケ	a→b→c →A→B→C	2
3	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f →D→E→F	3
4	た→ち→つ→て→と →っ	タ→チ→ツ→テ→ト →ッ	g→h→i →G→H→I	4
5	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l →J→K→L	5
6	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o →M→N→O	6
7	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s →P→Q→R→S	7
8	や→ゆ→よ →や→ゆ→よ	ヤ→ユ→ヨ →ヤ→ユ→ヨ	t→u→v →T→U→V	8
9	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z →W→X→Y→Z	9
10	゛→゜→小文字変換	゛→゜→小文字変換	小文字変換	0
11	わ→を→ん→わ→、→。 →ー	ワ→ヲ→ン→ワ→、→。 →ー	※1	*
12	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	#

● 最後の候補まで行くと、次は最初の候補に戻ります。

※1 全角英字の場合……。→／→：→—→＿→～→@
半角英字の場合……. → / → : → - → _ → ~ → @

※2 文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

お知らせ

● 入力した文字は、次のように表示されます。
入力中の文字：黄色背景／未確定の文字：白色背景／漢字変換候補選択中の文字：黒色背景／確定した文字：背景なし

● 確定せずに変換できるのは4文節までです。4文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。

● 漢字候補選択時に戻るを押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
ステレオ	ステレオ音声放送	○○才～	視聴年齢制限が設定されている番組。○○は4～20の数字が入ります。
サラウンド	サラウンドステレオ放送	契約済	有料放送で契約済のチャンネル。
二重音声	二重音声放送	未契約	有料放送で契約していないチャンネル。
字	字幕放送	PPV:○○円	PPV（ペイ・パー・ビュー）番組。 ○○は金額が入ります。
HD:1080i	放送フォーマットが1080iのデジタルハイビジョン放送	ダビング	録画回数が制限されている番組
HD:720p	放送フォーマットが720pのデジタルハイビジョン放送	デジタルコピー可	デジタル録画ができる番組
SD:480i	放送フォーマットが480iのデジタル標準テレビ放送	デジタルコピー¥	有料でデジタル録画ができる番組
SD:480p	放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送	デジタルコピーx	デジタル録画ができない番組
4K：2160p	放送フォーマットが2160pの4K映像放送	光デジタルコピー可	光デジタル録音ができる番組
8K：4320p	放送フォーマットが4320pの8K映像放送	光デジタルコピー1	1回だけ光デジタル録音ができる番組
信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある番組	光デジタルコピー¥	有料で光デジタル録音ができる番組
		光デジタルコピーx	光デジタル録音ができない番組

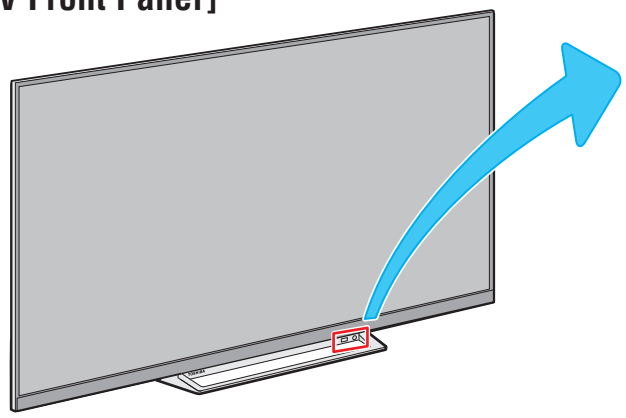
● ダビング・コピー関係のアイコンの中には、本機の機能とは無関係に番組の情報として表示されるものがあります。

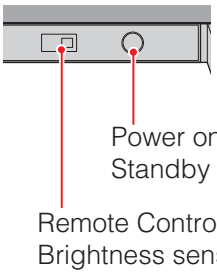
お知らせ、予約、その他についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
	録画予約	おまかせ	おまかせ録画予約
	連ドラ予約		視聴予約が重なったときに表示されます。
	視聴予約		録画番組が「保護」対象
	録画中		録画番組が「上書き」対象
	録画準備中 録画の約1分前に表示されます。		未読の「お知らせ」
	録画確認中 前番組の放送延長などで録画番組の放送時間が変更されたときなどに表示されます。		既読の「お知らせ」
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、予約が重なったときなどに表示されます。		非リンク型サービス（通信番組）44
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、有料番組の予約が重なったときなどに表示されます。		

Basic Operations

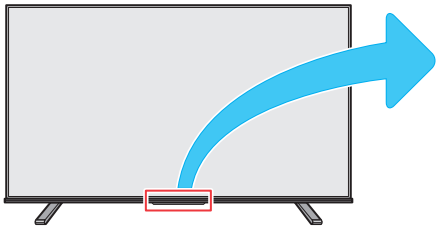
[TV Front Panel]

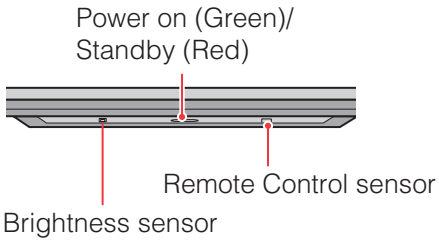




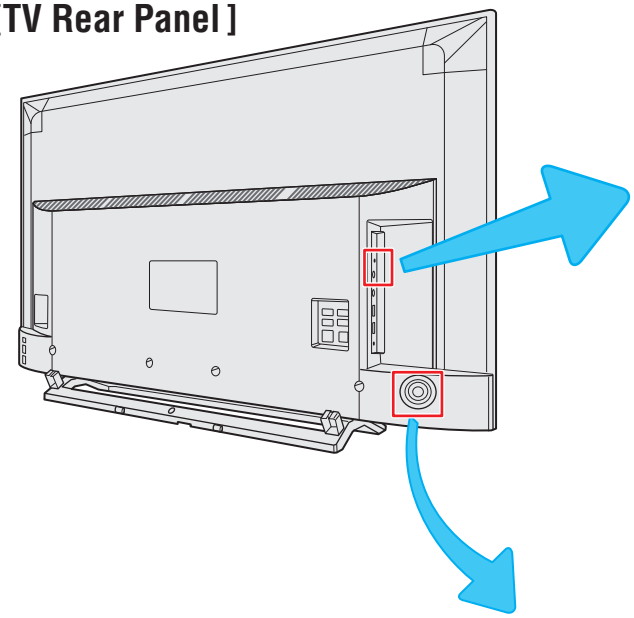
● **For optimum performance, aim the remote control DIRECTLY at the TV remote sensor. (within 16 ft from the TV set)**

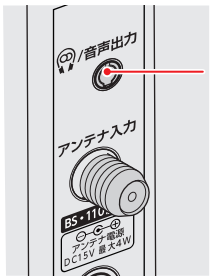
■75M540X



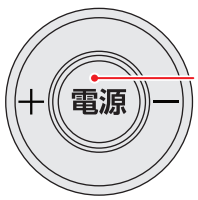


[TV Rear Panel]





Headphone jack
/ Analog audio out



● **Press to turn the TV set on and off.**

Toggle the button right and left to adjust the volume.
Toggle the button down to switch the button right/left function.

● For more information on operations, safety instructions, maintenance,etc, please contact your local dealer.

Basic Operations (Continued from the previous page.)

[Remote controller]

Input selection button

Power button (ON/STANDBY)

For selecting Digital terrestrial broadcasting programs.

For selecting program channels.

Channels sequential access button (Up / Down)

For selecting Digital satellite broadcasting programs.

Sound volume adjustment button

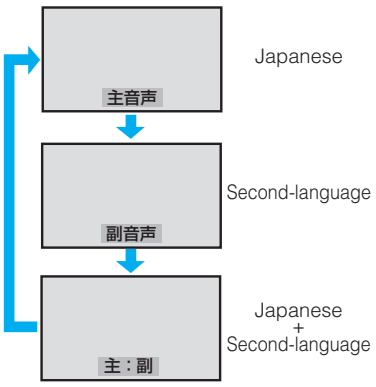
EPG button

For accessing to the Electronic Program Guide (EPG).
EPG provides you with a chart of the schedule of all available digital channels.

For exiting menus or EPG mode.

For returning to the previous screen when in menu or EPG mode.

Multi-sound mode selection button



画面サイズについて

- 選択できる画面サイズは下表のとおりです。
- 画面の見えかたについては、次ページをご覧ください。
- 信号フォーマットについては、「本機で対応している HDMI入力信号フォーマット」167をご覧ください。

放送番組やビデオ入力端子からの映像や動画の再生を見ているとき

映像の種類	選択できる画面サイズ
デジタル放送の4：3の映像(480p、480i)、映像入力端子	フル、ノーマル、映画字幕、ズーム、スーパーライブ
デジタル放送の16：9の映像	フル、HDズーム、HDスーパーライブ • 画面サイズを変更した番組の放送中は、選んだ画面サイズが保持されます。番組終了後、選局操作をすると「フル」に戻ります。 • 電源入／切で「フル」に戻ります。
3840×2160p映像	4Kフル、4Kズーム

HDMI入力端子からの映像を見ているとき

映像や信号フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
480i、480p	フル、ノーマル、ネイティブ、映画字幕、ズーム、スーパーライブ
VGA、SVGA、XGA、SXGA	フル、ノーマル、ネイティブ、ズーム、スーパーライブ
720p、1080i、1080p、WXGA	フル、ノーマル、ネイティブ、HDズーム、HDスーパーライブ
WQHD	フル、Dot By Dot
3840×2160p	4Kフル、4Kズーム
4096×2160p	4Kフル、4Kノーマル、4Kズーム • 「4Kズーム」は入力切換、電源入／切などで「4Kフル」に戻ります。

映像メニューを「ゲーム」、「PC」にしているとき

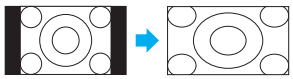
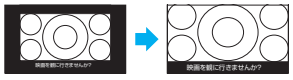
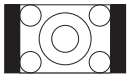
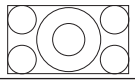
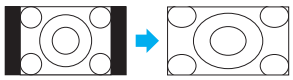
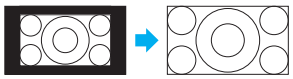
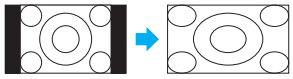
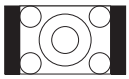
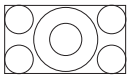
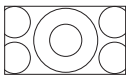
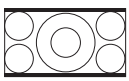
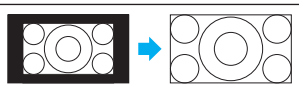
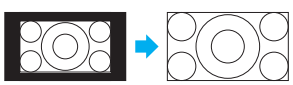
入力端子	信号フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
映像入力端子	480i	フル、ノーマル
HDMI入力端子	480p、480i、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA	フル、ノーマル、ネイティブ
	1080p、1080i、720p	フル、ネイティブ
	WQHD	フル、Dot By Dot
	3840×2160p	4Kフル
	4096×2160p	4Kフル、4Kノーマル

お知らせ

- 本機は、各種の画面サイズのモード切換機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、本来の映像とは見えかたが異なります。
- 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組み合わせによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選ぶ際に枠がずれて表示されることがあります。
- 4:3の映像を「スーパーライブ」などを利用して画面いっぱいに表示させると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えたりします。制作者の意図を尊重した本来の映像は、「ネイティブ」、「ノーマル」(16：9映像の場合は「フル」)でご覧になれます。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等に置いて、画面サイズの切換機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどすると、著作権法上で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 一部のネットワークサービスの映像などでは、画面サイズの切り換えができないことがあります。

画面サイズについて つづき

画面の見えかたについて

入力	画面サイズのモード	画面の見えかた	説　　明
4:3	スーパーライブ	※1 	4:3の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面を上下左右に引き伸ばします。上下方向よりも左右方向をより引き伸ばします。
	ズーム	※1	上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像（レターボックス「LB」）を拡大して楽しむモードです。
	映画字幕	※1 	レターボックスのワイド映像の下に字幕がはいっている場合に、字幕を隠れにくくするモードです。
	フル	※1	DVDソフトなどのスクイーズ映像（縦に伸びて見える映像）を、ワイド映像で表示するモードです。
	ノーマル		4:3の映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです。
16:9	フル		16:9の映像を画面いっぱいに表示するモードです。
	HDスーパーライブ※2	※3 	左右に帯（黒や模様など）のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面を上下左右に引き伸ばします。上下方向よりも左右方向をより引き伸ばします。
	HDズーム※2	※3 	上下左右に帯（帯も映像として送られています）のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。
ゲーム	フル	※4 	ゲーム映像をテレビ画面いっぱいに拡大して表示するモードです。
	ノーマル		ゲーム映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです（図は4:3の例です）。
	ネイティブ		入力信号の１ドットを縦・横２ドットずつの４ドットで表示するモードです。映像のない部分は黒く表示されます。
HDMI	ネイティブ		入力信号の１ドットを縦・横２ドットずつの４ドットで表示するモードです。映像のない部分は黒く表示されます。
	Dot by Dot (WQHD)		入力信号の解像のまま画面に表示するモードです。映像のない部分は黒く表示されます。
４Ｋ信号	4Kフル (3840×2160p)		4K信号の映像をそのままの横と縦の比で表示します。
	4Kフル (4096×2160p)		4K信号の映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです（左右が128画素ずつ切れた状態で表示されます）。
	4Kノーマル (4096×2160p)		4K信号の映像を画面に合わせて縮小して表示するモードです（上下の映像がない部分は黒く表示されます）。
	4Kズーム (3840×2160p)	※5 	上下左右に帯（帯も映像として送られています）のある映像を、ワイド画面で楽しむモードです。
	4Kズーム (4096×2160p)	※5 	上下左右に帯（帯も映像として送られています）のある映像を、ワイド画面で楽しむモードです。

※1 左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」にした場合の見えかたです。
※2 デジタル放送のハイビジョン放送と標準画質放送の16:9の映像で切り換えることができます。
※3 左側の図は画面サイズのモードを「フル」にした場合の見えかたです。
※4 左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」にした場合の見えかたです。
※5 左側の図は画面サイズのモードを「4Kフル」にした場合の見えかたです。

対応フォーマット

本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

- 「VESA規格」の欄に「○」が記載されている信号フォーマットは、本機のHDMI入力端子ではVESA規格に準拠する信号フォーマットにだけ対応しています。機器によっては本機の画面に映像が表示されないか、または正しく表示されないことがあります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があり、その場合は本機が表示する解像度と異なることがあります。
- 下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合はリフレッシュレートが60Hzの信号を推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート	水平周波数	ピクセルクロック	VESA規格
480i	720×480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
480p	720×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920×1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280×720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920×1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
		29.97 / 30Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
2160p	3840×2160	59.94 / 60Hz	134.865 / 135.000kHz	593.407 / 594.000MHz	
		23.98 / 24Hz	53.946 / 54.000kHz	296.703 / 297.000MHz	
		29.97 / 30Hz	67.433 / 67.500kHz	296.703 / 297.000MHz	
2160p (SMPTE)	4096×2160	23.98 / 24Hz	53.946 / 54.000kHz	296.703 / 297.000MHz	
		29.97 / 30Hz	67.433 / 67.500kHz	296.703 / 297.000MHz	
VGA	640×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
SVGA	800×600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
XGA	1024×768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
WXGA	1280×768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
	1360×768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280×1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○
WQHD	2560×1440	60Hz	88.787kHz	241.500MHz	○

本機で再生できる動画のフォーマット

対応機器	ファイルフォーマット	映像フォーマット	音声フォーマット	最大解像度(フレームレート)
USB機器、LANハードディスク ネットワークメディアサーバー	MPEG2-TS	MPEG2 Video	AAC、MPEG-1 Layer Ⅱ	1920×1080（60i） 1280×720（60p）
	MPEG2-TS	H.264/MPEG4-AVC	AAC、ドルビーデジタル(AC3)	1920×1080（60i） 1280×720（60p）
USB機器、LANハードディスク	MPEG2-TS	H.264/MPEG4-AVC	AAC、HE-AAC、ドルビーデジタル(AC3)	3840x2160（24p） 3840x2160（25p） 3840x2160（30p） 1920x1080（60p）
	MPEG2-TS	HEVC	AAC、HE-AAC ドルビーデジタル(AC3)	3840x2160（24p） 3840x2160（25p） 3840x2160（30p） 3840x2160（50p） 3840x2160（60p）
USB機器、LANハードディスク	MPEG2-PS	MPEG2 Video	リニアPCM、ドルビーデジタル(AC3)、MPEG-1,2 Layer Ⅱ	1920×1080（60i） 1280×720（60p）
ネットワークメディアサーバー				720x480（60i）
USB機器	MP4	MPEG-4 Visual	AAC	1920×1080（60i） 1280×720（60p）
		HEVC	AAC、HE-AAC	3840x2160（24p） 3840x2160（25p） 3840x2160（30p） 3840x2160（50p） 3840x2160（60p）
		H.264/MPEG4-AVC	AAC、HE-AAC、リニアPCM	3840x2160（24p） 3840x2160（25p） 3840x2160（30p）
ネットワークメディアサーバー	MP4	H.264/MPEG4-AVC	AAC	1920×1080（60i） 1280×720（60p）

※ 一部の動画は再生できないことがあります。特にMP4動画については、対応機器によっては再生できないことがあります。
※ 音声がついていない映像だけの動画は再生できません。
※ 対応機器の性能によっては、映像が乱れたり、雑音が出たりするなど、正常に再生できないことがあります。
※ リストに表示可能なファイルの最大数は1フォルダあたり3000です。
※ リストに表示可能なフォルダの最大数は2000です。

対応フォーマット つづき

本機で再生できる写真(静止画ファイル)のフォーマット

圧縮方式	JPEG準拠
フォーマット	Exif ver2.2準拠、JFIF ver1.02準拠
画素数	16384×16384ピクセル以内(ネットワークメディアサーバーについては4096×4096ピクセル以内)
ファイルサイズ	USB機器についてはファイルサイズ24MB以内

※ 一部の写真は再生できないことがあります。

ライセンスおよび商標などについて

- この製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
  ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  © 2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- スカパー！ および「スカパー！プレミアムサービスLink」ロゴは、スカパー JSAT株式会社の登録商標です。
- この製品はEilex International, LLCからの実施権に基づき製造されています。Eilex PRISM、VIR Filter、Eilex FocusはEilex International, LLC の商標です。
- 「Netflix」はNetflix, Inc.の商標です。
- SeeQVault™およびSeeQVaultロゴは、NSM initiatives LLCの商標です。
- Blu-ray Disc™(ブルーレイディスク)、Blu-ray™(ブルーレイ)はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- YouTube および YouTube ロゴは、Google LLC の商標または登録商標です。
- Amazon、Prime Videoおよび関連する全てのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- その他、取扱説明書に記載されている社名・商品・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。
- 本製品の一部分に Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。
- **AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE**
  THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA,L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM
- This product contains technology subject to certain intellectual property right of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.
  PlayReady end user notice
  Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies. Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)
- This product has used the FreeType code.

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに当社または第三者の著作権が存在します。

本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページの「Linuxに関するお問い合わせ」よりお問い合わせいただくようお願いいたします。

ホームページアドレス

https://www.toshiba.co.jp/regza/support/

また、本機のソフトウェアコンポーネントには、当社自身が開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、当社の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない当社自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本機は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、当社は一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、設定メニューの「ソフトウェアのライセンス情報」から表示し、確認できます。
これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は、当社以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を表示します。

こんな場合は故障ではありません

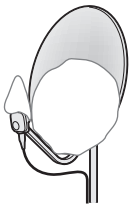
悪天候でのBS・110度CSデジタル放送の受信障害

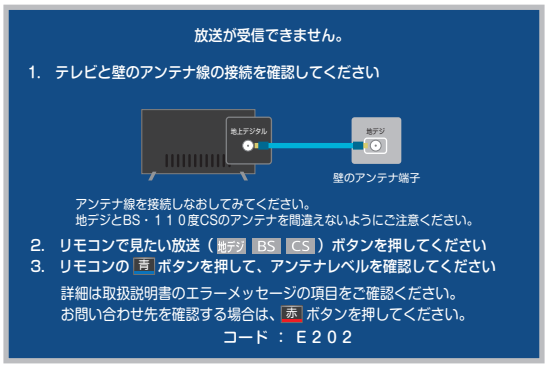
- 降雨や降雪などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
- 天候が回復すれば正常に映るようになります。

大雨が降っている

大雪が降っている

アンテナに雪が積もっている





本機内部からの動作音

- 電源待機時に番組情報取得などの動作を開始する際、「カチッ」という音が聞こえることがあります。
- 「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえることがあります。

キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音

- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

使用していないのに温まる

- 使用していない場合でも、番組情報取得などの動作をしているときなどは、本機の温度が多少上昇します。

症状に合わせて解決法を調べる

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。
- 表の「ページ」の欄は関連事項が記載されているページです。

テレビが操作できなくなったときーテレビをリセットする

- リモコンでもテレビ本体の操作ボタンでも操作できなくなった場合は、以下の操作をしてみてください。

電源プラグを抜いてリセットする

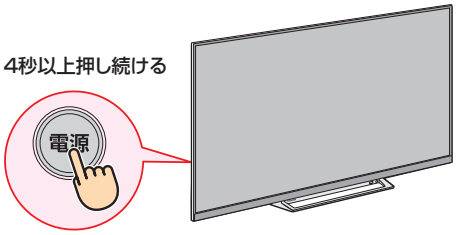
❶電源プラグをコンセントから抜く

❷1分間以上待つ

❸電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる

本体の電源ボタンを長押ししてリセットする

❶テレビ本体の電源ボタンを押し続ける



❷本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す

- しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。

操作

電源がはいらない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグが抜けていませんか。	• 電源プラグをコンセントに差し込みます。	−
電源コードが本体から抜けていませんか。	• 電源コードのコネクターを本機背面のAC IN端子に接続します。	27
「電源」表示が消えていませんか。	• 本体の電源ボタンを押して電源を入れます。 ※「電源」表示が消えているときは、リモコンで電源を入れることはできません。	27
「電源」表示が赤色に点滅していますか。	• 電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込みます。	−
「電源」表示が赤色／緑色に交互に点滅していますか。	• ソフトウェアの更新を行っているため、「電源」表示の点滅が終わるのを待ってから操作してください。	−

リモコンで操作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
リモコンとテレビ本体のリモコン受光部の間に障害物がありませんか。	• 障害物を取り除きます。 リモコン受光部の位置は、右記のページでご確認ください。	26
リモコンの乾電池が消耗していませんか。	• 新しい乾電池に交換します。	26
リモコンの乾電池の向き（＋、−）が合っていますか。	• 向き（＋、−）を確認し、正しく入れてください。	26
リモコンと本体のリモコンコードが合っていますか。	• リモコンと本体のリモコンコードが合っていないと、操作できません。リモコンと本体のリモコンコードを正しく合わせてください。	153
他のチャンネルでは、操作ができますか。	• データ放送やHybridcast™（ハイブリッドキャスト）のサービスに、リモコン操作が使用される場合があります。その場合、サブメニューの「データ放送終了」を選びます。	36
本体のボタンでは操作ができますか。	• 上記の対処をした上で、なおもリモコンだけで操作ができない場合は、リモコンの故障が考えられます。	−

映像

放送の映像が出ない、またはきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。	• アンテナ線を確認して正しく接続します。 ※屋外の接続については、販売店にご相談ください。	23
アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。	• 確認して、まっすぐにします（折らないようにご注意ください）。	−
アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。	• アンテナ線を交換します。	−
レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。	• アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。 • アンテナ線を分配して接続します。	−
電波が弱くありませんか。	• アンテナレベルを確認します。 • アンテナの向きを調整してみます（販売店にご相談ください）。	145
アンテナ線の差し込みがゆるんでいたり、接触不良になっていたりしていませんか。	• 確認して、しっかりと接続します。	23
アンテナ線（端子）がさびていませんか。	• 販売店にご相談ください。	−

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674（無料）、0570-05-5100（携帯から、有料）

症状に合わせて解決法を調べる つづき

接続した機器の映像が出ない、またはきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	ページ
機器が正しく接続されていますか。	• 確認して正しく接続します。	90
機器の電源がはいっていますか。	• 機器の電源を入れます。	–
接続した機器の入力に切り換えましたか。	• リモコンの 入力切換 で、外部機器を接続した入力端子を選びます。	99
機器を接続したHDMI入力のHDMIモードが接続した機器に合っていますか。	• 接続しているHDMI入力を選び、HDMIモードを変更して適切な設定を選びます。	93

画面が暗い、または暗くなるときがある

確認すること	解決法・その他	ページ
部屋の明るさに合った適切な映像メニューや調整になっていますか。	• 明るい部屋では、「あざやか」や「おまかせＡＩ」を選択してみます。 • 「バックライト」や「画面の明るさ」で適切な明るさに調整します。	136 140
映像メニューが「おまかせＡＩ」の場合、明るさセンサーの前に障害物がありませんか。	• 明るさセンサーの前から障害物を取り除きます。 ※ 映像メニューが「おまかせＡＩ」の場合は、明るさセンサーで検出した周囲の明るさに合わせて、画面の明るさが自動調整されます。	15
一時停止や、静止画になっていませんか。	• 動きの少ない映像の場合に、しばらくすると徐々に暗くなることがあります。動きのある映像になると元の明るさに戻ります。	–

色がおかしい

確認すること	解決法・その他	ページ
お好みの映像メニューや映像調整になっていますか。	• 視聴している番組や映像に合わせて、お好みの映像メニューを選択します。 • お好みの映像に調整することもできます。	136

映像メニューが一定時間後あざやかに変更される

確認すること	解決法・その他	ページ
はじめての設定の「テレビをお使いになる場所（設置場所）」で「店頭」が選択されていませんか。	• 「ご家庭」を選んでください。	28

音声

音声が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
音量が最小になっていませんか。	• ＋ 音量 － で音量を上げます。	34
画面に 消音 マークが表示されていませんか。	• 消音 を押すと消音を解除できます （＋ 音量 － でも解除されます）。	34
「外部スピーカー」になっていませんか。	サブメニューの「スピーカー切換」で「テレビスピーカー」に設定します。	48
機器を接続したHDMI入力のHDMIモードが接続した機器に合っていますか。	• 接続しているHDMI入力を選び、HDMIモードを変更して適切な設定を選びます。	93

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674（無料）、0570-05-5100（携帯から、有料）

地上デジタル放送

地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる、または引越しをしたら地上デジタル放送が映らなくなった

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。	• サブメニューの「その他の操作」の「アンテナレベル表示」でアンテナレベルを確認します。 ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。	145
「初期スキャン」をしましたか。	• 「初期スキャン」をします。	147
お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	一般社団法人　放送サービス高度化推進協会（A-PAB）ホームページ（http://www.apab.or.jp/）で確認することもできます。	−
共聴システムやCATVをご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。	• CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください（CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります）。	−

BS・110度CSデジタル放送

BS・110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ接続に分配器を使用していますか。	• 分配器は「全端子通電型」のものを使用します。	23
有料放送ではありませんか。	• 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。	−
マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。	• 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。 • ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます（地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ）。 • BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。	24
テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、無線ＬＡＮアクセスポイントなどの無線機器を使用していませんか。	• 左記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声が乱れることがあります。	−
「衛星アンテナ電源供給」設定が「しない」に設定されていませんか。	• BS・110度CS共用アンテナを、ご自身で設置して利用している場合、BS・110度CS共用アンテナへの電源供給が必要となります。「衛星アンテナ電源供給」設定が「オート」または「する」に設定されていることを確認してください。 ※ アンテナショートを検出した場合、「衛星アンテナ電源供給」設定を自動的に「しない」に変更する場合があります。	146

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674（無料）、0570-05-5100（携帯から、有料）

症状に合わせて解決法を調べる つづき

BS・110度CSの4K放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ接続に分配器を使用していますか。	• 分配器は「4K放送対応全端子通電型」のものを使用します。	23
有料放送ではありませんか。	• 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。	−
マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。	• 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。 • ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます（地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ）。 • BS・110度CSの4K放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。	24
テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、無線ＬＡＮアクセスポイントなどの無線機器を使用していませんか。	• 左記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声が乱れることがあります。	−
左旋円偏波に対応した機器を使用していますか。	• 左旋円偏波に対応した機器をご使用ください。対応していない場合、一部のBS・110度CSの4K放送はご覧になれません。	23
「衛星アンテナ電源供給」設定が「しない」に設定されていませんか。	• 4K放送対応のBS・110度CS共用アンテナを、ご自身で設置して利用している場合、4K放送対応のBS・110度CS共用アンテナへの電源供給が必要となります。 「衛星アンテナ電源供給」設定が「オート」または「する」に設定されていることを確認してください。 ※ アンテナショートを検出した場合、「衛星アンテナ電源供給」設定を自動的に「しない」に変更する場合があります。	146

番組表

番組表に内容が表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグを抜いていませんでしたか。	• 電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。 • 「番組表を更新する」の操作をします。	− 39

番組表の文字が小さい

確認すること	解決法・その他	ページ
−	• 番組表を表示中に 赤 を押して、文字の大きさを変更することができます。	40

放送局のすべてのチャンネルが表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
「1チャンネル表示」にしていませんか。	• 番組表のサブメニューで「マルチ表示」を選択します。	40
「チャンネルスキップ設定」でスキップ「する」に設定していませんか。	• 「チャンネルスキップ設定」でスキップ「しない」に設定します。	149

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674（無料）、0570-05-5100（携帯から、有料）

お知らせアイコン ⓘ が何度も表示される

確認すること	解決法・その他	ページ
「お知らせ」の内容を確認しましたか。	• サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。 ※ 未読のお知らせが１件でも残っていると、画面表示 を押したときにアイコンが表示されます。	159

録画・再生

USBハードディスクが使用できない（認識されない）

確認すること	解決法・その他	ページ
本機で接続確認済のUSBハードディスクですか。	• 本機で接続確認済のUSBハードディスクはホームページ（https://www.toshiba.co.jp/regza/）でお知らせしています。 ※ 本機で接続確認済の機器でない場合は、使用できないことがあります。	−
機器が正しく接続されていますか。	• 「USBハードディスクの接続をする」に従って、正しく接続します。	51
機器の電源がはいっていますか。	• USBハードディスクの電源を入れます。 ※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。	−
機器が本機に登録されていますか。	• USBハードディスクを本機に登録します。	57
USBハブを使用している場合、本機で使用できるようになっていますか。	• ホームページ（https://www.toshiba.co.jp/regza/）でUSBハブが推奨機器であることを確認します。 ※ 推奨機器でない場合は使用できないことがあります。「USBハードディスクの接続をする」の「お知らせ」をご覧ください。 ※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。	51

録画ができない、または録画されなかった

確認すること	解決法・その他	ページ
USBハードディスクの残量が足りていますか。	• 残量を確認する。 • 不要な番組を削除する。 • 「自動削除設定」を「削除する」に変更する。	79 82
コピー禁止の番組ではありませんか。	• 録画はできません。	−
外部入力からの番組、独立データ放送番組、外部機器からの映像、ネットワークサービスの映像などではありませんか。	• 本機は左記の番組や映像の録画には対応しておりません。	−
予約した番組の放送時間が繰り上げられませんでしたか。	• 本機は放送時間が繰り上げられた番組の録画はできません。 ※ 「その他の録画設定」の「放送時間」を「連動する」に設定した場合でも、放送時間の繰り上げには対応できません。	74
連ドラ予約の場合、「追跡基準」、「追跡キーワード」は正しく設定されていますか。	• 「その他の録画設定」で「追跡キーワード」を正しく設定します。 ※ １回限りのキーワード（「第○○話」や出演者名など）を削除します。	71
「お知らせ」のアイコンが表示されていませんか。	• サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。 ※ 番組の重複や、放送時間の変更などで録画できなかった場合は、「本機に関するお知らせ」が発行されます。	159

症状に合わせて解決法を調べる つづき

録画した番組が消えた

確認すること	解決法・その他	ページ
「自動削除設定」が「削除する」になっていませんか。	• 「自動削除設定」を「削除しない」に設定する。 • または、消したくない番組を保護する。	82
録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜きませんでしたか。	• 録画中や録画設定をしたときは電源プラグを抜かない。 ※ 左記の場合、録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。 • 「録画番組を修復する」の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります。	– 77
録画リストの分類タブが「すべて」以外になっていませんか。	• 録画リストの分類タブを《・》で「すべて」に変更する。 ※ 分類タブが「未視聴」の場合、一度でも再生した録画番組は、リストに表示されません。	75

ホームネットワークの機器が認識されない、再生できない、映像が止まる、またはノイズが出る

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	• ルーターを通して正しく接続します。 • 配信機器と本機を無線LANで接続してるときに、配信機器からの映像が止まったり、ノイズが出たりする場合は、無線LANのアクセスポイントと本機の設定が正しく設定しているか確認します。設定が正しいと確認できたあとも、映像が止まったり、ノイズがでたりする場合は、以下の操作をしてみてください。 ① 本機と無線LANアクセスポイントの電源を「切」にする ② 本機と無線LANアクセスポイントの電源プラグ(またはACアダプター)をコンセントから抜く ③ 1分間以上待つ ④ 本機と無線LANアクセスポイントの電源プラグ(またはACアダプター)をコンセントに差し込む ⑤ 本機と無線LANアクセスポイントの電源を「入」にする • 映像が止まったり、ノイズが出たりしないか確認します。 それでも解消されない場合は、有線LANで接続してください。	61
ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていますか。	• ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。	–
本機のネットワーク設定および接続機器はアドレス設定(IPv4)のIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。	• 「IPアドレス」を「自動取得」に設定します。 ※ 機器側については、機器の取扱説明書に従って確認・設定してください。	126
ネットワークメディアサーバーのアクセス制限は正しく設定されていますか。	• 機器がMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、機器の取扱説明書を参照し、本機のMACアドレスを許可するように設定します。 ※ 本機のMACアドレスは、「ネットワーク・サービス設定」の「ネットワーク情報」や「その他の設定」の「本機の情報」で確認することができます。	– 128
無線LANをご使用の場合、暗号方式が「暗号なし」になっていませんか。	• 無線LANをご使用の場合、暗号方式が「暗号なし」のときにはデジタル放送などの著作権保護付コンテンツをホームネットワーク上で視聴することができません。著作権保護無しのコンテンツを取り扱う場合も無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。	–
本機が再生できる種類のコンテンツですか。	• 本機で対応しているフォーマットで機器から出力できるか、機器の取扱説明書で確認します。	162

ほかのレグザで再生できない

確認すること	解決法・その他	ページ
–	• USBハードディスクに録画した番組は、録画したテレビでしか再生できません(同じ形名のほかのテレビでも再生できません)。	–

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674（無料)、0570-05-5100（携帯から、有料)

HDMI連動機能

機器を接続しても連動動作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	• HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。 ※ はじめてレグザリンク対応のHDMI連動機器を接続したときや、接続を変更したときには、すべての機器が連動しているか確認してください。	90
推奨機器(対応機器)ですか。	• ホームページ https://www.toshiba.co.jp/regza/ でお知らせしています。 ※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。	−
本機と接続機器の設定は正しいですか。	• 接続機器側の連動設定を確認します(機器の取扱説明書を参照してください)。 • 本機の「その他の設定」にある「HDMI連動機能」を確認します。	−

オーディオ機器(サウンドシステム)に接続されているスピーカーから音が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	• HDMIケーブルで接続する場合は、HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。接続するオーディオ機器の端子については、オーディオ機器の取扱説明書を参照してください。 • レグザサウンドシステムやARC対応のオーディオ機器はHDMI入力1(ARC)端子に接続してください。 • ARC対応していないオーディオ機器をHDMIケーブルで接続する場合は、オーディオ用光デジタルケーブルも接続してください。	90 〜 92
接続機器側の設定は正しいですか。	• オーディオ機器側の連動設定を確認します(機器の取扱説明書を参照してください)。	−
本機の設定やスピーカーの選択は正しいですか。	• 「HDMI連動設定」の「サウンドシステム連動」を「スピーカー・音質連動」、または「スピーカー連動」に設定します。 また、「HDMI連動設定」の「電源オン時優先スピーカー」を「サウンドシステムスピーカー」に設定しておくと、オーディオ機器の電源が「入」のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。 • サブメニューの「スピーカー切換」で「サウンドシステムスピーカー」に切り換えます。	98 103

症状に合わせて解決法を調べる つづき

クラウドサービスやネットワークサービスが利用できない

確認すること	解決法・その他	ページ
プロバイダーなどとのインターネット利用契約はお済みですか。	• 契約、費用などについては、プロバイダーまたはお買い上げの販売店にご相談ください。 • ネットワークサービスによっては、申し込みが必要な場合があります。	－ 132
接続や設定は正しいですか。	• 確認して、正しく接続・設定します。	122〜130
ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていますか。	• ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。	－
本機のネットワーク設定はIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。	• 「IPアドレス」を「自動取得」に設定します。	126
ネットワークサービス利用設定を「利用する」にしていますか。	• 「利用する」に設定します。	129
本機のソフトウェアバージョンが該当のクラウドサービス（機器側の機能へのリンクや、他社サービスを除く）を利用できるソフトウェアバージョンですか。	• ソフトウェアのバージョンによっては、ご利用いただけないサービスがあります。 クラウドサービスについて、詳しくは、ホームページ（http://timeon.jp/）をご覧ください。 ※ インターネットを利用しているときに、本機の電源状態を「切」にしたり、電源プラグを抜いたりしないでください。みるコレが正しく表示されない場合、「ネットワークサービスの情報を初期化する」を行うと、正しく表示されるようになります。	－ 129

無線LANが使えない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続や設定は正しいですか。	• 確認して、正しく設定します。	122〜130
お使いのルーターは、無線LAN対応のブロードバンドルーターですか。	• 無線LANに対応していない場合は、無線LANでの接続はできません。その場合、無線LANアクセスポイントが必要です。	－
複数の無線LANアクセスポイントがありませんか。	• 無線LANは、近くに複数の無線LANアクセスポイントがある場合、複数の周波数帯が使われている場合、また近くに電波を出す機器がある場合などは、電波の干渉が起こり接続できないことがあります。 周波数帯を変更するか、電波を出す機器の近くで使わないようにします。 市販の無線LANコンバーターをお使いの場合は、お使いの無線LANコンバーターの取扱説明書で確認するか、メーカーにお問い合わせください。	－

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674（無料）、0570-05-5100（携帯から、有料）

アドレス設定(IPv4)のIPアドレスが取得できない

確認すること	解決法・その他	ページ
アドレス設定(IPv4)のIPアドレスが空欄ですか。	• 「ネットワーク・サービス設定」にある「アドレス設定(ＩＰｖ４)」を確認します。 • 上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合(すべて空欄になっている場合)は以下を確認します。 ① 有線の場合、本機とルーターが接続されているか確認する ② ルーターのアクセスランプ(ルーターのLANポートにある小さなランプ)が点滅しているか確認する(正常に通信できていればランプが点滅します) ③ ルーターに他のネットワーク機器(パソコンなど)があるときは、機器からインターネット接続が可能か確認する • 有線LANで接続しているときに可能であれば、以下のテストをします 機器に接続されているLANケーブルを本機に接続し、接続テストをする **接続できたとき** 最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルーターの不具合の可能性が高いです。 **接続できなかったとき** ルーター、LANケーブルに問題がある可能性は低いです。 ④ インターネット接続可能なその他の機器(パソコンなど)のIPアドレスを確認し、本機のIPアドレスを手動で設定する ⑤「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認する • 上記の確認をしても接続できない場合は、本機をリセットします。 **リセットのしかた**: ① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分間以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる **操作で対処したいとき**: ① テレビ本体の電源ボタンを押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 • リセットをしても接続できない場合は、本機の初期化をします。 • 上記の確認をすべてしても接続できないときは、東芝テレビご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。	126 170 154

アドレス設定(IPv4)のIPアドレスが取得できているのに接続できない

確認すること	解決法・その他	ページ
アドレス設定(IPv4)の取得しているIPアドレスが「192.168. ～」から始まっていますか。	• お使いのルーターは、ブロードバンドルーターまたは、無線LAN使用のときは、無線LAN対応のブロードバンドルーターか確認します。 • 「ネットワーク・サービス設定」にある「アドレス設定(ＩＰｖ４)」を確認します。 • 取得しているIPアドレスが「192.168. ～」から始まっていればルーターから正常にアドレスを取得できています。「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認します。接続できずエラーメッセージで「DNSからの応答がありません」と表示されるときは、ルーターにPPPoE設定が必要なため、ご契約の回線事業者(NTT東日本、NTT西日本など)にご相談ください。 • 「169.254. ～」から始まっているときは、本機がルーターからのIPアドレスの取得に失敗しています。その場合は、以下の操作をしてみてください。 • ルーターを再起動する。 • 本機をリセットする **リセットのしかた**: ① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分間以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる **操作で対処したいとき**: ① テレビ本体の電源ボタンを押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 • 本機のIPアドレスを確認する	126 170 128

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674（無料)、0570-05-5100（携帯から、有料)

症状に合わせて解決法を調べる つづき

アドレス設定(IPv6)のIPアドレスが取得できない

確認すること	解決法・その他	ページ
アドレス設定(IPv6)のIPアドレスが空欄ですか。	• 「ネットワーク・サービス設定」にある「アドレス設定(ＩＰｖ６)」を確認します。 • 上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合(すべて空欄になっている場合)は以下を確認します。 ① 有線の場合、本機とルーターが接続されているか確認する ② ルーターのアクセスランプ(ルーターのLANポートにある小さなランプ)が点滅しているか確認する(正常に通信できていればランプが点滅します) ③ ルーターに他のネットワーク機器(パソコンなど)があるときは、機器にIPv6アドレスが割り当てられているかを確認する • 有線LANで接続しているときに可能であれば、以下のテストをします 機器に接続されているLANケーブルを本機に接続し、接続テストをする **接続できたとき** 最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルーターの不具合の可能性が高いです。 **接続できなかったとき** ルーター、LANケーブルに問題がある可能性は低いです。 ④ インターネット接続可能なその他の機器(パソコンなど)のIPアドレスを確認し、本機のIPアドレスを手動で設定する ⑤「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認する • 上記の確認をしても接続できない場合は、本機をリセットします。 **リセットのしかた**: ① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分間以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる **操作で対処したいとき**: ① テレビ本体の電源ボタンを押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 • リセットをしても接続できない場合は、本機の初期化をします。 • 上記の確認をすべてしても接続できないときは、東芝テレビご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。	127 170 154

アドレス設定(IPv6)のIPアドレスが取得できているのに接続できない

確認すること	解決法・その他	ページ
アドレス設定(IPv6)において、「自動取得」が選択されていますか。	• お使いのルーターは、ブロードバンドルーターまたは、無線LAN使用のときは、無線LAN対応のブロードバンドルーターか確認します。 • 「ネットワーク・サービス設定」にある「アドレス設定(ＩＰｖ６)」を確認します。 • アドレス、デフォルトゲートウェイ、プレフィックス長、プライマリアドレスに何らかの値が設定されていればルーターから正常にアドレスを取得できています。「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認します。接続できずエラーメッセージで「DNSからの応答がありません」と表示されるときは、ルーターにPPPoE設定が必要なため、ご契約の回線事業者(NTT東日本、NTT西日本など)にご相談ください。	127

PPPoE設定ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
–	• 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください(設定にはパソコンが必要です)。	130

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674 (無料)、0570-05-5100 (携帯から、有料)

エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全般

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「電波の受信状態が良くありません。[サブメニュー]から「降雨対応放送」に切り換えられます。コード：Ｅ２０１」	気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。	降雨対応放送に切り換えることができます。	46
「放送が受信できません。 １．テレビと壁のアンテナ線の接続を確認してください アンテナ線を接続しなおしてみてください。 地デジとＢＳ・１１０度ＣＳのアンテナ端子を間違えないようにご注意ください。 ２．リモコンで見たい放送(【地デジ】【BS】【CS】)ボタンを押してください ３．リモコンの青ボタンを押して、アンテナレベルを確認してください 詳細は取扱説明書のエラーメッセージの項目をご確認ください。 お問い合わせ先を確認する場合は、赤ボタンを押してください。 コード：Ｅ２０２」	• アンテナが放送に適合していない。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 • BS・110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。 • アンテナの方向ずれや故障。 • 電波が弱くて視聴できない。 • 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ※ 放送が休止中の場合も表示されることがあります。	• 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。 • アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します(販売店にご相談ください)。 • BS・110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。	23〜25 146
「現在放送されていません。 コード：Ｅ２０３」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。	番組表などで放送時間を確認します。	−
「該当するチャンネルはありません。 コード：Ｅ２０４」	放送のないチャンネルを選局した。	番組表などでチャンネルを確認します。	−
「ＡＣＡＳチップが認識できません。」	ACASチップが破損してる。	• 東芝テレビご相談センター（裏表紙参照)にお問い合わせください。	−

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674（無料)、0570-05-5100（携帯から、有料)

エラーメッセージが表示されたとき つづき

USBハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「機器に接続できません。」	接続ケーブルがはずれている。	接続を確認します。	−
	USBハードディスクの電源が切れている。	USBハードディスクの電源を入れます。	−
	USBハードディスクにエラーが発生した。	USBハードディスクの電源を入れ直してみます。	−
「再生できません。」	録画中になんらかの原因でコピーワンスなどの情報が破損した。	再生できません。	−
	再生時にテレビとUSBハードディスクと通信に障害があった。または、接続ケーブルがはずれてしまった。	テレビとUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。また、接続を確認します。	−
「録画機器のエラーにより録画を中止しました。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	テレビとUSBハードディスクと通信に障害があった。	テレビとUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。	−
「コンテンツ情報取得中にエラーが発生しました。」	録画した番組が正常に保存されなかった。	「録画番組を修復する」の操作をしてみます。	77
「USB端子の電源容量を超えました。接続機器をはずし、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	USBバスパワーで動作するUSBハードディスクを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。	以下の手順で復帰させます。 ① 本体の電源ボタンで電源を切る ② USBハードディスクの接続ケーブルを抜く ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込む ④ 本機の電源を入れる ⑤ USBハードディスクを接続する ※ 再び同じエラーメッセージが表示される場合は、USBハードディスクにACアダプターを接続してください。	−

東芝レコーダーに録画・予約をするときのエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「録画機器の動作により設定できませんでした。しばらく待ってからもう一度操作してください。」	レコーダーの動作との競合（なんらかの操作、動作、表示をしている）がある。	しばらくしてからやり直すか、または、レコーダーの操作などを中止します。	−
「録画機器の予約数がいっぱいです。」	レコーダーの予約数が制限を超えている。	レコーダーで予約を取り消します。	−
「指定した時間では予約を設定できません。」	レコーダーが対応していない形式で時刻を設定した。	指定できる時刻の形式をレコーダーの取扱説明書で確認します。	−
「録画機器の予約時間と重複するため、設定できません。」	レコーダー側の予約と、本機からの予約時間が重なっている。	レコーダーで予約している時間帯は、本機からの予約はできない場合があります。	−
「録画機器の時刻設定が正しくありません。」	レコーダーの時刻設定をしていない。	レコーダーの時刻設定をします。	−
「予約を設定できませんでした。」 または 「録画を設定できませんでした。」	レコーダーの電源プラグが抜けている。	レコーダーの電源プラグをコンセントに差し込みます。	−
	レコーダーが正しく接続されていない。	本機とレコーダーを正しく接続します。HDMIケーブルは、規格に合ったケーブルを使用してください。	55 90

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674（無料）、0570-05-5100（携帯から、有料）

LAN端子を使った通信に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「サーバーと通信できませんでした。しばらく待ってからもう一度操作してください。」	サーバーからのソフトウェア・ダウンロードに失敗した。	接続・設定の状態を確認します。	122〜130
	回線が混みあっている。	しばらくたってから、もう一度操作します。	−
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	本機にルート証明書が設定されていない。	ルート証明書番号を確認し、東芝テレビご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。	150
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証ができない。	ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝テレビご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。	150
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	ルート証明書の有効期限が切れている。		
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	接続先の証明書が有効期限切れになっている。	接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続は行われません（本機の動作は正常です）。	−
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。		
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	接続先の証明書が改ざんされている。		
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	認証エラーが発生した。		

エラーメッセージが表示されたとき つづき

ホームネットワークに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「検索に失敗しました。」	機器が正しく接続されていない。	確認して、ルーターを通して正しく接続します。	61
「機器(メディア)にアクセスできません。」	ネットワークメディアサーバーのアクセス制御が正しく設定されていない。	機器がMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、機器の説明書を参照し、本機のMACアドレスを許可するように設定します。 ※ 本機のMACアドレスは、「ネットワーク・サービス設定」の「ネットワーク情報」や「その他の設定」の「本機の情報」で確認できます。	－ 128
「再生できません。」	コンテンツが本機で対応しているフォーマットではない。	非対応フォーマットについては本機では再生できません。	167
	無線LANの暗号方式が「暗号なし」になっている。	著作権保護付きコンテンツの場合には無線LANアクセスポイントのセキュリティに関する設定を行った上で本機の暗号方式を「暗号なし」以外で設定して接続してください。	125
「サーバー側の設定やアクセス状態により現在アクセスできません。しばらくしてからやり直してください。」	• 機器が起動準備中。 • 機器が他の機器で使用中。	しばらくしてからやり直します。	－
「システム情報にエラーが発生したため、番組を再生できません。」	コンテンツ再生処理に使用する内部情報が壊れている。	お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理をご相談ください。	－
「機器に接続できません。LANハードディスクに設定されているユーザー名とパスワードが正しいことをご確認ください。」	LANハードディスクのユーザー名とパスワードの設定が変更された。	エラーが表示されたLANハードディスク機器の登録を解除して、変更後のユーザー名とパスワードを指定してLANハードディスク機器を登録し直してください。	53

BS・110度CSの4K放送に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「８Ｋ番組は視聴できません。」	本機は8K放送に対応していません。	－	－

これらの症状で訪問修理を依頼され、テレビに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。

■それでも解決しない場合のご確認

下記ホームページをご覧ください。

https://www.toshiba.co.jp/regza/support/

※上記アドレスおよびQRコードは予告なく変更される場合があります。

電話でのご相談は「東芝テレビご相談センター」:

【一般回線・PHSからのご利用は】

0120-97-9674 （通話料：無料）

【携帯電話からのご利用は】

0570-05-5100 （通話料：有料）

使用上のお願いとご注意

取り扱いについて

- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください(番組情報を取得するためです)。
- 畳の上に置かないでください。金属部が直接畳に触れていると、さびが出たり、畳表に穴があいたりする可能性があります。
- 本機の近くにキャッシュカードなどの磁気カードやビデオテープなどを置かないでください。本機から出る磁気の影響でデータや録画内容などが損なわれる可能性があります。
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 外部入力(ビデオ入力、HDMI入力1～4)の映像や音声には若干の遅れが生じます。以下の場合にはこの遅れによる違和感があることがあります。
  - ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
  - 外部機器の音声を直接オーディオ機器に接続して視聴する場合
- 電源起動時にパネルの調整を行うため、映像が表示されるまでに時間がかかります。

電源プラグをコンセントから抜く際のご注意

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているブレーカーを落としたりする際は、以下の手順で行ってください。

❶画面表示を押して、録画中やダビング中の表示が出ないことを確認する

❷録画予約が設定されていないか確認する

- 「予約の確認・変更・取り消しをする」72ページの手順で、電源プラグを抜いている間に始まる予約がないか確認してください。電源プラグが抜かれていると、予約した番組は録画されません。

❸本体の電源ボタンを押して電源を切る

❹電源プラグをコンセントから抜く

遠隔操作について

- リモコン、またはレグザAppsコネクトなどを利用してスマートフォンやタブレットPCからテレビを操作するときは、本機が見える位置から操作してください。

録画・録音について

- 本機に接続した機器に録画・録音する際は、事前に試し録画・録音をして、正しくできることを確かめておいてください。
- 本機に接続した機器に録画・録音した内容の長期保存は保証できません。あくまでも一時的な保存・再生機能としてご使用ください。
- 著作権保護のため、コピーが禁止されている番組は録画をすることはできません。また、著作権保護のため、1回だけ録画が許された番組は、録画した番組をさらにコピーすることはできません。
- あなたが録画・録音したものは、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。録画・録音したものを個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外に権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどで送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為なども、原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
  - 録画した番組を自分のホームページで見られるようにする。
  - 録画した番組をメールやメッセンジャーサービスなどで他人に送る。
  - 番組を録画したビデオテープやディスクなどの媒体を営利の目的で、または不特定もしくは多数の人に貸す。

著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。なお、著作権法違反によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

4K映像の表示について

- 本機はBS・110度CSの4K放送に対応しています。
- HDMIの4K入力については、すべての4K入力映像の表示を保証するものではありません。

使用上のお願いとご注意 つづき

本機の無線LANを使う際のお願い

- 本機は、日本国の電波法に基づく無線設備（無線LAN）を内蔵しています。
- 本機に搭載されている無線設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 本機の無線LANが使用する周波数帯は、2.4GHz帯と5GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機の内蔵無線LANを使用する際は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業･科学･医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝テレビご相談センターへお問い合わせください。

連絡先：東芝テレビご相談センター

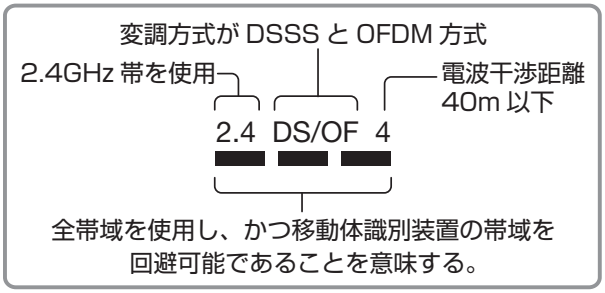
【一般回線・PHSからのご利用は】（通話料：無料）
フリーダイヤル（クナン）（クローナシ）
0120-97-9674

【携帯電話からのご利用は】（通話料：有料）
ナビダイヤル
0570-05-5100

※ IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、
03-6830-1048（通話料：有料）

- 5GHz帯のW52、W53の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5GHz帯のW52、W53の無線設備を屋外で使用することは、法令で禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5GHz帯のW56を使用するか、または2.4GHz帯をご使用ください。

- 本機の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。
  - **無線LAN：**



- 本機の無線LANは、以下の規格に対応しています。無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n/ac			
~~J52~~	W52	W53	W56

規格		チャンネル	周波数帯（中心周波数帯）
IEEE802.11 b/g/n		1 ～ 13	2.412 ～ 2.472GHz
IEEE802.11 a/n/ac	W52	36,40,44,48	5.18 ～ 5.24GHz
	W53	52,56,60,64	5.26 ～ 5.32GHz
	W56	100,104,108, 112,116,120, 124,128,132, 136,140	5.50 ～ 5.70GHz

※ 本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。

- 無線LANの性能や環境条件による影響など：
  無線LANのデータ転送速度は、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジ等の電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。
  - 本機はIEEE802.11a/b/g/n/acの規格に準拠していますが、すべての無線LAN機器との接続や通信を保証するものではありません。
  - 5GHz帯に対応している無線LANアクセスポイントをお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
- 本機の近くに無線LANアクセスポイントが設置されていると、アクセスポイント選択の一覧に表示されない、電波強度が弱く表示される、あるいは接続に失敗することがあります。このような現象が発生した場合、本機と無線LANアクセスポイントを離してお試しください。また、無線LANアクセスポイントの送信強度を下げることで改善できる場合もあります。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りをするため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続ができるという利点があります。
  その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をしていない場合、以下のような問題が発生することがあります。

  - **通信内容を盗み見られる**
    悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
    IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報メールの内容
    などの通信内容を盗み見られるおそれがあります。

  - **不正に侵入される**
    悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークにアクセスし、
    個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
    特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
    傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
    コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
    などの行為をされてしまうおそれがあります。

- 本来、無線LAN製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。
  セキュリティの設定をしないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任でセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 「すべての初期化」154 で、暗証番号や双方向サービスの情報(住所･氏名、ポイント数などの利用者個人の情報)、ネットワークサービスの登録情報なども含めて、初期化してください。
- **廃棄時にご注意ください**
  家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集･運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

免責事項について

- 地震･雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機に接続した機器に正しく記録(録画、録音など)できなかった内容または変化･消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。大切な番組の録画･録音には、本機との組み合せによらない録画･録音機器を併用することをおすすめします。
- 他の接続機器との組み合せによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害(録画機器などの故障、録画内容の変化･消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化･消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。
- 故障･修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化･消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

⚠注意

■お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。

お手入れの際のご注意

ベンジン・アルコールなどは使わない

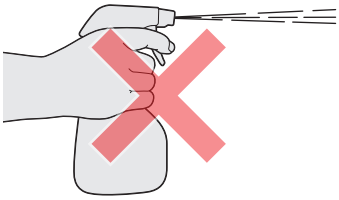
- ベンジン・アルコールなどの揮発性のもののほか、アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤は使わないでください。キャビネットや画面(液晶パネル)が溶けたり、破損したりするおそれがあります。
- クレンザーなど、研磨剤が含まれた洗剤は使わないでください。表面が傷つきます。

化学ぞうきんやウェットタイプのクリーニングクロス/クリーニングペーパーなどは使わない

- 含まれている成分によっては、キャビネットや画面の表面が溶けたり、破損したりするおそれがあります。

水やスプレータイプの洗剤などを直接かけない

- 洗剤などの液体がテレビの内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。



ぬれた手でお手入れをしない

- ぬらした布などを絞ってお手入れをするときは、手についた水滴をよくふき取ってください。水滴がテレビの内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。

画面のお手入れは特にやさしく

- 画面の表面は樹脂でできています。固い布や紙でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つき、映像の品位が低下します。やさしくふくようにしてください。
- 画面の内面はガラスでできています。たたいたり、押したりして力を加えると、画面が割れてテレビが見られなくなってしまいます。やさしく取り扱ってください。

※ ふだん、小さなお子様などが画面に触れたり、たたいたりしないようにご注意ください。

キャビネットと画面のお手入れ

1 キャビネットや画面に付着しているゴミ、ホコリを払う

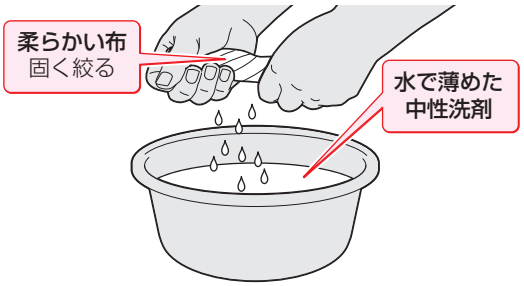
- 柄つきの柔らかいモップなどで、やさしく払ってください。

※ ゴミやホコリがついたままでふいたり、こすったりすると、表面が傷ついてしまいます。

2 乾いた脱脂綿または柔らかい布(綿、ガーゼなど)でやさしくふき取る

汚れが落ちにくいときは

- 水で1000倍程度に薄めた中性洗剤(中性洗剤1ミリリットルあたり1リットルの水で薄める)に脱脂綿または柔らかい布を浸してから固く絞り、汚れをやさしくふき取ってください。そのあと、乾いた脱脂綿または柔らかい布で水分をふき取ってください。



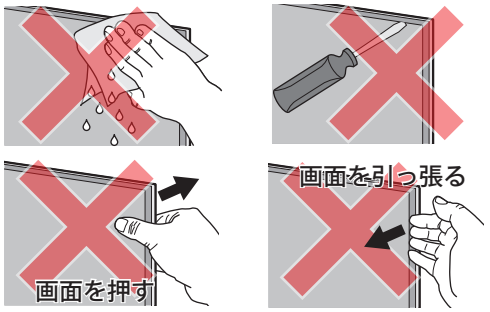
※ 手に水滴がついているときは、テレビに触れる前にふき取ってください。

※ 洗剤が濃いと画面などに残ってしまいます。その場合は、水だけで固く絞った脱脂綿または柔らかい布でやさしくふき取ってください。

※ 画面をぬらしたまま放置しないでください。吸湿劣化やシミの原因になることがあります。水分が残っているときは、乾いた脱脂綿または柔らかい布でやさしくふき取ってください。

3 お手入れのときや、お手入れなどで画面の向きを変える際に、画面とキャビネットの隙間に液体や異物を入れないように注意してください。

また、画面のみを押したり、引っ張ったりしないように注意してください。



仕様

種類		4K液晶テレビ				
形名		43M540X	50M540X	55M540X	65M540X	75M540X
受信機型サイズ		43V	50V	55V	65V	75V
電源		AC 100V 50/60Hz共用				
消費電力		116W 電源「待機」時 0.4W、 電源「切」時 0.4W、 (機能動作時 23W)※1	126W 電源「待機」時 0.4W、 電源「切」時 0.4W、 (機能動作時 23W)※1	156W 電源「待機」時 0.4W、 電源「切」時 0.4W、 (機能動作時 23W)※1	188W 電源「待機」時 0.4W、 電源「切」時 0.4W、 (機能動作時 23W)※1	250W 電源「待機」時 0.5W、 電源「切」時 0.5W、 (機能動作時 25W)※1
年間消費電力量[標準]時		81kWh/年	86kWh/年	94kWh/年	114kWh/年	133kWh/年
区分名		DF1 (FHD、液晶ノーマル、付加機能1)				
スタンドを含む外形寸法( )は本体のみ	幅	95.9(95.9)cm	111.2(111.2)cm	123.0(123.0)cm	144.6(144.6)cm	167.7(167.7)cm
	高さ	59.7(57.2)cm	68.2(65.7)cm	75.0(72.6)cm	87.5(84.6)cm	101.8(96.6)cm
	奥行	16.8(7.2)cm	20.7(7.8)cm	20.7(7.7)cm	25.6(8.3)cm	35.4(8.3)cm
スタンドを含む質量( )は本体のみ		10.0(9.0)kg	13.5(12.5)kg	15.5(14.5)kg	20.5(19.3)kg	29.5(28.5)kg
壁取付金具の取付寸法		幅20cm x 高さ20cm、 M6ネジ	幅20cm x 高さ20cm、 M6ネジ	幅30cm x 高さ20cm、 M6ネジ	幅40cm x 高さ20cm、 M6ネジ	幅60cm x 高さ30cm、 M6ネジ
液晶画面	画面寸法	幅94.1cm、 高さ52.9cm、 対角108.0cm	幅109.6cm、 高さ61.6cm、 対角125.7cm	幅121.0cm、 高さ68.0cm、 対角138.8cm	幅142.8cm、 高さ80.4cm、 対角163.9cm	幅165.0cm、 高さ92.8cm、 対角189.3cm
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス				
	画素数	水平3840×垂直2160				
受信チャンネル		地上デジタル：地デジ011～地デジ528(CATVパススルー対応) BSデジタル：BS100～BS999、110度CSデジタル：CS001～CS999 BS・110度CS 4K：BS 4K 001 ～ 499、CS 4K 500 ～ 999				
スピーカー		フルレンジ 2個				
音声出力		実用最大出力10W＋10W（総合音声出力20W）(JEITA)				実用最大出力 13W＋13W (総合音声出力26W) (JEITA)
入力・出力端子	HDMI入力	HDMI入力 4系統(ARC：HDMI入力1のみ対応)				
	ビデオ入力	口径3.5mmミニジャック※2				
	USB(録画専用)端子	USB2.0				
	USB端子	USB2.0				
	光デジタル音声出力	光デジタル音声出力 1系統				
	ヘッドホン／音声出力端子	口径3.5mmステレオミニジャック				
	LAN端子	RJ-45				
使用環境条件		温度：0℃～35℃、相対湿度：20%～80%（結露のないこと）				
付属品		「付属品を確認する」14 をご覧ください。				

※1：電源「待機」時または電源「切」時に以下の動作をしているときの消費電力です。
- 番組情報などを取得しているとき

※2：付属のビデオ入力変換アダプターを使い、ミニジャックからRCA入力端子に変換します。

仕様 つづき

無線LANの仕様

規格	IEEE802.11n ／ IEEE802.11a ／ IEEE802.11g ／ IEEE802.11b ／ IEEE802.11ac準拠 ARIB STD-T71 ／ ARIB STD-T66 ※ 従来の無線規格であるJ52には対応しておりません。
伝送方式	OFDM方式／ DSSS方式
周波数範囲(中心周波数)およびチャンネル	**IEEE802.11n ／ IEEE802.11a ／ IEEE802.11ac：** 5.18GHz ～ 5.24GHz (36、40、44、48) [W52] 5.26GHz ～ 5.32GHz (52、56、60、64) [W53] 5.50GHz ～ 5.70GHz (100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140) [W56] **IEEE802.11n ／ IEEE802.11g ／ IEEE802.11b：** 2.412GHz ～ 2.472GHz (1 ～ 13)
動作モード	インフラストラクチャーモード(アドホックモードは対応しておりません。)

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 受信機型サイズ(50Vなど)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。
  (This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
- 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- 省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
- 区分名：「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビの画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分名称をいいます。
- 年間消費電力量：年間消費電力量とは、省エネ法に基づいて、1日あたり4.5時間の動作時間/19.5時間の待機時間(電子番組表取得時間を含む)で算出した、1年間に使用する電力量です。
- 「JIS C 61000-3-2 適合品」- JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性一第3-2部：限度値一高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部(0.01%以下)に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。

※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

グリーンマークは、「JIS C0950電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」(通常J-Moss)での、特定の化学物質の含有率が基準値以下であることを表すマークです。

USBハードディスクに録画できる時間の目安

- USBハードディスクで録画できる時間の目安は以下のようになります。

※「自動削除設定」が「削除する」に設定されている場合、約2時間分の録画領域を確保するために、録画できる時間が下表よりも少なくなることがあります。

例 1TBのハードディスクの場合

放送番組の種類	録画できる時間の目安
地上デジタルハイビジョン放送番組(HD 最大17Mbps)だけを録画する場合	約125時間
BS/110度CSデジタルハイビジョン放送番組(HD 最大24Mbps)だけを録画する場合	約88時間
BS/110度CSの4K放送番組(4K 最大33Mbps)だけを録画する場合	約64時間

- 放送番組の種類は、番組説明を押して、番組説明画面に表示されるアイコンで確認することができます。
- ハードディスクの残量(録画設定画面に表示される「録画可能時間」および、録画リストのサブメニューの機器の情報画面79に表示される「録画可能時間」)は、BSデジタルハイビジョン放送の最大(24Mbps)を基準に算出しています。そのため、地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

対応機器について

- 接続できる機器については、ホームページで順次公開する予定です(https://www.toshiba.co.jp/regza/)。

さくいん

数字

1コンテンツリピート……79, 117
4Kズーム……165
4Kノーマル……165
4Kフル……165

アルファベット

A

ACASチップ情報を確認する……160
ALLM設定……94
ARC……16, 90, 92, 103, 143

B

Basic Operations……163
BS・110度CSアンテナ設定……145

D

DNSアドレス……127, 128
Dolby Digital Plusの入力を設定する……94
Dot By Dot……165
DTCP-IP対応サーバー……60

H

HDMI自動画質モード設定……94
HDMI連動機能……97
HDMI連動設定……98
HDスーパーライブ……165
HDズーム……165
Hybridcast……44

I

IPアドレス……126, 127

L

LANハードディスク……60, 116
LANハードディスクの登録……63

N

Netflix……133

P

PC……136
PINコード接続……31, 124

R

RGBレンジ設定……94

S

SeeQVault……57, 59, 81, 88

U

USBハードディスクが使用できない……175
USBハードディスクの残量……79
USBハードディスクの設定をする……52
USBハードディスクの接続をする……51
USBハードディスクを本機に登録する……52

W

Wake on LAN……66

かな

あ

アイコン一覧……162
明るさ検出……141
明るさ詳細設定……140
明るさセンサー……15, 141
アクセスポイント選択……30, 123
あざやか……136
頭出し再生……75, 102, 108
アドバンスドHDR(ハイダイナミックレンジ)復元……138
アドレス設定(ＩＰｖ４)……126
アドレス設定(ＩＰｖ６)……127
アニメ……136
暗証番号削除……151
暗証番号設定……151
アンテナを接続する……24
アンテナを調整する……145

い

イコライザー……143
色あい……137
色温度……139
色がおかしい……172
色の濃さ……137
インターネットに接続する……122

う

上書き録画……71

え

映画……136, 142
映画字幕……165
衛星アンテナ電源供給……146
映像、音声を切り換える……46
映像が出ない……171
映像信号切換……46
映像の詳細情報を表示させる……47
映像メニュー……136
映像を静止させる……47
エラーメッセージ……181

お

オーディオ機器で聴く……104
オーディオ用光デジタルケーブル……91
オートボリューム……143
オートメディアプレーヤー……58, 95, 116, 118
お知らせアイコンが何度も表示される……175
お知らせを見る……160
おすすめ履歴の初期化……115
追っかけ再生……75
お手入れについて……188
音を一時的に消す……34
オフタイマー……49
おまかせ……142
おまかせ録画……73
おまかせＡＩ……136
音声が出ない……172
音声出力詳細設定……143
音声信号切換……46
音声メニュー……142
オンタイマー……49
音多切換……46
音量を調節する……34

さくいん つづき

か

外部機器を接続する……90
外部機器を電源オン……66
外部スピーカー……48, 104, 144
外部入力……99
外部入力スキップ設定……93
外部入力設定……93
外部入力の機能を設定する……93
外部入力表示設定……93
外部連携設定……64
各部のなまえ……15
各部のなまえ-リモコン……17
過去番組表-週間過去番組表……106, 107
画面が暗い……172
画面サイズ切換……46
画面の明るさ……140
カラーテクスチャー設定……137
かんたんネットワーク設定……123
乾電池を入れる……26
ガンマ調整……138

き

機器操作メニュー自動表示……98
機器の情報……79

く

クラウドサービス……132
クリア音声……48, 142
黒レベル……137

け

ゲイン調整……137
ゲーム……136

こ

降雨対応放送……46
コンテンツモード……140
コントラスト感調整……138
こんな場合は故障ではありません……170

さ

サーバー機能設定……64
再スキャン……147
再生設定……76, 79, 95, 117
再生タイムバー……77
再生中にできるリモコン操作……76
サウンドシステム音声入力……98
サウンドシステムスピーカー……103, 104
サウンドシステム連動……98, 103, 104
サブメニューについて……36
左右バランス……143
サラウンド……143
サラウンドメニュー……104
ざんまいスマートアクセス……110

し

シーン検索……77
システムスタンバイ……96, 97
システムメンテナンス時間……115
システムメンテナンスの実行……115
視聴制限一時解除……41, 121
視聴予約……68
質感リアライザー……138
指定した日時の番組表を表示させる……39
自動削除設定……82
自動スキャン……147
字幕を表示させる……34
シャープネス……137
写真……136
写真のフォーマット……168
写真を再生する……118
週間番組表……39
仕様……189
省エネ設定……47, 53, 115
症状に合わせて解決法を調べる……170
消費電力……189
商標……168
初期スキャン……147
シンクロドライブ……98, 103
信号フォーマット詳細表示設定……47
親切ヘッドホン音量……48
親切モード……48, 144

す

スーパーライブ……165
ズーム……165
スカパー！プレミアムサービスLink（録画）……121
スピーカー切換……48, 103, 104
スポーツ……136
スライドショー……119

せ

精細感・ノイズ調整……137
接続ケーブルの種類と画質・音質の関係……91
接続方法……125
設定の初期化……154
設定メニュー 一覧……155
節電モード……47

そ

操作ガイドについて……35
操作無効設定……153
双方向サービス……44
ソフトウェアの自動ダウンロード……157
ソフトウェアのバージョン……158
ソフトウェアを更新する……157

た

対応機器について……190
ダイナミック……142
ダイナミックNR……138
タイムサーチ……117
タイムシフトマシン再生中にできるリモコンの基本操作……109
タイムシフトリンク機能を使う……105
ダビング……85

ち

地域と郵便番号を設定する……150
地上デジタルアッテネーター設定……146
地上デジタルアンテナ設定……145
地上デジタルチャンネルを自動で設定する……147
地上デジタル放送が映らない……173
地デジ表示……41
チャンネルスキップ設定……149
チャンネル並び順……41
チャンネルをお好みに手動で設定する……148

つ

追跡キーワード……71
追跡基準……71
通常モード……48, 93, 144
次みるナビで楽しむ……80

て
低音強調 142
低遅延モード 141
データ放送終了 44
データ放送の設定をする 150
データ放送やラジオ放送を楽しむ 44
デジタル音声出力 143
デジタル音声出力タイミング 144
デジタル放送の種類と特徴 22
テレビが操作できなくなったとき 170
テレビスピーカー 98, 103
テレビ設置設定 144
テレビ番組を楽しむ 33
テレビ/ラジオ/データ切換 41, 44
テレビ→連動機器電源オフ 98
テレビを設置する 20
電源LED表示設定 141
電源オン時優先スピーカー 98
電源がはいらない 171
電源を入れる 27
転倒・落下防止のしかた 20

と
動画を並べ替える 117
動画のフォーマット 167
動画を再生する 116
東芝サーバーから手動でダウンロードする 158
独立データ放送 44
ドルビー DRC 143

な
なめらか調整 141

に
二画面で楽しむ 45
日時を指定して予約をする 70
入力切換 99
入力文字一覧 161
入力文字種 161

ね
ネイティブ 165
ネットワークサービス 132
ネットワークサービス制限設定 152
ネットワークサービス利用設定 32, 129
ネットワーク情報 128
ネットワーク設定 30, 131
ネットワークメディアサーバー 60
年間消費電力量 189

の
ノーマル 165

は
はじめての設定 28
「はじめての設定」をやり直すとき 32
バックライト 140
早送り再生 76, 102, 109, 117
早見早聞 76, 109, 117
早戻し再生 76, 102, 109, 117
番組概要表示 41
番組検索 70, 78
番組検索(番組を探す) 42
番組情報を見る 37
番組説明を見る 37, 114
番組表 38
番組表-1チャンネル表示とマルチ表示 40
番組表-ジャンル色分け 40
番組表-週間番組表 39
番組表で予約をする 68
番組表-日時切換 39
番組表に内容が表示されない 174
番組表の文字が小さい 174
番組表-番組記号一覧 41
番組表-番組情報の取得 39
番組表-放送メディア切換 41
番組表-文字サイズ変更 40, 108
番組表を更新する 39
番組表を便利に使う 39
番組を検索して録画・予約をする 70
番組を並べ替える 79, 114

ひ
ひかりTV設定 131
光デジタルケーブル 91, 92
ビデオ音声入力設定 94
表示チャンネル数 41, 108
標準 136, 142

ふ
付属品を確認する 14
プッシュボタン接続 31, 124
フル 165
プロキシサーバー 127

へ
ヘッドホン／音声出力設定 144
ヘッドホンで聴く 48

ほ
放送局からのお知らせ 160
放送時間(連動) 71
放送視聴制限設定 151
ボード 160
ほかのグループに移動する 84
ほかのレグザで再生できない (USBハードディスク) 176
保護 71, 82
本機から起動する機器を登録する 66
本機に関するお知らせ 160
本機の情報 158
本機の特長 2
本機の入出力対応信号 91
本機の名称 65
本機のリモート電源オン機能を設定する 66
本機のリモコンで対応機器を操作する 100
本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき 187
本体操作ボタンと入出力端子 16
本体ボタンによる「機能切換」ついて 34

ま
マイフォルダ 71
マイフォルダの変更 84
マイフォルダ別 84
マイフォルダ名の変更 83
マジックチャプター 54, 71
マルチ表示 40

み
見たいタイムシフトマシン録画番組を探す 108
ミニ番組表 39

む
無線LAN設定 125
無線LAN設定の初期化 126

さくいん つづき

め
免責事項について……187
も
文字切換……161
文字スーパーの言語を設定する……150
文字を入力する……161
ゆ
ユニカラー……138
よ
予約の確認……72
予約の動作について……74
予約の取り消し……72
予約の変更……72
予約・録画の優先順位について……74
ら
ライセンス……168
ラジオ放送……44
り
リピート……79, 117, 119
リモート電源オン設定……66
リモコンコード設定……153
リモコン設定……153
リモコンで操作ができない……171
リモコンで番組を選ぶ……33
リモコン動作モード……98
リモコンの準備をする……26
リモコンの使用範囲について……26
る
ルート証明書番号……150
れ
レグザAppsコネクトの設定……64
レグザサウンドシステム……90, 92, 103
レグザリンクについて……96
レグザリンクダビングの接続・設定をする……55
レジューム再生……75
レゾリューションプラス設定……137
連続ドラマを予約する……69
連動機器→テレビ電源……98
連動機器→テレビ入力切換……98
連動データ放送……44
連ドラ……71
連ドラグループ名の変更……83
連ドラ予約……69, 79, 114
ろ
録画ができない、または録画されなかった……175
録画先……71
録画時間……67
録画した番組が消えた……175
録画した番組を再生する……75
録画設定……54
録画できる機器と番組……50
録画できる時間の目安……190
録画番組の修復……77
録画番組を消す……82
録画番組を保護する……82
録画品質……71
録画予約……68
録画・予約機能について……50
録画・録音について……185
録画を中止するとき……67
わ
ワイドビューアングル……139
ワンタッチスキップ……76, 109, 117
ワンタッチスキップ設定……76
ワンタッチプレイ……96
ワンタッチリプレイ……76, 109, 117
ワンタッチリプレイ設定……76

保証とアフターサービス

必ずお読みください

❶ 基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページの<お客様サポート>に、ご確認いただきたい情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

https://www.toshiba.co.jp/regza/support/

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。

❷ 商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝テレビご相談センター」

メモ　形名　　製造番号

形名と製造番号は、保証書および本体背面に表示されています。

【一般回線・PHSからのご利用は】(通話料：無料)

フリーダイヤル 0120-97-9674（クナン　クローナシ）

●IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、
03-6830-1048（通話料：有料）

【携帯電話からのご利用は】(通話料：有料)

ナビダイヤル 0570-05-5100

【FAXからのご利用は】(通信料：有料)

03-3258-0470

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する当社グループ会社、東芝家電製品関連各社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店または、「東芝テレビご相談センター」(上記)にご相談ください。

保証期間（ご購入後一年間）を過ぎた故障で、販売店の延長保証に加入されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証書（別添）

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。

●保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき無料修理となります。無償商品交換ではありません。
●訪問修理を依頼され、テレビに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。

補修用性能部品の保有期間

●液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。ただし、場合により、補修に代えて補修額に相当する金額にて他のテレビに交換をお願いする場合がありますので、ご了承願います。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
●修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

●「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	4K液晶テレビ
形名	43M540X、50M540X、55M540X、65M540X、75M540X
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入しておくと便利です。 TEL(　　)　　—

❶ 基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページの<お客様サポート>に、ご確認いただきたい情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

https://www.toshiba.co.jp/regza/support/

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。

❷ 商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝テレビご相談センター」

メモ　形名　　製造番号

形名と製造番号は、保証書および本体背面に表示されています。

【一般回線・PHSからのご利用は】(通話料：無料)

フリーダイヤル　0120-97-9674（クナン　クローナシ）

●IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、
03-6830-1048（通話料：有料）

【携帯電話からのご利用は】(通話料：有料)

ナビダイヤル　**0570-05-5100**

【FAXからのご利用は】(通信料：有料)

03-3258-0470

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する当社グループ会社、東芝家電製品関連各社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

廃棄時にご注意願います

●家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！　熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながったりすることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか?

- ●電源を入れても映像や音が出ない。
- ●映像が時々、消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源を切っても、映像や音が消えない。
- ●内部に水や異物がはいった。

ご使用中止　このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

東芝映像ソリューション株式会社
〒212−0058　神奈川県川崎市幸区鹿島田1−1−2
※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

●製品に付属されている取扱説明書はモノクロ印刷です。

TV/O　RSAG2.025.6936SS(V1.0) A

©TOSHIBA VISUAL SOLUTIONS CORPORATION 2020